

**令和元年度
堺市市民意識調査報告書
【本編】**

令和2年6月

< 目 次 >

| | |
|--------------------------------------|-----|
| I. 調査実施の概要 | 1 |
| 1. 調査の概要 | 2 |
| 2. 回答者の属性 | 4 |
| II. 調査結果の詳細 | 10 |
| 1. 日常生活の意識・行動について | 11 |
| A. 堺市のまちについて | 11 |
| B. 安全・安心の確保について（防災・防犯・医療等） | 17 |
| C. 子育て・教育について | 23 |
| D. 都市魅力（文化・観光・産業等）について | 28 |
| E. 環境について | 37 |
| F. 日常の交通手段について | 43 |
| G. 地域活動等について | 47 |
| 2. 堺市での暮らしについて | 51 |
| 1. 暮らしの評価と行政サービスについて | 51 |
| 2. 具体的な不満点 | 56 |
| 3. 電子決済（キャッシュレス）について | 61 |
| 4. 転入・転出について | 64 |
| III. 調査結果の分析 | 67 |
| 1. マスタープランの成果指標分析 | 68 |
| 1. 成果指標の経年比較分析 | 69 |
| 2. 成果指標の指数化分析 | 72 |
| 2. 定住意向改善のための分析 | 77 |
| 1. 定住意向と暮らしの評価の相関分析 | 77 |
| 2. 定住意向改善のための課題抽出分析 | 81 |
| 3. 行政サービス評価改善のための分析 | 90 |
| ■ 行政サービス満足層と不満層における行政サービス不満度のGAPについて | 90 |
| 4. 堺市の都市魅力改善のための分析 | 100 |
| ■ 堺市への愛着あり層、なし層における堺市魅力度のGAPについて | 100 |
| 5. 次期課題抽出のための分析 | 110 |
| 1. 日常生活の意識・行動と定住意向の相関分析 | 110 |
| 2. 定住意向改善のための次期課題抽出分析 | 112 |
| 3. 日常生活の意識・行動と都市魅力の相関分析 | 116 |
| 4. 都市魅力改善のための次期課題抽出分析 | 118 |
| 5. 堺市での暮らし改善のための次期課題 | 122 |
| IV. 調査票 | 123 |

I . 調査実施の概要

1. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の日常生活における行動や意識などを把握、分析し、本市の都市経営の基本戦略である堺市マスタープランの進捗管理に活用するとともに、市政運営の基礎資料とするために実施したものである。

2. 調査の実施概要

- (1) 調査地域 堺市全域
- (2) 調査対象 堺市内に居住する満 18 歳以上の市民 10,000 人
- (3) 抽出方法 区別人口比・性比に合わせ住民基本台帳(外国人住民を含む)より無作為抽出(令和元年 11 月末時点)
- (4) 調査方法 郵送調査
- (5) 調査期間 令和 2 年 2 月 20 日(木)～令和 2 年 3 月 9 日(月)
発送：令和 2 年 2 月 20 日(木)～令和 2 年 3 月 9 日(月)
調査期間中に、調査対象者全員に協力依頼はがきを送付
返送された調査票は、3 月 26 日分までを有効票とした
- (6) 回収結果

| 発送数 | 未着数 | 実発送数 | 有効回答数 | 有効回答率 |
|--------|-----|-------|-------|-------|
| 10,000 | 50 | 9,950 | 4,757 | 47.8% |

| 調査実施時期 | 発送数 | 未着数 | 実発送数 | 有効回答数 | 有効回答率 |
|-----------|--------|-----|-------|-------|-------|
| 前々回 H25.7 | 10,000 | 27 | 9,973 | 5,379 | 53.9% |
| 前回 H28.7 | 10,000 | 62 | 9,938 | 5,777 | 58.1% |
| 今回 R02.2 | 10,000 | 50 | 9,950 | 4,757 | 47.8% |

3. 集計表の見方

- (1) 集計対象件数は、4,757 件である。
- (2) 回答は、各設問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示している。小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (3) 各設問に対する無回答は集計から省いた。
- (4) 回答があっても、小数点第 2 位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、図表には「-」と示している。

4. 調査の精度

本調査は標本調査であるため、ここで得た調査結果から母集団の意識を推定している。調査の精度をみるため、5%区切りの主要な測定値について、信頼区間 1/2 幅を算出すると以下の図表のとおりである。

$$1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

P : 標本の測定値 (%)

N : 母集団数 (令和元年 11 月末時点 18 歳以上の人口)

n : 有効回答数

(注) 母集団数 (N) は、令和元年 11 月末の住民基本台帳 (日本人、外国人住民を含む) における 18 歳以上人口の合計。

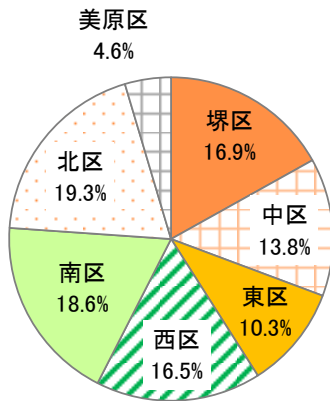
信頼度 95%における主要な測定値 (%) の信頼区間の 1/2 幅

| 測定値 (%) | | 1/2幅 | | | | | | | |
|---------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 全市 | 堺区 | 中区 | 東区 | 西区 | 南区 | 北区 | 美原区 |
| 50% | | 1.42 | 3.45 | 3.83 | 4.44 | 3.50 | 3.29 | 3.23 | 6.62 |
| 45% | 55% | 1.41 | 3.44 | 3.81 | 4.41 | 3.48 | 3.27 | 3.22 | 6.59 |
| 40% | 60% | 1.39 | 3.38 | 3.75 | 4.35 | 3.43 | 3.22 | 3.17 | 6.49 |
| 35% | 65% | 1.36 | 3.29 | 3.65 | 4.23 | 3.34 | 3.14 | 3.09 | 6.32 |
| 30% | 70% | 1.30 | 3.17 | 3.51 | 4.07 | 3.21 | 3.02 | 2.96 | 6.07 |
| 25% | 75% | 1.23 | 2.99 | 3.32 | 3.84 | 3.03 | 2.85 | 2.80 | 5.74 |
| 20% | 80% | 1.14 | 2.76 | 3.06 | 3.55 | 2.80 | 2.63 | 2.59 | 5.30 |
| 15% | 85% | 1.01 | 2.47 | 2.73 | 3.17 | 2.50 | 2.35 | 2.31 | 4.73 |
| 10% | 90% | 0.85 | 2.07 | 2.30 | 2.66 | 2.10 | 1.97 | 1.94 | 3.97 |
| 5% | 95% | 0.62 | 1.51 | 1.67 | 1.93 | 1.52 | 1.43 | 1.41 | 2.89 |

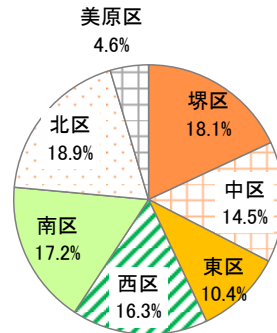
(参考) たとえば、問 1 「あなたは、堺市が住みやすいまちだと思いますか。」の「そう思う」が 29.8%となっている。この表により、標本測定値 25%の場合の信頼区間の 1/2 幅は全市で 1.23 である。このことは、調査を 100 回行えば、95 回までは 29.8±1.23%の人が「そう思う」と答えると推定されることを意味する。

2. 回答者の属性

1. 居住地

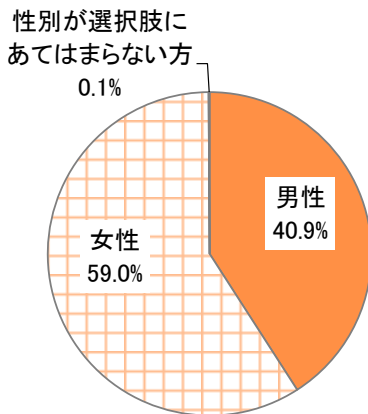


全体 n=4757

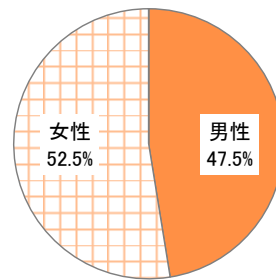


【参考】令和元年 11 月末時点の 18 歳以上
住民基本台帳人口（日本人、外国人住民ともに含む）

2. 性別

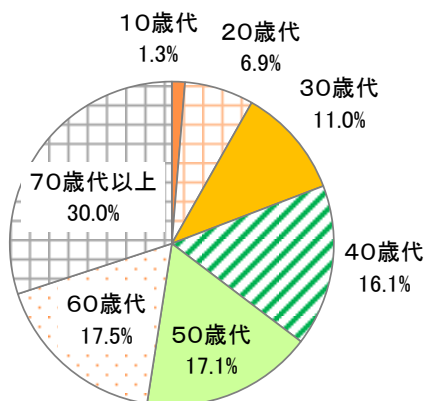


全体 n=4676

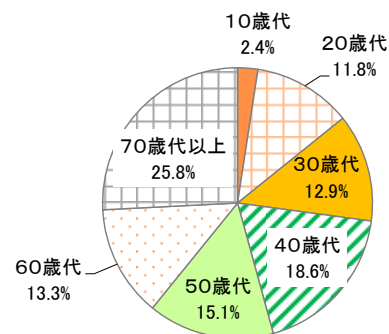


【参考】令和元年 11 月末時点の 18 歳以上
住民基本台帳人口（日本人、外国人住民ともに含む）

3. 年代

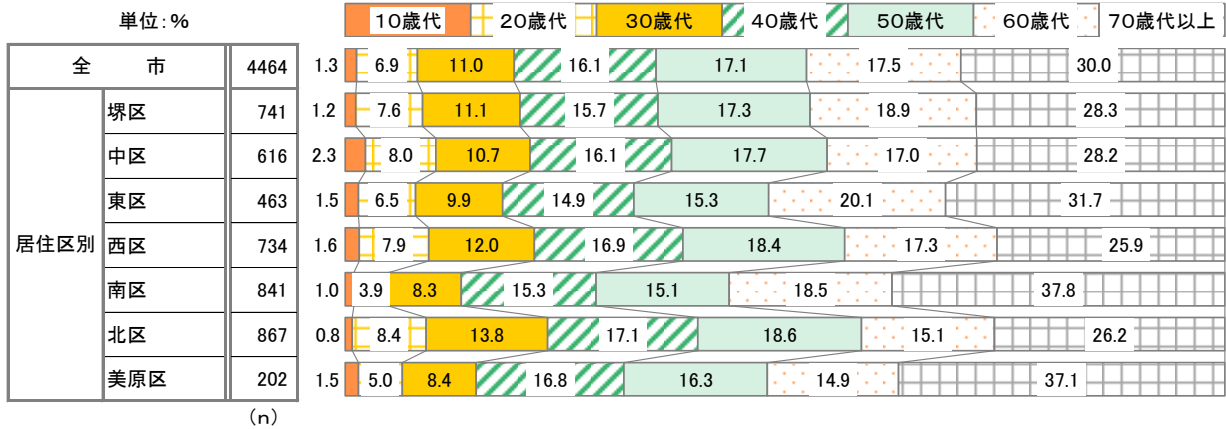


全体 n=4464



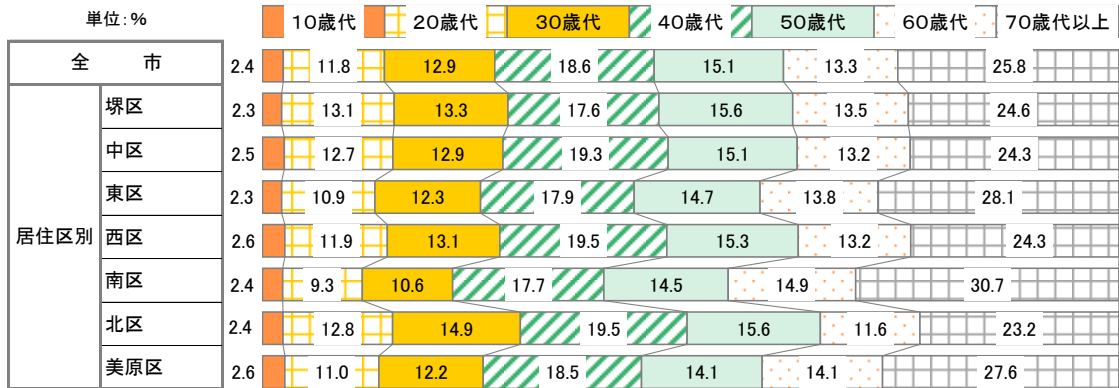
【参考】令和元年 11 月末時点の 18 歳以上
住民基本台帳人口（日本人、外国人住民ともに含む）

《居住区別》

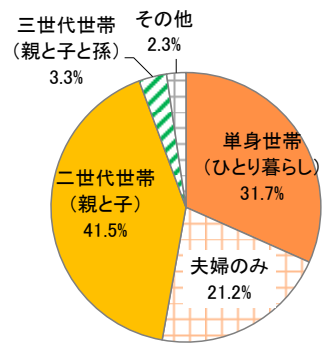
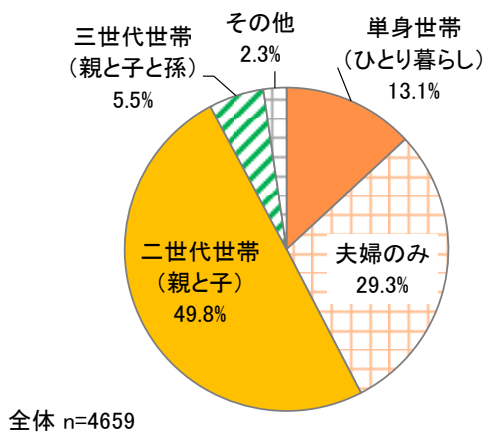


【参考】令和元年11月末時点の18歳以上

住民基本台帳人口（日本人、外国人ともに含む）



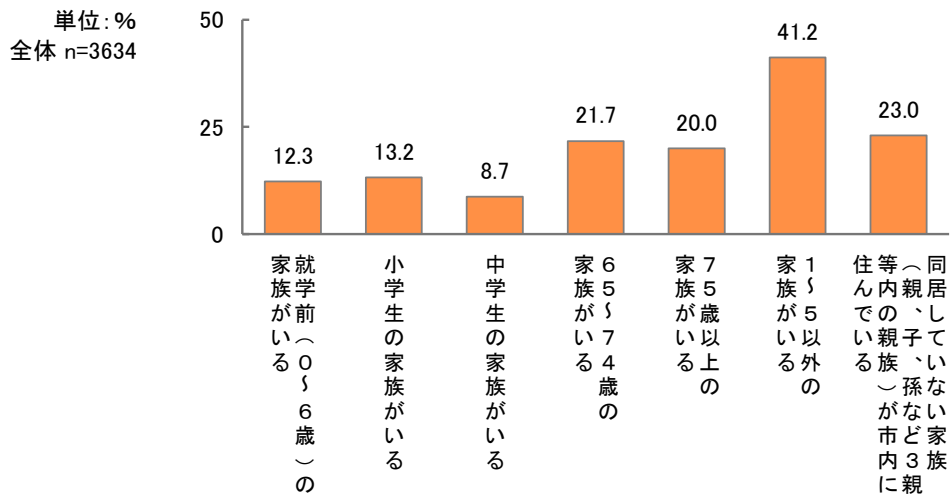
4. 家族構成



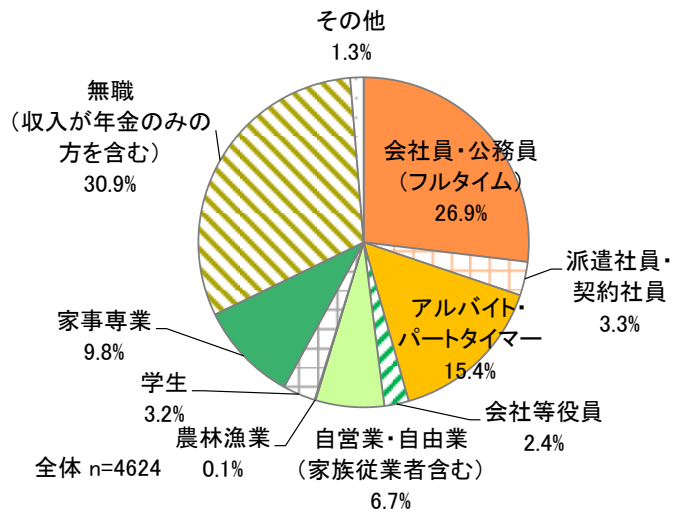
【参考】平成27年国勢調査

人口等基本集計（総務省統計局）

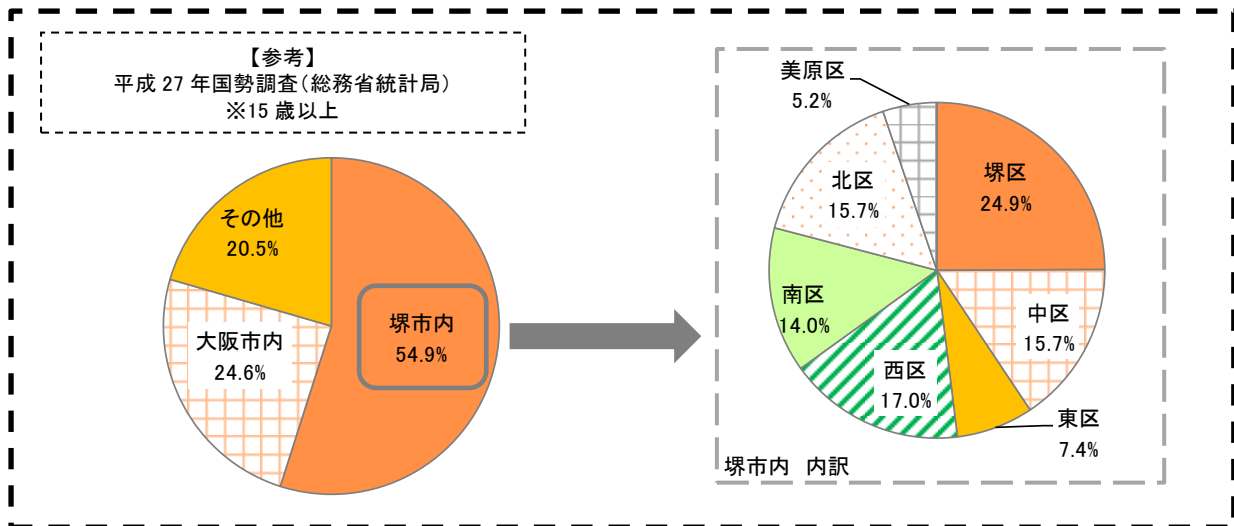
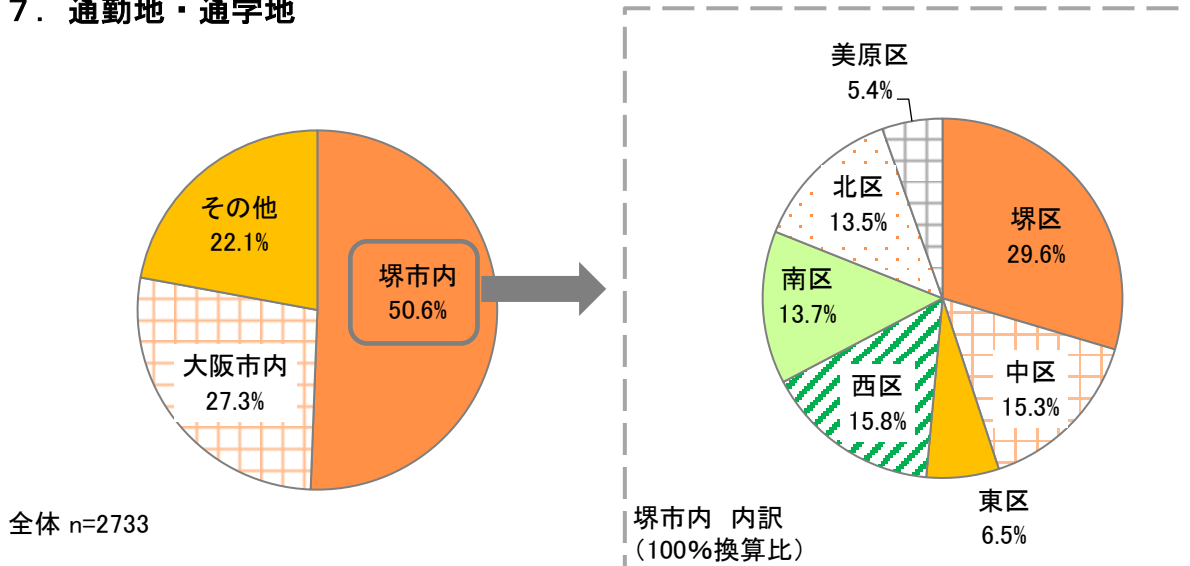
5. 同居家族



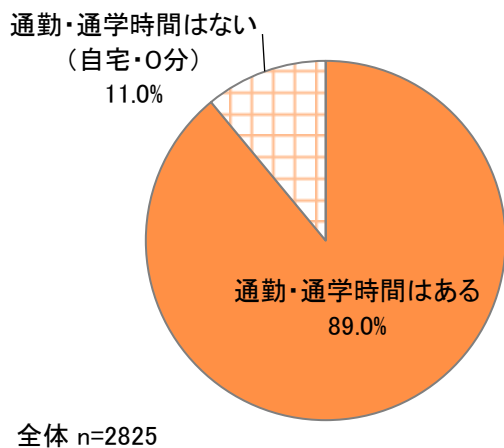
6. 職業



7. 通勤地・通学地

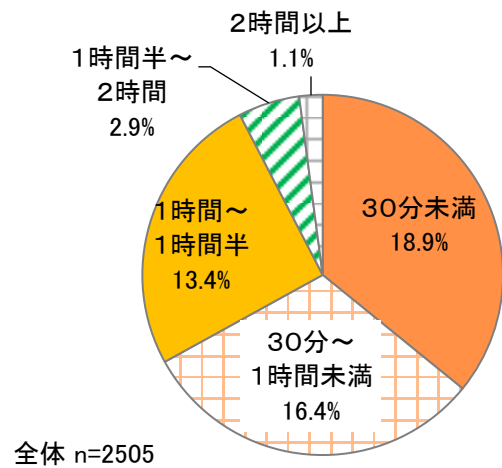


8. 通勤・通学時間の有無



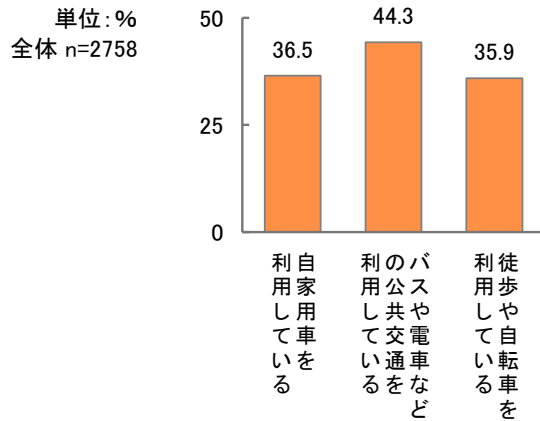
8-1. 通勤・通学時間

【通勤・通学時間がある方】



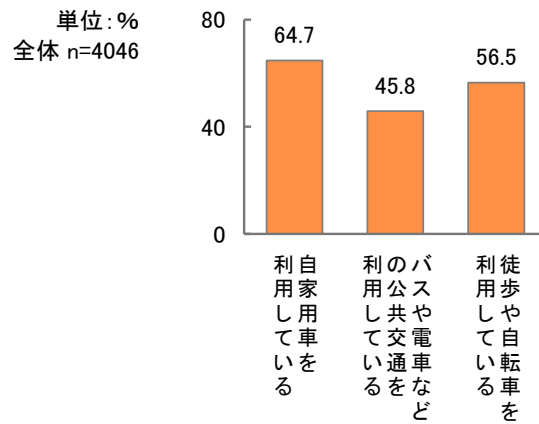
9. 通勤・通学手段

※複数回答項目

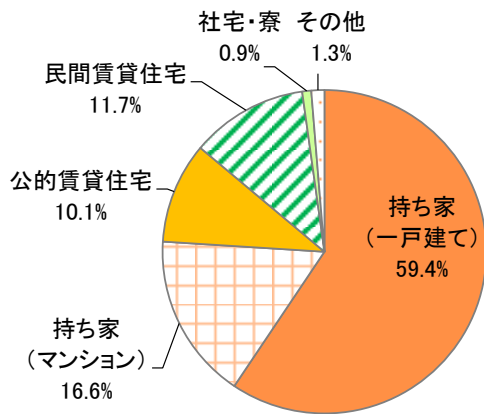


10. 通勤・通学以外の移動手段

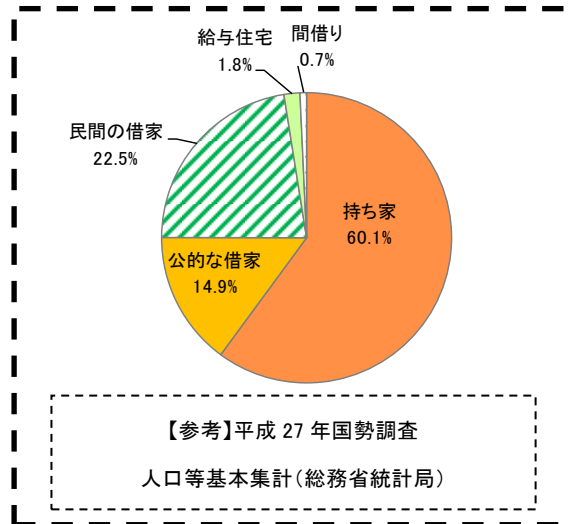
※複数回答項目



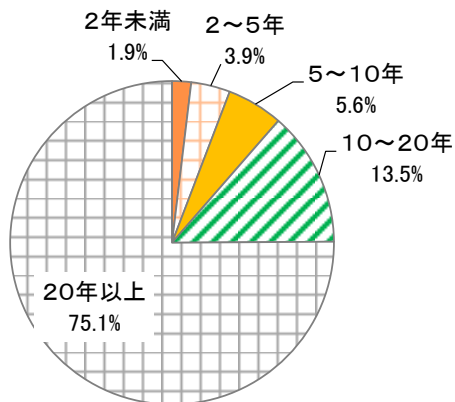
11. 住宅の所有形態



全体 n=4646

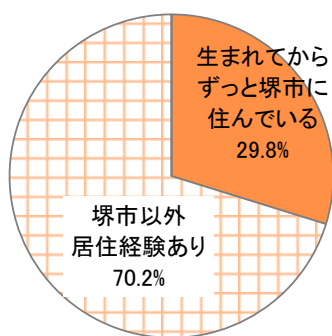


12. 居住年数



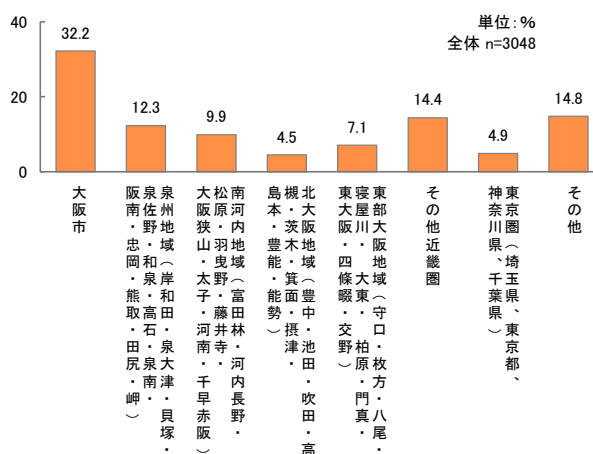
全体 n=4568

1 3. 堺市居住状況

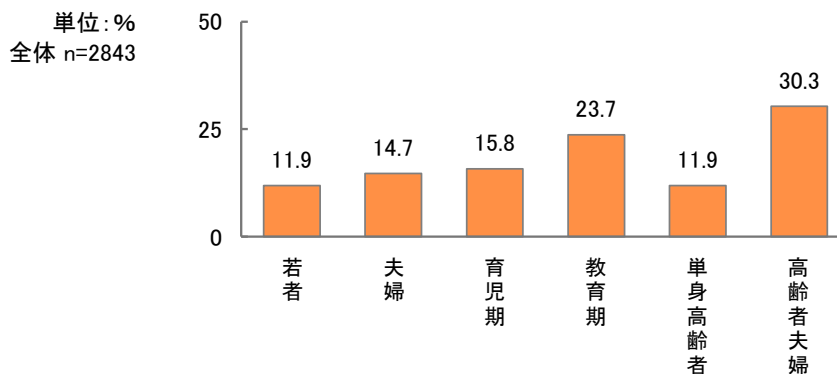


全体 n=4451

1 3-1. 堺市以外に居住していた地域



1 4. ライフサイクル



*ライフサイクルの区分と区分の設定条件

| | |
|-------|--------------------------|
| 若者 | 18～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者 |
| 夫婦 | 18～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者 |
| 育児期 | 小学校入学前の子どもがいる世帯の回答者 |
| 教育期 | 小・中学生の子どもがいる世帯の回答者 |
| 単身高齢者 | 65歳以上の単身世帯の回答者 |
| 高齢者夫婦 | 65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者 |

Ⅱ． 調査結果の詳細

1. 日常生活の意識・行動について

A. 堺市のまちについて

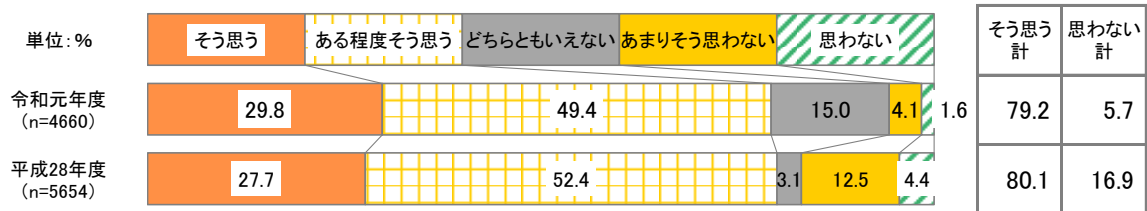
1. 堺市を住みやすいまちだと思いますか。

堺市を住みやすいまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて79.2%となっている。

過去調査と比較すると、平成28年度は80.1%であったため、そう思う人の割合は平成28年度と同程度となっている。

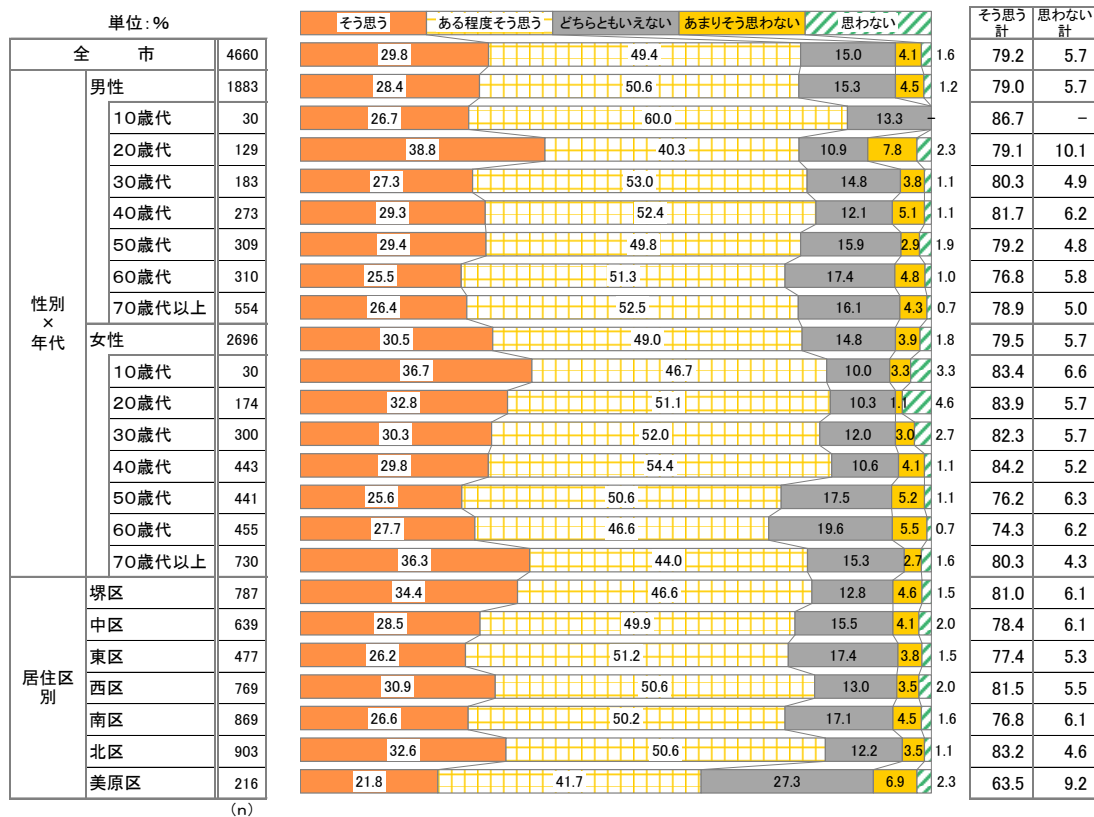
性別×年代でみると、男性10歳代、30～40歳代、女性10～40歳代、70歳代以上で、そう思う人の割合が8割以上となっている。

居住区別では、そう思う人の割合は北区83.2%、西区81.5%、堺区81.0%の順に高い。



*平成28年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



(注) 不詳があるため、全市サンプル数 (n=4660) と「性別×年代」または「居住区別」の合計数と合致しない場合がある。以下、全項目について同じ。

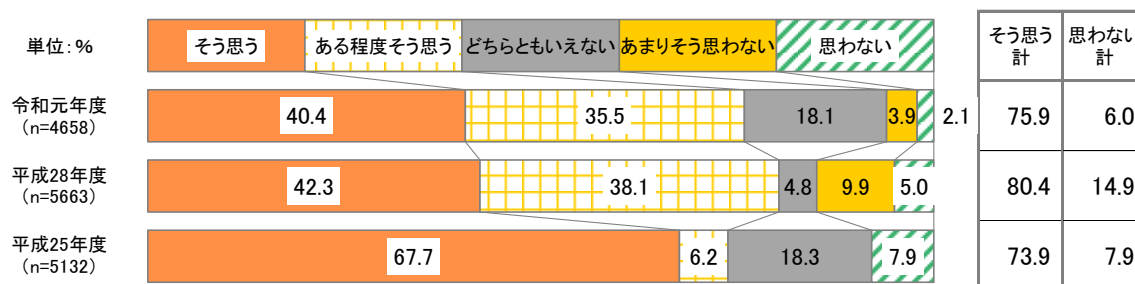
2. これからも堺市に住み続けたいですか。

これからも堺市に住み続けたいかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて75.9%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は73.9%、平成28年度は80.4%であったため、そう思う人の割合は平成28年度より減少している。

性別×年代でみると、男女とも70歳代以上で、そう思う人の割合が8割以上と高くなっている。一方、男性10～20歳代、女性20歳代では、そう思う人の割合は6割台と低い。

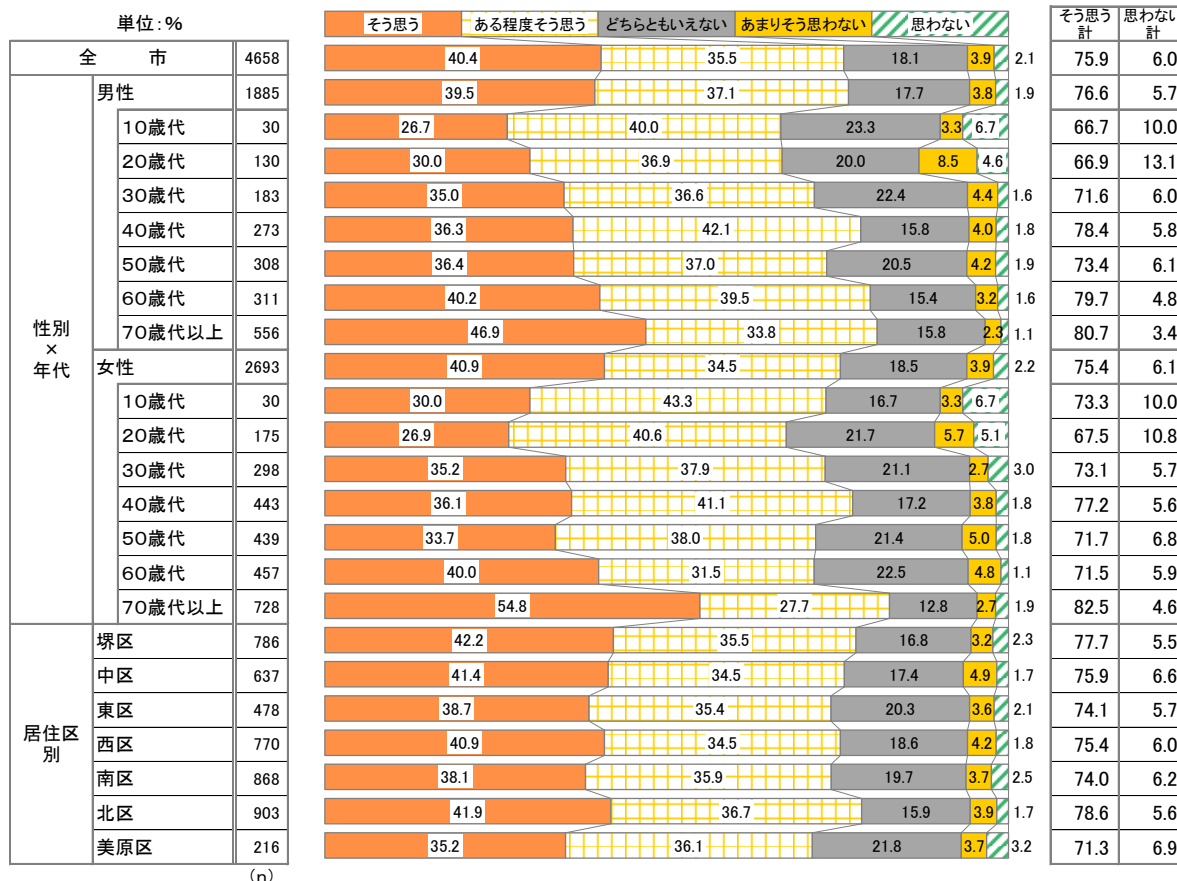
居住区別にみると、いずれの区でも定住意向が7割以上であるが、中でも北区で78.6%、堺区で77.7%と高くなっている。



*平成25年度は、選択肢が「今のところに住み続けたい」「市内のほかのところに引っ越したい」「市外のほかのところに引っ越したい」「どちらともいえない」。

*平成28年度は、質問文が「あなたは、事情が許せばこれからも堺市に住み続けたいですか」、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



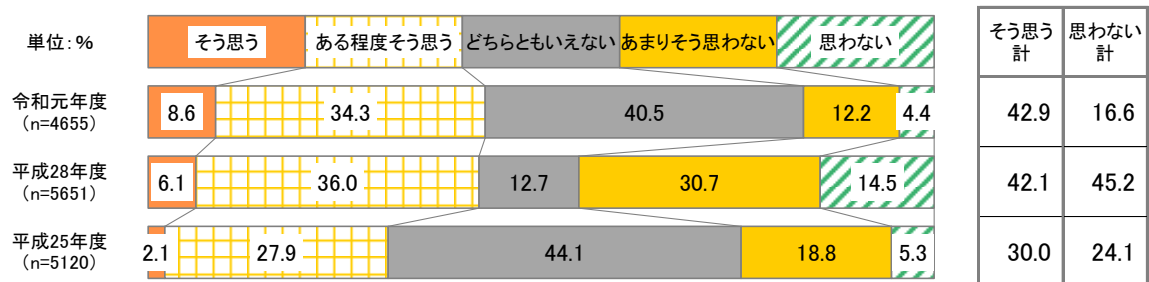
3. 堺市の行政サービスや業務に満足していますか。

堺市の行政サービスや業務に満足しているかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて42.9%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は30.0%、平成28年度は42.1%であったため、そう思う人の割合は平成28年度と同程度となっている。

性別×年代でみると、男性10歳代と女性70歳代以上で、そう思う人の割合が5割以上と高くなっている。

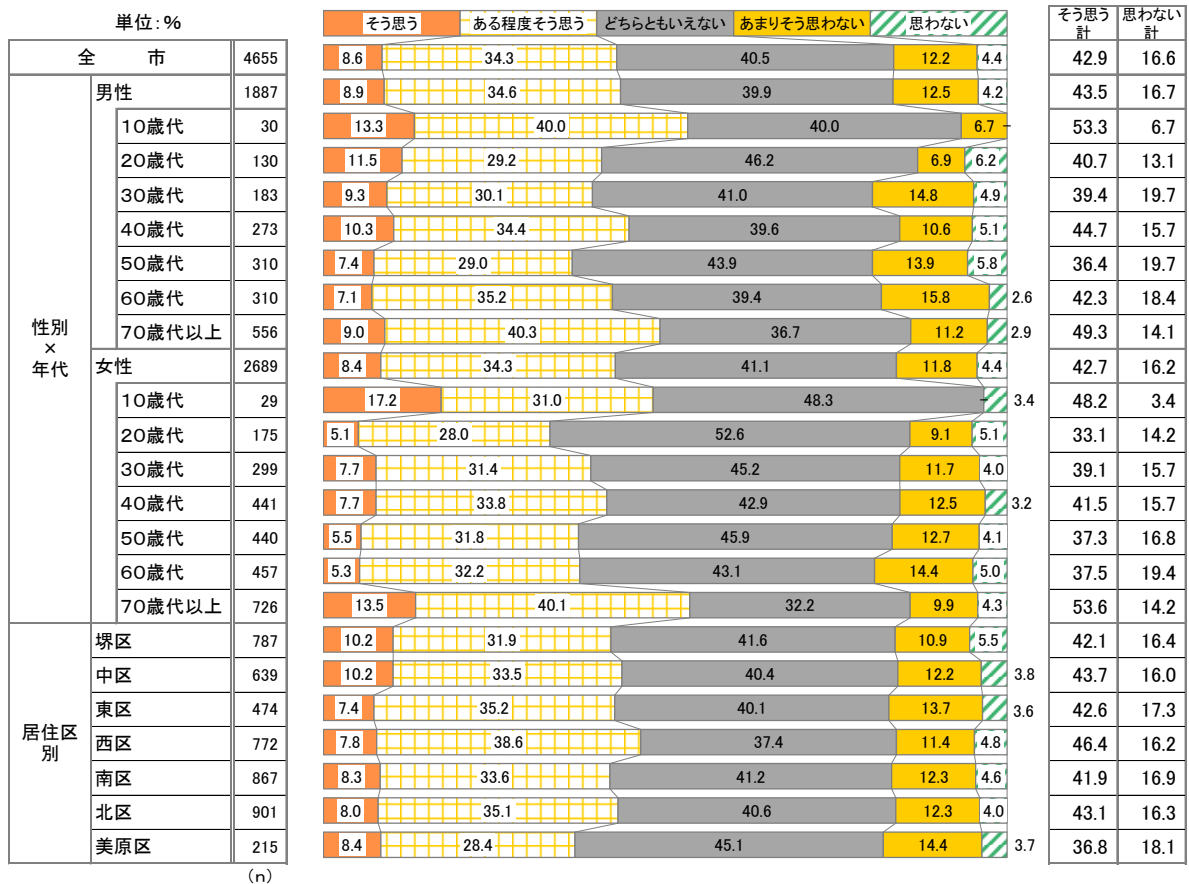
居住区別にみると、そう思う人の割合は、美原区以外では4割台であるが、美原区では36.8%と低くなっている。



*平成25年度は、選択肢が「十分満足している」「どちらかといえば満足している」「どちらかといえば不満である」「とても不満である」「どちらともいえない」。なお、「その他」(1.8%) 除く。

*平成28年度は、質問文が「あなたは、市政全般について、満足していますか」、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



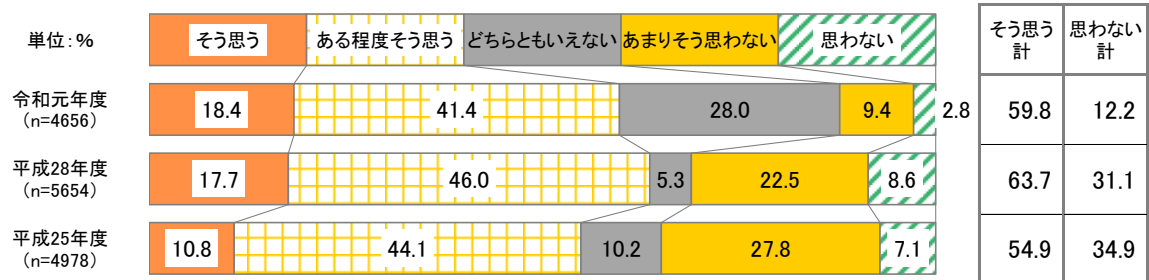
4. 堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。

堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて 59.8%となっている。

過去調査と比較すると、平成 25 年度は 54.9%、平成 28 年度は 63.7%であったため、そう思う人の割合は平成 28 年度より減少している。

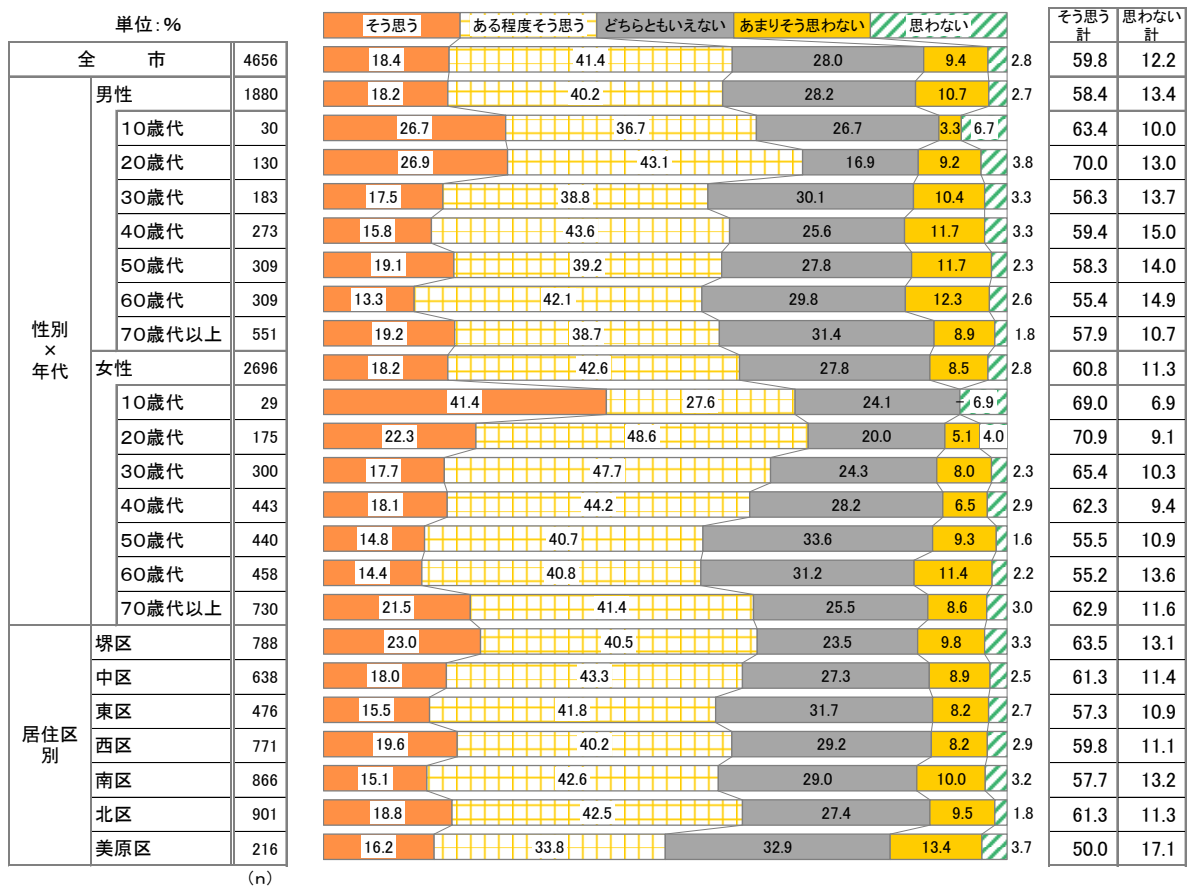
性別×年代でみると、男女とも 20 歳代で、そう思う人の割合が約 7 割と高くなっている。

居住区別にみると、堺区、中区、北区で、そう思う人の割合が 6 割以上と高くなっている。



*平成 28 年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



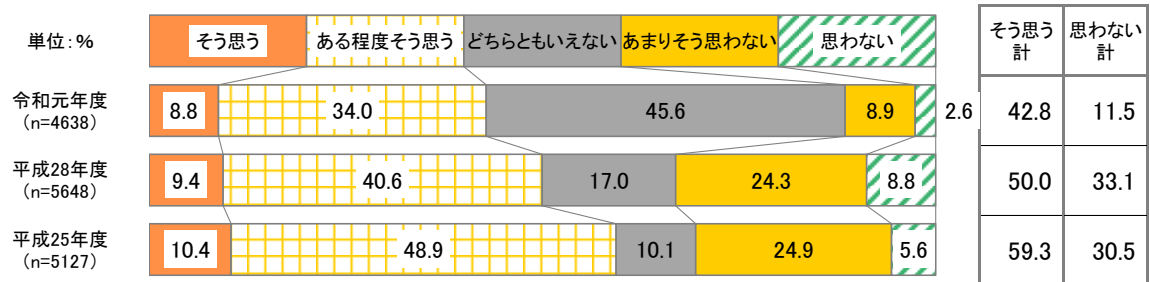
5. 堺市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちだと思いますか。

堺市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて42.8%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は59.3%、平成28年度は50.0%であったため、そう思う人の割合は減少傾向にある。

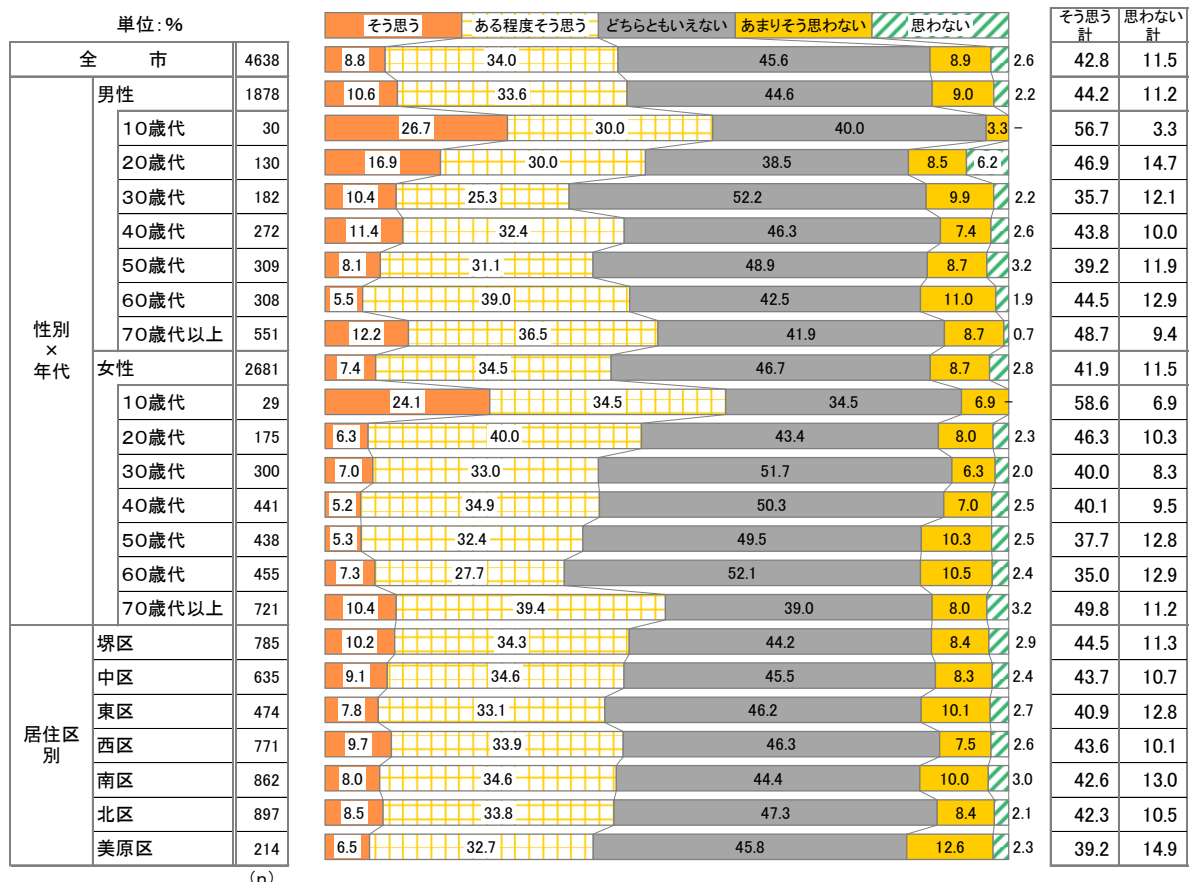
性別×年代で見ると、男女とも10歳代でそう思う人の割合が5割以上と高くなっている。

居住区別にみると、そう思う人の割合は、美原区の39.2%を除いて4割台となっており、中でも堺区で44.5%と最も高くなっている。



*平成28年度は、質問文が「あなたは、堺市は一人ひとりの自由や人権が守られ、誰もが個性を活かして、自分らしく生活することができているまちだと思いますか」、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



(n)

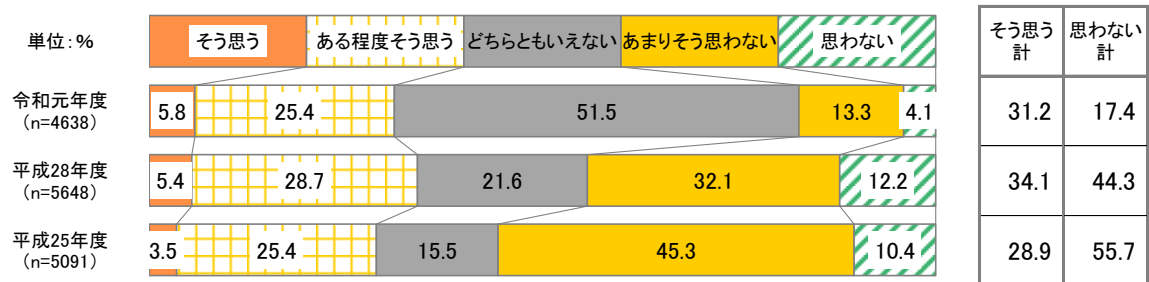
6. 堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまぢだと思いませんか。

堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまぢだと思ふかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて31.2%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は28.9%、平成28年度は34.1%であったため、そう思う人の割合は平成28年度より減少している。

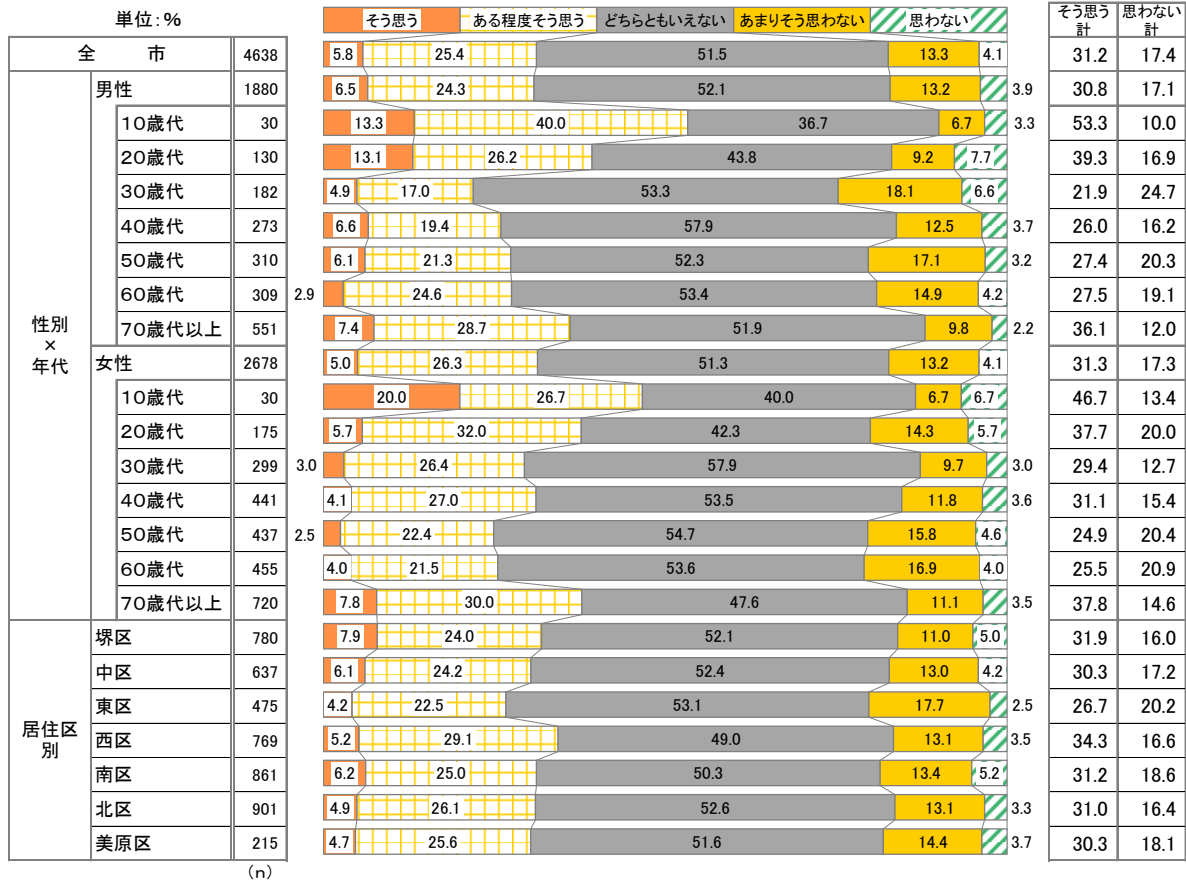
性別×年代でみると、男性10歳代で53.3%、女性10歳代で46.7%と、そう思う人の割合が高い一方、男性30歳代ではそう思う人の割合が21.9%と低くなっている。

居住区別にみると、西区が34.3%と高いが、東区では26.7%と低い。



*平成28年度は、質問文が「あなたは、堺市は年齢や性別にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまぢだと思いませんか」、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



B. 安全・安心の確保について（防災・防犯・医療等）

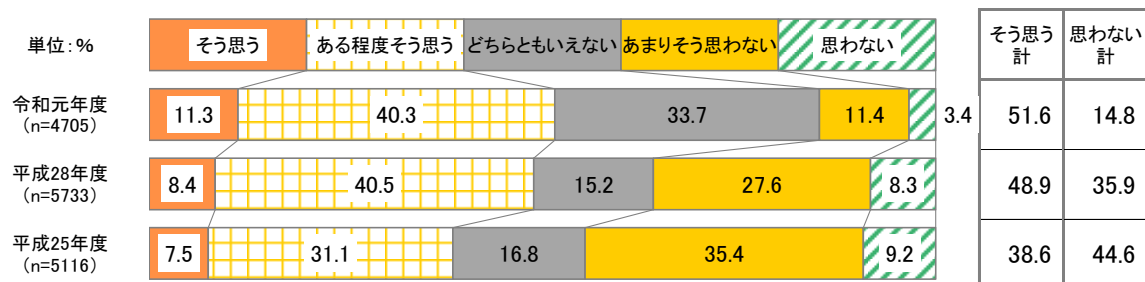
1. 堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。

堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて51.6%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は38.6%、平成28年度は48.9%であったため、そう思う人の割合は増加傾向にある。

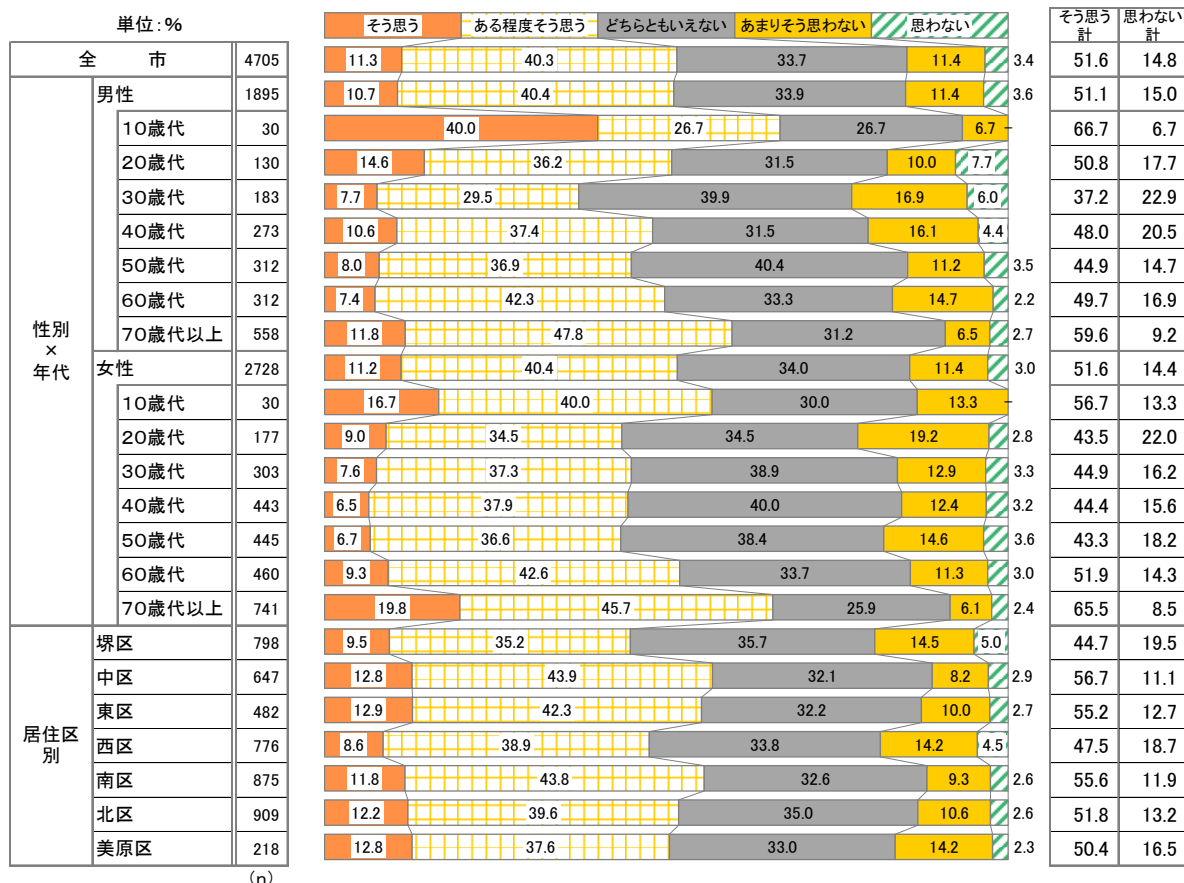
性別×年代でみると、男性10歳代、女性70歳代以上でそう思う人の割合が6割以上と高くなっている。

居住区別にみると、そう思う人の割合は、中区56.7%、南区55.6%、東区55.2%の順に高くなっており、堺区で44.7%と最も低くなっている。



*平成28年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



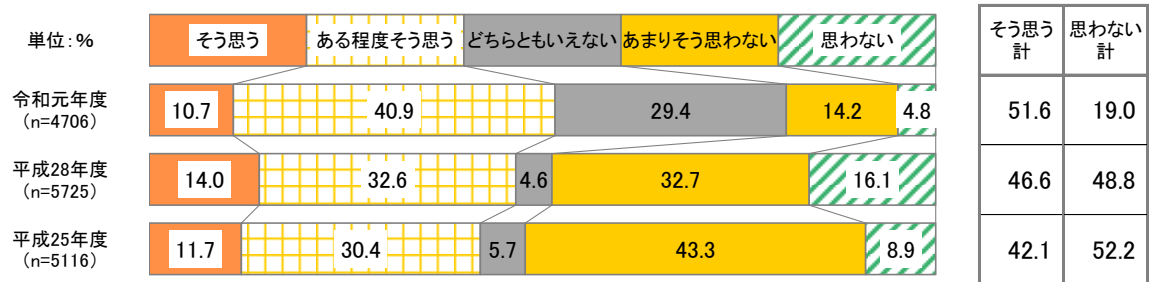
2. 堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか。

堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて51.6%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は42.1%、平成28年度は46.6%であったため、そう思う人の割合は増加傾向にある。

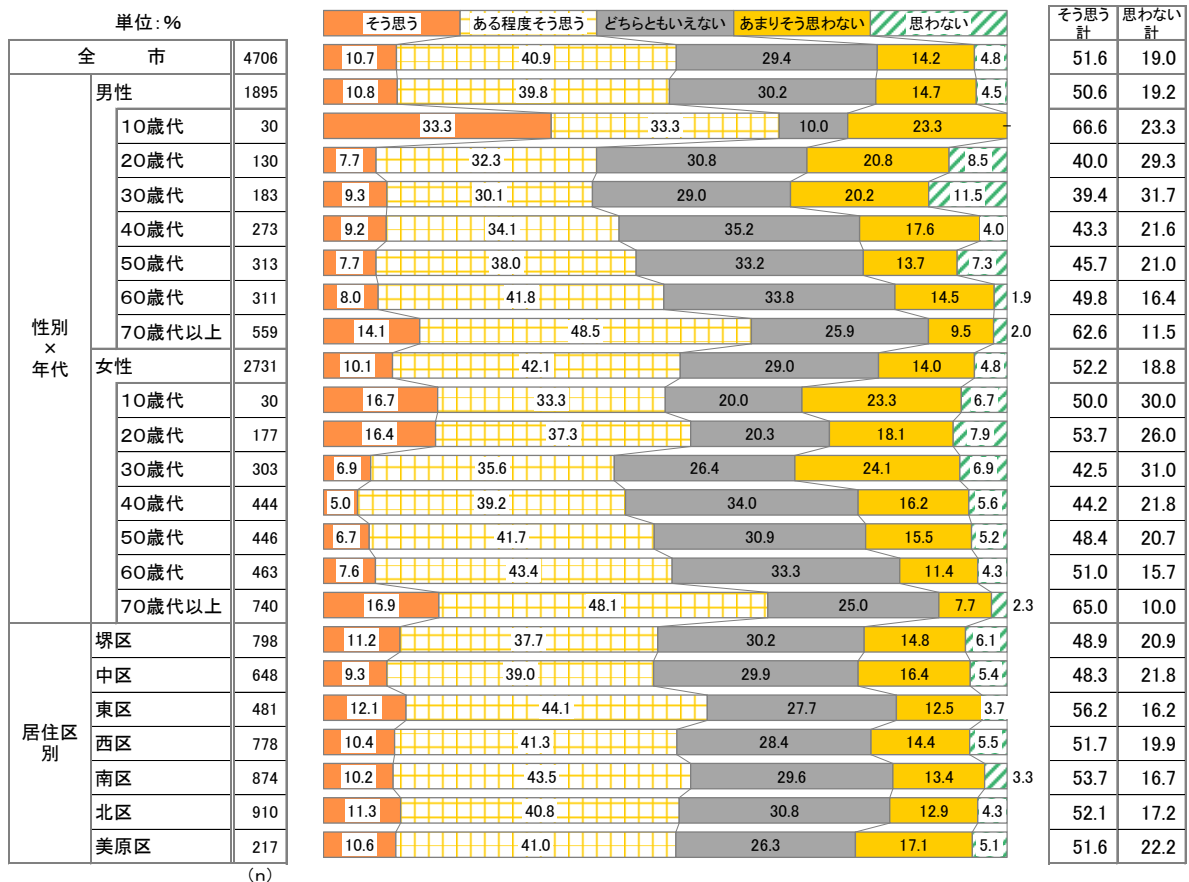
性別×年代でみると、男性10歳代、男女とも70歳代以上でそう思う人の割合が6割以上と高くなっている。

居住区別にみると、そう思う人の割合は、東区で56.2%と最も高くなっている。



*平成28年度は、質問文が「あなたは、近隣の治安について不安を感じたことがありますか」、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



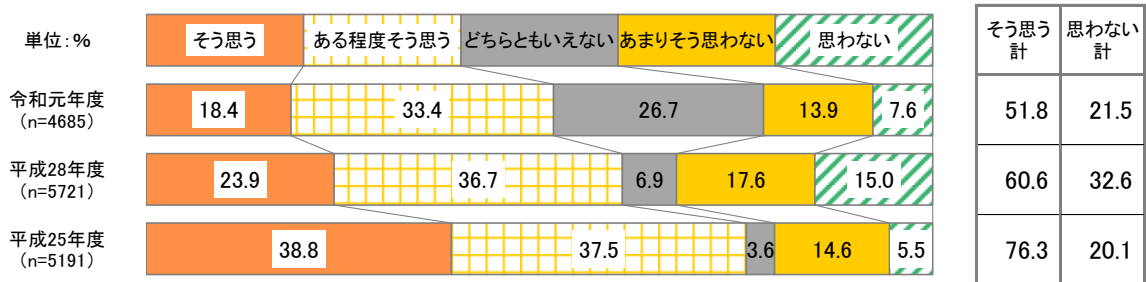
3. 健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。

日常生活の困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいるかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて51.8%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は76.3%、平成28年度は60.6%であったため、そう思う人の割合は減少傾向にある。

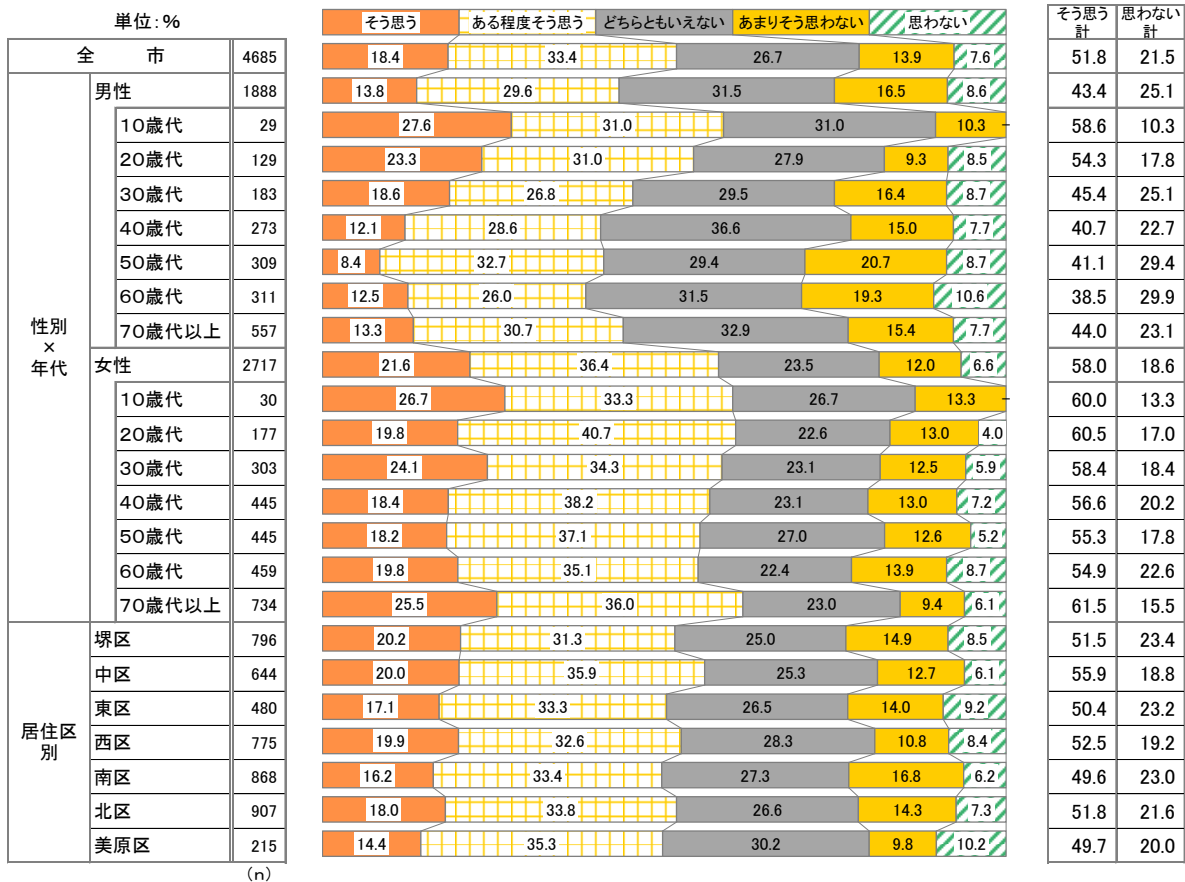
性別×年代で見ると、そう思う人の割合は、女性58.0%に対し、男性43.4%と低く、特に60歳代で低くなっている。女性10～20歳代、70歳代以上では6割以上と高い。

居住区別にみると、そう思う人の割合は、中区で55.9%と最も高くなっている。



*平成28年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



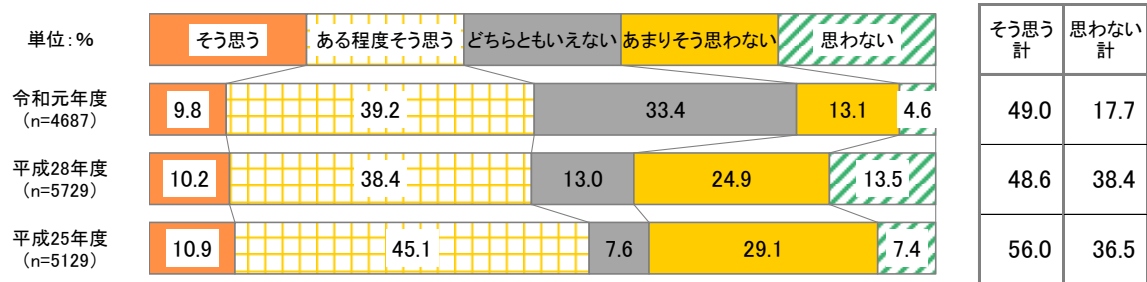
4. 堺市は突然のけがや病気の際の、病院での受入体制は十分なまちだと思いますか。

堺市は突然のけがや病気の際の、病院での受入体制は十分なまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて49.0%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は56.0%、平成28年度は48.6%であったため、そう思う人の割合は平成28年度と同程度となっている。

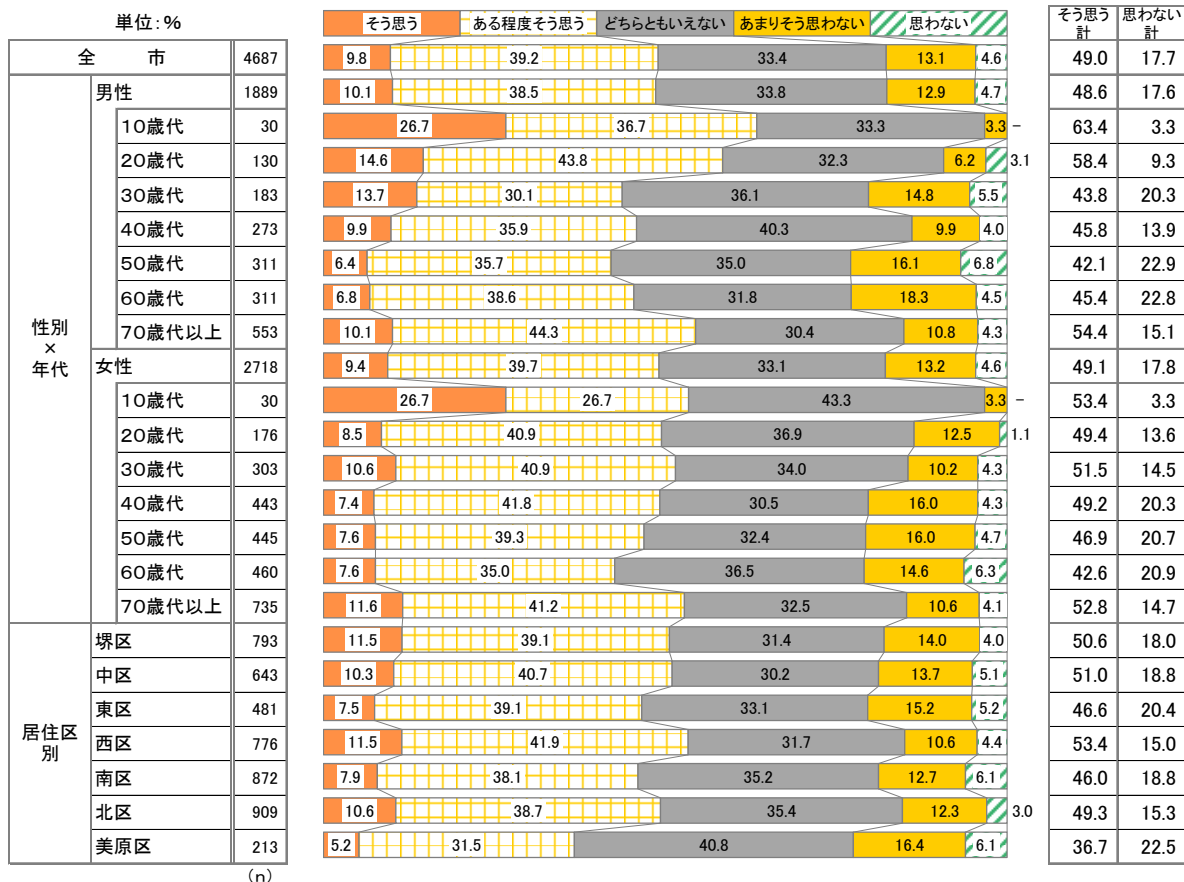
性別×年代でみると、そう思う人の割合は、男性10歳代で63.4%、男性20歳代、70歳代以上、女性10歳代、30歳代、70歳代以上で5割以上と高くなっている。

居住区別にみると、そう思う人の割合は、西区、中区、堺区で5割以上と高くなっている。



*平成28年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



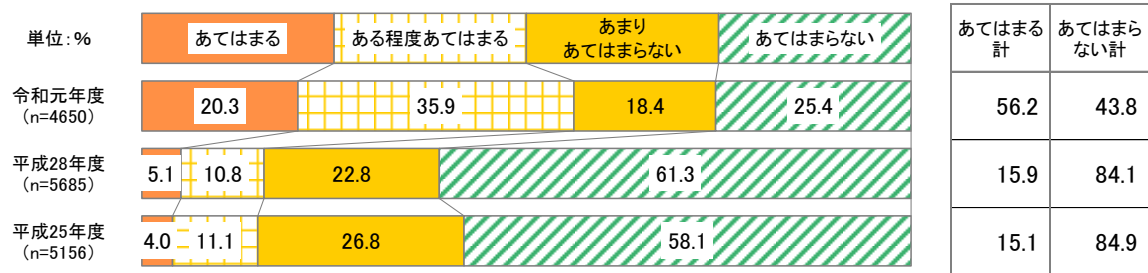
5. 地域で子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動に取り組んでいますか。

地域で子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動に取り組んでいるかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて56.2%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は15.1%、平成28年度は15.9%であったため、あてはまる人の割合は大幅に増加している。

性別×年代でみると、男性10歳代で76.7%、女性40歳代で61.2%、70歳代以上で62.8%と高くなっている。

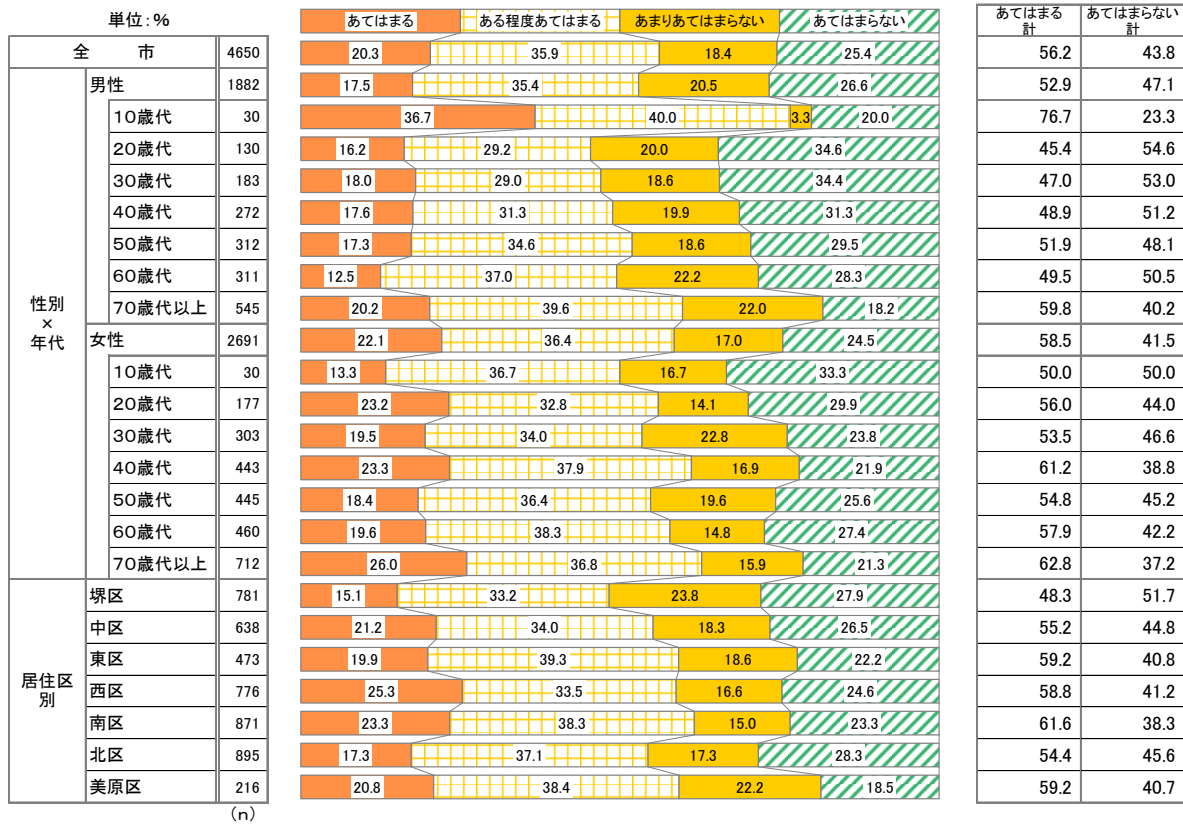
居住区別にみると、南区で61.6%と最も高く、堺区で48.3%と最も低くなっている。



*平成25年度は、選択肢が「積極的に行っている」「ある程度行っている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。

*平成28年度は、質問文が「あなたは、地域で子どもの見守りやパトロールなどに取り組んでいますか」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



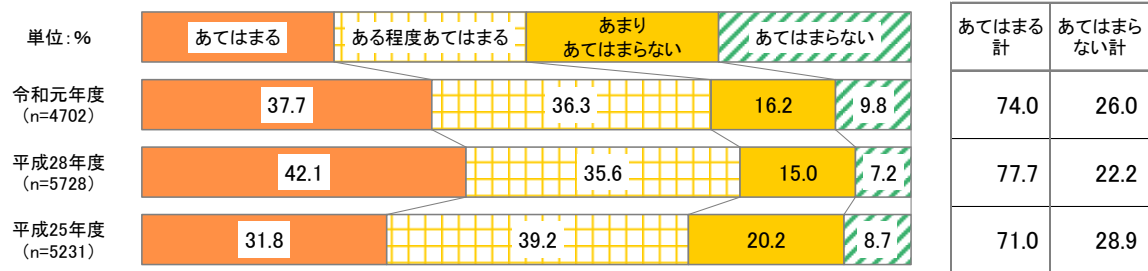
6. 定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。

定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしているかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて74.0%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は71.0%、平成28年度は77.7%であったため、あてはまる人の割合は平成28年度より減少している。

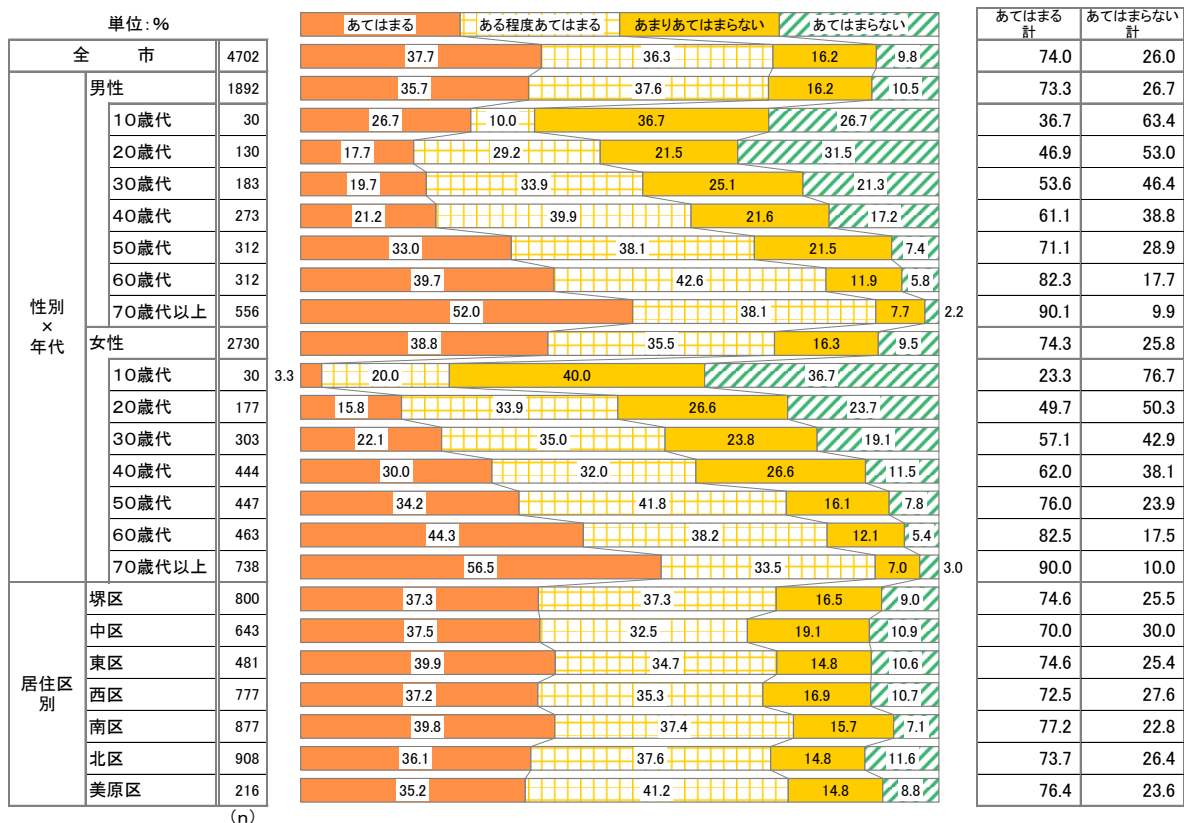
性別×年代で見ると、男女とも年代が上がるほど、あてはまる人の割合が高くなっている。

居住区別にみると、いずれの区でも、あてはまる人の割合は7割台であるが、南区で77.2%と最も高くなっている。



*平成25年度は、選択肢が「積極的に行っている」「ある程度行っている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



C. 子育て・教育について

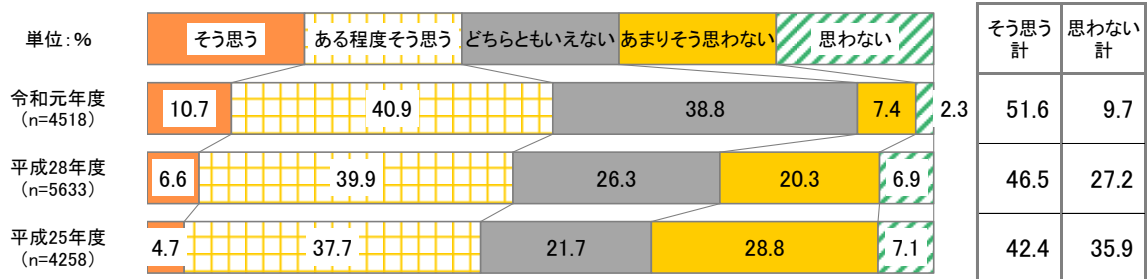
1. 堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。

堺市は子育てがしやすいまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて 51.6%となっている。

過去調査と比較すると、平成 25 年度は 42.4%、平成 28 年度は 46.5%であったため、そう思う人の割合は増加傾向にある。

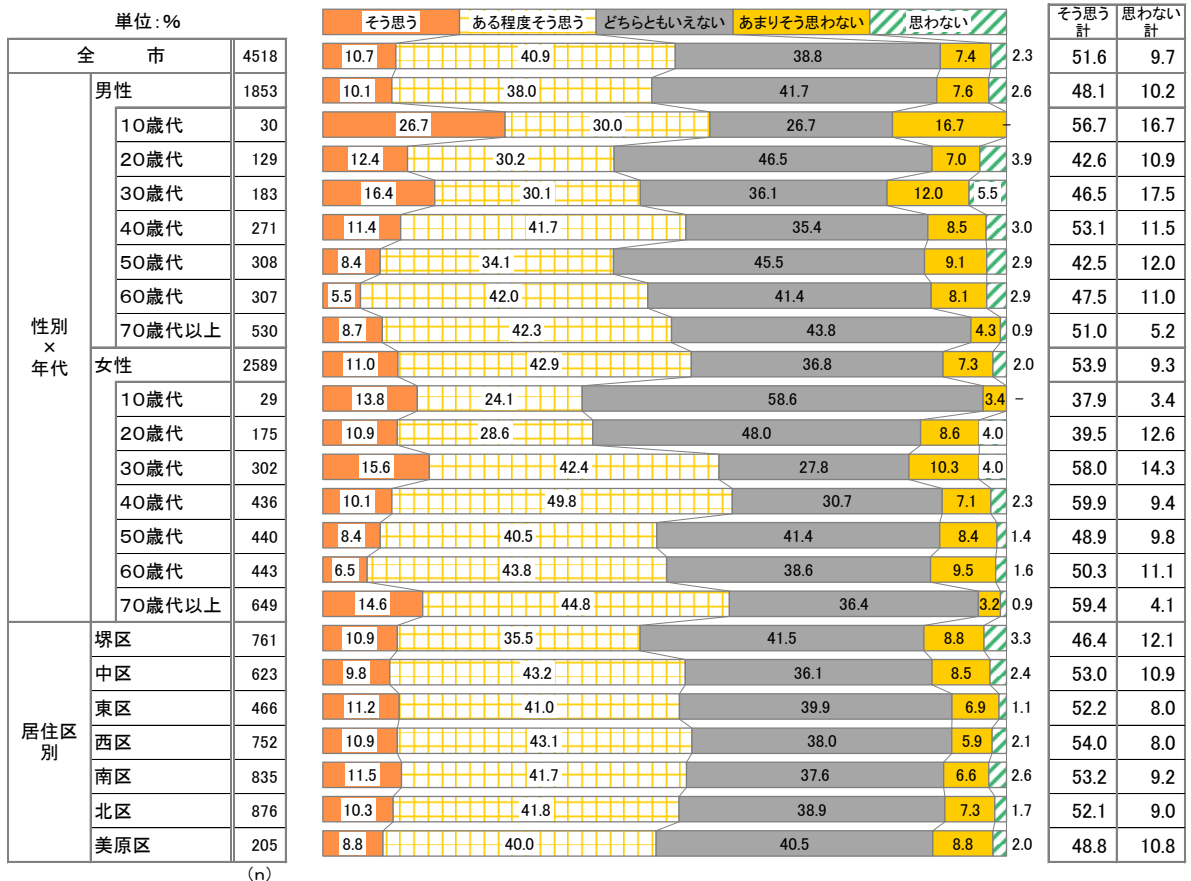
性別×年代で見ると、そう思う人の割合は、男性 48.1%に対し、女性 53.9%と高く、特に、女性 30～40 歳代、70 歳代以上で 6 割近い割合となっている。

居住区別にみると、そう思う人の割合は、西区で 54.0%と最も高く、堺区、美原区では 4 割台と低くなっている。



*平成 28 年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



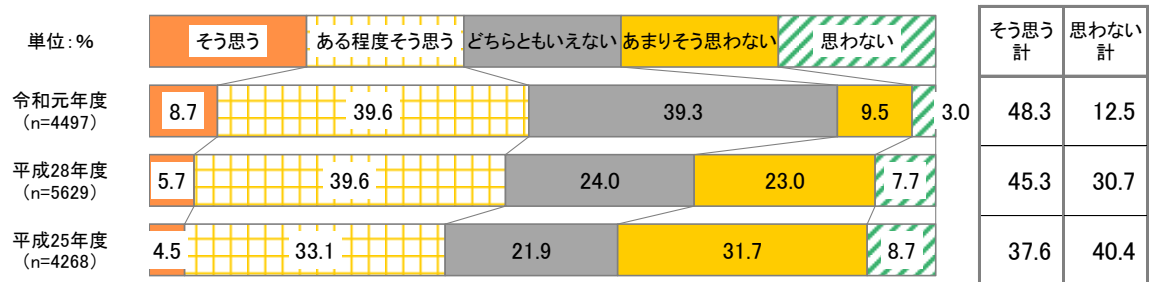
2. 堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思いますか。

堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて48.3%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は37.6%、平成28年度は45.3%であったため、そう思う人の割合は増加傾向にある。

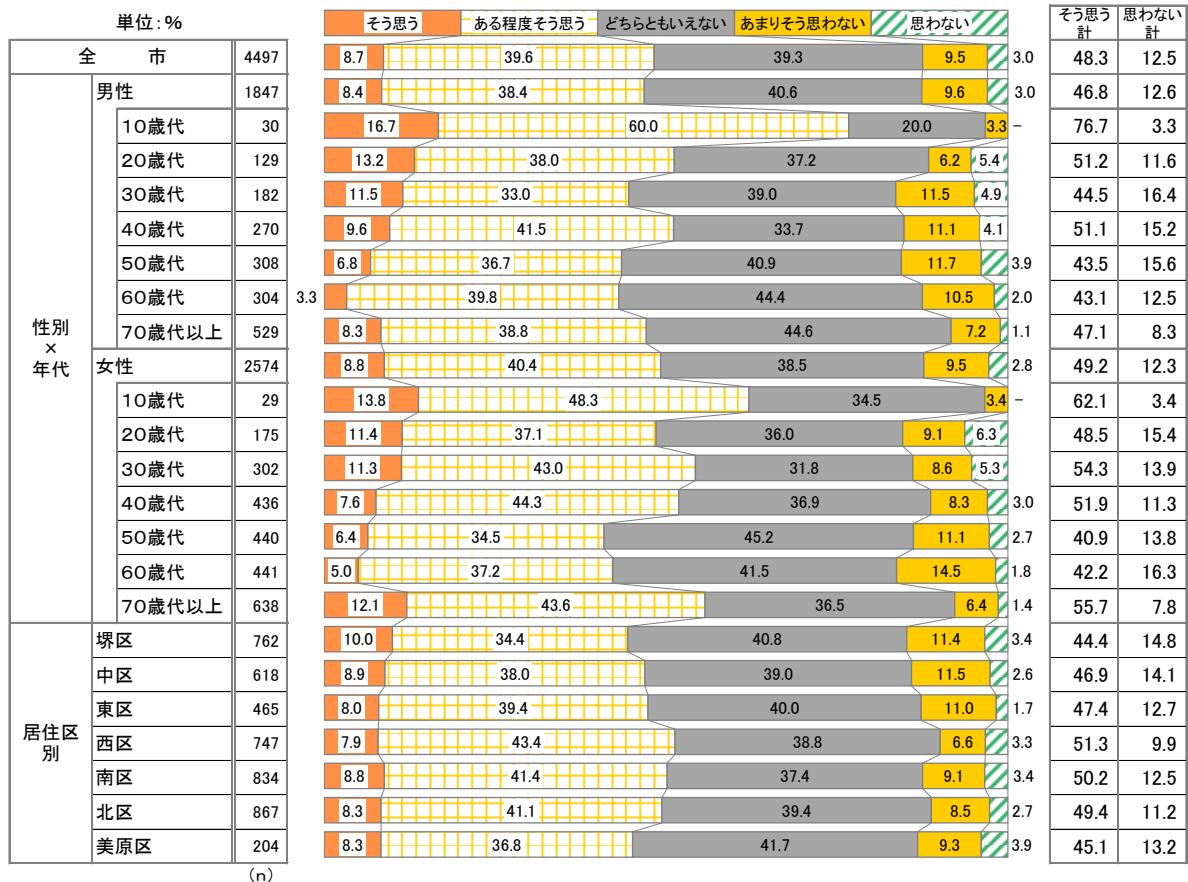
性別×年代でみると、男性10歳代で76.7%、女性10歳代で62.1%と、男女とも10歳代でそう思う人の割合が高くなっている。

居住区別にみると、そう思う人の割合は、西区で51.3%、南区で50.2%と高くなっている。



*平成28年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



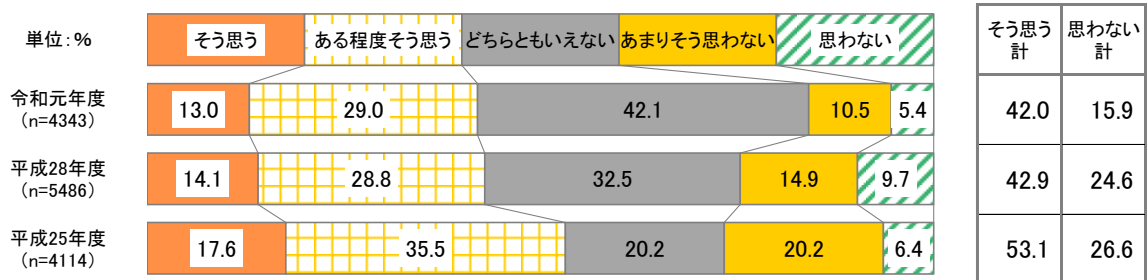
3. 子育てに関して相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。

子育てに関して相談に乗ってくれたり、助けてくれる人が身近にいるかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて42.0%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は53.1%、平成28年度は42.9%であったため、そう思う人の割合は平成28年度と同程度となっている。

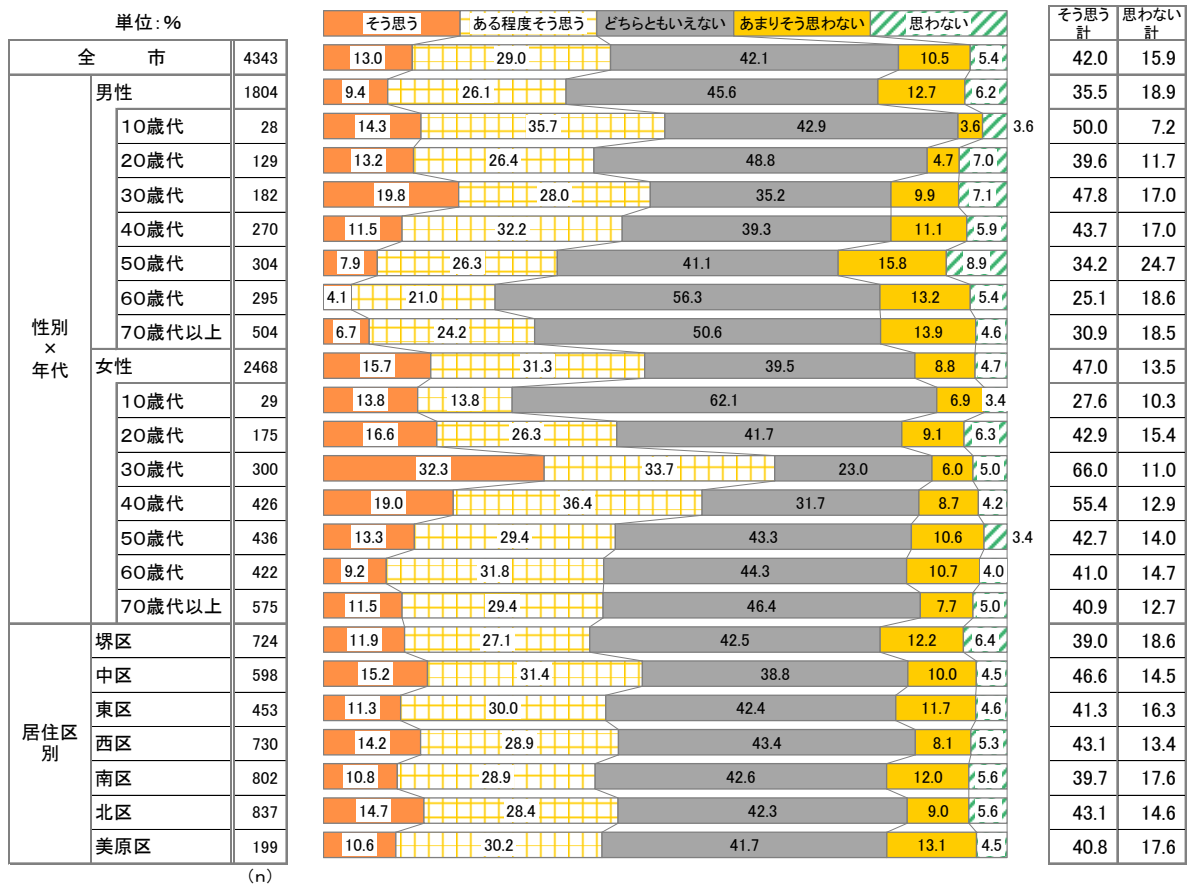
性別×年代で見ると、そう思う人の割合は、女性で47.0%なのに対し、男性では35.5%と低くなっている。女性の30歳代でそう思う人の割合が66.0%と最も高くなっている。

居住区別にみると、そう思う人の割合は、中区で46.6%と最も高く、堺区、南区では4割未満と低くなっている。



*平成28年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



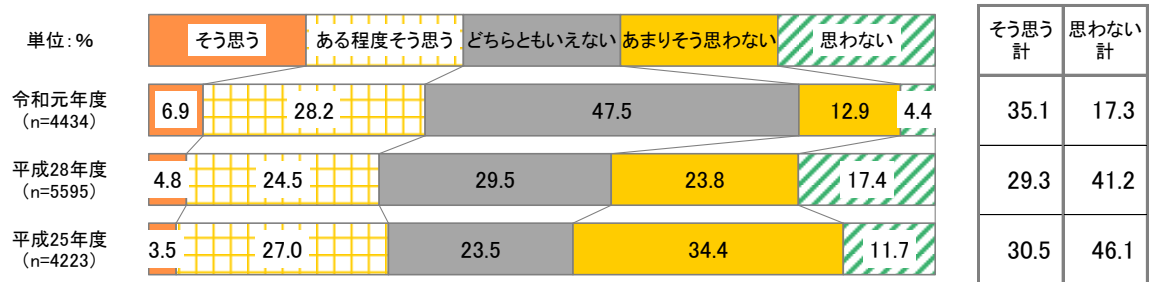
4. 堺市は地域の方が子どもの教育によく関わっているまちだと思いますか。

堺市は地域の方が子どもの教育によく関わっているまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて35.1%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は30.5%、平成28年度は29.3%であったため、そう思う人の割合は平成28年度より増加している。

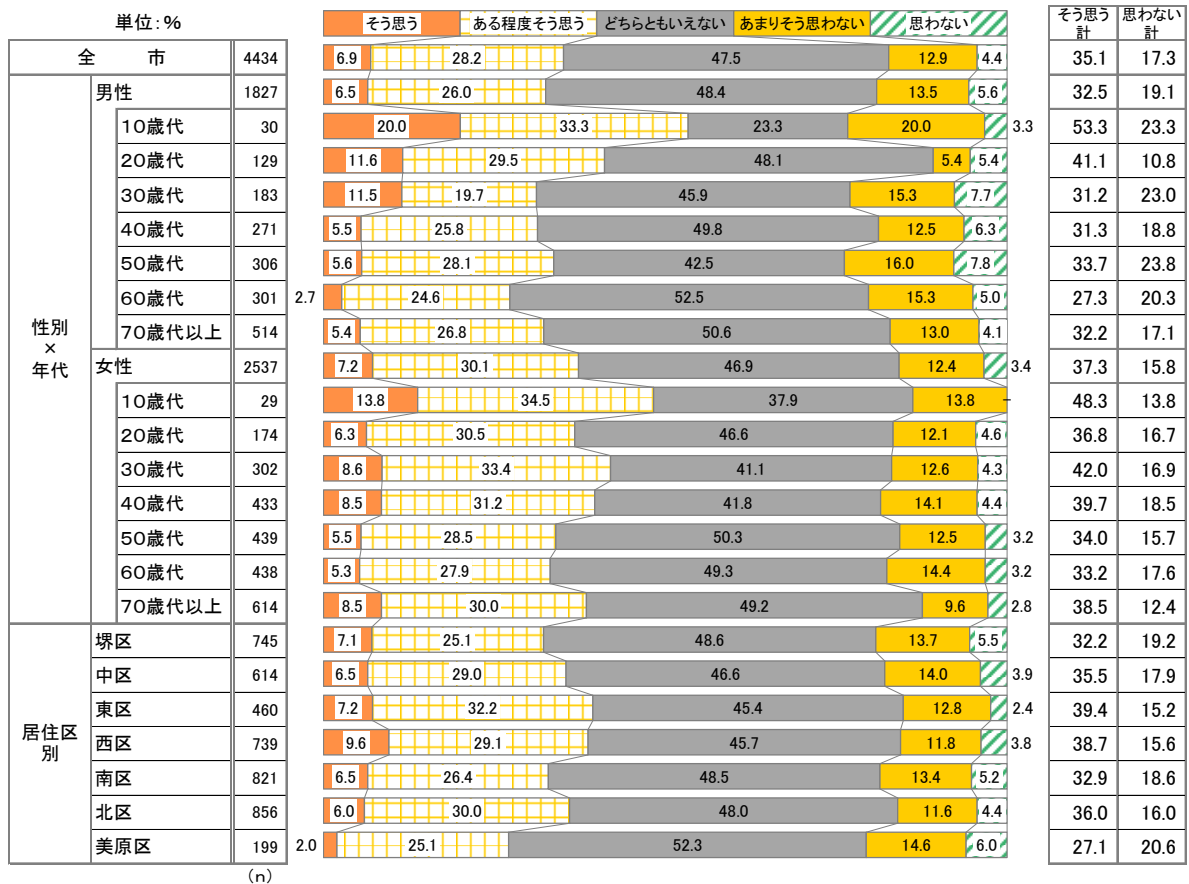
性別×年代でみると、そう思う人の割合は、男性10歳代で53.3%、女性10歳代で48.3%と高くなっている。

居住区別にみると、そう思う人の割合は、東区で39.4%、西区で38.7%と高く、美原区では27.1%と低くなっている。



*平成28年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



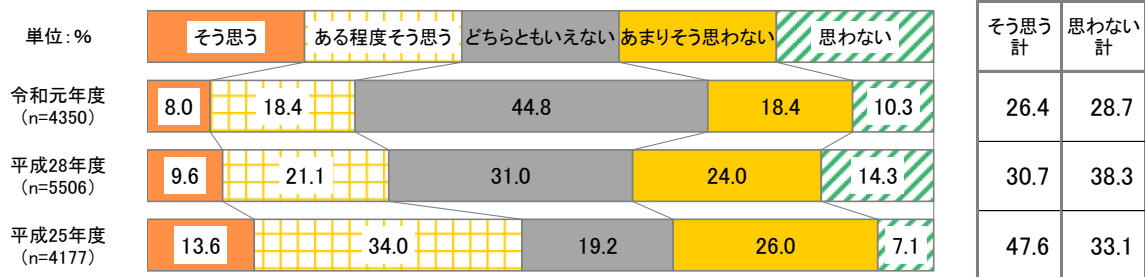
5. 子育てに対して大きな不安や負担を感じたことがありますか。

子育てに対して大きな不安や負担を感じたことがあるかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて26.4%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は47.6%、平成28年度は30.7%であったため、そう思う人の割合は減少傾向にある。

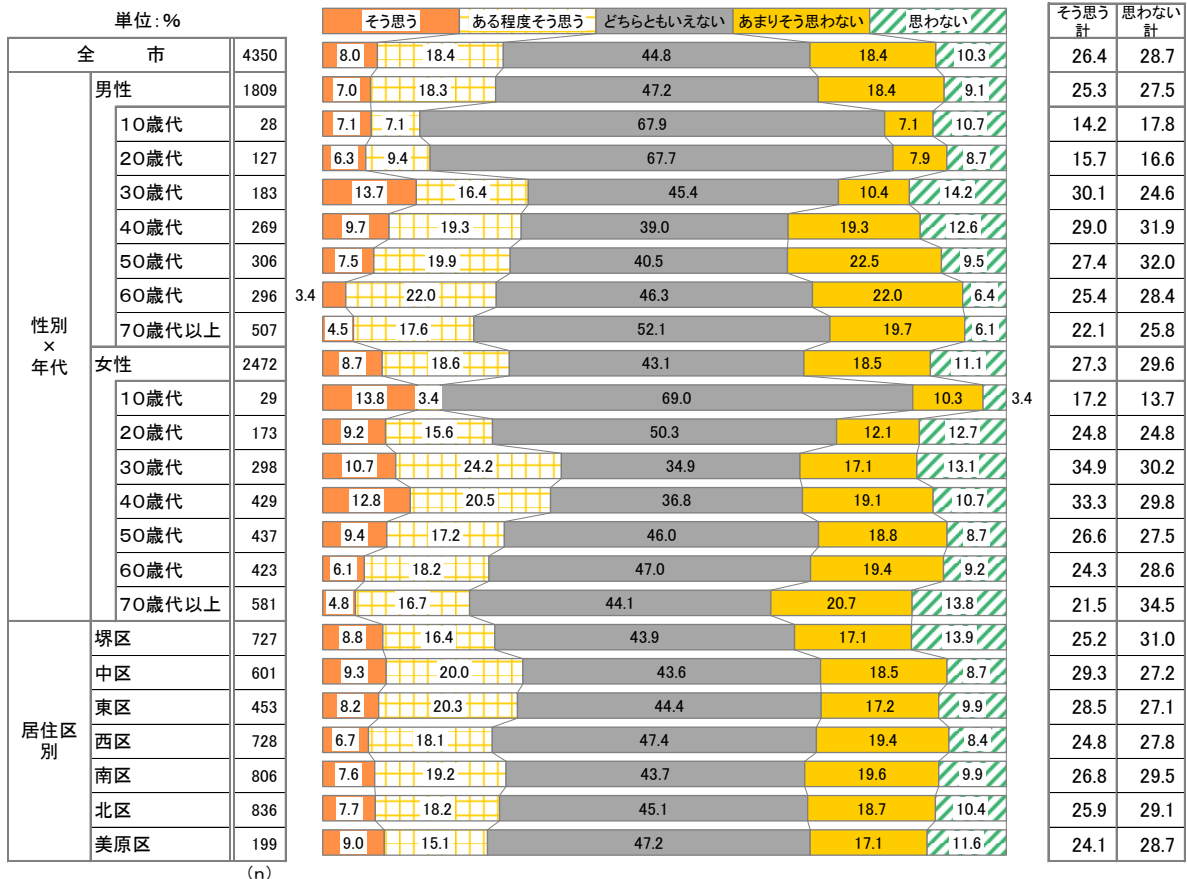
性別×年代で見ると、そう思う人の割合は、男性30歳代、女性30～40歳代で3割以上と高くなっている。男性10～20歳代、女性10歳代はどちらともいえない層が7割近くを占めている。

居住区別にみると、中区と東区では、そう思う人の割合が思わない人の割合を上回り高くなっている。



*平成28年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



D. 都市魅力（文化・観光・産業等）について

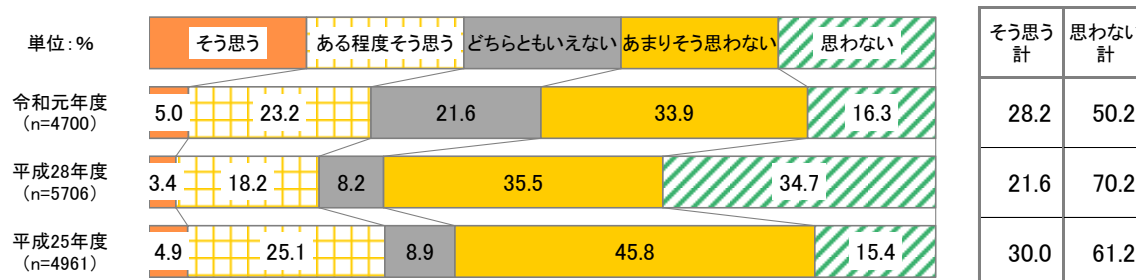
1. 堺市の中心部（中心市街地。堺東－堺駅間）は、にぎわっていると思いますか。

堺市の中心部はにぎわっていると思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて 28.2%となっている。

過去調査と比較すると、平成 25 年度は 30.0%、平成 28 年度は 21.6%であったため、そう思う人の割合は平成 28 年度より増加している。

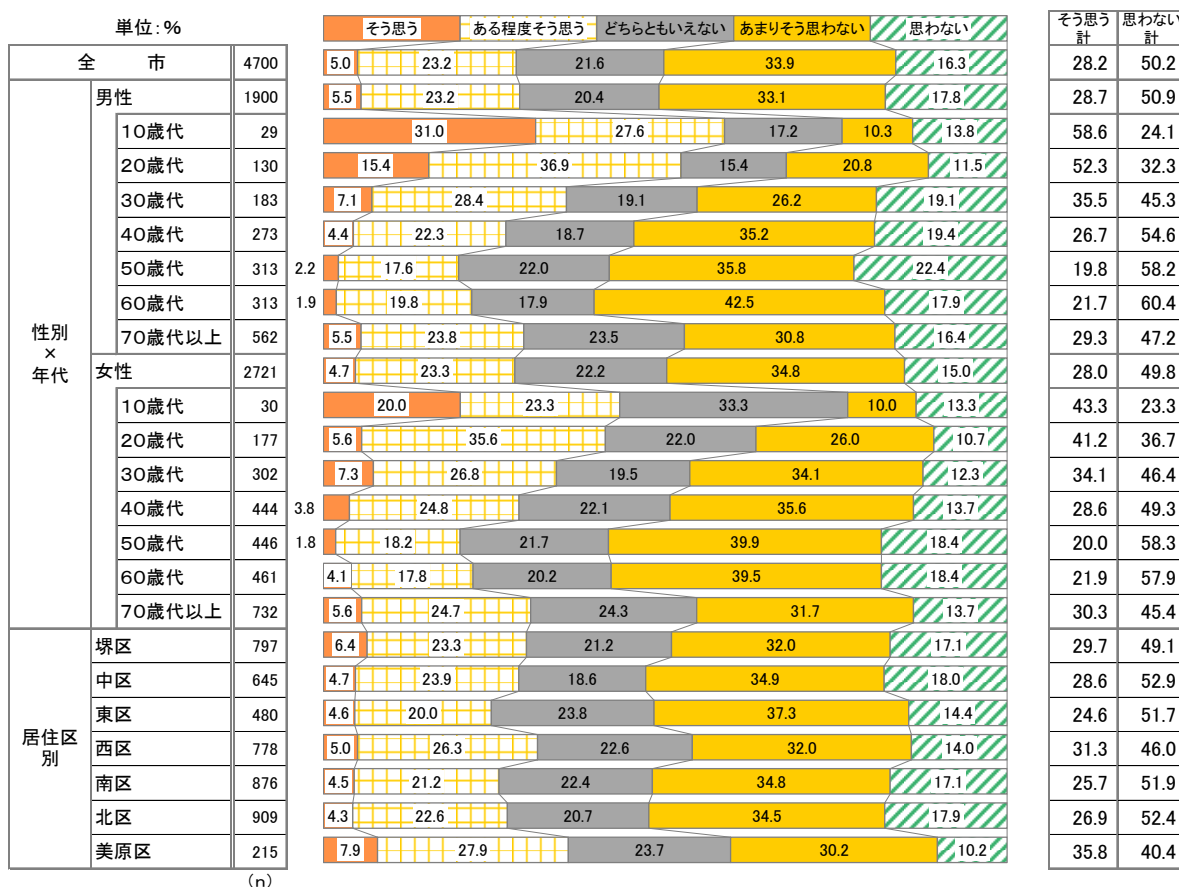
性別×年代でみると、そう思う人の割合は、男女とも 10 歳代から 50 歳代にかけて低くなり、50 歳代から 70 歳代以上にかけてやや高くなっている。

居住区別にみると、そう思う人の割合は、美原区で 35.8%、西区で 31.3%と高くなっている。



*平成 28 年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



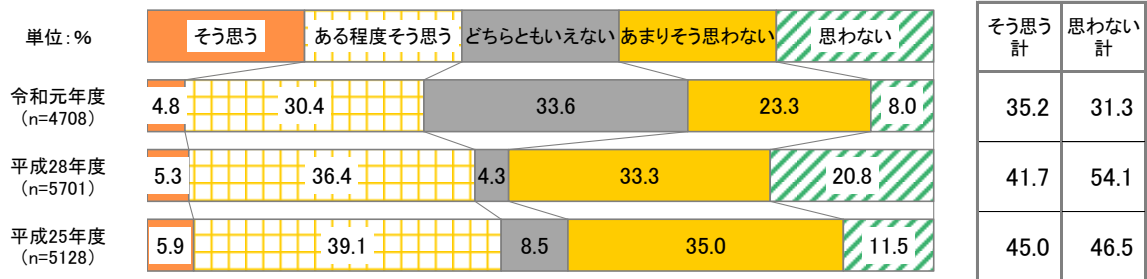
2. 堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。

堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて35.2%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は45.0%、平成28年度は41.7%であったため、そう思う人の割合は減少傾向にある。

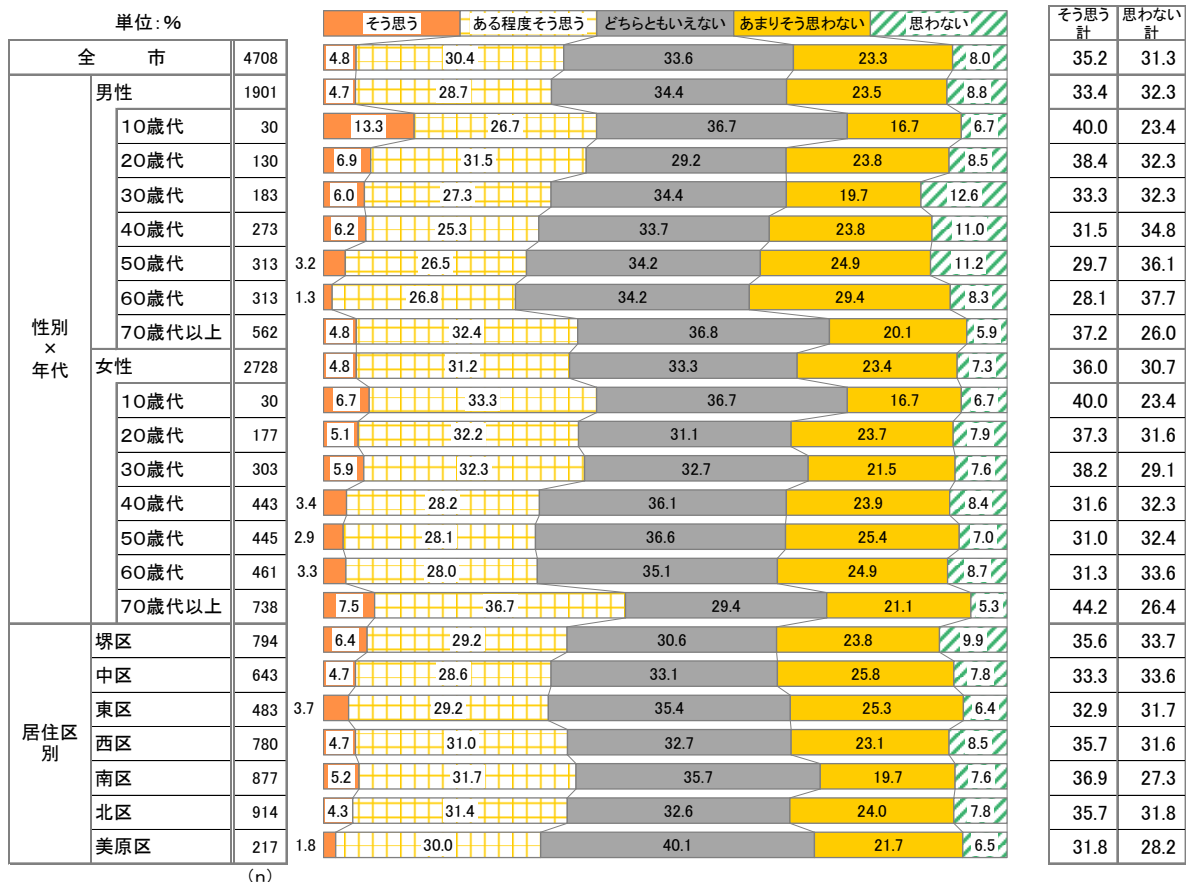
性別×年代でみると、男女とも10歳代、女性70歳以上で、そう思う人の割合が4割以上と高くなっている。

居住区別にみると、そう思う人の割合は南区で36.9%と最も高い。中区では、思わない人の割合がそう思う人の割合をわずかに上回っている。



*平成28年度は、質問文が「あなたは、地域のまちなみの美しさに満足していますか」、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



(n)

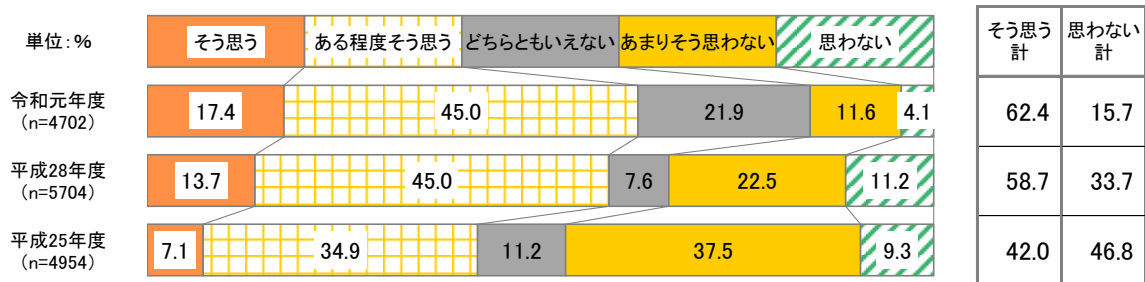
3. 堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。

堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて 62.4%となっている。

過去調査と比較すると、平成 25 年度は 42.0%、平成 28 年度は 58.7%であったため、そう思う人の割合は増加傾向にある。

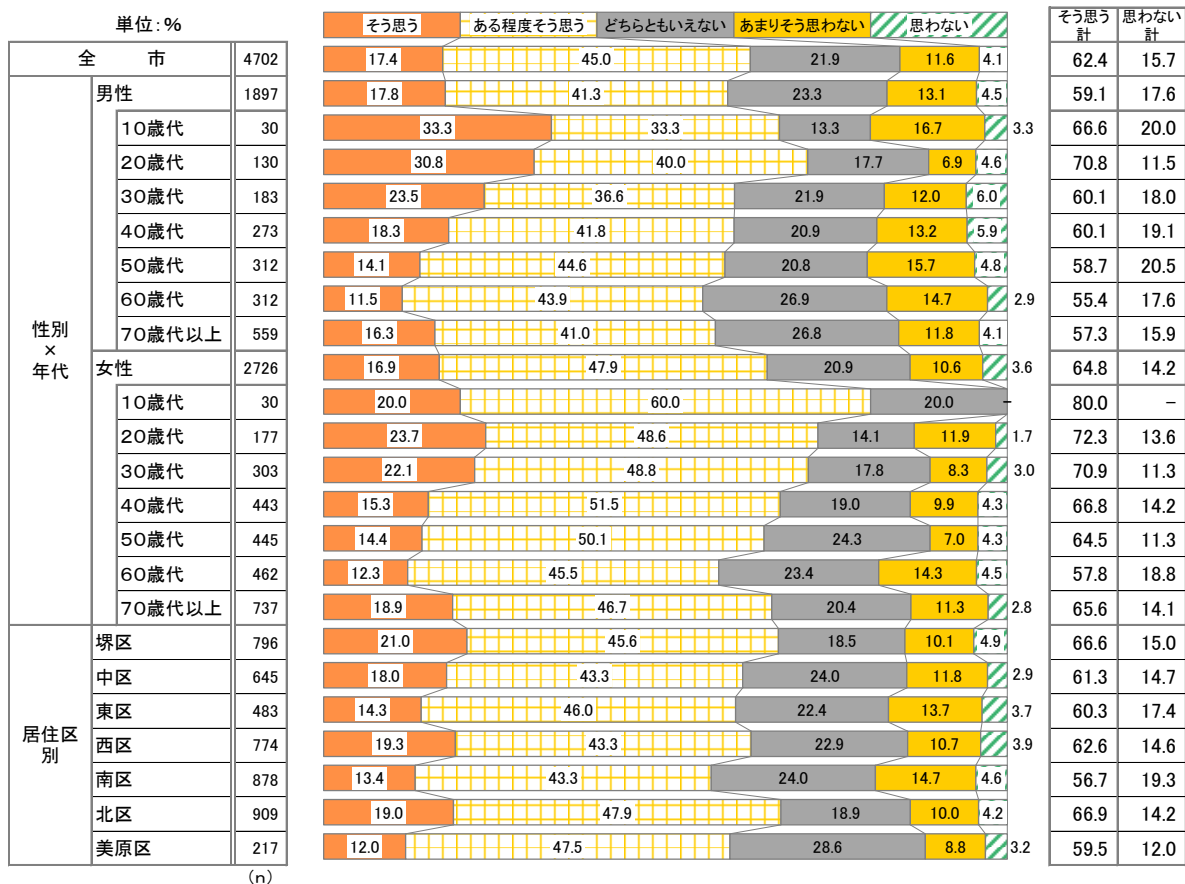
性別×年代で見ると、そう思う人の割合は、男性では 20 歳代から 60 歳代にかけて、女性では 10 歳代から 60 歳代にかけて、年代が上がるほど低くなっている。

居住区別にみると、そう思う人の割合は、北区で 66.9%、堺区で 66.6%と高く、南区で 56.7%と低くなっている。



*平成 28 年度は、質問文が「あなたは、堺市は歴史資源や文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか」、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



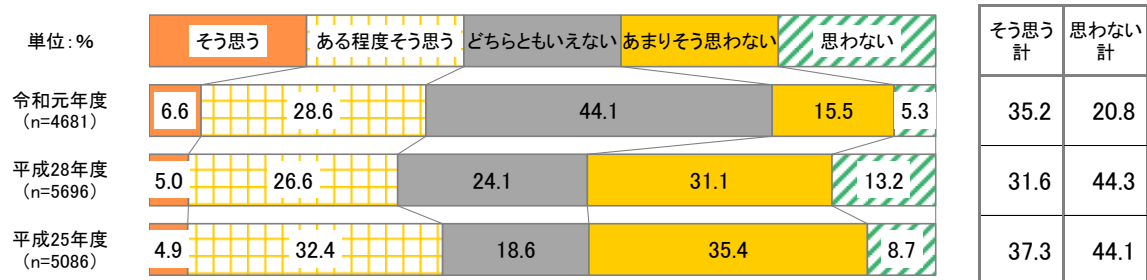
4. 堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。

堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて35.2%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は37.3%、平成28年度は31.6%であったため、そう思う人の割合は平成28年度より増加している。

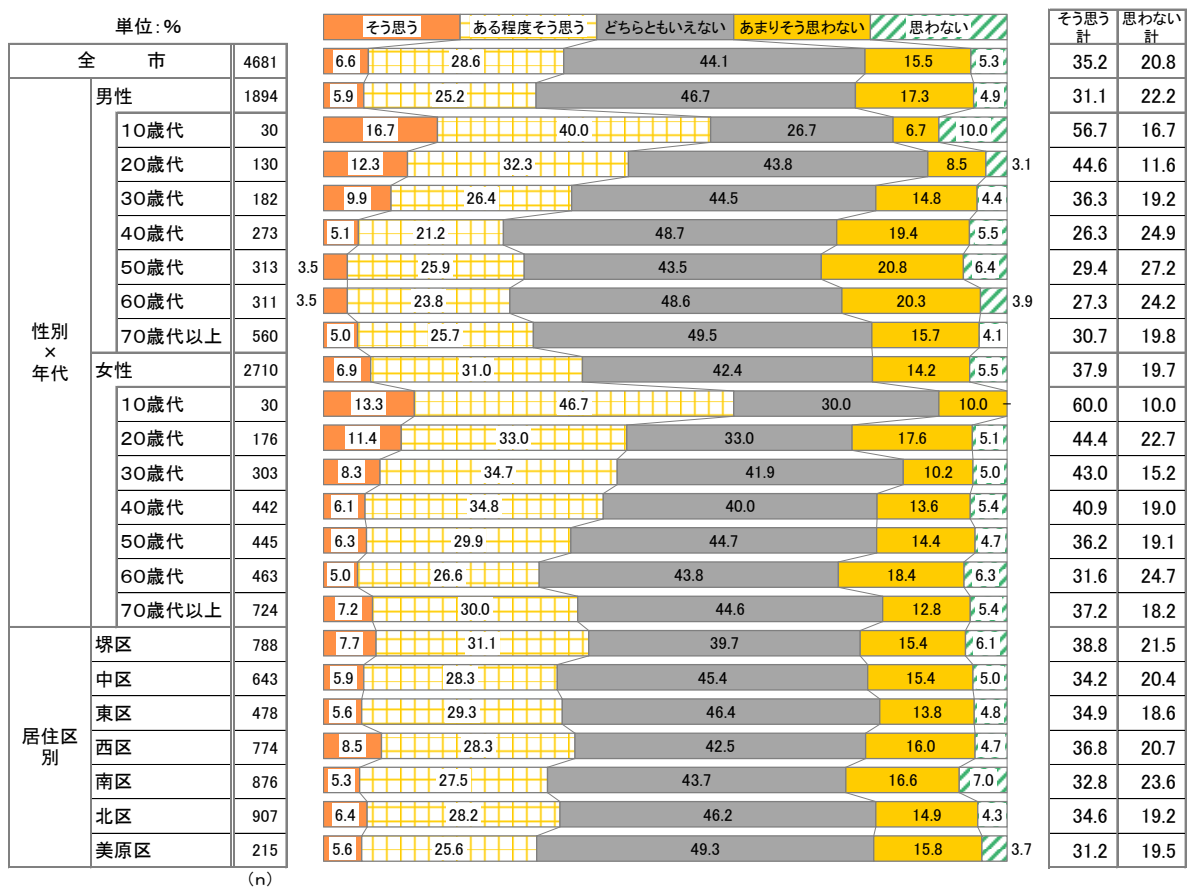
性別×年代で見ると、そう思う人の割合は、男性では10歳代から40歳代にかけて、女性では10歳代から60歳代にかけて、年代が上がるほど低くなっている。

居住区別にみると、いずれの区でも3割台であるが、堺区で38.8%と最も高く、美原区で31.2%と最も低い。



*平成28年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



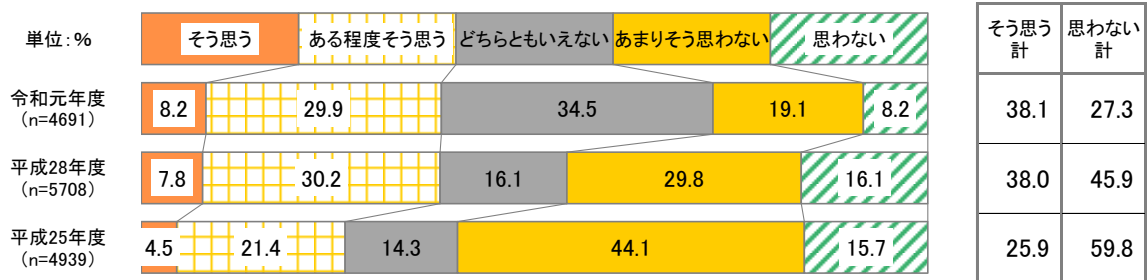
5. 堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力があるまちだと思いますか。

堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力があるまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて 38.1%となっている。

過去調査と比較すると、平成 25 年度は 25.9%、平成 28 年度は 38.0%であったため、そう思う人の割合は平成 28 年度と同程度となっている。

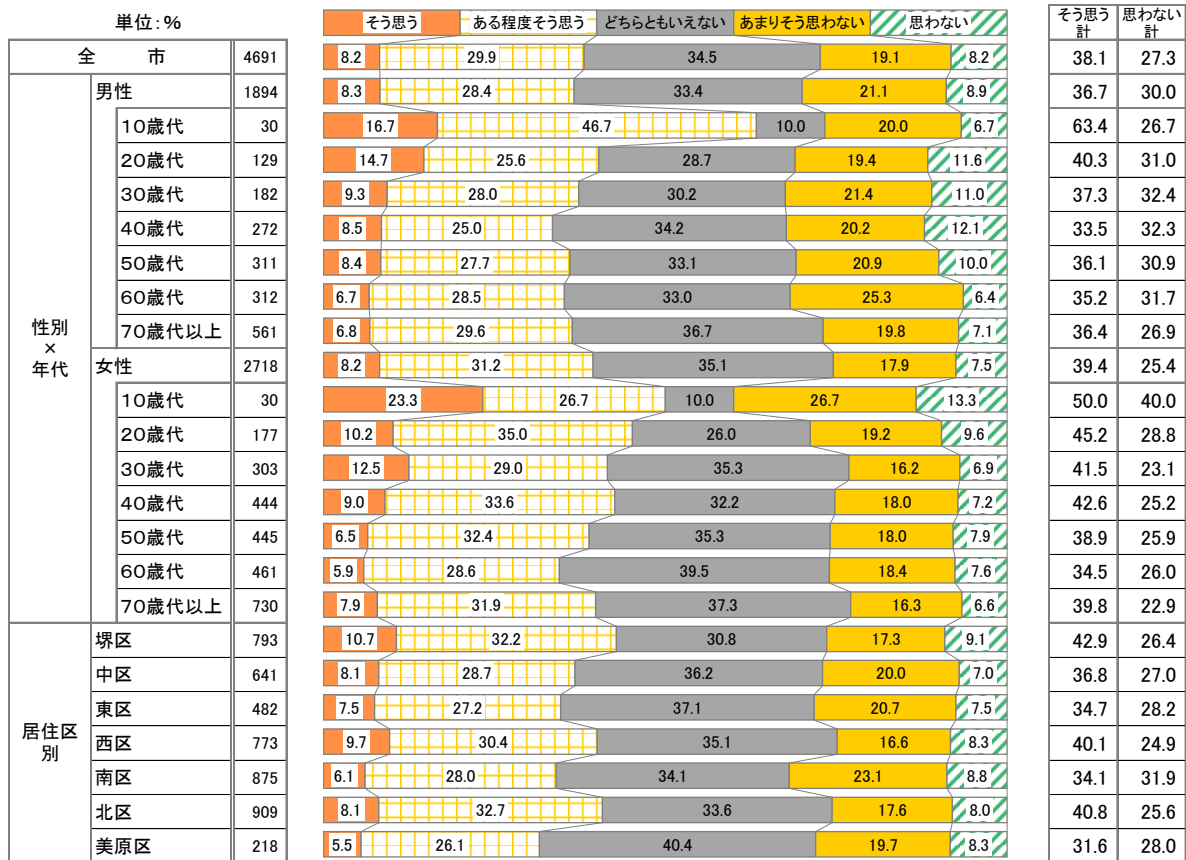
性別×年代でみると、そう思う人の割合は、男性 10 歳代で 63.4%と最も高く、女性 10 歳代も 50.0%と高い。

居住区別にみると、堺区 42.9%、北区 40.8%、西区 40.1%の順に高い。



*平成 28 年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



(n)

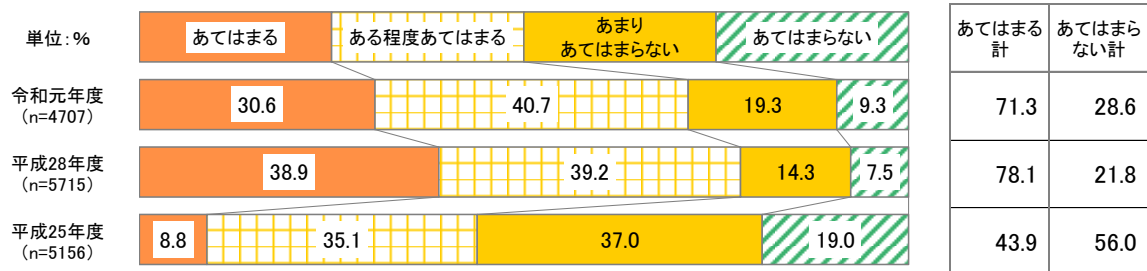
6. 外食や買い物、遊びなどは、主に堺市内で行っていますか。

外食や買い物、遊びなどを主に堺市内で行っているかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて71.3%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は43.9%、平成28年度は78.1%と、あてはまる人の割合は平成28年度より減少している。

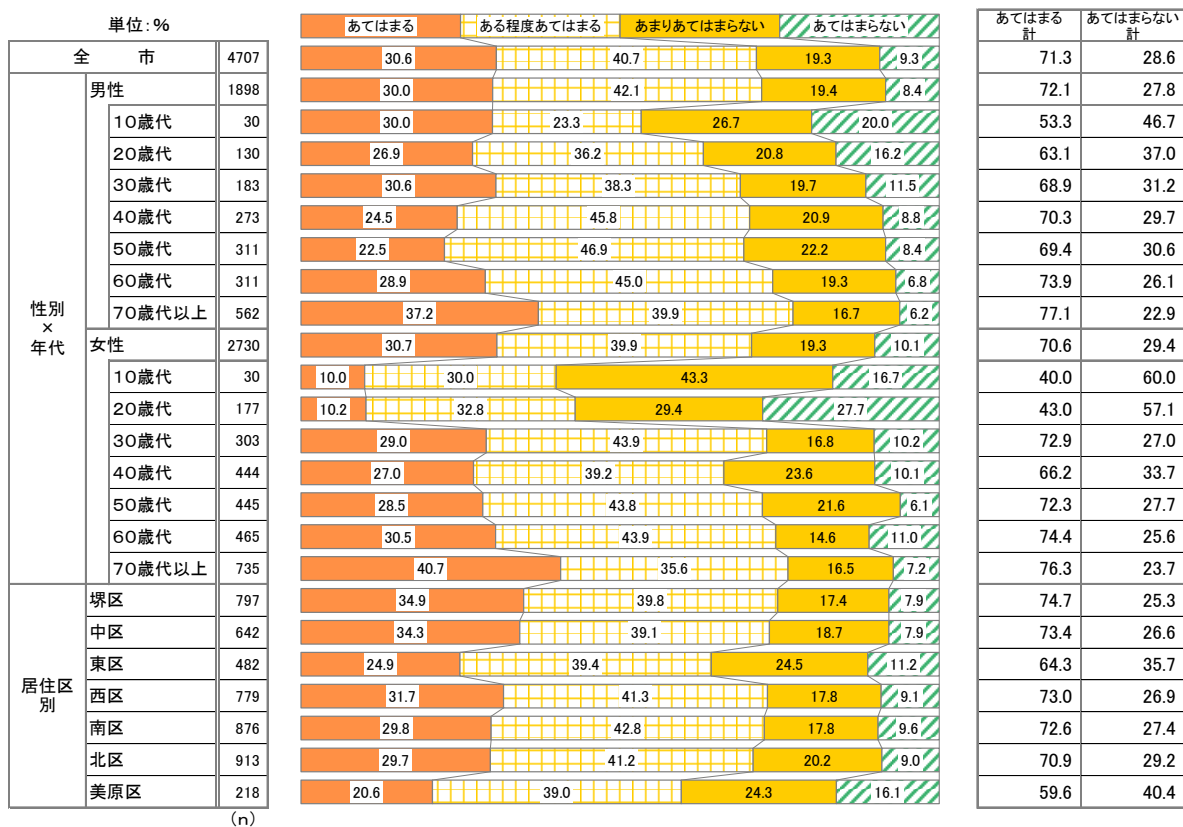
性別×年代で見ると、あてはまる人の割合は、女性10～20歳代で4割台、男性10歳代で53.3%と低くなっているが、概ね年代が上がるにつれ割合が高くなる傾向である。

居住区別にみると、堺区74.7%、中区73.4%、西区73.0%、南区72.6%の順にそう思う人の割合が高い。



*平成25年度は、選択肢が「積極的に行っている」「ある程度行っている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



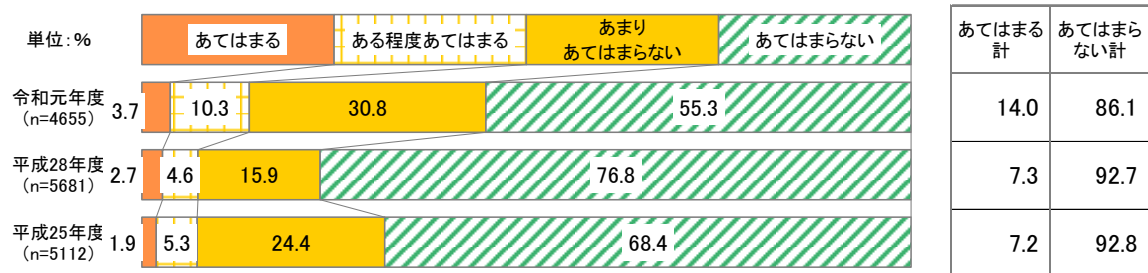
7. 文化・スポーツ・学術など、国際交流をしていますか。

文化・スポーツ・学術などの国際交流をしているかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて14.0%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は7.2%、平成28年度は7.3%であったため、あてはまる人の割合は平成28年度より増加している。

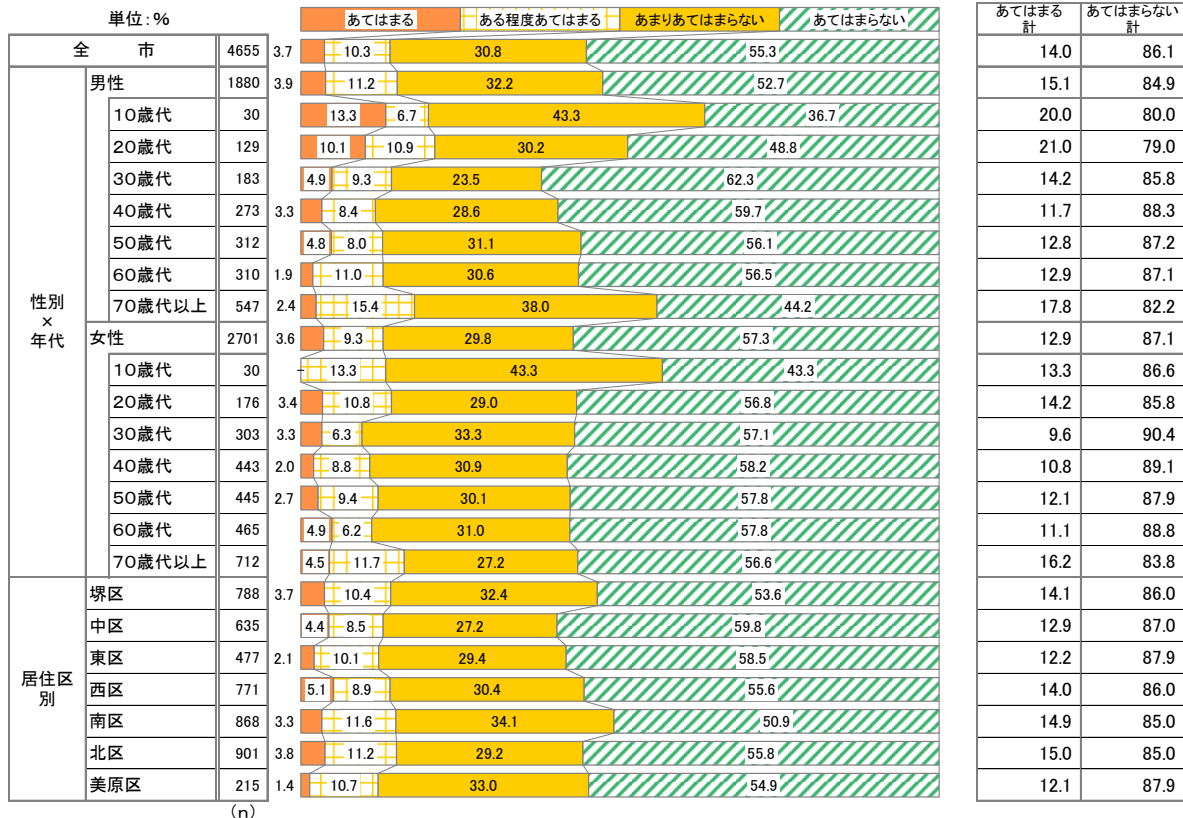
性別×年代で見ると、あてはまる人の割合は男性10～20歳代で2割台と高く、次いで、男女とも70歳代以上で高くなっている。

居住区別にみると、いずれの区でもあてはまる人の割合は1割台であるが、中でも北区で15.0%、南区で14.9%と高くなっている。



*平成25年度は、選択肢が「積極的に行っている」「ある程度行っている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。
*平成28年度は、質問文が「あなたは、文化・スポーツ・学術を通じた国際交流など海外の人たちと交流していますか」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



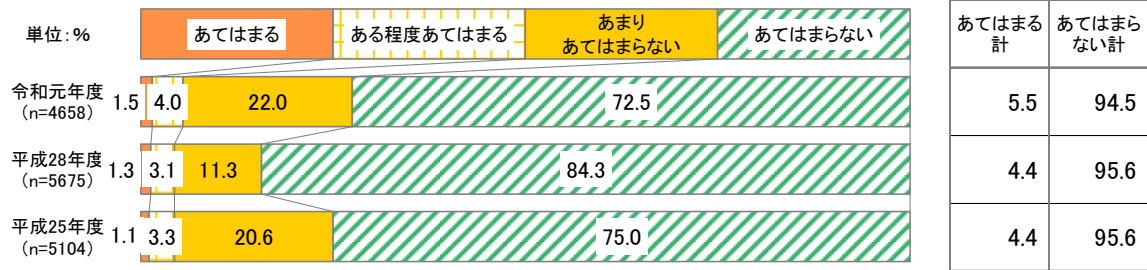
8. 国際協力・国際貢献の活動に参加していますか。

国際協力・国際貢献の活動に参加しているかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて5.5%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は4.4%、平成28年度は4.4%であったため、あてはまる人の割合は、平成28年度よりわずかに増加している。

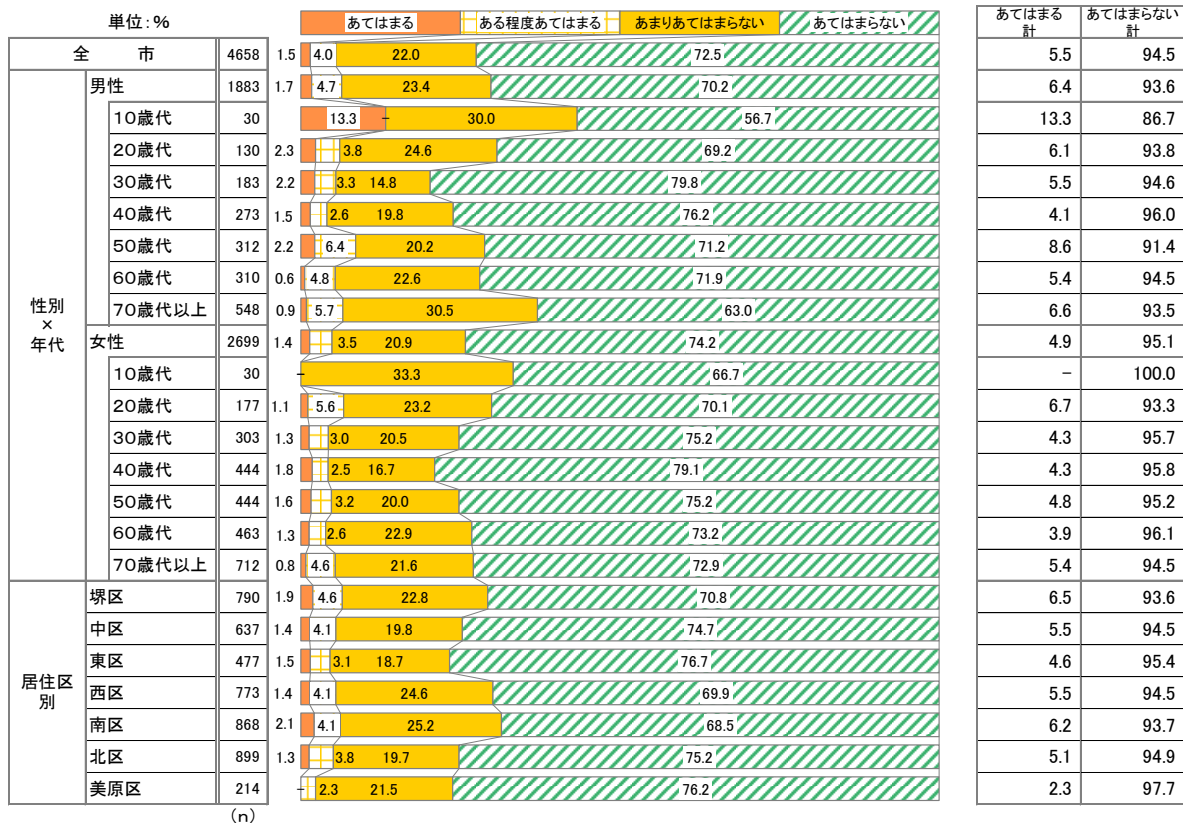
性別×年代でみると、男性10歳代であてはまる人の割合が13.3%と高くなっている。

居住区別にみると、いずれの区でもあてはまる人の割合は1割未満であるが、堺区で6.5%、南区で6.2%とやや高くなっている。



*平成25年度は、選択肢が「積極的にやっている」「ある程度やっている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



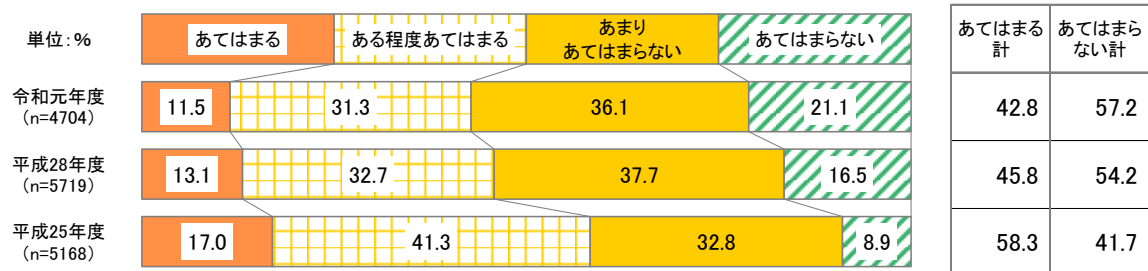
9. できる限り、地元で採れた食材・食品を食べていますか。

できる限り、地元で採れた食材・食品を食べているかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて42.8%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は58.3%、平成28年度は45.8%であったため、あてはまる人の割合は減少傾向にある。

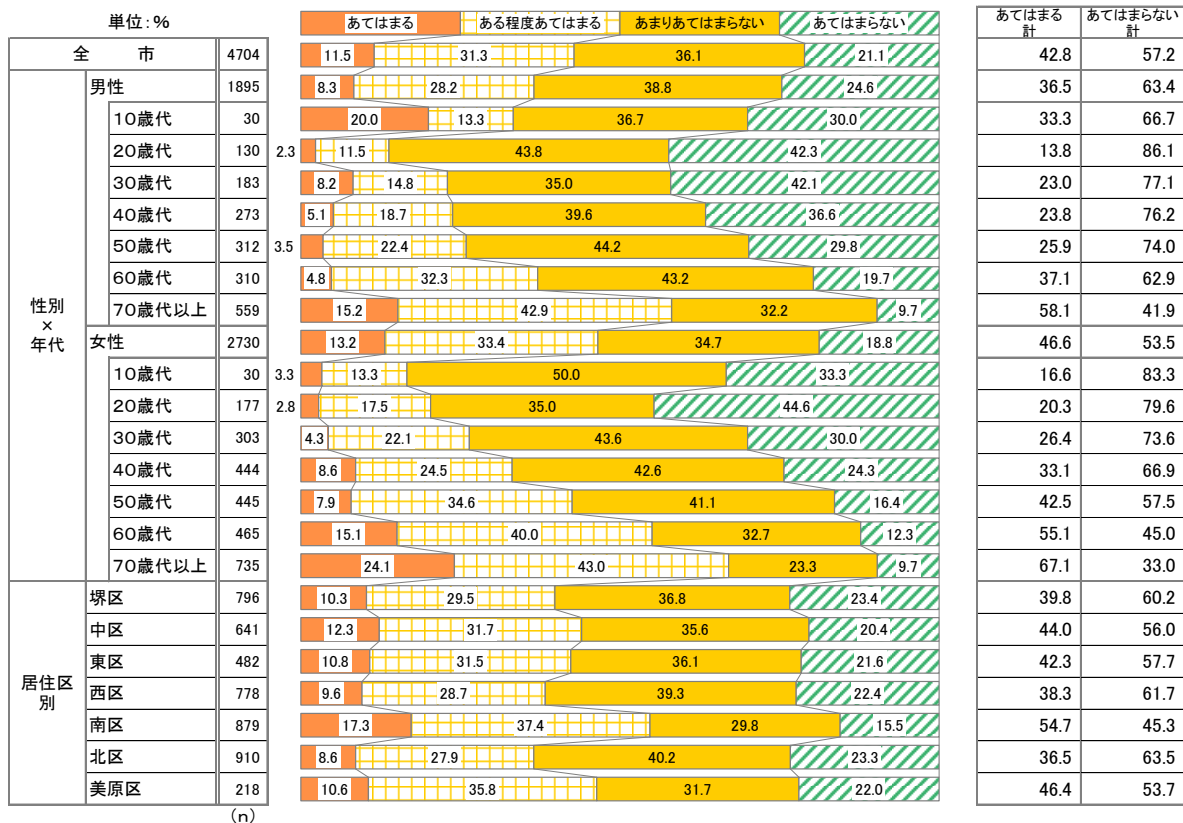
性別×年代でみると、あてはまる人の割合は、女性で46.6%なのに対し、男性では36.5%と低くなっている。また、男性10歳代を除いて、男女とも年代が上がるほど、あてはまる人の割合が高い傾向である。

居住区別にみると、南区ではあてはまる人の割合が54.7%と高く、そう思う人の割合が思わない人の割合を上回っている。



*平成25年度は、選択肢が「積極的に行っている」「ある程度行っている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



E. 環境について

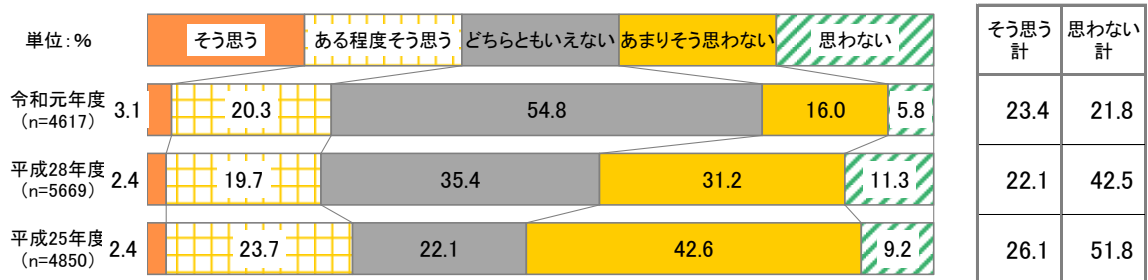
1. 堺市の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っていると思いますか。

堺の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っていると思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて23.4%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は26.1%、平成28年度は22.1%であったため、そう思う人の割合は平成28年度よりわずかに増加している。

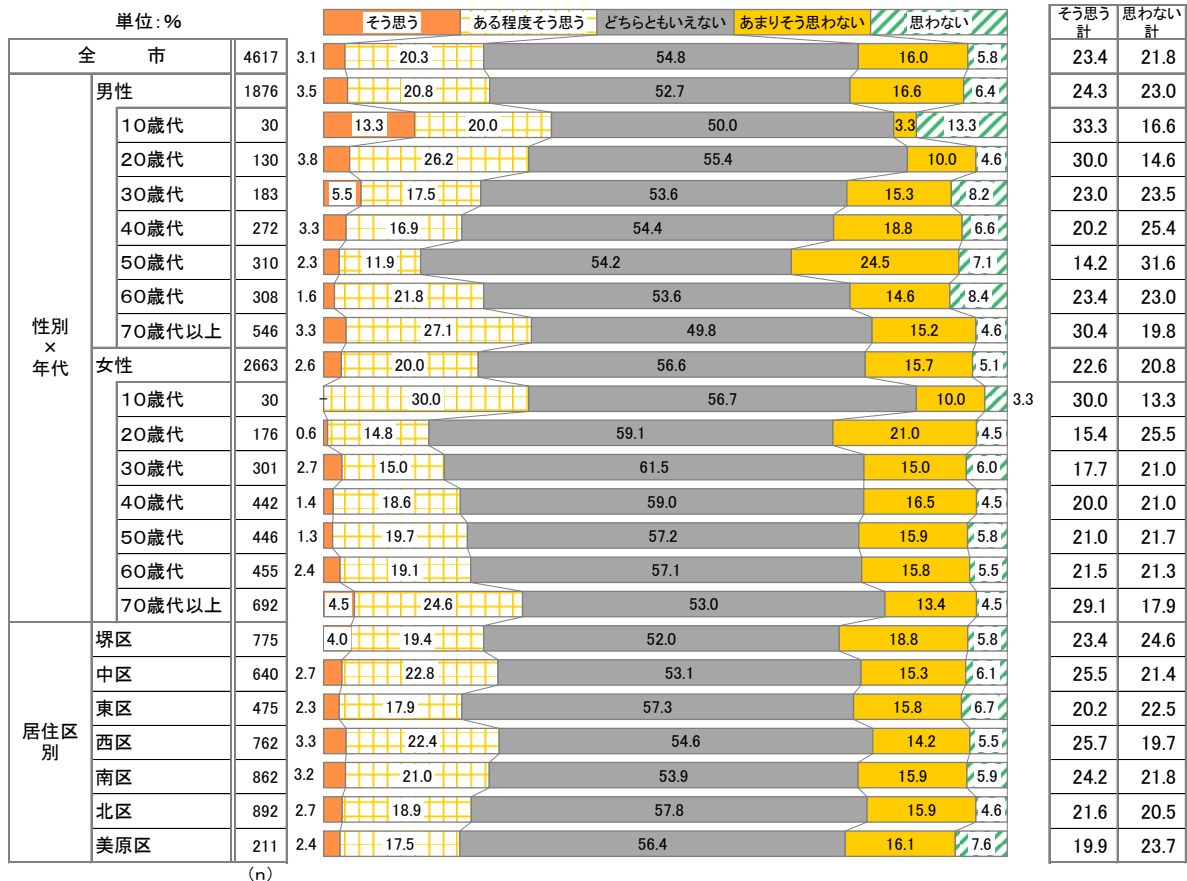
性別×年代でみると、男性では10歳代と70歳代以上でそう思う人の割合が高く、50歳代にかけて低くなる傾向がみられる。女性では20歳代が最も低く、30歳代から年代が上がるほど高くなっている。

居住区別にみると、そう思う人の割合は、西区25.7%、中区25.5%、南区24.2%の順に高い。



*平成28年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



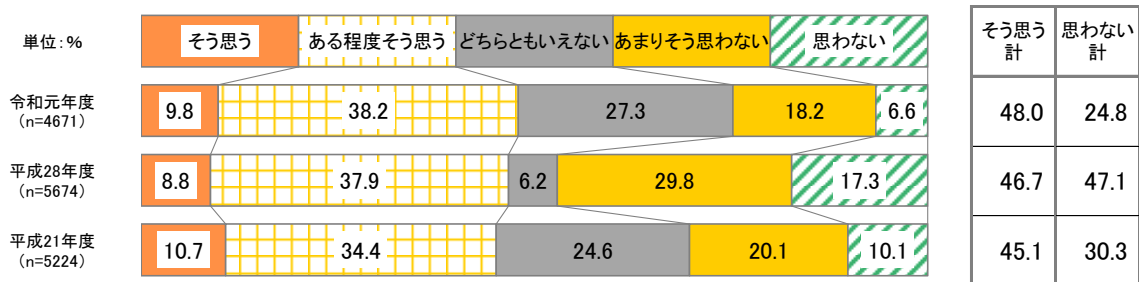
2. 堺市は樹木などのまちの緑の豊かさ(多さ)に満足できるまちだと思いますか。

堺市は樹木などのまちの緑の豊かさ(多さ)に満足できるまちだと思うかどうかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて48.0%となっている。

過去調査と比較すると、平成21年度は45.1%、平成28年度は46.7%であったため、そう思う人の割合はわずかに増加傾向にある。

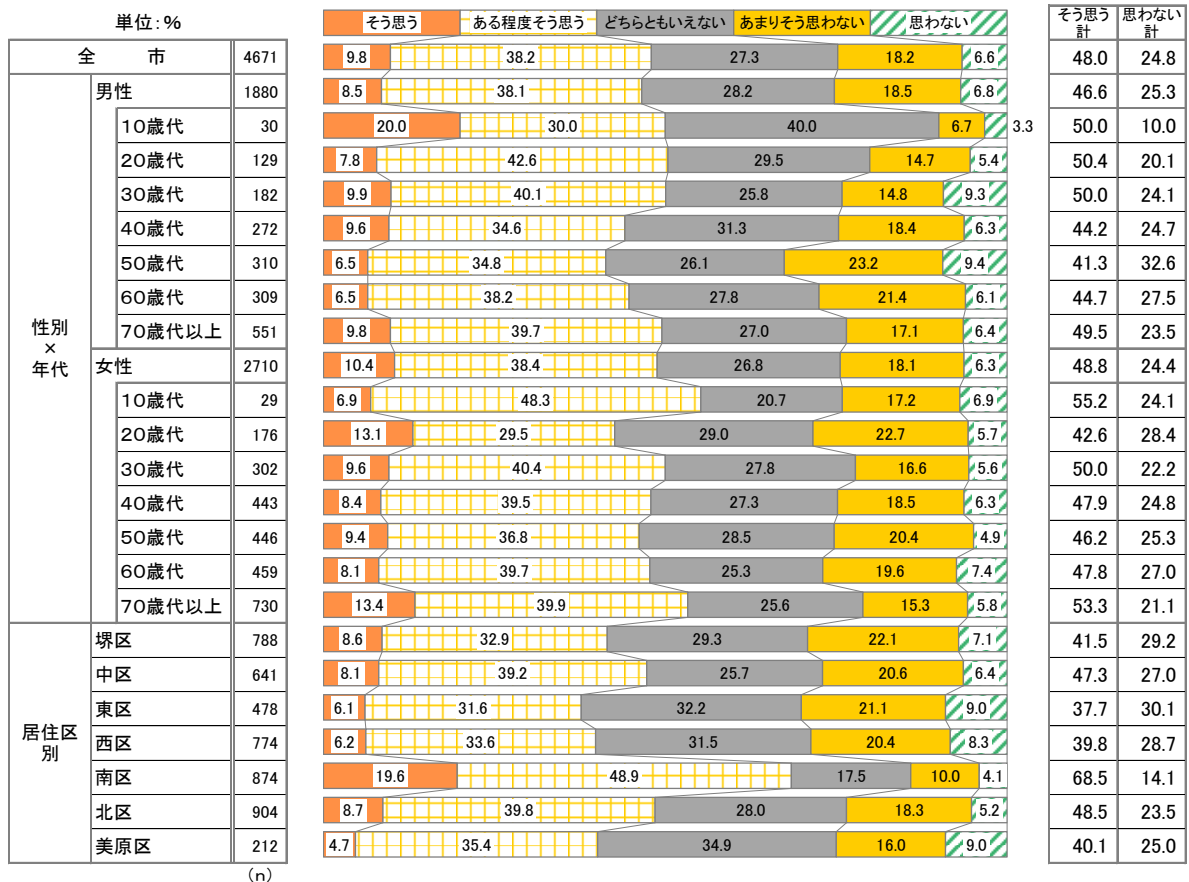
性別×年代でみると、そう思う人の割合は、男性の10～30歳代、女性の10歳代、30歳代、70歳代以上で5割以上と高くなっている。

居住区別にみると、南区では、そう思う人の割合が68.5%と非常に高く、5割未満の他区との差がみられた。



*平成28年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



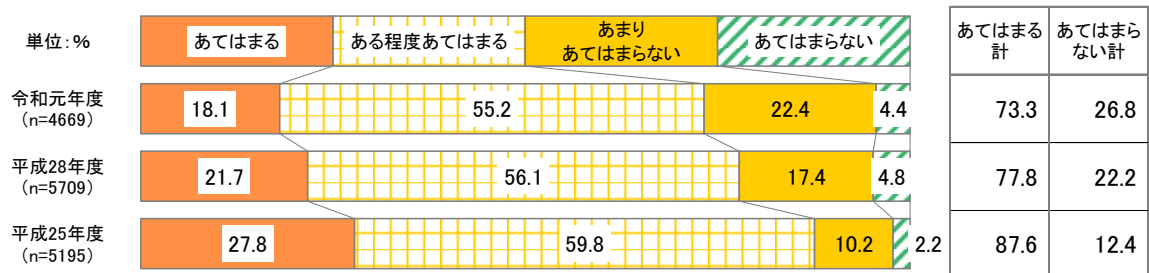
3. 節電や省エネルギーに取り組んでいますか。

節電や省エネルギーに取り組んでいるかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて73.3%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は87.6%、平成28年度は77.8%であったため、あてはまる人の割合は減少傾向にある。

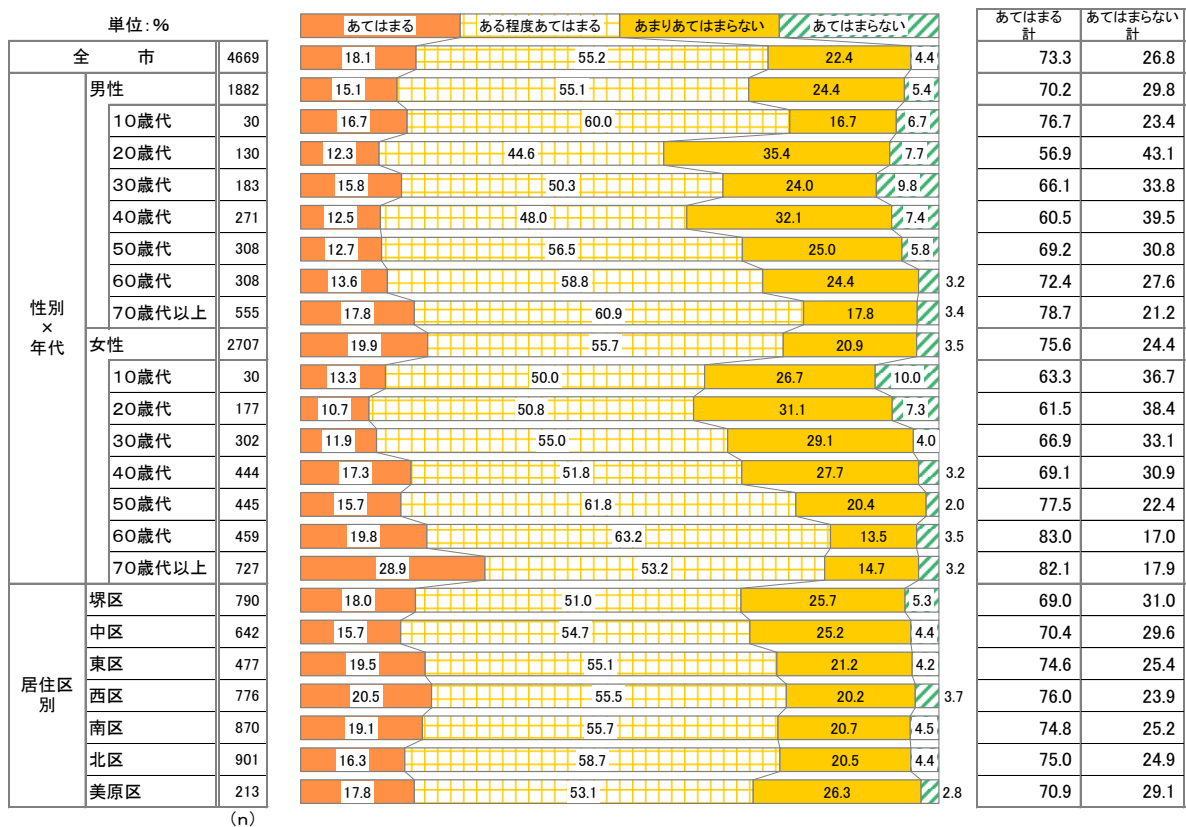
性別×年代で見ると、あてはまる人の割合は、男性で70.2%、女性で75.6%と女性の方が高くなっている。男性の10歳代を除いて、男女とも50歳代以上であてはまる人の割合が高い。

居住区別にみると、あてはまる人の割合は、西区で76.0%と最も高く、堺区で69.0%と最も低い。



*平成25年度は、選択肢が「積極的に行っている」「ある程度行っている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



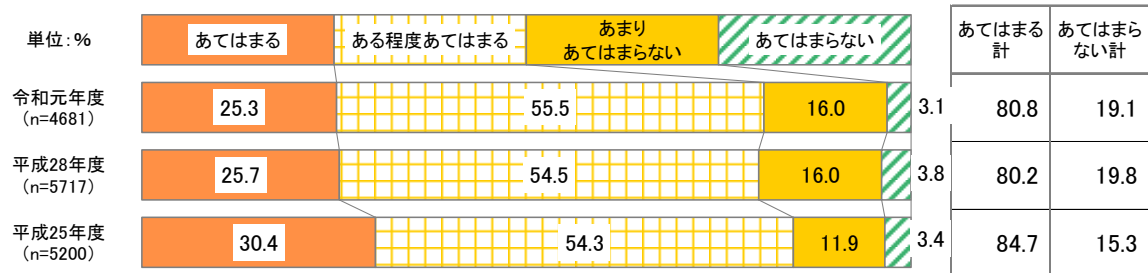
4. ごみの減量やりサイクルに取り組んでいますか。

ごみの減量やりサイクルに取り組んでいるかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて 80.8%となっている。

過去調査と比較すると、平成 25 年度は 84.7%、平成 28 年度は 80.2%であったため、あてはまる人の割合は平成 28 年度と同程度である。

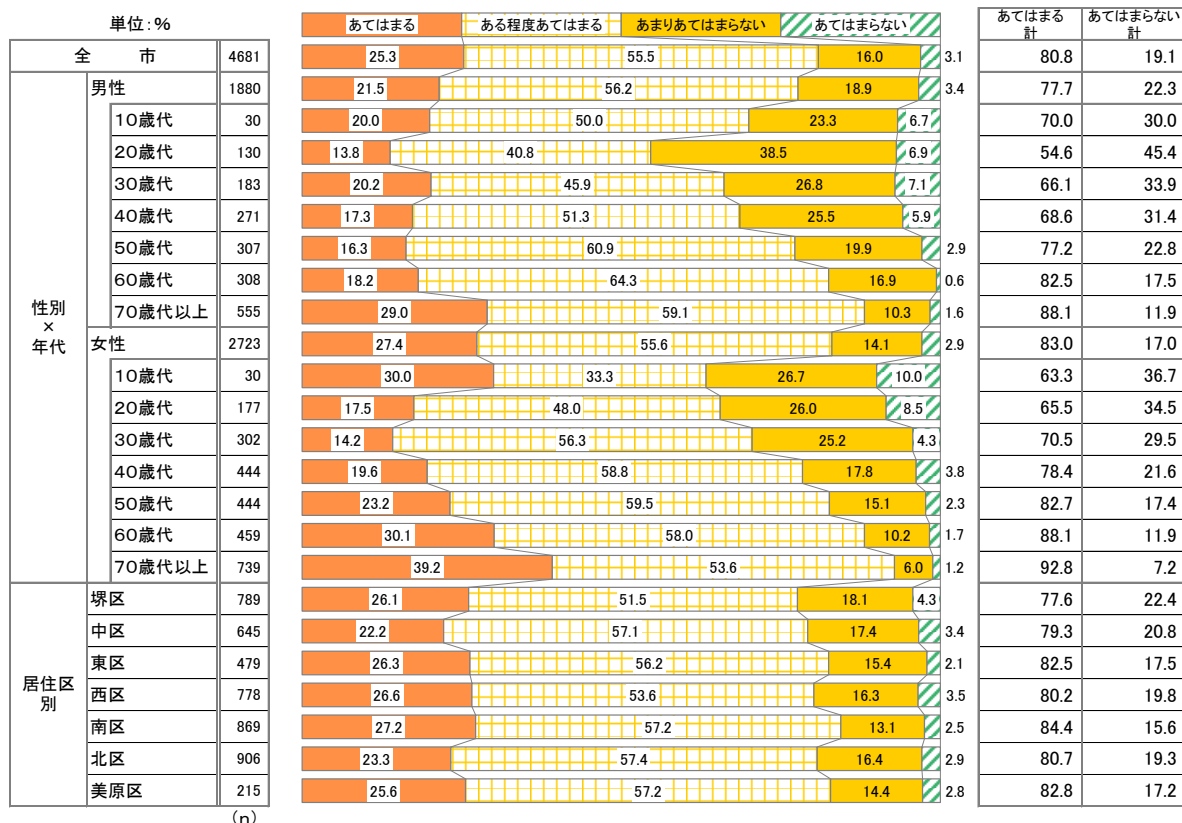
性別×年代で見ると、あてはまる人の割合は、男性で 77.7%、女性で 83.0%と、女性の方が高くなっている。また、男性 10 歳代を除いて、男女とも年代が上がるほど高くなっている。

居住区別にみると、南区 84.4%、美原区 82.8%、東区 82.5%の順にそう思う人の割合が高い。



*平成 25 年度は、選択肢が「積極的に行っている」「ある程度行っている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



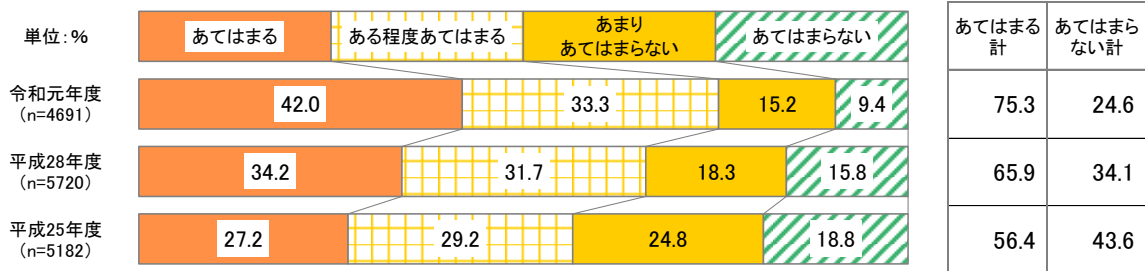
5. あなたやあなたの家族は、日常の買い物の際に、買い物袋を持参していますか。

日常の買い物の際に、買い物袋を持参しているかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて75.3%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は56.4%、平成28年度は65.9%であったため、あてはまる人の割合は大きく増加傾向にある。

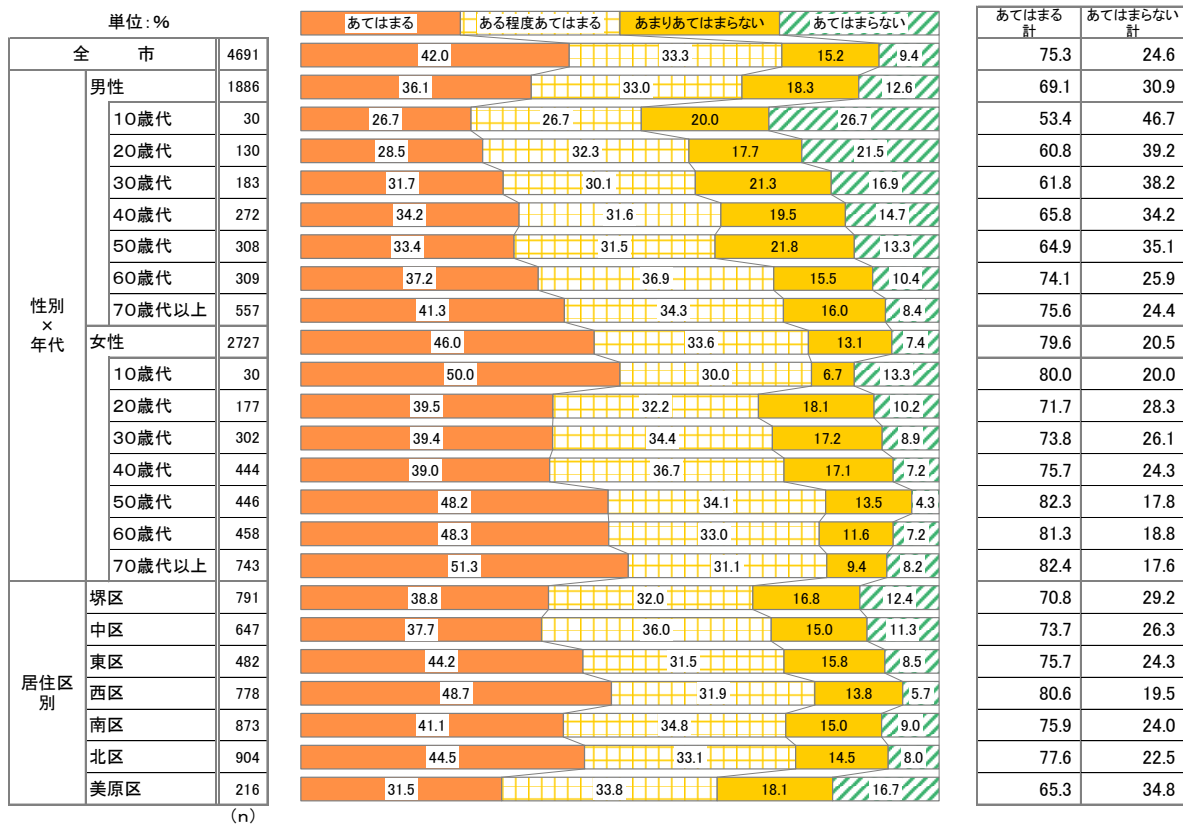
性別×年代で見ると、あてはまる人の割合は、男性の69.1%に対し、女性は79.6%と高くなっている。また、女性の10歳代を除いて、男女とも概ね年代が上がるほど高くなっている。

居住区別にみると、あてはまる人の割合は、最も高い西区で80.6%、最も低い美原区で65.3%と、差がみられた。



*平成25年度は、選択肢が「積極的に行っている」「ある程度行っている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



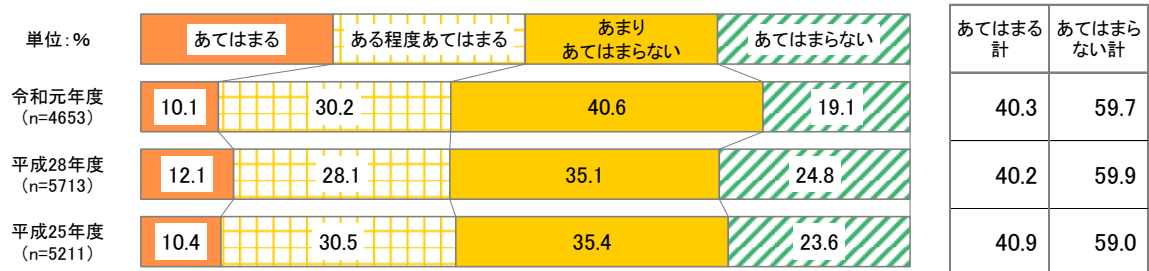
6. 緑を増やしたり、守ることに取り組んでいますか。

緑を増やしたり、守ることに取り組んでいるかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて40.3%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は40.9%、平成28年度は40.2%であったため、過去2回の調査と同程度となっている。

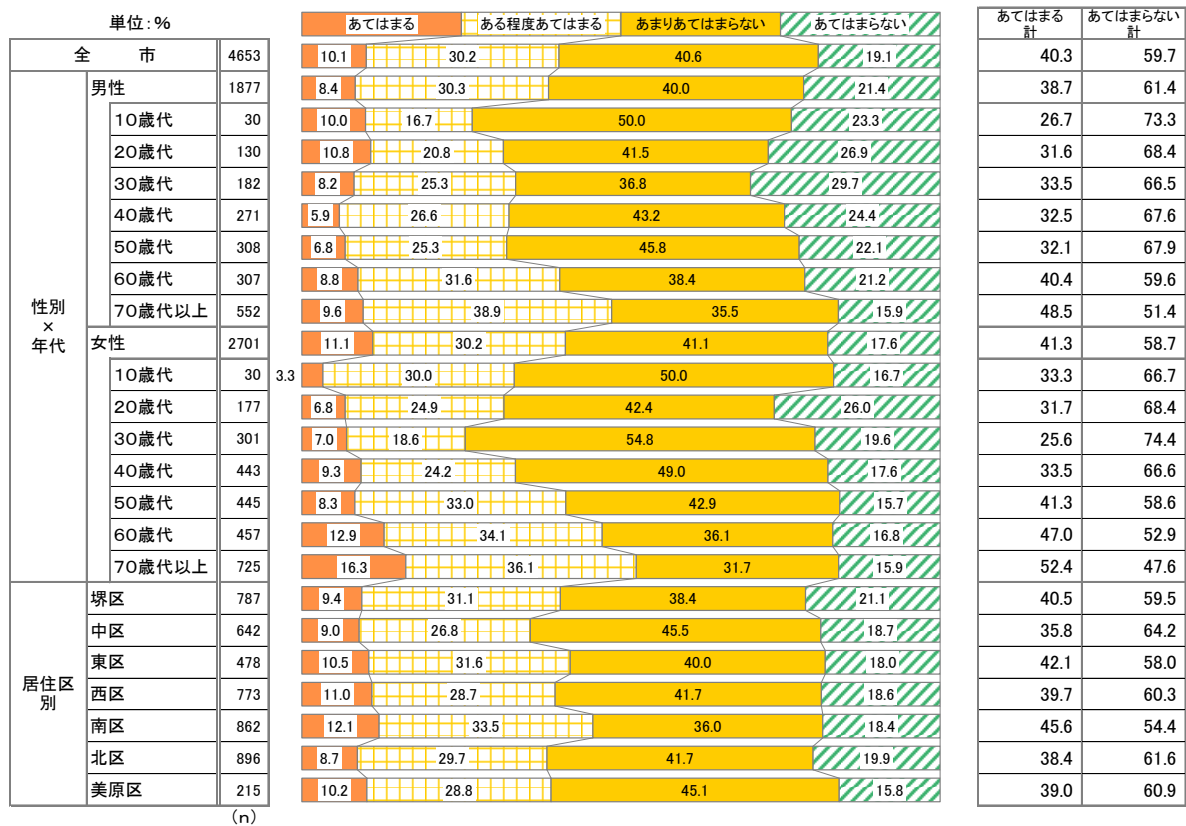
性別×年代でみると、あてはまる人の割合は、男性では概ね年代が上がるほど高くなっている。女性は、30歳代で最も低く、そこから年代が上がるほど高くなっている。

居住区別にみると、あてはまる人の割合は、南区で45.6%と最も高く、中区で35.8%と最も低い。



*平成25年度は、選択肢が「積極的に行っている」「ある程度行っている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



F. 日常の交通手段について

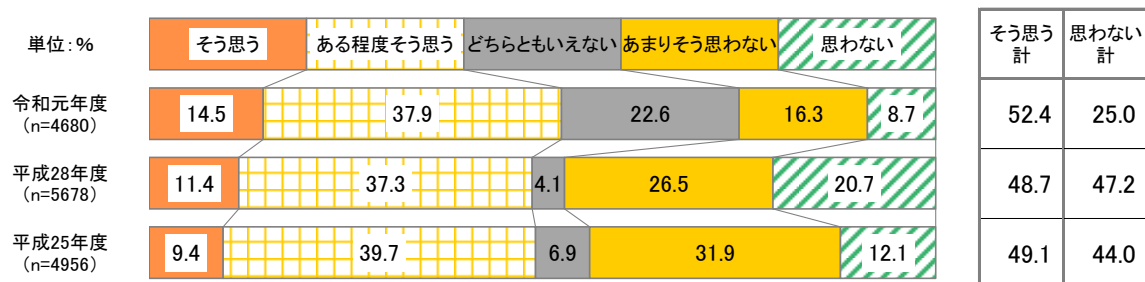
1. 堺市は日々の暮らしや仕事の移動が便利なまちだと思いますか。

堺市は日々の暮らしや仕事の移動が便利なまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて 52.4%となっている。

過去調査と比較すると、平成 25 年度は 49.1%、平成 28 年度は 48.7%であったため、そう思う人の割合は平成 28 年度より増加している。

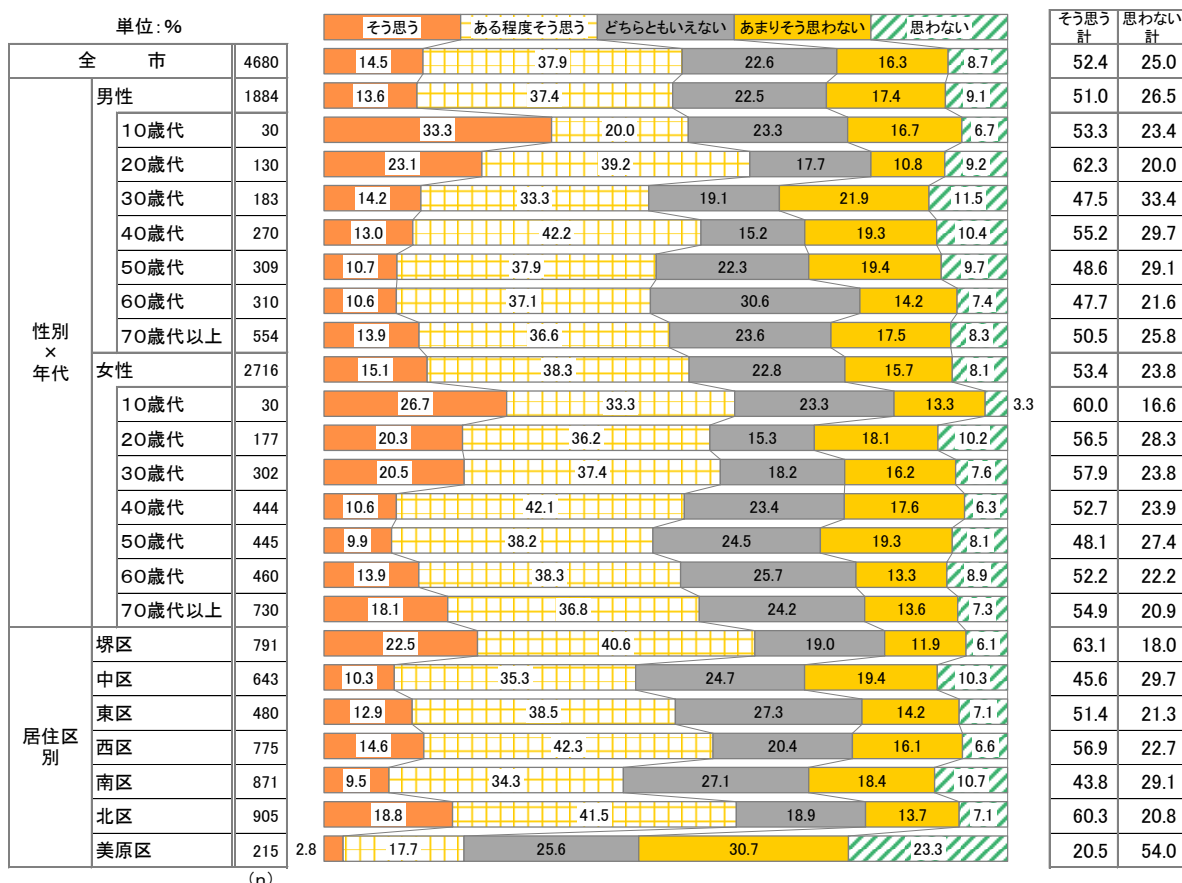
性別×年代でみると、そう思う人の割合は、男性 30 歳代、50～60 歳代、女性 50 歳代で 4 割台と低くなっている。

居住区別にみると、堺区 63.1%、北区 60.3%、西区 56.9%の順にそう思う人の割合が高い一方、美原区では 20.5%と非常に低くなっている。



*平成 28 年度は、質問文が「あなたは、日々の暮らしや仕事において堺市内の移動は便利だと思いますか」、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



2. 自転車を利用する方にお伺いします。

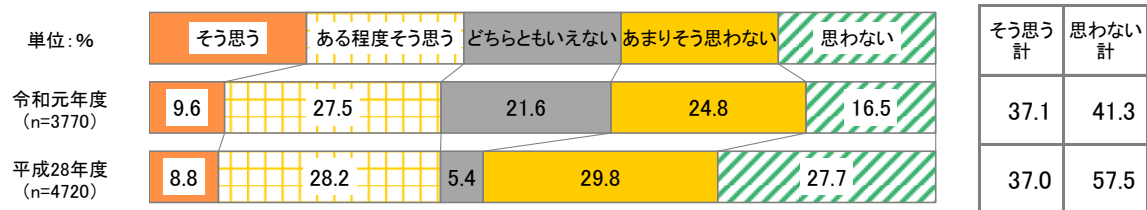
あなたがお住まいの地域は自転車で走りやすいと思いますか。

お住まいの地域は自転車で走りやすいと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて37.1%となっている。

過去調査と比較すると、平成28年度は37.0%であったため、そう思う人の割合は平成28年度と同程度となっている。

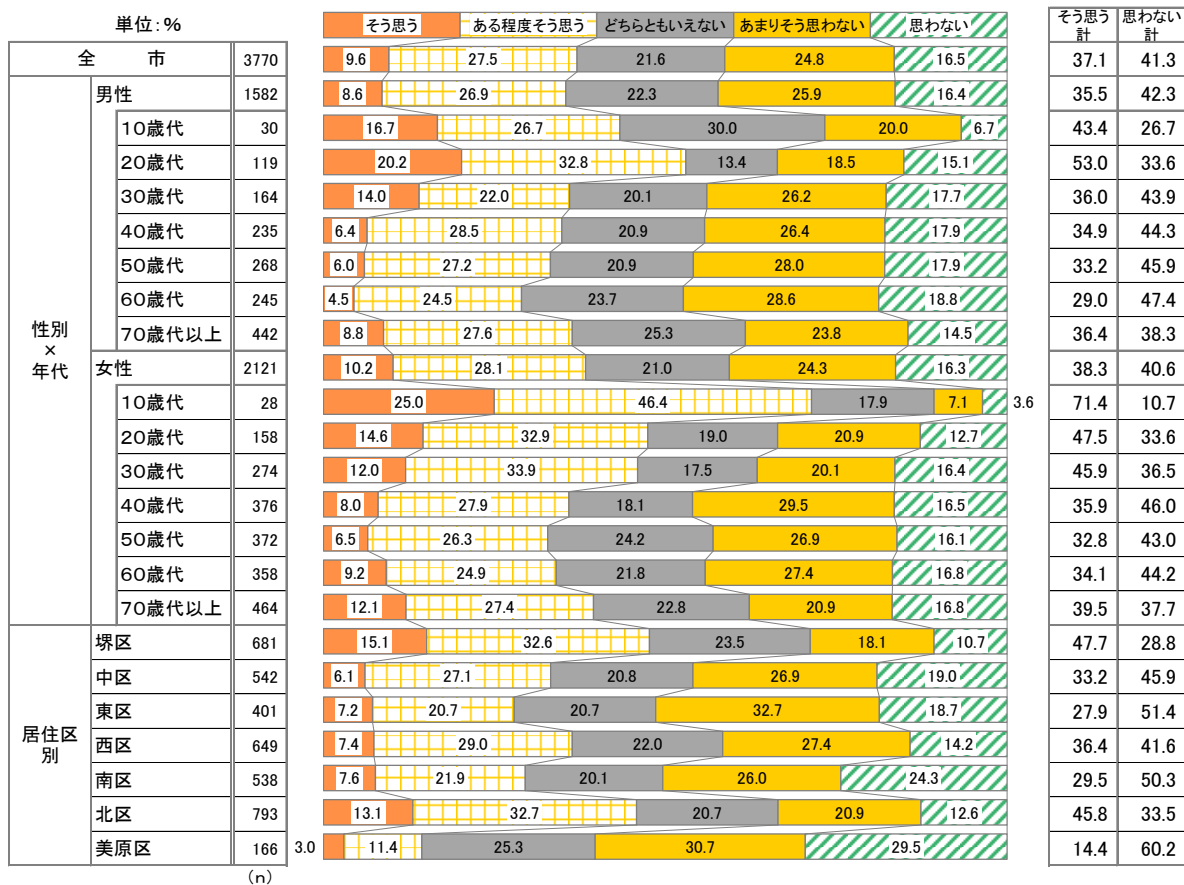
性別×年代でみると、男性10～20歳代、女性10～30歳代でそう思う人の割合が4割以上と高く、特に女性10歳代は71.4%と高くなっている。

居住区別にみると、堺区47.7%、北区45.8%の順にそう思う人の割合が高い一方、美原区では14.4%と非常に低くなっている。



*平成28年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



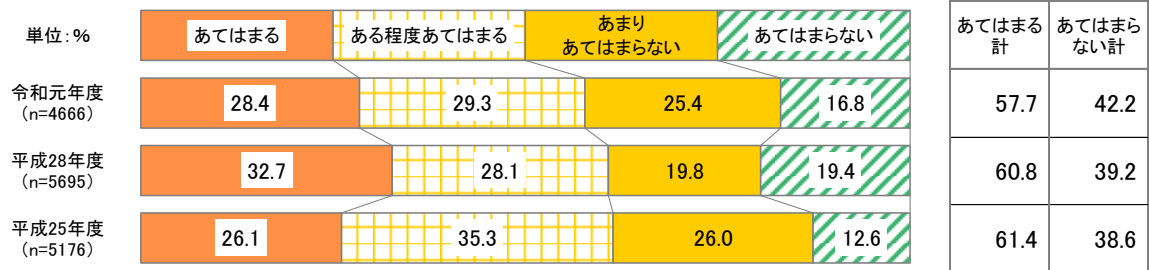
3. できるだけバスや電車などの公共交通を使うようにしていますか。

できるだけバスや電車などの公共交通を使うようにしているかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて57.7%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は61.4%、平成28年度は60.8%であったため、あてはまる人の割合はわずかに減少傾向にある。

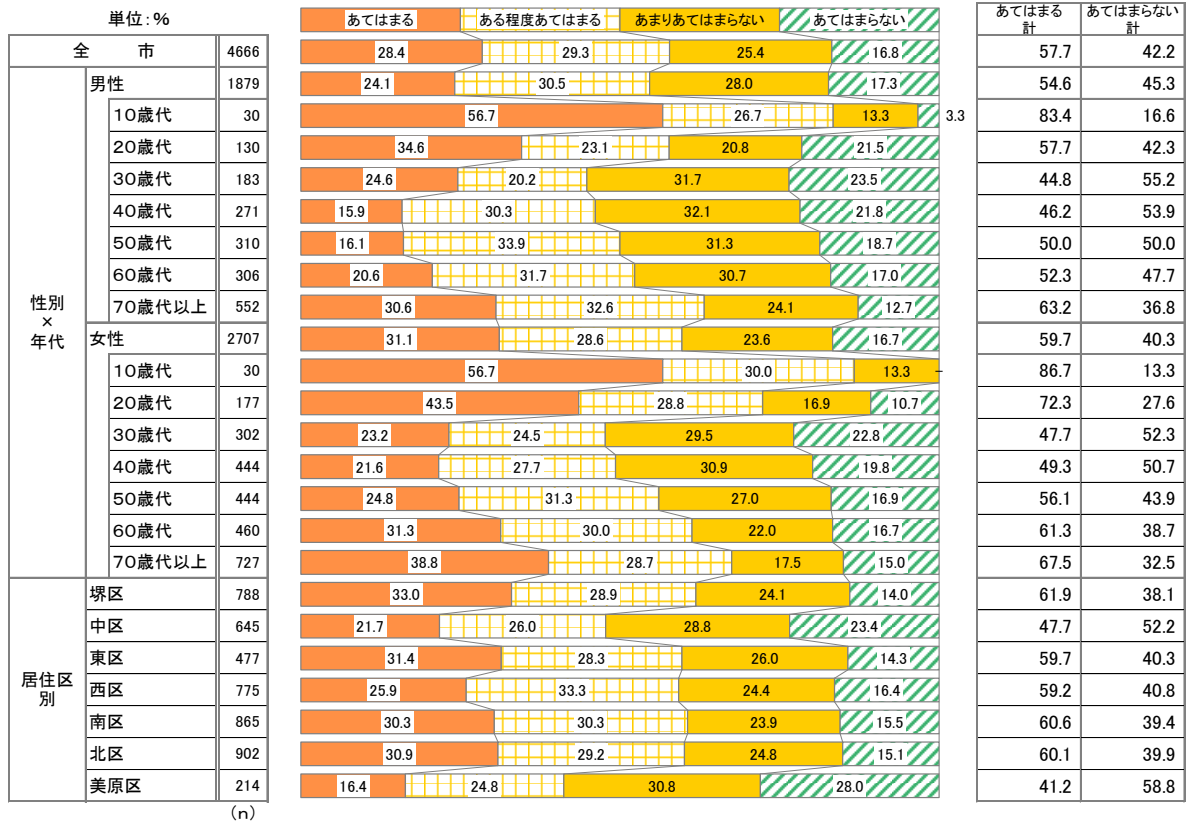
性別×年代で見ると、あてはまる人の割合は、男女とも10歳代では8割台と高いが、30～40歳代では4割台と低くなっている。

居住区別にみると、堺区、東区、西区、南区、北区では、あてはまる人の割合は約6割だが、中区では47.7%、美原区では41.2%と低くなっている。



*平成25年度は、選択肢が「積極的に行っている」「ある程度行っている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



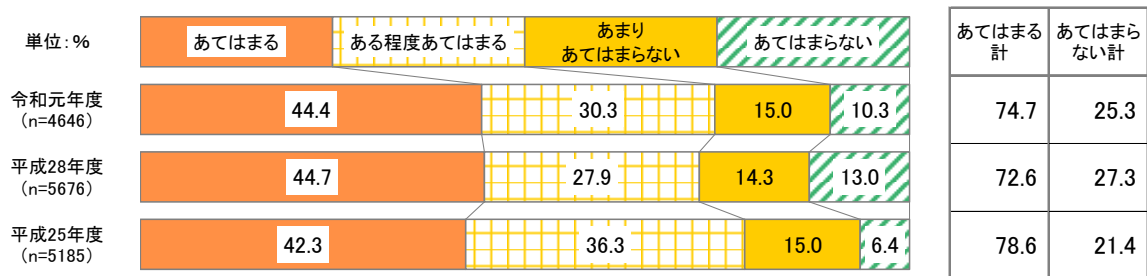
4. 近隣の移動の際は、できる限り徒歩や自転車で行くようにしていますか。

近隣の移動の際は、できる限り徒歩や自転車で行くようにしているかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて74.7%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は78.6%、平成28年度は72.6%であったため、あてはまる人の割合は平成28年度より増加している。

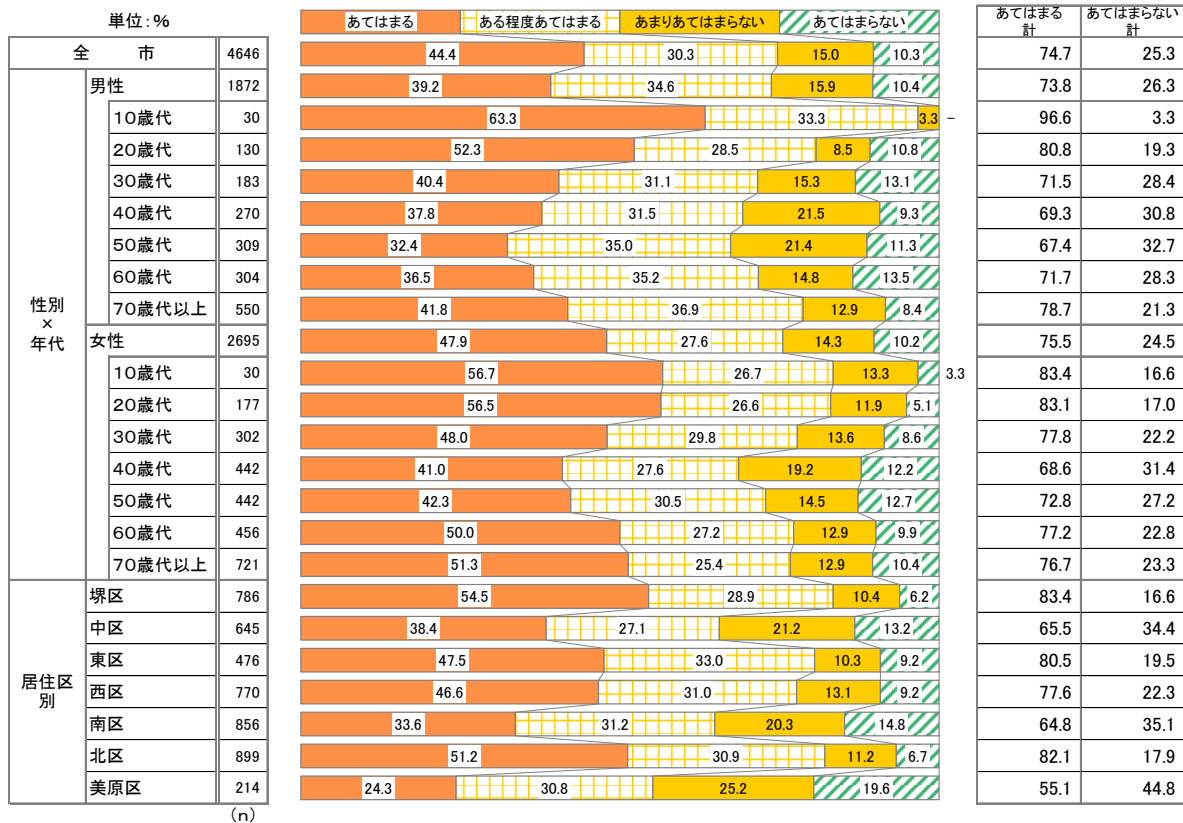
性別×年代で見ると、あてはまる人の割合は、男性は10歳代で96.6%と最も高く、そこから50歳代にかけて年代が上がるほど低くなり、60歳代以上でまた高くなっている。女性は10～20歳代で83%台と最も高く、そこから40歳代にかけて年代が上がるほど低くなり、50歳代からまた高くなっている。

居住区別にみると、堺区83.4%、北区82.1%、東区80.5%の順にそう思う人の割合が8割以上と高くなっているが、美原区では55.1%と低くなっている。



*平成25年度は、選択肢が「積極的に行っている」「ある程度行っている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



G. 地域活動等について

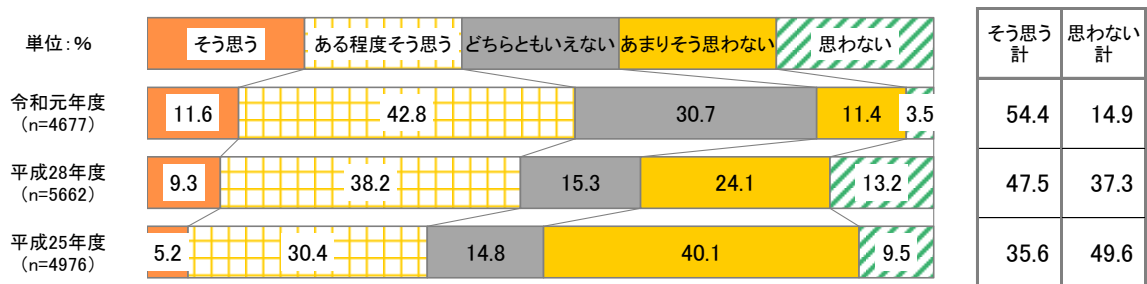
1. 堺市は、地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思いますか。

堺市は、地域行事や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて54.4%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は35.6%、平成28年度は47.5%であったため、そう思う人の割合は増加傾向にある。

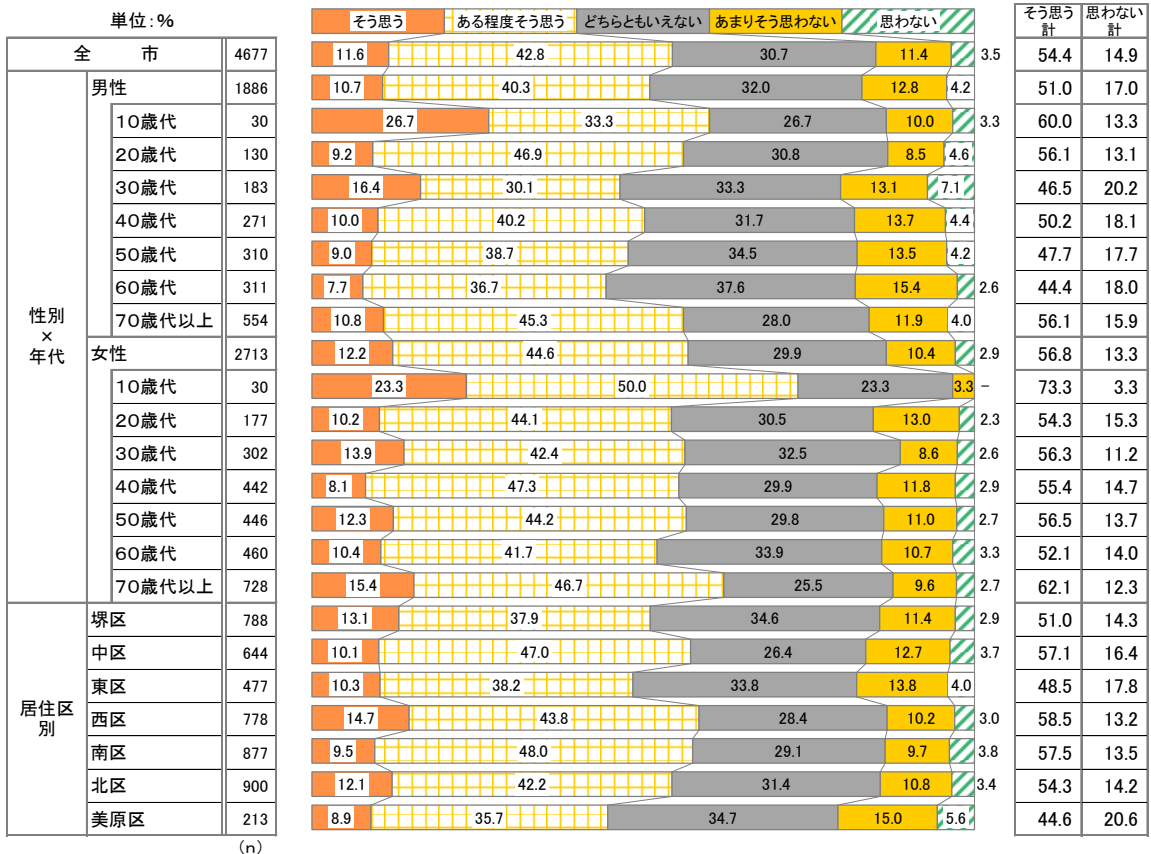
性別×年代で見ると、そう思う人の割合は、男性10～20歳代、女性10歳代、男女70歳代以上で高くなっている。

居住区別にみると、西区58.5%、南区57.5%、中区57.1%の順にそう思う人の割合が高い一方、美原区では44.6%と低くなっている。



*平成28年度は、質問文が「あなたは、まつりや清掃活動、防犯活動など地域でのさまざまな活動が活発であると思いますか」、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



(n)

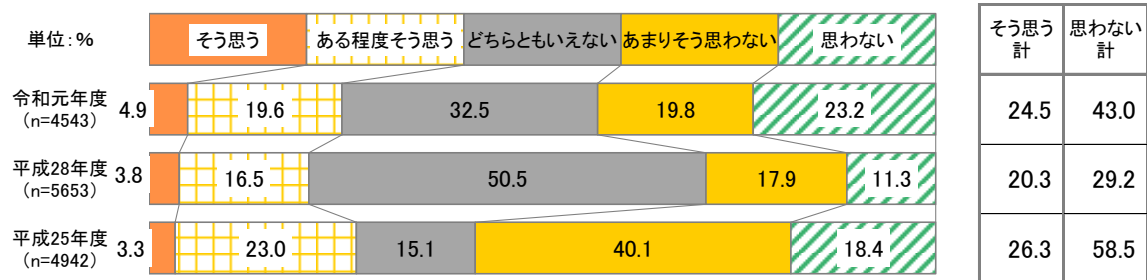
2. 自分が住んでいる区の特徴を知っていますか。

自分が住んでいる区の特徴を知っているかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて 24.5%となっている。

過去調査と比較すると、平成 25 年度は 26.3%、平成 28 年度は 20.3%であったため、そう思う人の割合は平成 28 年度より高くなっている。

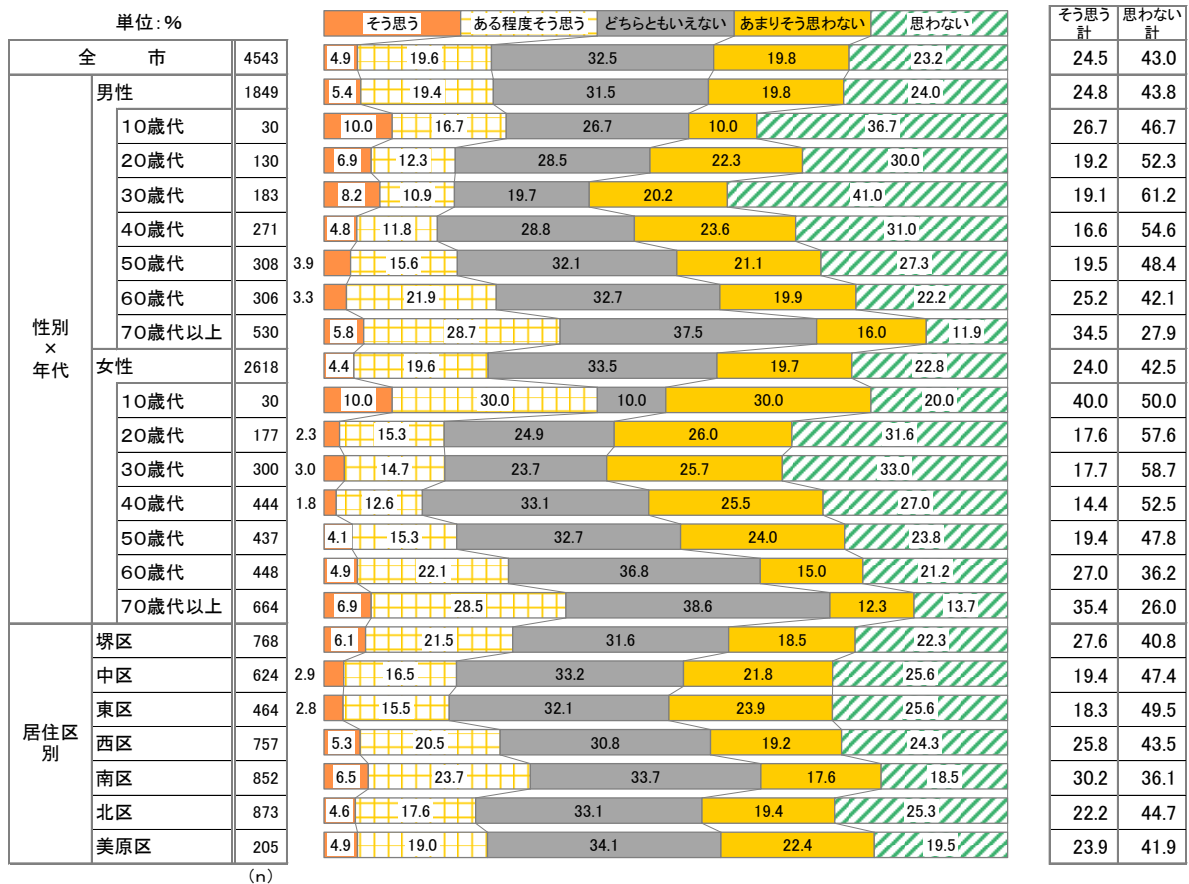
性別×年代でみると、そう思う人の割合は、女性 10 歳代と男女 70 歳代以上で高くなっており、男女とも 40 歳代で最も低い。

居住区別にみると、南区 30.2%、堺区 27.6%、西区 25.8%の順にそう思う人の割合が高い。中区、東区では、そう思う人の割合は 2 割未満と低い。



*平成 28 年度は、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



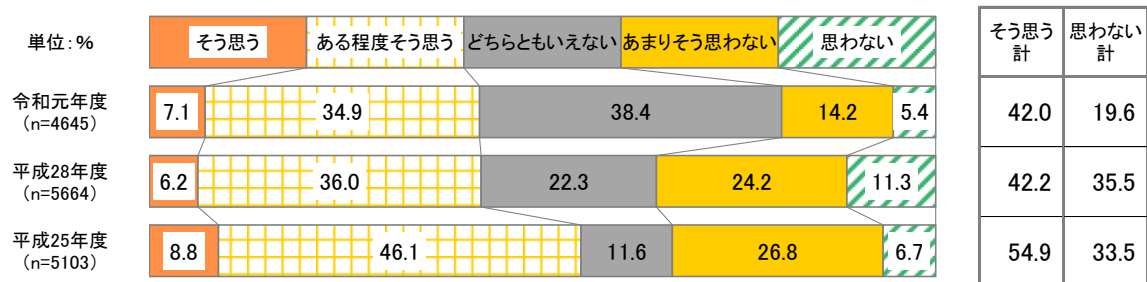
3. 堺市は、図書館などの社会教育施設や市の講座、また民間の文化教室（カルチャーセンター）などにおける生涯学習・社会教育の環境が整っているまちだと思いますか。

堺市は、生涯学習・社会教育の環境が整っているまちだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせて42.0%となっている。

過去調査と比較すると、平成25年度は54.9%、平成28年度は42.2%であったため、そう思う人の割合は平成28年度と同程度となっている。

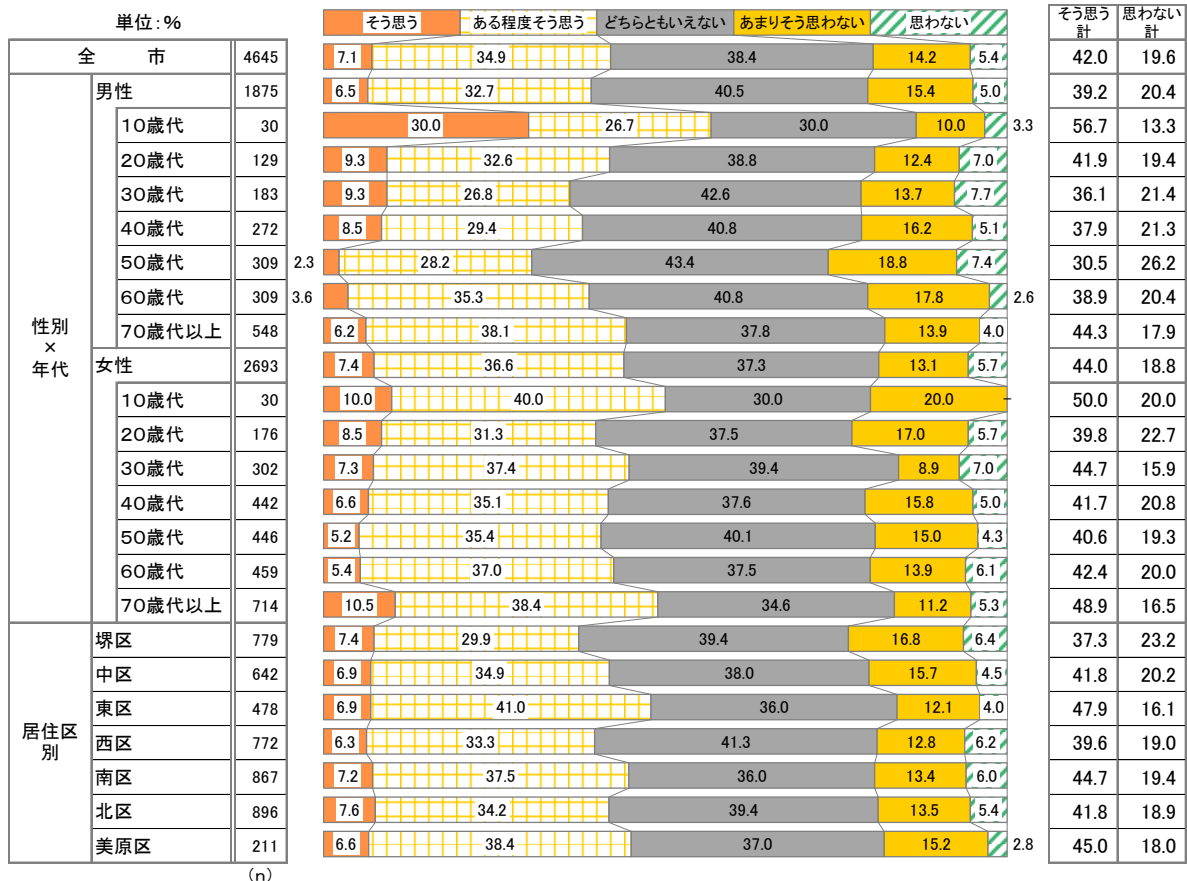
性別×年代でみると、そう思う人の割合は、男女とも10歳代、女性70歳代以上で高くなっている。

居住区別にみると、東区47.9%、美原区45.0%でそう思う人の割合が高いが、堺区では37.3%と低くなっている。



*平成28年度は、質問文が「あなたは、堺市は図書館や文化教室などにおける生涯学習の環境が整っていると思いますか」、選択肢が「どちらともいえない」ではなく、「わからない」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



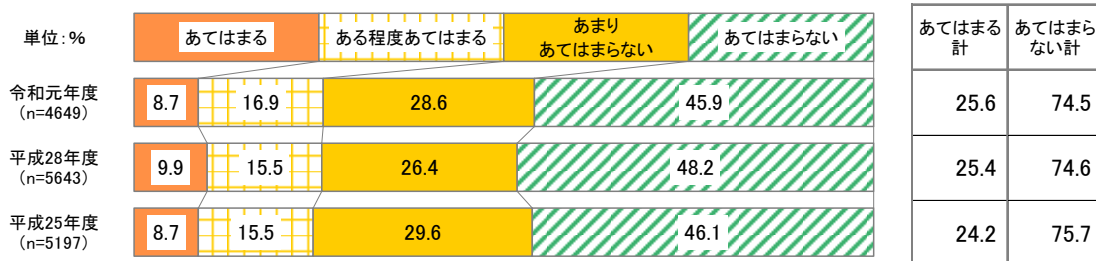
4. スポーツ活動、サークル活動、文化・芸術活動、各種講座への参加などの生涯学習活動に取り組んでいますか。

スポーツ活動、サークル活動、文化・芸術活動、各種講座への参加などの生涯学習活動に取り組んでいるかについては、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせて 25.6%となっている。

過去調査と比較すると、平成 25 年度は 24.2%、平成 28 年度は 25.4%であったため、あてはまる人の割合は過去 2 回の調査と同程度となっている。

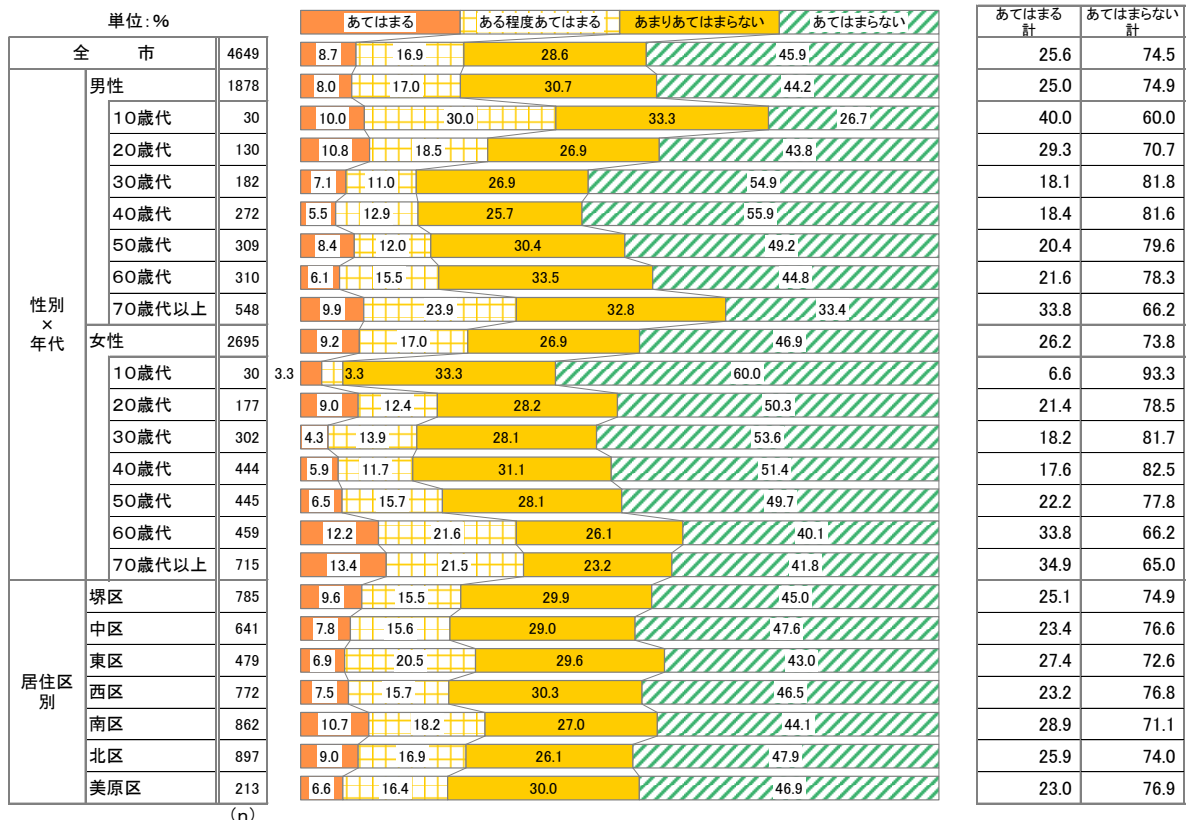
性別×年代で見ると、あてはまる人の割合は、男性は 10 歳代と 70 歳代以上、女性は 60 歳代と 70 歳代以上で 3 割以上と高くなっている。一方、男女とも 30～40 歳では 1 割台と低く、また女性 10 歳代では 6.6%と非常に低い。

居住区別にみると、いずれの区でもあてはまる人の割合は 2 割台となっているが、最も高いのは南区の 28.9%、最も低いのは美原区の 23.0%となっている。



*平成 25 年度は、選択肢が「積極的に行っている」「ある程度行っている」「ほとんど行っていない」「全く行っていない」。
*平成 28 年度は、質問文が「あなたは、スポーツ活動、サークル活動、講座への参加、芸術活動などの生涯学習や文化活動に取り組んでいますか」。

【属性別】性別×年代別、居住区別



2. 堺市での暮らしについて

1. 暮らしの評価と行政サービスについて

1. 堺市での暮らしに関して、以下の事柄をどのように思いますか。

堺市での暮らしについて、「とても良いと思う」と「まあ良いと思う」を合わせてみると、以下の順となっている。

<上位> (6割以上)

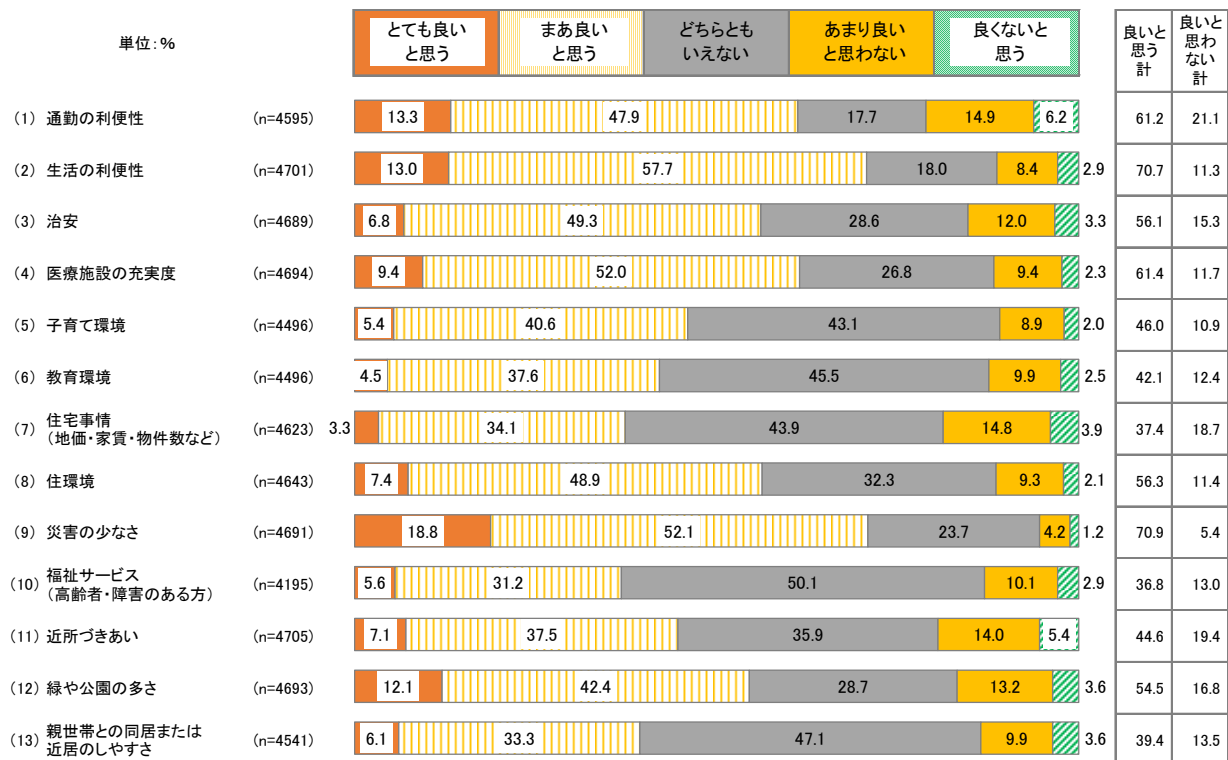
1. 「(9) 災害の少なさ」 70.9%
2. 「(2) 生活の利便性」 70.7%
3. 「(4) 医療施設の充実度」 61.4%
4. 「(1) 通勤の利便性」 61.2%

<下位> (4割未満)

1. 「(10) 福祉サービス」 36.8%
2. 「(7) 住宅事情」 37.4%
3. 「(13) 親世帯との同居または近居のしやすさ」 39.4%

居住区別に良いと思う人の割合をみると、堺区、北区では「(1) 通勤の利便性」「(2) 生活の利便性」が、南区では「(12) 緑や公園の多さ」が高くなっている。

ライフサイクル別に良いと思う人の割合をみると、若者で「(13) 親世帯との同居または近居のしやすさ」、育児期・教育期で「(5) 子育て環境」「(6) 教育環境」、単身高齢者で「(10) 福祉サービス」「(11) 近所づきあい」が高くなっている。



【属性別】性別×年代別、居住区別、居住年数別、ライフサイクル別

■良いと思う計(とても良いと思う+まあ良いと思う)

| | | サンプル数 | (1) 通勤の利便性 | (2) 生活の利便性 | (3) 治安 | (4) 医療施設の充実度 | (5) 子育て環境 | (6) 教育環境 | (7) 住宅事情 (地価・家賃・物件数など) | (8) 住環境 | (9) 災害の少なさ | (10) 福祉サービス (高齢者・障害のある方) | (11) 近所づきあい | (12) 緑や公園の多さ | (13) 親世帯との同居または 近居のしやすさ |
|---------------|--------|-------|------------|------------|--------|--------------|-----------|----------|---------------------------|---------|------------|-----------------------------|-------------|--------------|----------------------------|
| 全体 | | 4595 | 61.2 | 70.7 | 56.1 | 61.4 | 46.0 | 42.1 | 37.4 | 56.3 | 70.9 | 36.8 | 44.6 | 54.5 | 39.4 |
| 性別 × 年代 | 男性 | 1871 | 60.9 | 70.8 | 56.0 | 62.6 | 43.0 | 40.3 | 36.6 | 53.4 | 70.3 | 34.8 | 40.4 | 51.7 | 37.1 |
| | 10歳代 | 29 | 68.9 | 69.0 | 51.7 | 75.9 | 39.3 | 58.6 | 42.8 | 55.1 | 79.3 | 36.0 | 37.9 | 65.5 | 41.3 |
| | 20歳代 | 129 | 70.5 | 76.7 | 48.1 | 67.5 | 40.3 | 44.2 | 36.5 | 62.8 | 69.6 | 37.0 | 38.8 | 55.9 | 52.0 |
| | 30歳代 | 183 | 54.6 | 71.6 | 45.4 | 60.6 | 42.6 | 33.4 | 32.2 | 51.3 | 61.2 | 20.0 | 32.3 | 56.1 | 40.1 |
| | 40歳代 | 273 | 59.4 | 76.8 | 50.6 | 63.6 | 47.8 | 43.8 | 35.6 | 50.4 | 68.2 | 26.4 | 36.6 | 58.2 | 43.7 |
| | 50歳代 | 310 | 62.6 | 73.6 | 51.0 | 55.5 | 39.0 | 34.7 | 32.8 | 48.6 | 65.9 | 30.2 | 36.6 | 46.0 | 35.3 |
| | 60歳代 | 312 | 62.9 | 71.0 | 58.7 | 61.2 | 39.3 | 35.1 | 35.4 | 49.6 | 65.6 | 34.9 | 36.4 | 46.8 | 28.4 |
| | 70歳代以上 | 540 | 58.7 | 66.2 | 65.6 | 66.3 | 46.1 | 46.2 | 41.4 | 58.6 | 78.6 | 44.2 | 49.5 | 52.1 | 35.2 |
| | 女性 | 2650 | 61.7 | 71.0 | 56.3 | 60.7 | 48.2 | 43.3 | 38.2 | 58.5 | 71.1 | 38.3 | 47.9 | 56.6 | 41.2 |
| | 10歳代 | 30 | 70.0 | 80.0 | 43.3 | 53.4 | 42.8 | 53.3 | 46.5 | 63.3 | 80.0 | 33.4 | 50.0 | 63.3 | 48.2 |
| | 20歳代 | 177 | 63.8 | 74.0 | 59.3 | 63.2 | 39.0 | 42.3 | 44.4 | 63.6 | 66.6 | 31.3 | 38.9 | 49.7 | 50.6 |
| | 30歳代 | 303 | 65.3 | 79.8 | 45.4 | 66.7 | 55.0 | 46.5 | 41.6 | 62.4 | 61.7 | 32.7 | 46.2 | 63.7 | 46.9 |
| | 40歳代 | 445 | 63.2 | 75.5 | 50.9 | 61.8 | 48.9 | 40.4 | 41.2 | 57.2 | 67.4 | 28.9 | 44.1 | 56.4 | 44.9 |
| | 50歳代 | 444 | 57.2 | 68.7 | 55.1 | 58.8 | 42.4 | 39.1 | 34.3 | 54.5 | 66.3 | 35.6 | 39.5 | 54.8 | 36.7 |
| 60歳代 | 455 | 62.4 | 70.0 | 60.0 | 56.0 | 43.2 | 38.0 | 33.8 | 54.2 | 72.4 | 38.7 | 44.5 | 56.1 | 35.3 | |
| 70歳代以上 | 674 | 62.2 | 67.3 | 63.4 | 62.4 | 55.2 | 51.2 | 38.9 | 62.7 | 80.8 | 49.4 | 60.5 | 57.8 | 41.0 | |
| 居住区別 | 堺区 | 778 | 74.7 | 77.7 | 53.4 | 60.2 | 40.6 | 38.9 | 35.2 | 51.8 | 61.1 | 38.6 | 42.0 | 47.5 | 37.6 |
| | 中区 | 632 | 48.2 | 64.9 | 50.9 | 64.7 | 45.2 | 38.4 | 32.9 | 49.2 | 74.2 | 36.0 | 43.7 | 48.9 | 40.7 |
| | 東区 | 463 | 63.5 | 71.5 | 59.4 | 57.2 | 46.4 | 46.5 | 38.4 | 57.4 | 74.3 | 36.0 | 46.8 | 41.0 | 36.7 |
| | 西区 | 769 | 64.8 | 73.7 | 55.7 | 67.9 | 48.6 | 43.7 | 38.9 | 57.3 | 67.0 | 35.3 | 44.4 | 46.2 | 38.8 |
| | 南区 | 854 | 48.1 | 63.2 | 57.6 | 58.8 | 49.7 | 44.5 | 40.0 | 63.4 | 77.0 | 40.4 | 46.2 | 76.8 | 41.9 |
| | 北区 | 888 | 75.8 | 80.8 | 59.3 | 65.2 | 47.5 | 43.6 | 40.8 | 59.7 | 71.0 | 34.2 | 45.0 | 58.7 | 40.2 |
| | 美原区 | 211 | 23.7 | 37.9 | 55.8 | 37.7 | 37.3 | 31.9 | 27.9 | 43.7 | 77.7 | 36.7 | 46.8 | 47.9 | 37.3 |
| | 2年未満 | 86 | 54.7 | 67.5 | 39.5 | 56.9 | 34.2 | 25.0 | 41.9 | 46.5 | 48.8 | 22.6 | 20.9 | 59.3 | 33.0 |
| 居住年数別 | 2～5年 | 175 | 66.3 | 76.2 | 50.3 | 63.7 | 49.2 | 38.3 | 36.4 | 55.6 | 60.4 | 31.1 | 30.5 | 63.0 | 31.5 |
| | 5～10年 | 254 | 61.0 | 69.8 | 45.9 | 59.6 | 52.4 | 44.8 | 39.2 | 60.7 | 59.8 | 28.6 | 36.4 | 61.4 | 33.9 |
| | 10～20年 | 609 | 63.8 | 73.4 | 51.7 | 62.2 | 47.9 | 43.6 | 40.8 | 56.8 | 68.2 | 30.8 | 41.2 | 54.4 | 37.0 |
| | 20年以上 | 3300 | 60.9 | 70.9 | 58.8 | 61.8 | 45.4 | 42.4 | 36.9 | 56.6 | 73.5 | 39.2 | 47.3 | 53.7 | 40.9 |
| ライフ サイクル別 | 若者 | 335 | 66.6 | 74.6 | 53.5 | 65.0 | 40.6 | 46.9 | 41.2 | 63.2 | 68.9 | 35.0 | 42.1 | 56.1 | 52.2 |
| | 夫婦 | 416 | 60.8 | 71.8 | 49.3 | 55.0 | 30.5 | 28.8 | 34.3 | 49.5 | 57.2 | 26.3 | 28.9 | 49.2 | 30.9 |
| | 育児期 | 448 | 58.5 | 73.7 | 46.1 | 67.2 | 62.0 | 48.8 | 38.4 | 59.7 | 66.7 | 29.9 | 43.5 | 59.3 | 45.3 |
| | 教育期 | 673 | 61.0 | 74.5 | 48.0 | 67.2 | 59.2 | 52.2 | 41.3 | 57.5 | 68.3 | 34.4 | 49.8 | 59.0 | 47.4 |
| | 単身高齢者 | 306 | 64.7 | 66.6 | 62.8 | 65.1 | 50.7 | 49.1 | 43.2 | 60.7 | 80.0 | 52.2 | 55.0 | 54.1 | 32.8 |
| | 高齢者夫婦 | 806 | 61.9 | 70.9 | 65.3 | 64.0 | 49.6 | 46.6 | 40.4 | 60.4 | 77.6 | 42.2 | 51.7 | 56.6 | 34.6 |

※ は全体より10ポイント以上、 は全体より5ポイント以上高い

単位：%

50 サンプル以下は、属性別のクロス集計分析におけるサンプル誤差(※)が発生する。

■発生する誤差 50 サンプル：最大 13.9% 30 サンプル：最大 17.9%

この誤差を考慮して、30 サンプル未満の属性の回答比率については参考値として扱うため、薄字で表記する。

以下、全項目について同じ。

(※) サンプル誤差とは、調査対象となる母集団の一部分だけを抽出(サンプリング)して調べる標本調査の結果から、母集団の情報を推定する際に生じる誤差。例えば市民全体(n=4595)におけるサンプル誤差は1.4%。「(1) 通勤の利便性」の良いと思う計は61.2%だが、サンプル誤差を考慮すると61.2%±1.4%(59.8%～62.6%)であるといえる。

2. 次にあげる堺市の行政サービスの中で、不足や不満、問題を感じるものをすべてお選びください。

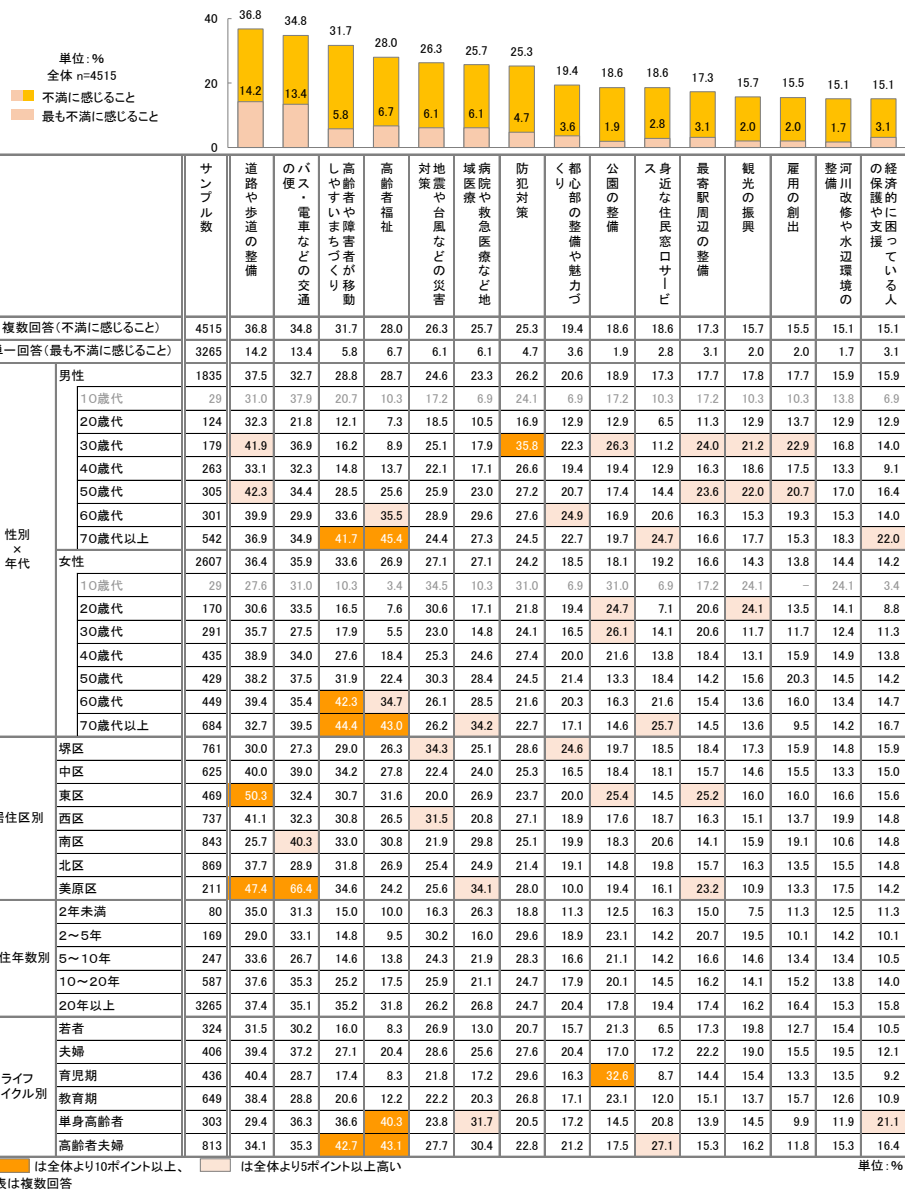
堺市の行政サービスの中で、不足や不満、問題を感じるものについて複数回答でみると、「道路や歩道の整備」36.8%、「バス・電車などの交通の便」34.8%、「高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり」31.7%が3割以上で上位となっている。

単一回答でみると、「道路や歩道の整備」14.2%、「バス・電車などの交通の便」13.4%に続いて「高齢者福祉」6.7%があがっている。

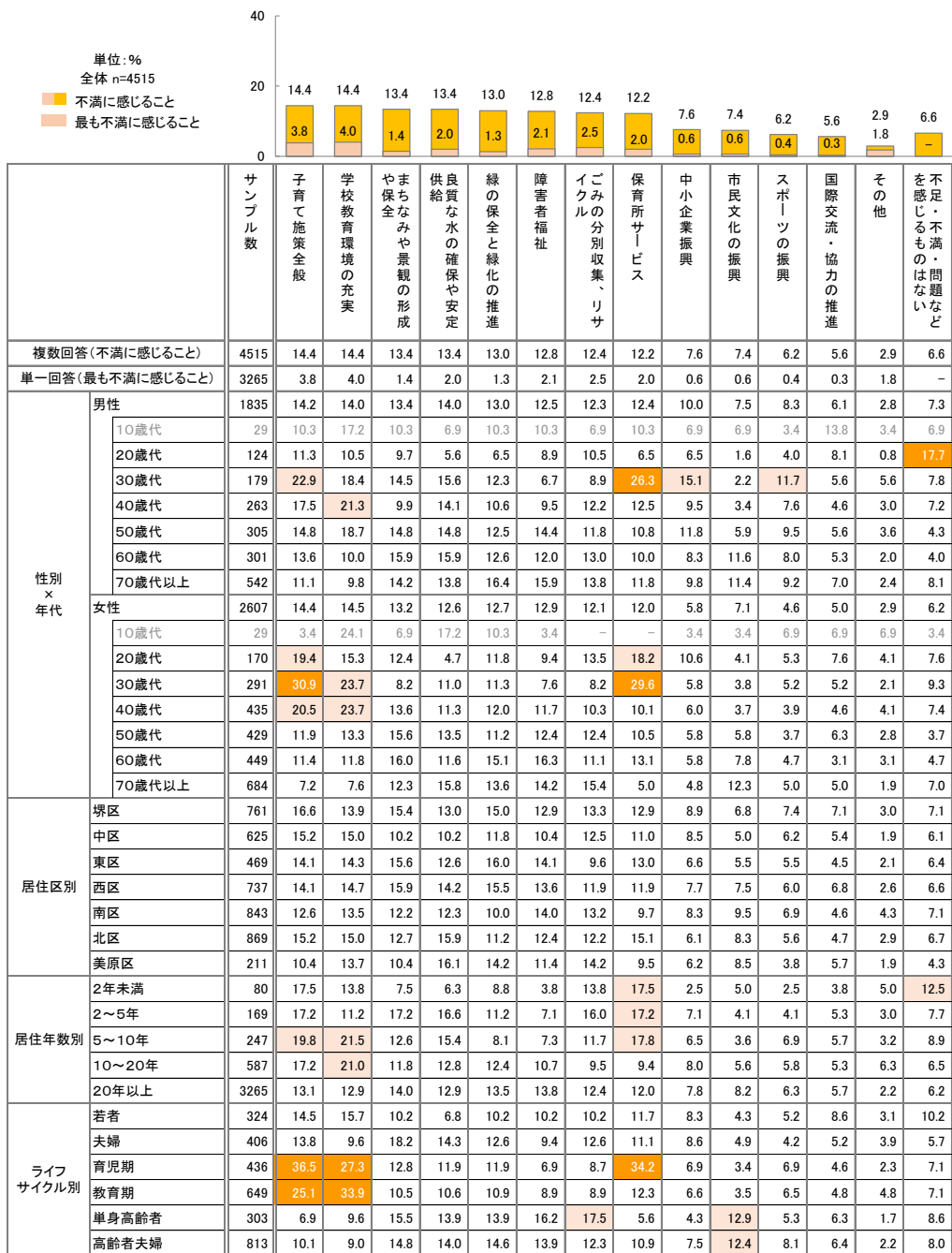
居住区別にみると、東区で「道路や歩道の整備」、美原区で「道路や歩道の整備」「バス・電車などの交通の便」が高くなっている。

ライフサイクル別にみると、育児期で「公園の整備」「保育所サービス」、育児期、教育期で「子育て施策全般」「学校教育環境の充実」、単身高齢者、高齢者夫婦で「高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり」「高齢者福祉」が高くなっている。

【上位 15 位】



【16位以下】



| 項目 | サンプル数 | 子育て施策全般 | 学校教育環境の充実 | やまちなみや景観の形成 | 供給な水の確保や安定 | 緑の保全と緑化の推進 | 障害者福祉 | ごみの分別収集、リサ | 保育所サービス | 中小企業振興 | 市民文化の振興 | スポーツの振興 | 国際交流・協力の推進 | その他 | 不足・不満・問題などを 感じるものはない | |
|------------------|--------|---------|-----------|-------------|------------|------------|-------|------------|---------|--------|---------|---------|------------|------|-------------------------|------|
| 複数回答(不満に感じること) | 4515 | 14.4 | 14.4 | 13.4 | 13.4 | 13.0 | 12.8 | 12.4 | 12.2 | 7.6 | 7.4 | 6.2 | 5.6 | 2.9 | 6.6 | |
| 単一回答(最も不満に感じること) | 3265 | 3.8 | 4.0 | 1.4 | 2.0 | 1.3 | 2.1 | 2.5 | 2.0 | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.3 | 1.8 | - | |
| 性別 × 年代 | 男性 | 1835 | 14.2 | 14.0 | 13.4 | 14.0 | 13.0 | 12.5 | 12.3 | 12.4 | 10.0 | 7.5 | 8.3 | 6.1 | 2.8 | 7.3 |
| | 10歳代 | 29 | 10.3 | 17.2 | 10.3 | 6.9 | 10.3 | 10.3 | 6.9 | 10.3 | 6.9 | 6.9 | 3.4 | 13.8 | 3.4 | 6.9 |
| | 20歳代 | 124 | 11.3 | 10.5 | 9.7 | 5.6 | 6.5 | 8.9 | 10.5 | 6.5 | 6.5 | 1.6 | 4.0 | 8.1 | 0.8 | 17.7 |
| | 30歳代 | 179 | 22.9 | 18.4 | 14.5 | 15.6 | 12.3 | 6.7 | 8.9 | 26.3 | 15.1 | 2.2 | 11.7 | 5.6 | 5.6 | 7.8 |
| | 40歳代 | 263 | 17.5 | 21.3 | 9.9 | 14.1 | 10.6 | 9.5 | 12.2 | 12.5 | 9.5 | 3.4 | 7.6 | 4.6 | 3.0 | 7.2 |
| | 50歳代 | 305 | 14.8 | 18.7 | 14.8 | 14.8 | 12.5 | 14.4 | 11.8 | 10.8 | 11.8 | 5.9 | 9.5 | 5.6 | 3.6 | 4.3 |
| | 60歳代 | 301 | 13.6 | 10.0 | 15.9 | 15.9 | 12.6 | 12.0 | 13.0 | 10.0 | 8.3 | 11.6 | 8.0 | 5.3 | 2.0 | 4.0 |
| | 70歳代以上 | 542 | 11.1 | 9.8 | 14.2 | 13.8 | 16.4 | 15.9 | 13.8 | 11.8 | 9.8 | 11.4 | 9.2 | 7.0 | 2.4 | 8.1 |
| | 女性 | 2607 | 14.4 | 14.5 | 13.2 | 12.6 | 12.7 | 12.9 | 12.1 | 12.0 | 5.8 | 7.1 | 4.6 | 5.0 | 2.9 | 6.2 |
| | 10歳代 | 29 | 3.4 | 24.1 | 6.9 | 17.2 | 10.3 | 3.4 | - | - | 3.4 | 3.4 | 6.9 | 6.9 | 6.9 | 3.4 |
| | 20歳代 | 170 | 19.4 | 15.3 | 12.4 | 4.7 | 11.8 | 9.4 | 13.5 | 18.2 | 10.6 | 4.1 | 5.3 | 7.6 | 4.1 | 7.6 |
| | 30歳代 | 291 | 30.9 | 23.7 | 8.2 | 11.0 | 11.3 | 7.6 | 8.2 | 29.6 | 5.8 | 3.8 | 5.2 | 5.2 | 2.1 | 9.3 |
| | 40歳代 | 435 | 20.5 | 23.7 | 13.6 | 11.3 | 12.0 | 11.7 | 10.3 | 10.1 | 6.0 | 3.7 | 3.9 | 4.6 | 4.1 | 7.4 |
| | 50歳代 | 429 | 11.9 | 13.3 | 15.6 | 13.5 | 11.2 | 12.4 | 12.4 | 10.5 | 5.8 | 5.8 | 3.7 | 6.3 | 2.8 | 3.7 |
| 60歳代 | 449 | 11.4 | 11.8 | 16.0 | 11.6 | 15.1 | 16.3 | 11.1 | 13.1 | 5.8 | 7.8 | 4.7 | 3.1 | 3.1 | 4.7 | |
| 70歳代以上 | 684 | 7.2 | 7.6 | 12.3 | 15.8 | 13.6 | 14.2 | 15.4 | 5.0 | 4.8 | 12.3 | 5.0 | 5.0 | 1.9 | 7.0 | |
| 居住区別 | 堺区 | 761 | 16.6 | 13.9 | 15.4 | 13.0 | 15.0 | 12.9 | 13.3 | 12.9 | 8.9 | 6.8 | 7.4 | 7.1 | 3.0 | 7.1 |
| | 中区 | 625 | 15.2 | 15.0 | 10.2 | 10.2 | 11.8 | 10.4 | 12.5 | 11.0 | 8.5 | 5.0 | 6.2 | 5.4 | 1.9 | 6.1 |
| | 東区 | 469 | 14.1 | 14.3 | 15.6 | 12.6 | 16.0 | 14.1 | 9.6 | 13.0 | 6.6 | 5.5 | 5.5 | 4.5 | 2.1 | 6.4 |
| | 西区 | 737 | 14.1 | 14.7 | 15.9 | 14.2 | 15.5 | 13.6 | 11.9 | 11.9 | 7.7 | 7.5 | 6.0 | 6.8 | 2.6 | 6.6 |
| | 南区 | 843 | 12.6 | 13.5 | 12.2 | 12.3 | 10.0 | 14.0 | 13.2 | 9.7 | 8.3 | 9.5 | 6.9 | 4.6 | 4.3 | 7.1 |
| | 北区 | 869 | 15.2 | 15.0 | 12.7 | 15.9 | 11.2 | 12.4 | 12.2 | 15.1 | 6.1 | 8.3 | 5.6 | 4.7 | 2.9 | 6.7 |
| | 美原区 | 211 | 10.4 | 13.7 | 10.4 | 16.1 | 14.2 | 11.4 | 14.2 | 9.5 | 6.2 | 8.5 | 3.8 | 5.7 | 1.9 | 4.3 |
| 居住年数別 | 2年未満 | 80 | 17.5 | 13.8 | 7.5 | 6.3 | 8.8 | 3.8 | 13.8 | 17.5 | 2.5 | 5.0 | 2.5 | 3.8 | 5.0 | 12.5 |
| | 2～5年 | 169 | 17.2 | 11.2 | 17.2 | 16.6 | 11.2 | 7.1 | 16.0 | 17.2 | 7.1 | 4.1 | 4.1 | 5.3 | 3.0 | 7.7 |
| | 5～10年 | 247 | 19.8 | 21.5 | 12.6 | 15.4 | 8.1 | 7.3 | 11.7 | 17.8 | 6.5 | 3.6 | 6.9 | 5.7 | 3.2 | 8.9 |
| | 10～20年 | 587 | 17.2 | 21.0 | 11.8 | 12.8 | 12.4 | 10.7 | 9.5 | 9.4 | 8.0 | 5.6 | 5.8 | 5.3 | 6.3 | 6.5 |
| | 20年以上 | 3265 | 13.1 | 12.9 | 14.0 | 12.9 | 13.5 | 13.8 | 12.4 | 12.0 | 7.8 | 8.2 | 6.3 | 5.7 | 2.2 | 6.2 |
| ライフサイクル別 | 若者 | 324 | 14.5 | 15.7 | 10.2 | 6.8 | 10.2 | 10.2 | 10.2 | 11.7 | 8.3 | 4.3 | 5.2 | 8.6 | 3.1 | 10.2 |
| | 夫婦 | 406 | 13.8 | 9.6 | 18.2 | 14.3 | 12.6 | 9.4 | 12.6 | 11.1 | 8.6 | 4.9 | 4.2 | 5.2 | 3.9 | 5.7 |
| | 育児期 | 436 | 36.5 | 27.3 | 12.8 | 11.9 | 11.9 | 6.9 | 8.7 | 34.2 | 6.9 | 3.4 | 6.9 | 4.6 | 2.3 | 7.1 |
| | 教育期 | 649 | 25.1 | 33.9 | 10.5 | 10.6 | 10.9 | 8.9 | 8.9 | 12.3 | 6.6 | 3.5 | 6.5 | 4.8 | 4.8 | 7.1 |
| | 単身高齢者 | 303 | 6.9 | 9.6 | 15.5 | 13.9 | 13.9 | 16.2 | 17.5 | 5.6 | 4.3 | 12.9 | 5.3 | 6.3 | 1.7 | 8.6 |
| 高齢者夫婦 | 813 | 10.1 | 9.0 | 14.8 | 14.0 | 14.6 | 13.9 | 12.3 | 10.9 | 7.5 | 12.4 | 8.1 | 6.4 | 2.2 | 8.0 | |

※ は全体より10ポイント以上、 は全体より5ポイント以上高い
 ※表は複数回答 単位: %

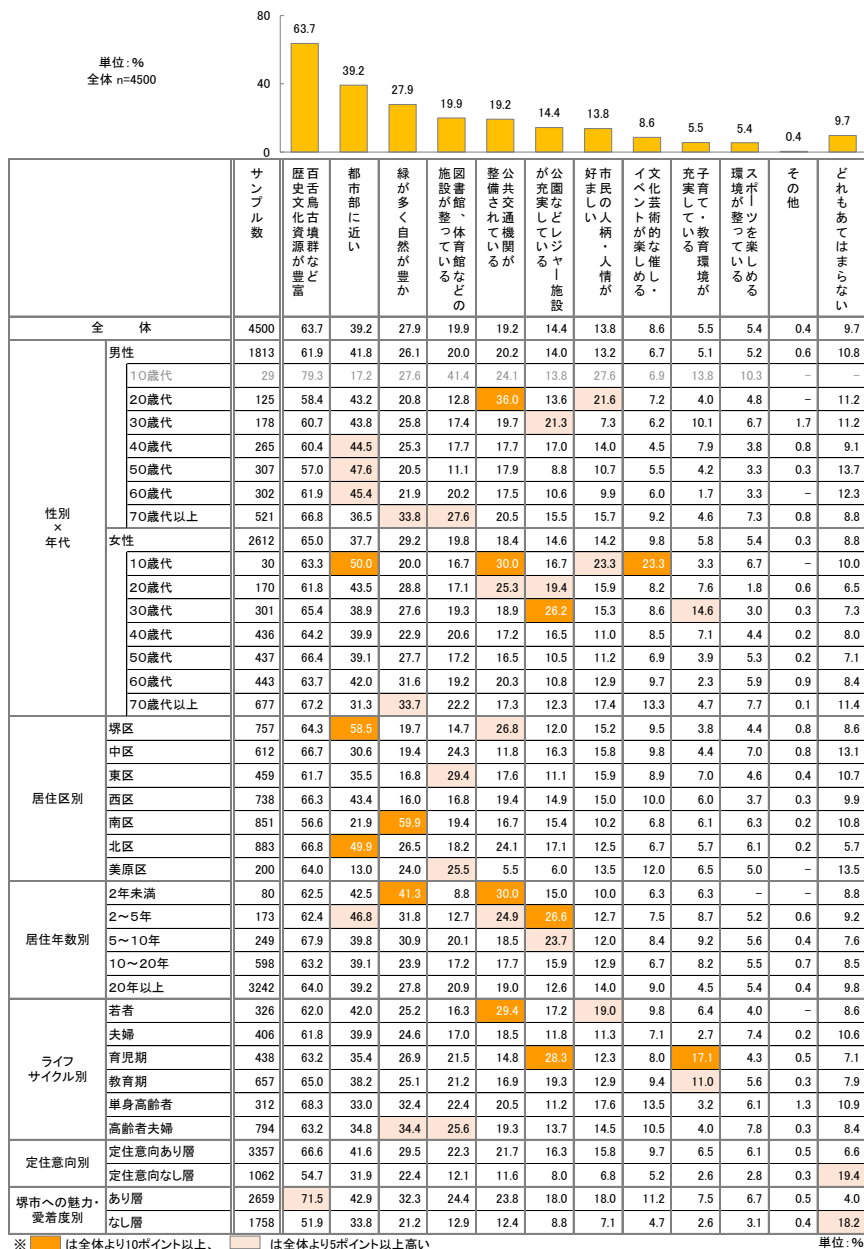
3. 堺市の魅力としてあてはまるものをすべてお選びください。

堺市の魅力については、「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」が63.7%と特に高くなっている。次いで、「都市部に近い」39.2%、「緑が多く自然が豊か」27.9%があがっている。

居住区別にみると、堺区、北区で「都市部に近い」、南区で「緑が多く自然が豊か」が高くなっている。

居住年数別にみると、2年未満の新規住民層で「緑が多く自然が豊か」「公共交通機関が整備されている」が高くなっている。

堺市への魅力・愛着度別にみると、あり層は全体的に割合が高くなっているが、特に「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」が71.5%と高くなっている。



* 「定住意向別」… 問 1A②「これからも堺市に住み続けたいですか。」(P12)にて「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した方=定住意向あり層、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「思わない」と回答した方=定住意向なし層と設定。
 * 「堺市への魅力・愛着度別」… 問 1A④「堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。」(P14)にて「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した方=あり層、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「思わない」と回答した方=なし層と設定。

2. 具体的な不満点

1. 堺市における災害対策として不十分だと思うものをすべてお選びください。

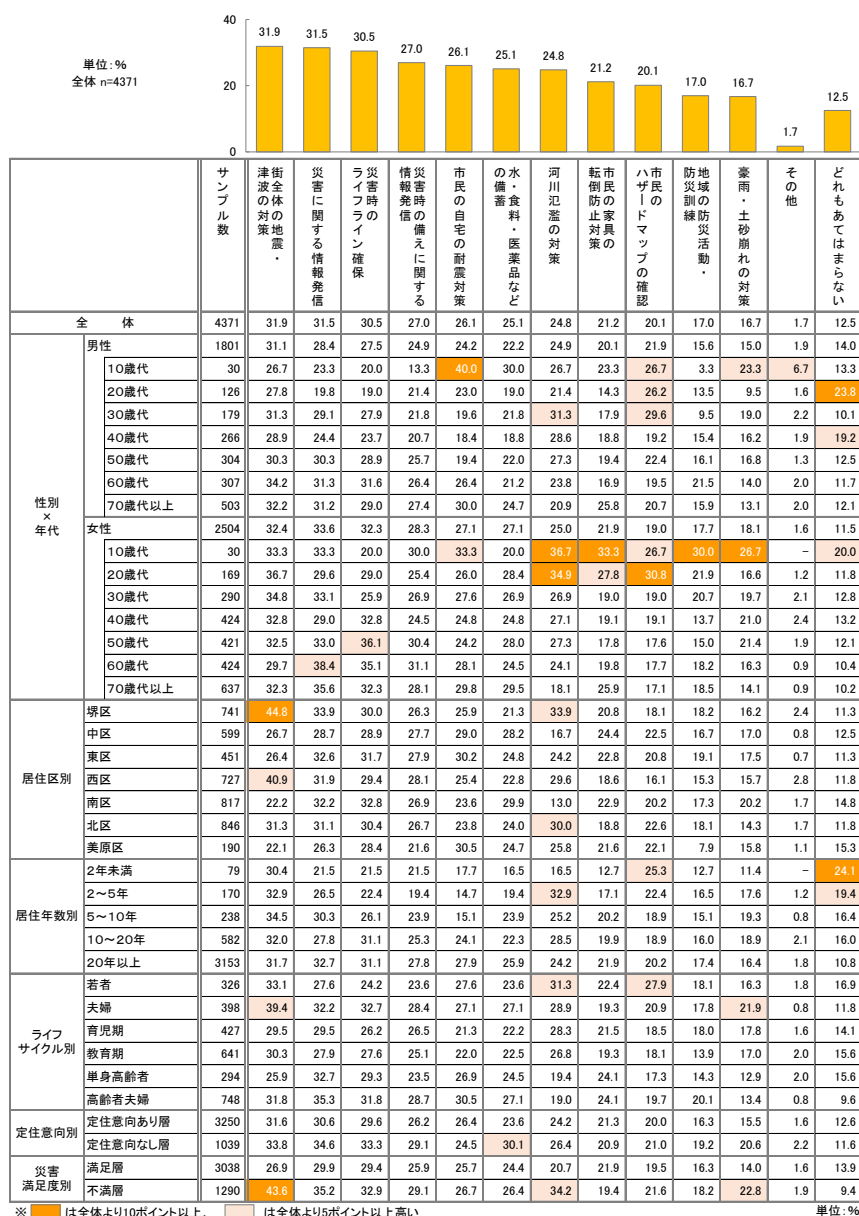
堺市における災害対策として不十分だと思うものについては、「街全体の地震・津波の対策」31.9%、「災害に関する情報発信」31.5%、「災害時のライフライン確保」30.5%が3割以上で上位である。

性別でみると、女性は「災害に関する情報発信」が最も高くなっている。

居住区別では、堺区では「街全体の地震・津波の対策」が44.8%と高くなっている。

居住年数別にみると、居住年数が長いほど「どれもあてはまらない」が低く、なんらかの不足を感じているといえる。

災害満足度別にみた不満層は、「街全体の地震・津波の対策」が43.6%と高い。その他、「河川氾濫の対策」「豪雨・土砂崩れの対策」など、ハード面に関する項目が高くなっている。



* 「災害満足度別」… 問2「堺市での暮らしに関して⑨災害の少なさ」(P51)にて「とても良いと思う」「まあ良いと思う」と回答した方＝満足層、「どちらともいえない」「あまり良いと思わない」「良くないと思う」と回答した方＝不満層と設定。

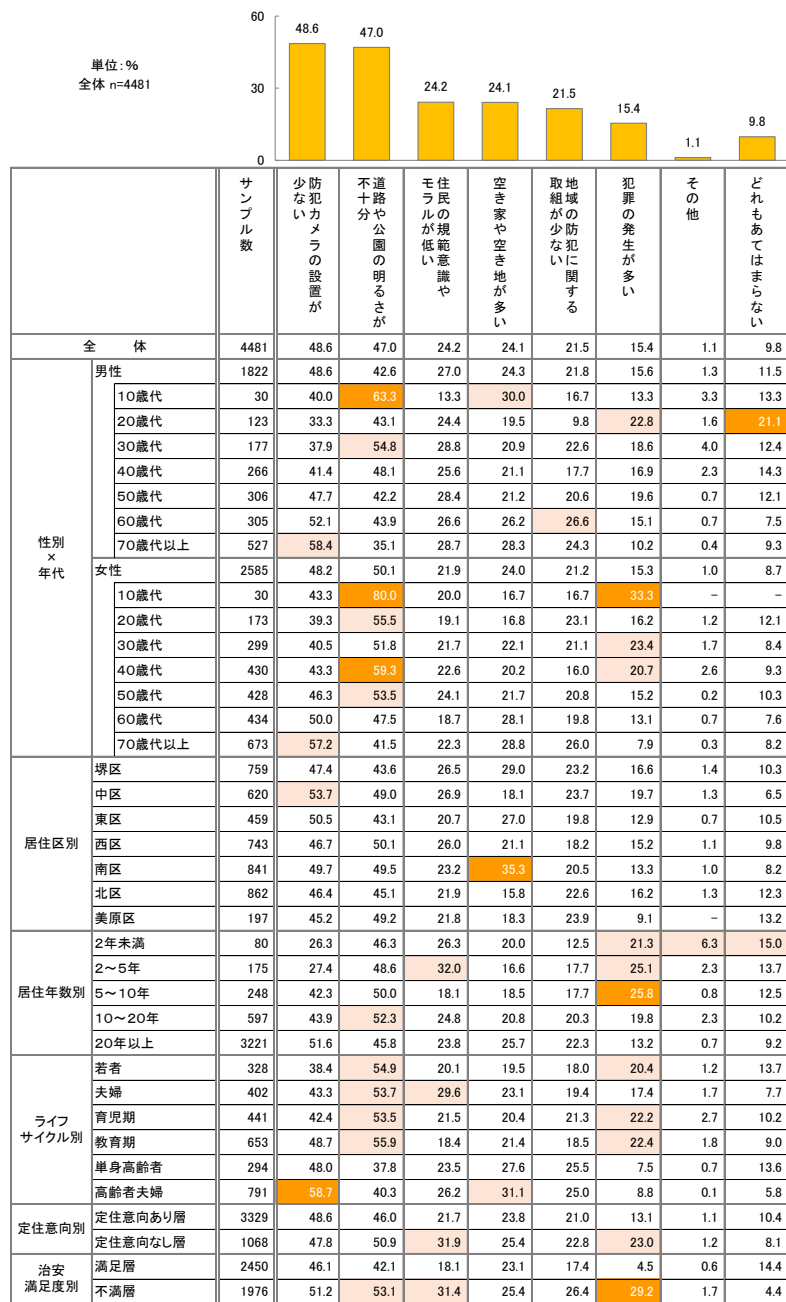
2. 堺市の治安に関する問題としてあてはまると思うものをすべてお選びください。

堺市の治安に関する問題については、「防犯カメラの設置が少ない」48.6%、「道路や公園の明るさが不十分」47.0%の2項目が高い。

性別×年代で見ると、女性は「道路や公園の明るさが不十分」が50.1%で最も高い。男女とも10歳代では「道路や公園の明るさが不十分」が高くなっている。「防犯カメラの設置が少ない」は、男女とも70歳代以上で高くなっている。

居住区別にみると、南区で「空き家や空き地が多い」が高い。

治安満足度別にみた不満層は、全体的に割合が高いが、特に「犯罪の発生が多い」が満足層に比べて高くなっている。



* 「治安満足度別」… 問2「堺市での暮らしに関して③治安」(P51)にて「とても良いと思う」「まあ良いと思う」と回答した方=満足層、「どちらともいえない」「あまり良いと思わない」「良くないと思う」と回答した方=不満層と設定。

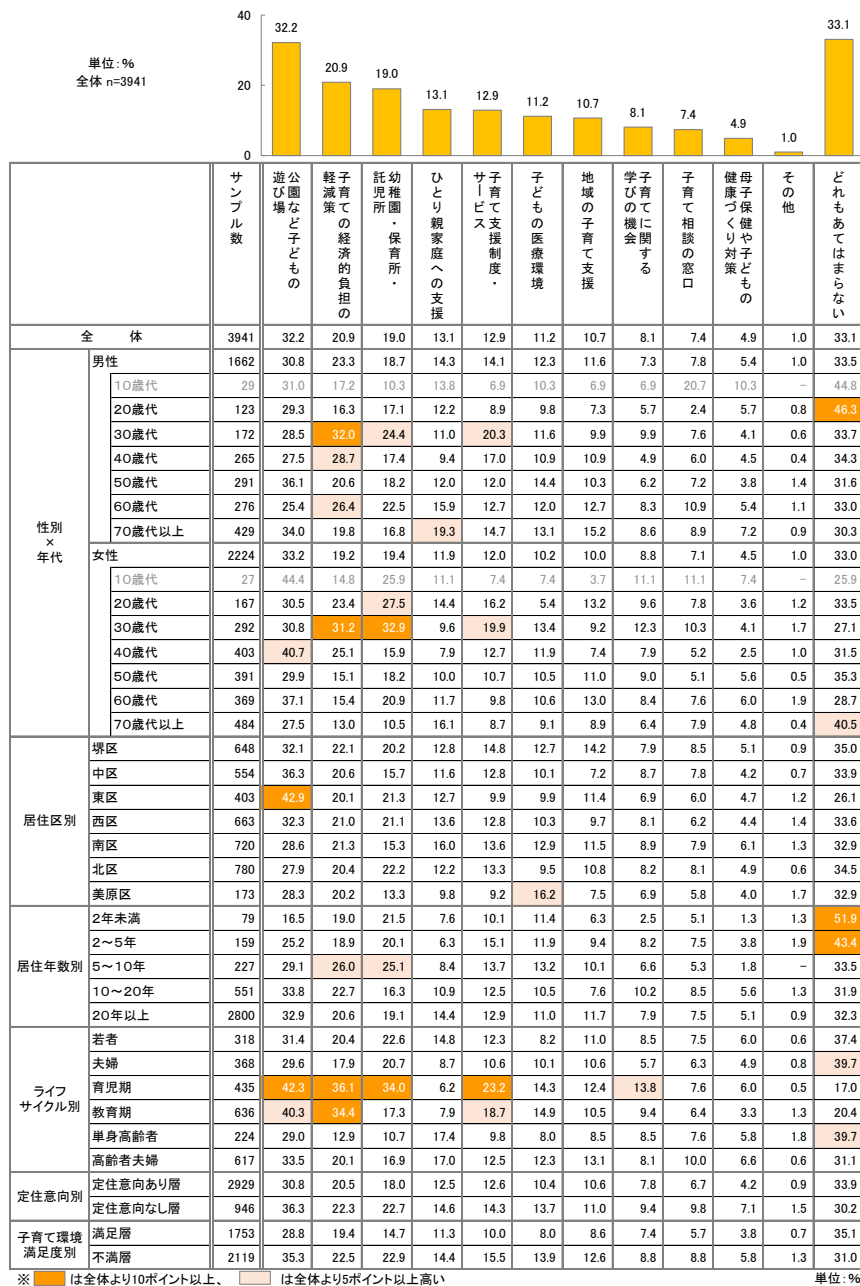
3. 堺市の子育て環境において不十分だと思うものをすべてお選びください。

堺市の子育て環境において不十分だと思うものについては、「公園など子どもの遊び場」32.2%が最も高く、「子育ての経済的負担の軽減策」20.9%、「幼稚園・保育所・託児所」19.0%が約2割で続いている。また、「どれもあてはまらない」が33.1%みられた。

居住区別にみると、東区で「公園など子どもの遊び場」が42.9%と特に高い。

ライフサイクル別にみると、育児期・教育期では「公園など子どもの遊び場」「子育ての経済的負担の軽減策」「子育て支援制度・サービス」が高く、育児期ではさらに「幼稚園・保育所・託児所」「子育てに関する学びの機会」も高くなっている。

子育て環境満足度でみた不満層は、全体的に割合が高くなっているが、全体より5ポイント以上高い項目はみられない。



* 「子育て環境満足度別」…問2「堺市での暮らしに関して⑤子育て環境」(P51)にて「とても良いと思う」「まあ良いと思う」と回答した方=満足層、「どちらともいえない」「あまり良いと思わない」「良くないと思う」と回答した方=不満層と設定。

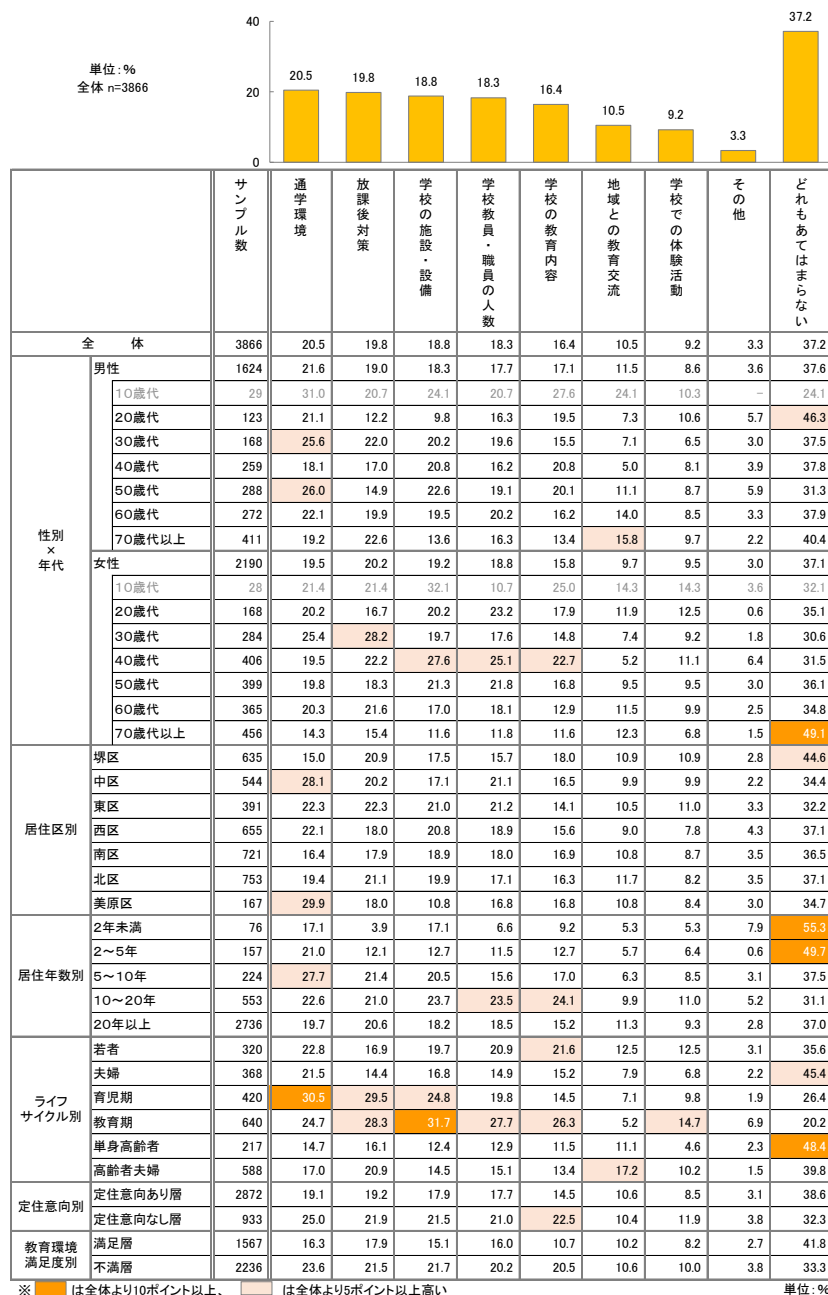
4. 堺市の教育環境において不十分だと思うものをすべてお選びください。

堺市の教育環境において不十分だと思うものについては、「通学環境」20.5%、「放課後対策」19.8%、「学校の施設・設備」18.8%、「学校教員・職員の人数」18.3%の順に上位であるが、「どれもあてはまらない」が37.2%と高くなっている。

居住区別にみると、中区、美原区で「通学環境」が3割弱と高くなっている。

ライフサイクル別にみると、教育期は全体的に割合が高くなっているが、特に「学校の施設・設備」が31.7%と高くなっている。また、「通学環境」は教育期より育児期で高い。

教育環境満足度でみた不満層は、全体的に割合が高くなっているが、全体より5ポイント以上高い項目はみられない。



* 「教育環境満足度別」…問2「堺市での暮らしに関して⑥教育環境」(P51)にて「とても良いと思う」「まあ良いと思う」と回答した方＝満足層、「どちらともいえない」「あまり良いと思わない」「良くないと思う」と回答した方＝不満層と設定

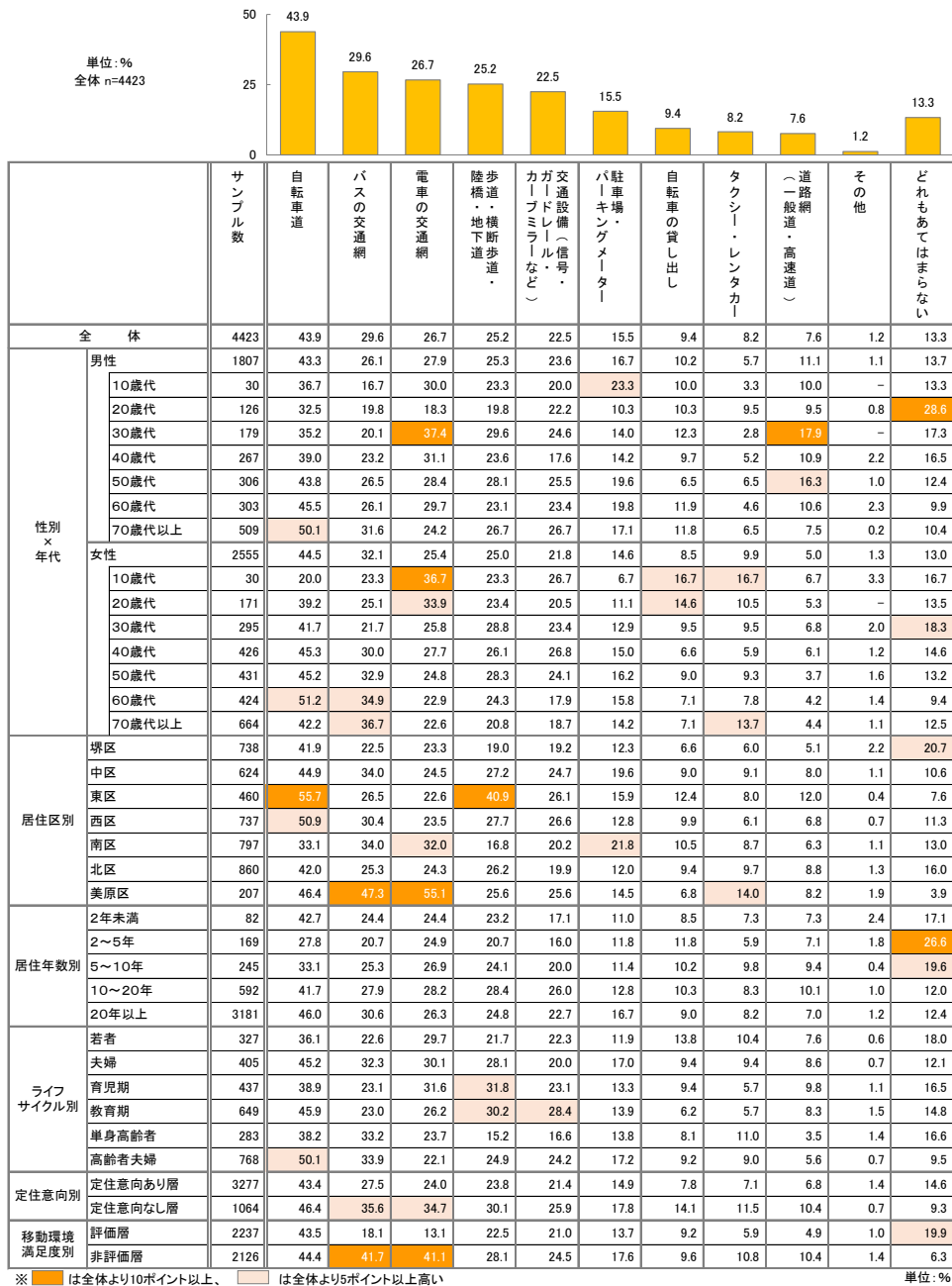
5. 堺市の移動環境において不十分だと思うものをすべてお選びください。

堺市の移動環境において不十分だと思うものについては、「自転車道」が43.9%で特に高くなっている。「バスの交通網」29.6%、「電車の交通網」26.7%、「歩道・横断歩道・陸橋・地下道」25.2%、「交通設備」22.5%が2割台が続いている。

性別×年代でみると、男性30歳代で「電車の交通網」「道路網」、女性10歳代で「電車の交通網」が高くなっている。

居住区別にみると、東区で「自転車道」が55.7%、「歩道・横断歩道・陸橋・地下道」が40.9%、美原区で「電車の交通網」が55.1%、「バスの交通網」が47.3%と高くなっている。

移動環境満足度別にみた非評価層は、「バスの交通網」「電車の交通網」が4割台と高く、定住意向なし層も、この2項目が約3割半と高くなっている。



* 「移動環境満足度別」…問 1F①「堺市は日々の暮らしや仕事の移動が便利なまちだと思いますか。」(P43)にて「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した方=評価層、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「思わない」と回答した方=非評価層と設定。

3. 電子決済（キャッシュレス）について

1. 日常利用している電子決済（キャッシュレス）をすべてお選びください。

日常利用している電子決済(キャッシュレス)については、「クレジットカード決済」が69.2%と特に高く、「ICカード決済」が45.8%、「スマートフォン等を使用したモバイル決済」が23.6%の利用率となっている。利用あり計は80.1%となっている。

性別×年代でみると、利用あり計は、男性77.4%、女性82.1%と、女性の方が高くなっている。特に、「クレジットカード決済」は、男女とも30～50歳代で高いが、男性30～50歳代で7割台なのに対し、女性30～50歳代では8割台となっている。「スマートフォン等を使用したモバイル決済」は、50歳代以下では概ね3割以上の利用率であるが、60歳代では約1割半、70歳代以上では1割未満と、年配層の利用率は低い。70歳代以上では、利用あり計は男女とも62%台と、他の年代に比べて低くなっている。

ライフサイクル別にみると、利用あり計は育児期で92.5%と最も高い。一方、単身高齢者では56.4%と、低くなっている。

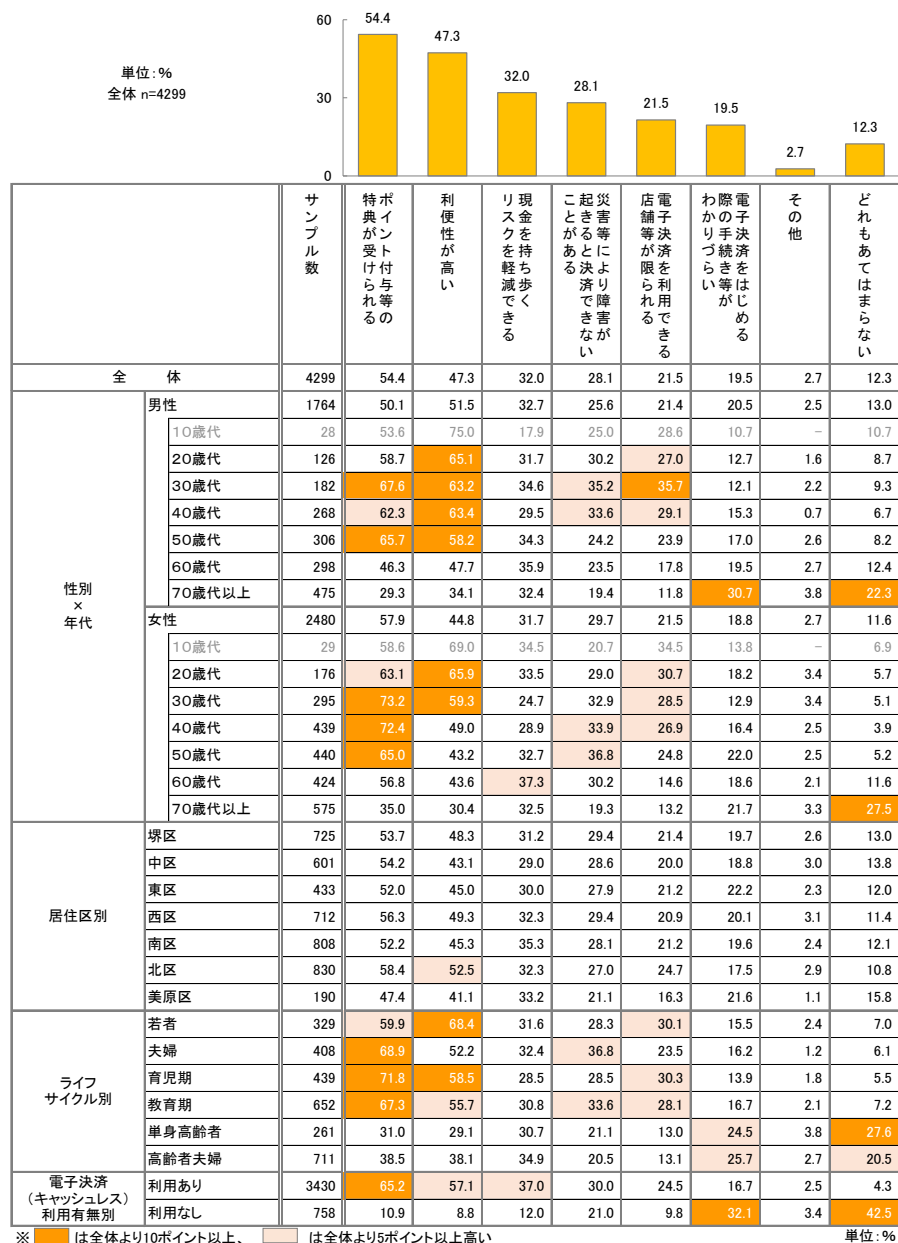


2. 電子決済（キャッシュレス）についてあてはまると思うものを すべてお選びください。

電子決済（キャッシュレス）についてあてはまると思うものについては、「ポイント付与等の特典が受けられる」54.4%、「利便性が高い」47.3%、「現金を持ち歩くリスクを軽減できる」32.0%など、メリットが上位にあげられた。

性別×年代でみると、「ポイント付与等の特典が受けられる」は、女性 30～40 歳代で 7 割以上と高く、「利便性が高い」は、男性 20～50 歳代、女性 20～30 歳代で 5 割以上と高くなっている。また、男性 70 歳代以上は「電子決済をはじめ際の手続き等がわかりづらい」、女性 70 歳代以上は「どれもあてはまらない」が高くなっている。

電子決済（キャッシュレス）利用有無別にみると、利用なし層は、「どれもあてはまらない」が 42.5%、「電子決済をはじめ際の手続き等がわかりづらい」が 32.1%と高くなっている。



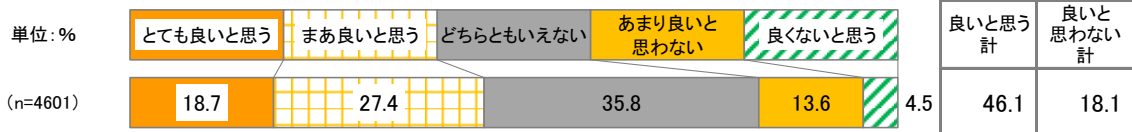
* 「電子決済（キャッシュレス）利用有無別」…問 11「日常利用している電子決済（キャッシュレス）をすべてお選びください。」(P61)にて「クレジットカード決済」「ICカード決済」「スマートフォン等を使用したモバイル決済」「その他」と回答した方=利用あり、「電子決済（キャッシュレス）は利用していない」と回答した方=利用なしと設定。

3. 日常生活において電子決済（キャッシュレス）が普及することについて、 どのように思いますか。

日常生活において電子決済（キャッシュレス）が普及することについてどのように思うかについては、「とても良いと思う」と「まあ良いと思う」を合わせて46.1%となっている。一方、「あまり良いと思わない」と「良くないと思う」を合わせると18.1%となっている。

性別×年代で見ると、男性10～40歳代、女性10～30歳代では、良いと思う人の割合は6割以上と高くなっている。一方、男女とも70歳代以上では、良いと思わない人の割合が3割前後と高くなっている。

電子決済（キャッシュレス）利用有無別にみると、利用なし層は、良いと思わない人の割合が41.4%と高い。



| | | サンプル数 | とても良いと思う | まあ良いと思う | どちらともいえない | あまり良いと思わない | 良くないと思う | 良いと思う計 | 良いと思わない計 |
|----------------------------|----------|-------|----------|---------|-----------|------------|---------|--------|----------|
| 全体 | | 4601 | 18.7 | 27.4 | 35.8 | 13.6 | 4.5 | 46.1 | 18.1 |
| 性別×年代 | 男性 | 1861 | 22.5 | 26.5 | 32.5 | 13.6 | 4.9 | 49.0 | 18.5 |
| | 10歳代 | 30 | 33.3 | 33.3 | 23.3 | 10.0 | - | 66.6 | 10.0 |
| | 20歳代 | 130 | 40.8 | 26.2 | 23.8 | 6.2 | 3.1 | 67.0 | 9.3 |
| | 30歳代 | 182 | 39.0 | 29.7 | 23.6 | 6.0 | 1.6 | 68.7 | 7.6 |
| | 40歳代 | 272 | 27.9 | 36.4 | 25.0 | 8.5 | 2.2 | 64.3 | 10.7 |
| | 50歳代 | 311 | 26.7 | 31.8 | 28.6 | 8.4 | 4.5 | 58.5 | 12.9 |
| | 60歳代 | 312 | 16.7 | 26.6 | 38.5 | 14.7 | 3.5 | 43.3 | 18.2 |
| | 70歳代以上 | 532 | 10.7 | 17.9 | 38.3 | 24.1 | 9.0 | 28.6 | 33.1 |
| | 女性 | 2674 | 16.4 | 28.2 | 37.8 | 13.5 | 4.0 | 44.6 | 17.5 |
| | 10歳代 | 30 | 23.3 | 43.3 | 30.0 | 3.3 | - | 66.6 | 3.3 |
| | 20歳代 | 177 | 37.3 | 33.3 | 23.2 | 4.0 | 2.3 | 70.6 | 6.3 |
| | 30歳代 | 300 | 27.0 | 37.7 | 24.7 | 8.3 | 2.3 | 64.7 | 10.6 |
| | 40歳代 | 444 | 23.2 | 31.8 | 32.7 | 10.8 | 1.6 | 55.0 | 12.4 |
| | 50歳代 | 445 | 16.6 | 31.9 | 39.1 | 10.3 | 2.0 | 48.5 | 12.3 |
| 60歳代 | 461 | 10.8 | 25.4 | 46.2 | 13.9 | 3.7 | 36.2 | 17.6 | |
| 70歳代以上 | 699 | 6.7 | 20.0 | 43.3 | 21.7 | 8.2 | 26.7 | 29.9 | |
| 居住区別 | 堺区 | 771 | 18.3 | 28.8 | 34.0 | 14.8 | 4.2 | 47.1 | 19.0 |
| | 中区 | 645 | 17.4 | 25.7 | 37.4 | 14.4 | 5.1 | 43.1 | 19.5 |
| | 東区 | 469 | 15.1 | 26.4 | 39.9 | 13.4 | 5.1 | 41.5 | 18.5 |
| | 西区 | 762 | 20.7 | 29.4 | 34.4 | 11.2 | 4.3 | 50.1 | 15.5 |
| | 南区 | 855 | 17.5 | 28.7 | 35.4 | 13.3 | 5.0 | 46.2 | 18.3 |
| | 北区 | 892 | 21.3 | 27.5 | 34.0 | 13.7 | 3.6 | 48.8 | 17.3 |
| | 美原区 | 207 | 18.4 | 17.4 | 43.5 | 16.9 | 3.9 | 35.8 | 20.8 |
| | ライフサイクル別 | 若者 | 337 | 36.5 | 31.5 | 24.6 | 5.0 | 2.4 | 68.0 |
| 夫婦 | 414 | 23.9 | 32.6 | 31.4 | 9.4 | 2.7 | 56.5 | 12.1 | |
| 育児期 | 445 | 31.9 | 33.3 | 24.9 | 8.5 | 1.3 | 65.2 | 9.8 | |
| 教育期 | 665 | 26.0 | 32.8 | 30.5 | 7.7 | 3.0 | 58.8 | 10.7 | |
| 単身高齢者 | 308 | 9.1 | 17.5 | 44.5 | 19.2 | 9.7 | 26.6 | 28.9 | |
| 高齢者夫婦 | 817 | 8.6 | 20.9 | 41.1 | 22.5 | 6.9 | 29.5 | 29.4 | |
| 電子決済 (キャッシュレス) 利用有無別 | 利用あり | 3513 | 23.5 | 33.0 | 32.3 | 9.3 | 1.9 | 56.5 | 11.2 |
| | 利用なし | 860 | 3.1 | 9.8 | 45.7 | 28.0 | 13.4 | 12.9 | 41.4 |

※ は全体より10ポイント以上、 は全体より5ポイント以上高い

単位：%

4. 転入・転出について

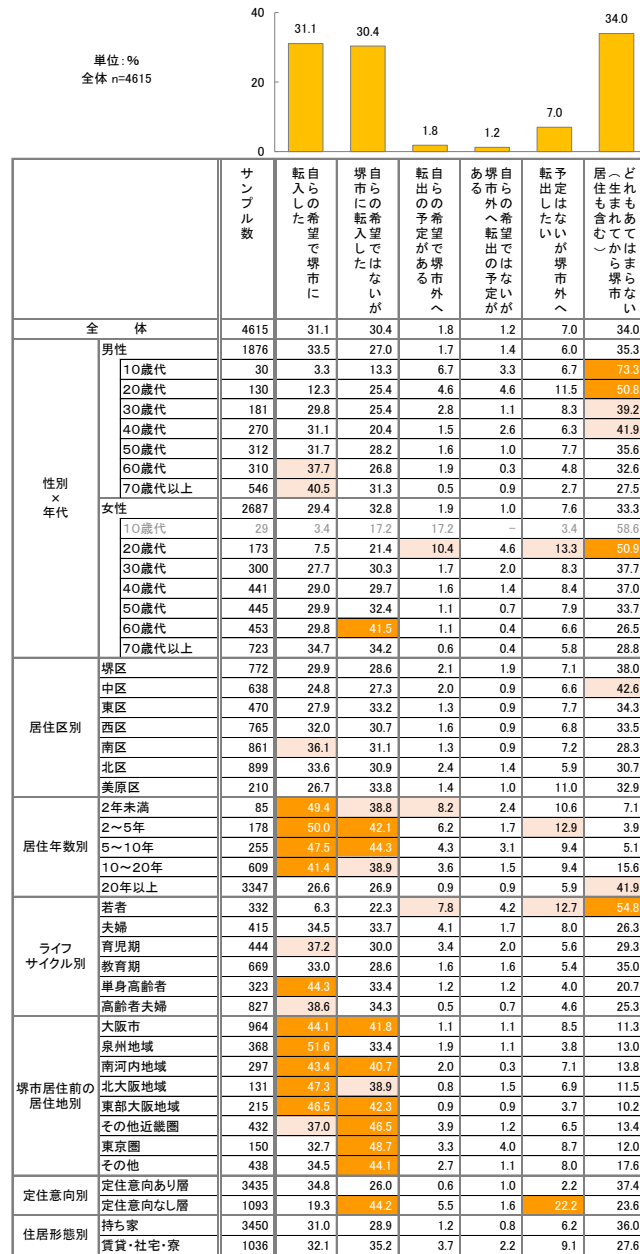
1. 堺市への転入や転出について、あてはまるものをすべてお聞かせください。

堺市への転入や転出については、「どれもあてはまらない（生まれてから堺市居住も含む）」34.0%、「自らの希望で堺市に転入した」31.1%、「自らの希望ではないが、堺市に転入した」30.4%が3割前半で上位となっている。転出予定・転出希望は、いずれも1割未満。

性別×年代で見ると、「どれもあてはまらない（生まれてから堺市居住も含む）」は、男女とも年代が下がるほど高くなる傾向である。

居住区別にみると、中区では「どれもあてはまらない（生まれてから堺市居住も含む）」、南区では「自らの希望で堺市に転入した」が他区に比べて高い。

定住意向別にみると、定住意向なし層は、「自らの希望ではないが、堺市に転入した」「予定はないが堺市外へ転出したい」が高くなっている。



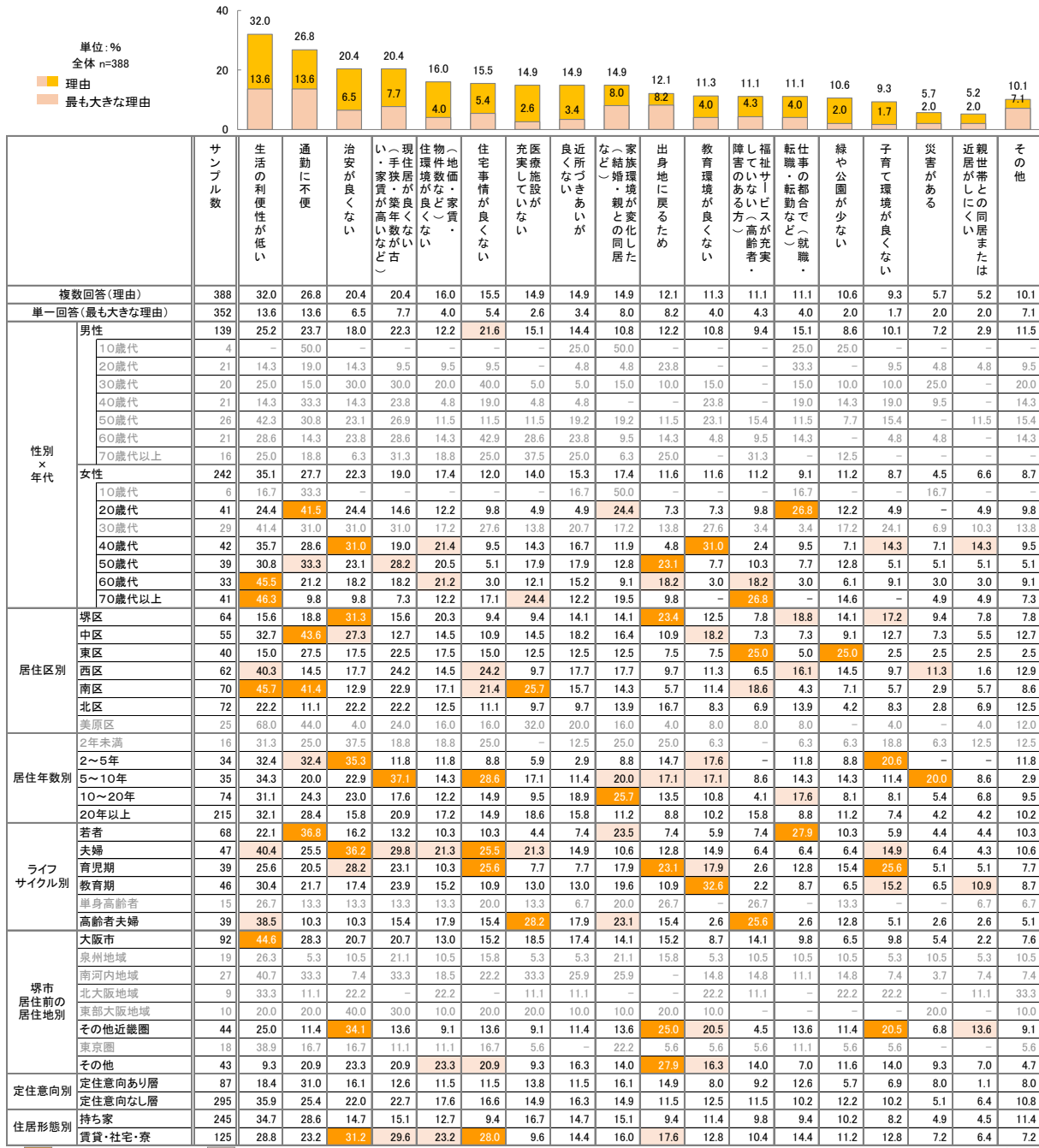
※ 濃いオレンジは全体より10ポイント以上、薄いオレンジは全体より5ポイント以上高い

単位: %

2. 「自らの希望で堺市外へ転出の予定がある」「予定はないが堺市外へ転出したい」をお選びの方にお聞きます。堺市外への転出を希望するのはなぜですか。

堺市外への転出を希望する理由について複数回答でみると、「生活の利便性が低い」32.0%、「通勤に不便」26.8%、「治安が良くない」「現住居が良くない」20.4%が上位となっている。単一回答でみると、「生活の利便性が低い」「通勤に不便」がいずれも13.6%でトップとなっている。

居住区別にみると、堺区で「治安が良くない」、中区で「通勤に不便」、東区で「福祉サービスが充実していない」「緑や公園が少ない」、南区で「生活の利便性が低い」「通勤に不便」などが高くなっている。



※ は全体より10ポイント以上、 は全体より5ポイント以上高い
※表は複数回答 単位: %

3. もし堺市以外に住むとしたら、どこに住みたいと思いますか。

転出の予定がある方は転出予定先をお聞かせください。

堺市以外に住むとしたら、どこに住みたいかについては、「大阪市」が36.4%と特に高い。次いで、「北大阪地域」13.8%、「泉州地域」12.2%となっている。

居住区別でみると、堺区では「大阪市」、西区では「泉州地域」、東区、美原区では「南河内地域」が高くなっている。

堺市居住前の居住地別にみると、以前住んでいた地域がそれぞれ高くなっている。



※ 濃いオレンジは全体より10ポイント以上、薄いオレンジは全体より5ポイント以上高い

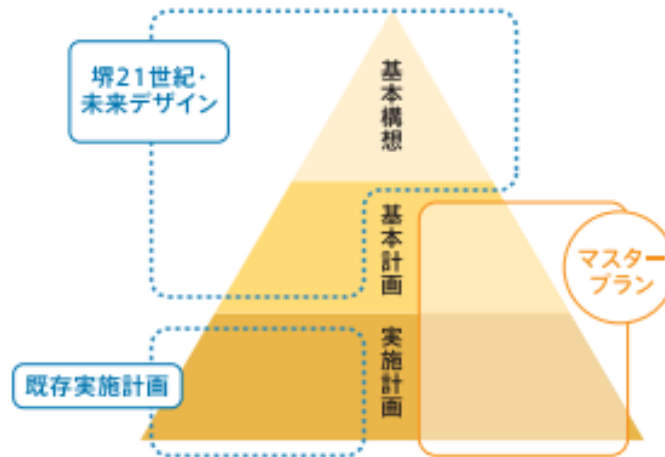
単位: %

Ⅲ. 調査結果の分析

1. マスタープランの成果指標分析

堺市では、堺市総合計画「堺 21 世紀・未来デザイン」（平成 13 年 2 月策定）の基本構想のもと、基本計画と実施計画の要素を併せもった都市経営の基本戦略として、堺市マスタープラン「さかい未来・夢コンパス」を策定している。

その中で将来像実現に向け、7 つの基本政策が設定されており、また、この 7 つの基本政策のもとに、政策を実現するための施策、施策を実行するうえでの事業を位置付け、3 層の体系で構成されている。



《7つの基本政策》

1. 暮らしの確かな安全・安心を確保します
2. 誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します
3. 次代を担う子どもを健やかにはぐみます
4. 産業を振興し、地域の持続的発展を支えます
5. 持続可能な環境共生都市を実現します
6. まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます
7. 地域主権を確立し、真の自治都市を実現します

37の施策

○現状の課題・分析 ○施策展開の方向性 ○成果指標

事業

堺市マスタープランにおける 37 施策において、90 の成果指標が設定されており、そのうちの 34 項目は本調査での項目が設定されており、その結果からマスタープランに対する進捗を確認する。

1. 成果指標の経年比較分析

マスタープランが策定された平成22年度から令和元年度までに市民意識調査は、平成22年度、平成25年度、平成28年度、令和元年度の計4回実施されている。

策定時からの成果指標項目の数値の上昇、低下をみることでより詳細に成果指標の進捗を把握する。

<マスタープラン成果指標 時系列結果一覧>

| 基本政策 | | 施策 | 成果指標 | 目標値 | H22 | H25 | H28 | R01 | 前項(H28)比較 | 目標値設定時との差 | 目標値設定時からの進捗 | 目標値 GAP |
|------------------------------|-------------------------------|--|--|-------|-------|------|------|------|-----------|-----------|-------------|---------|
| 1 暮らしの確かな安全・安心を確保します | 1-1 | 市民の命を守る健康・医療体制の強化 | 「突然のけがや病気の場合、受入体制は十分である」と答えた人の割合 | 90.0 | 52.3 | 56.0 | 48.6 | 49.0 | 0.4 | -3.3 | → | 41.0 |
| | 1-2 | 地域全体で支える福祉の仕組みづくり | 「困った時に相談できた助けてくれる人が身近にいる」と答えた人の割合 | 90.0 | 76.6 | 76.3 | 60.6 | 51.8 | -8.8 | -24.8 | ↓ | 38.2 |
| | 1-4 | 人権を尊重するまちづくりの推進 | 「一人ひとりの自由や人権が守られ、誰もが個性を活かして、自分らしく生活することができる」と答えた人の割合 | 90.0 | 56.5 | 59.3 | 50.0 | 42.8 | -7.2 | -13.7 | ↓ | 47.2 |
| | 1-6 | 市民・事業者・警察等との連携・協働による生活安全対策の推進 | 「近隣の治安について不安である」と答えた人の割合 | 10%以下 | 44.8 | 42.1 | 46.6 | 19.0 | -27.6 | -25.8 | ↑ | 9.0 |
| | 1-7 | 地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進 | 「堺は災害に強いまちである」と答えた人の割合 | 70.0 | 40.1 | 38.6 | 48.9 | 51.6 | 2.7 | 11.5 | ↑ | 18.4 |
| | 2-1 | 歴史文化を活かしたまちづくりの推進 | 「堺の豊かな歴史資源や文化資源を身近に感じることができる」と答えた人の割合 | 90.0 | 39.0 | 42.0 | 58.7 | 62.4 | 3.7 | 23.4 | ↑ | 27.6 |
| | 2-2 | 文化芸術活動の振興 | 「文化芸術活動をしやすいまちである」と答えた人の割合 | 70.0 | 34.9 | 37.3 | 31.6 | 35.2 | 3.6 | 0.3 | → | 34.8 |
| 2 誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します | 2-3 | 生活環境の充実と地域社会活動の推進 | 「生涯学習や文化活動に取り組んでいる」と答えた人の割合 | 50.0 | 25.2 | 24.2 | 25.4 | 25.6 | 0.2 | 0.4 | → | 24.4 |
| | 2-3 | 図書館や文化教室などにおける生涯学習の環境が整っている | 「図書館や文化教室などにおける生涯学習の環境が整っている」と答えた人の割合 | 90.0 | 52.8 | 54.9 | 42.2 | 42.0 | -0.2 | -10.8 | ↓ | 48.0 |
| | 2-4 | スポーツと健康づくりの推進 | 「定期的に血圧や体重を測定し、自分自身の健康状態をチェックしている」と答えた人の割合 | 100.0 | 70.4 | 71.0 | 77.7 | 74.0 | -3.7 | 3.6 | → | 26.0 |
| | 2-5 | 男女共同参画の推進 | 「年齢や性別にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っている」と答えた人の割合 | 70.0 | 27.1 | 28.9 | 34.1 | 31.2 | -2.9 | 4.1 | → | 38.8 |
| | 2-6 | 良好な居住環境の形成 | 「まちなみの美しさに対する満足度」 | 70.0 | 31.9 | 45.0 | 41.7 | 35.2 | -6.5 | 3.3 | → | 34.8 |
| | 2-6 | 良好な居住環境の形成 | 「緑を増やしたり、守ることに取り組んでいる」と答えた人の割合 | 70.0 | 45.8 | 40.9 | 40.2 | 48.0 | 7.8 | 2.2 | → | 22.0 |
| 3 次世代を担う子どもを健やかに育てます | 3-1 | 子育て世帯への支援と負担の軽減 | 「子育てに対して不安や負担を感じる」と答えた人の割合 | 10%以下 | 49.7 | 47.6 | 30.7 | 26.4 | -4.3 | -23.3 | ↑ | 16.4 |
| | 3-1 | 子育てがしやすいまちである | 「子育てがしやすいまちである」と答えた人の割合 | 90.0 | 39.3 | 42.4 | 46.5 | 51.6 | 5.1 | 12.3 | ↑ | 38.4 |
| | 3-2 | 社会全体で子どもをばくむ仕組みづくり | 「地域の人が子どもの教育によく関わっている」と答えた人の割合 | 70.0 | 29.8 | 30.5 | 29.3 | 35.1 | 5.8 | 5.3 | ↑ | 34.9 |
| | 3-2 | 社会全体で子どもをばくむ仕組みづくり | 「子育てに対して身近に相談できる環境がある」と答えた人の割合 | 90.0 | 53.9 | 53.1 | 42.9 | 42.0 | -0.9 | -11.9 | ↓ | 48.0 |
| 3-4 | 教育・生活環境の充実 | 「教育環境が良いまちである」と答えた人の割合 | 90.0 | 34.6 | 37.6 | 45.3 | 48.3 | 3.0 | 13.7 | ↑ | 41.7 | |
| 4 産業を振興し、地域の持続的発展を支えます | 4-6 | 元来農業・農空間のあるまちづくりの推進 | 「できる限り、地元で採れた食材・食品を食べている」と答えた人の割合 | 100.0 | 57.8 | 58.3 | 45.8 | 42.8 | -3.0 | -15.0 | ↓ | 57.2 |
| 5 持続可能な環境共生都市を実現します | 5-1 | 市民の環境文化の創造 | 「節電や省エネルギーに取り組んでいる」と答えた人の割合 | 100.0 | 86.5 | 87.6 | 77.8 | 73.3 | -4.5 | -13.2 | ↓ | 26.7 |
| | 5-1 | 市民の環境文化の創造 | 「買い物の際に買い物袋を持参している」と答えた人の割合 | 100.0 | 53.5 | 56.4 | 65.9 | 75.3 | 9.4 | 21.8 | ↑ | 24.7 |
| | 5-2 | 循環型社会推進と自然環境の保全・再生 | 「ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる」と答えた人の割合 | 100.0 | 86.3 | 84.7 | 80.2 | 80.8 | 0.6 | -5.5 | ↓ | 19.2 |
| | 5-3 | 省エネルギー・省CO2の推進と再生可能エネルギーの活用による産業構造の転換 | 「堺の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っている」と答えた人の割合 | 50.0 | 24.7 | 26.1 | 22.1 | 23.4 | 1.3 | -1.3 | → | 26.6 |
| | 5-4 | 人と環境に優しい交通体系の構築など低炭素型都市構造への変革 | 「できる限り、バスや電車などの公共交通を使っている」と答えた人の割合 | 90.0 | 63.0 | 61.4 | 60.8 | 57.7 | -3.1 | -5.3 | ↓ | 32.3 |
| 5-4 | 人と環境に優しい交通体系の構築など低炭素型都市構造への変革 | 「近隣の移動の際は、できる限り徒歩や自転車で行くようにしている」と答えた人の割合 | 90.0 | 81.5 | 78.6 | 72.6 | 74.7 | 2.1 | -6.8 | ↓ | 15.3 | |
| 6 まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます | 6-1 | 都心・地域や各地域拠点の活性化 | 「遊びやレクリエーションを主に堺市内で行っている」と答えた人の割合 | 50.0 | 44.7 | 43.9 | 78.1 | 71.3 | -6.8 | 26.6 | ↑ | -21.3 |
| | 6-1 | 都心・地域や各地域拠点の活性化 | 「堺のまちの中心部はにぎわっていると感じている」と答えた人の割合 | 70.0 | 30.2 | 30.0 | 21.6 | 28.2 | 6.6 | -2.0 | → | 41.8 |
| | 6-3 | 利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成 | 「日々の暮らしや仕事において堺市内の移動は便利である」と答えた人の割合 | 70.0 | 47.3 | 49.1 | 48.7 | 52.4 | 3.7 | 5.1 | ↑ | 17.6 |
| | 6-4 | 歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出 | 「堺には、海外の人が訪れたい魅力があるスポットがある」と答えた人の割合 | 50.0 | 24.9 | 25.9 | 38.0 | 38.1 | 0.1 | 13.2 | ↑ | 11.9 |
| | 6-5 | 国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり | 「海外の人たちと積極的に交流している」と答えた人の割合 | 30.0 | 7.2 | 7.2 | 7.3 | 14.0 | 6.7 | 6.8 | ↑ | 16.0 |
| 6-5 | 国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり | 「国際協力・国際貢献の活動に参加している」と答えた人の割合 | 30.0 | 4.6 | 4.4 | 4.4 | 5.5 | 1.1 | 0.9 | → | 24.5 | |
| 7 地域主権を確立し、真の自治都市を実現します | 7-2 | 市民の満足につながる行政サービスの向上 | 「市政全般に満足している」と答えた人の割合 | 50.0 | 19.1* | 30.0 | 42.1 | 42.9 | 0.8 | 23.8 | ↑ | 7.1 |
| | 7-3 | 市民の自主的な活動・協働の推進 | 「地域での様々な活動が活発である」と答えた人の割合 | 70.0 | 33.3 | 35.6 | 47.5 | 54.4 | 6.9 | 21.1 | ↑ | 15.6 |
| | 7-4 | 区域の特色を活かしたまちづくりの推進 | 「自分が住んでいる区の特徴を知っている」と答えた人の割合 | 50.0 | 26.4 | 26.3 | 20.3 | 24.5 | 4.2 | -1.9 | → | 25.5 |

- ↑ …目標設定時から10ポイント以上改善している
- ↓ …目標設定時から10ポイント以上低下している
- ↑ …目標設定時から5ポイント以上上昇している
- ↓ …目標設定時から5ポイント以上低下している
- …目標設定時からプラスマイナス5ポイント以内

マスタープラン策定時（H22）から10ポイント以上の変動がみられたものを抜粋し、「そう思う」・「ある程度そう思う」という意識評価と、「あてはまる」・「ある程度あてはまる」という行動評価をそれぞれ分類した。

＜マスタープラン成果指標（意識評価）時系列結果 10ポイント以上上昇項目（抜粋）＞

| 基本政策 | 施策 | 成果指標 | 目標値 | H22 | H25 | H28 | R01 | 前回(H28)比較 | 単位：% | | |
|------------------------------|----------------------------|---------------------------------------|------|-------|------|------|------|-----------|-------------|-------------|--------|
| | | | | | | | | | 目標値設定時とのGAP | 目標値設定時からの進捗 | 目標値GAP |
| 1 暮らしの確かな安全・安心を確保します | 1-7 地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進 | 「堺は災害に強いまちであると答えた人の割合」 | 70.0 | 40.1 | 38.6 | 48.9 | 51.6 | 2.7 | 11.5 | ↑ | 18.4 |
| 2 誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します | 2-1 歴史文化を活かしたまちづくりの推進 | 「堺の豊かな歴史資源や文化資源を身近に感じることができる」と答えた人の割合 | 90.0 | 39.0 | 42.0 | 58.7 | 62.4 | 3.7 | 23.4 | ↑ | 27.6 |
| 3 次代を担う子どもを健やかにぐくみます | 3-1 子育て世帯への支援と負担の軽減 | 「子育てがしやすいまちであると答えた人の割合」 | 90.0 | 39.3 | 42.4 | 46.5 | 51.6 | 5.1 | 12.3 | ↑ | 38.4 |
| | 3-4 教育・生活環境の充実 | 「教育環境が良いまちであると答えた人の割合」 | 90.0 | 34.6 | 37.6 | 45.3 | 48.3 | 3.0 | 13.7 | ↑ | 41.7 |
| 6 まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます | 6-4 歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出 | 「堺には、海外の人が訪れたい魅力があるスポーツがある」と答えた人の割合 | 50.0 | 24.9 | 25.9 | 38.0 | 38.1 | 0.1 | 13.2 | ↑ | 11.9 |
| 7 地域主権を確立し、真の自治都市を実現します | 7-2 市民の満足につながる行政サービスの向上 | 「市政全般に満足している」と答えた人の割合 | 50.0 | 19.1* | 30.0 | 42.1 | 42.9 | 0.8 | 23.8 | ↑ | 7.1 |
| | 7-3 市民の自主的な活動・協働の推進 | 「地域での様々な活動が活発である」と答えた人の割合 | 70.0 | 33.3 | 35.6 | 47.5 | 54.4 | 6.9 | 21.1 | ↑ | 15.6 |

＜マスタープラン成果指標（意識評価）時系列結果 10ポイント以上改善項目（抜粋）＞

| 基本政策 | 施策 | 成果指標 | 目標値 | H22 | H25 | H28 | R01 | 前回(H28)比較 | 単位：% | | |
|----------------------|-----------------------------------|----------------------------|-------|------|------|------|------|-----------|-------------|-------------|--------|
| | | | | | | | | | 目標値設定時とのGAP | 目標値設定時からの進捗 | 目標値GAP |
| 1 暮らしの確かな安全・安心を確保します | 1-6 市民・事業者・警察等との連携・協働による生活安全対策の推進 | 「近隣の治安について不安である」と答えた人の割合 | 10%以下 | 44.8 | 42.1 | 46.6 | 19.0 | -27.6 | -25.8 | ↑ | 9.0 |
| 3 次代を担う子どもを健やかにぐくみます | 3-1 子育て世帯への支援と負担の軽減 | 「子育てに対して不安や負担を感じる」と答えた人の割合 | 10%以下 | 49.7 | 47.6 | 30.7 | 26.4 | -4.3 | -23.3 | ↑ | 16.4 |

＜マスタープラン成果指標（行動評価）時系列結果 10ポイント以上上昇項目（抜粋）＞

| 基本政策 | 施策 | 成果指標 | 目標値 | H22 | H25 | H28 | R01 | 前回(H28)比較 | 単位：% | | |
|------------------------------|--------------------|-----------------------------------|-------|------|------|------|------|-----------|-------------|-------------|--------|
| | | | | | | | | | 目標値設定時とのGAP | 目標値設定時からの進捗 | 目標値GAP |
| 5 持続可能な環境共生都市を実現します | 5-1 市民の環境文化の創造 | 「買い物の際に買い物袋を持参している」と答えた人の割合 | 100.0 | 53.5 | 56.4 | 65.9 | 75.3 | 9.4 | 21.8 | ↑ | 24.7 |
| 6 まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます | 6-1 都心地域や各地域拠点の活性化 | 「遊びやレクリエーションを主に堺市内で行っている」と答えた人の割合 | 50.0 | 44.7 | 43.9 | 78.1 | 71.3 | -6.8 | 26.6 | ↑ | -21.3 |

＜マスタープラン成果指標（意識評価）時系列結果 10ポイント以上低下項目（抜粋）＞

| 基本政策 | 施策 | 成果指標 | 目標値 | H22 | H25 | H28 | R01 | 前回(H28)比較 | 単位：% | | |
|---------------------------|------------------------|--|------|------|------|------|------|-----------|-------------|-------------|--------|
| | | | | | | | | | 目標値設定時とのGAP | 目標値設定時からの進捗 | 目標値GAP |
| 1 暮らしの確かな安全・安心を確保します | 1-2 地域全体で支える福祉の仕組みづくり | 「困った時に相談できたり助けしてくれる人が身近にいる」と答えた人の割合 | 90.0 | 76.6 | 76.3 | 60.6 | 51.8 | -8.8 | -24.8 | ↓ | 38.2 |
| | 1-4 人権を尊重するまちづくりの推進 | 「一人ひとりの自由や人権が守られ、誰もが個性を活かして、自分らしく生活することができる」と答えた人の割合 | 90.0 | 56.5 | 59.3 | 50.0 | 42.8 | -7.2 | -13.7 | ↓ | 47.2 |
| 2 誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します | 2-3 生活環境の充実と地域社会活動の推進 | 「図書館や文化教室などにおける生涯学習の環境が整っている」と答えた人の割合 | 90.0 | 52.8 | 54.9 | 42.2 | 42.0 | -0.2 | -10.8 | ↓ | 48.0 |
| 3 次代を担う子どもを健やかにぐくみます | 3-2 社会全体で子どもをばぐむ仕組みづくり | 「子育てに対して身近に相談できる環境がある」と答えた人の割合 | 90.0 | 53.9 | 53.1 | 42.9 | 42.0 | -0.9 | -11.9 | ↓ | 48.0 |

＜マスタープラン成果指標（行動評価）時系列結果 10ポイント以上低下項目（抜粋）＞

| 基本政策 | 施策 | 成果指標 | 目標値 | H22 | H25 | H28 | R01 | 前回(H28)比較 | 単位：% | | |
|------------------------|--------------------------|-----------------------------------|-------|------|------|------|------|-----------|-------------|-------------|--------|
| | | | | | | | | | 目標値設定時とのGAP | 目標値設定時からの進捗 | 目標値GAP |
| 4 産業を振興し、地域の持続的発展を支えます | 4-6 元気な農業・農空間のあるまちづくりの推進 | 「できる限り、地元で採れた食材・食品を食べている」と答えた人の割合 | 100.0 | 57.8 | 58.3 | 45.8 | 42.8 | -3.0 | -15.0 | ↓ | 57.2 |
| 5 持続可能な環境共生都市を実現します | 5-1 市民の環境文化の創造 | 「節電や省エネルギーに取り組んでいる」と答えた人の割合 | 100.0 | 86.5 | 87.6 | 77.8 | 73.3 | -4.5 | -13.2 | ↓ | 26.7 |

意識評価において評価が 10 ポイント以上上昇した項目は、1-7 『『堺は災害に強いまちである』と答えた人の割合』(+11.5)、2-1 『『堺の豊かな歴史資源や文化資源を身近に感じることができる』と答えた人の割合』(+23.4)、『『子育てがしやすいまちである』と答えた人の割合』(+12.3)、3-4 『『教育環境が良いまちである』と答えた人の割合』(+13.7)、6-4 『『堺には、海外の人が訪れたい魅力があるスポットがある』と答えた人の割合』(+13.2)、7-2 『『市政全般に満足している』と答えた人の割合』(+23.8)、7-3 『『地域での様々な活動が活発である』と答えた人の割合』(+21.1) の 7 項目である。

また、1-6 『『近隣の治安について不安である』と答えた人の割合』(-25.8)、3-1 『『子育てに対して不安や負担を感じる』と答えた人の割合』(-23.3) の 2 項目はマスタープラン策定時からマイナス評価が 20 ポイント以上低下しており、これらの項目はプラン策定時から意識評価が順調に改善されている項目といえる。

行動評価においては、5-1 『『買い物の際に買い物袋を持参している』と答えた人の割合』(+21.8)、6-1 『『遊びやレクリエーションを主に堺市内で行っている』と答えた人の割合』(+26.6) の 2 項目が 10 ポイント以上上昇しており、市民の行動が大きく改善された項目といえる。

一方、意識評価において意識評価が 10 ポイント以上低下した項目は、1-2 『『困った時に相談できたり助けてくれる人が身近にいる』と答えた人の割合』(-24.8)、1-4 『『一人ひとりの自由や人権が守られ、誰もが個性を活かして、自分らしく生活することができる』と答えた人の割合』(-13.7)、2-3 『『図書館や文化教室などにおける生涯学習の環境が整っている』と答えた人の割合』(-10.8)、3-2 『『子育てに対して身近に相談できる環境がある』と答えた人の割合』(-11.9) の 4 項目で、これらの項目はプラン策定時から評価が低下傾向にあるといえる。

行動評価においては、4-6 『『できる限り、地元で採れた食材・食品を食べている』と答えた人の割合』(-15.0)、5-1 『『節電や省エネルギーに取り組んでいる』と答えた人の割合』(-13.2) が 10 ポイント以上低下しており、市民への行動改善の呼びかけが必要な項目といえる。

2. 成果指標の指数化分析

マスタープランの成果指標として、各設問の『『そう思う』と回答した人の割合』が設定されており、それは各設問の『1.そう思う』、『2. ある程度そう思う』の合計値のことを指している。『どちらともいえない』、『わからない』といった中庸評価、『あまりそう思わない』、『そう思わない』といったネガティブ評価が加味されていないため、「ポジティブな評価は上昇していないが、ネガティブな評価は改善されている」、「ポジティブな評価は上昇しているが、ネガティブな評価も上昇しており、評価に格差がみえている」といった項目が見えづらくなっている。

そのため、本調査では成果指標項目評価を単純に平均で比較するのではなく、各項目評価の加重平均により指数化し、前回調査と比較することで成果指標の進捗をより深く把握する。

加重平均は、「(<選択肢の回答者数>×<選択肢ごとの配点（5点～1点）>）÷<無回答者を除く当該設問の回答者数>」により求められる。（下図参照）

| 選択肢の配点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 |
|------------|---------|----------------|---------------|--------------|------|
| 意識・評価を問う項目 | 思わない | あまり そう思わない | どちらとも いえない | ある程度 そう思う | そう思う |
| 行動を問う項目 | あてはまらない | あまり あてはまらない | ある程度 あてはまる | あてはまる | |

| 意識・評価を問う項目 | | | 行動を問う項目 | | |
|----------------------------|---|--|---------------------|-----------------------------------|--|
| 基本政策 | 施策 | 成果指標 | 基本政策 | 施策 | 成果指標 |
| 1 暮らしの確かな安全・安心を確保します | 1-1 市民の命を守る健康・医療体制の強化 | 「突然のけがや病気の場合、受入体制は十分である」と答えた人の割合 | 2 暮らしの質の高いまちを実現します | 2-3 生活環境の充実と地域社会活動の推進 | 「生涯学習や文化活動に取り組んでいる」と答えた人の割合 |
| | 1-2 地域全体で支える福祉の仕組みづくり | 「困った時に相談できたり助けてくれる人が身近にいる」と答えた人の割合 | | 2-4 スポーツと健康づくりの推進 | 「定期的に血圧や体重を測定し、自分自身の健康状態をチェックしている」と答えた人の割合 |
| | 1-4 人権を尊重するまちづくりの推進 | 「一人ひとりの自由や人権が守られ、誰もが個性を活かして、自分らしく生活することができる」と答えた人の割合 | | 2-6 良好な居住環境の形成 | 「緑を増やしたり、守ることに取り組んでいる」と答えた人の割合 |
| | 1-6 市民・事業者・警察等との連携・協働による生活安全対策の推進 | 「近隣の治安について不安がある」と答えた人の割合 | | 4 産業を振興し、地域の持続的発展を支えます | 4-6 元気な農業・農空間のあるまちづくりの推進 |
| | 1-7 地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進 | 「県は災害に強いまちである」と答えた人の割合 | 5 持続可能な環境共生都市を実現します | 5-1 市民の環境文化の創造 | 「節電や省エネルギーに取り組んでいる」と答えた人の割合 |
| | 2-1 歴史文化を活かしたまちづくりの推進 | 「県の豊かな歴史資源や文化資源を身近に感じることができると答えた人の割合 | | 5-4 人と環境に優しい交通体系の構築など低炭素型都市構造への変革 | 「できる限り、バスや電車などの公共交通を便ようにしている」と答えた人の割合 |
| 2-2 文化芸術活動の振興 | 「文化芸術活動をしやすいまちである」と答えた人の割合 | 6-1 都心地域や各地域拠点の活性化 | | 「遊びやレクリエーションを主に県市内で行っている」と答えた人の割合 | |
| 2-3 生活環境の充実と地域社会活動の推進 | 「図書館や文化教室などにおける生涯学習の環境が整っている」と答えた人の割合 | 6 暮らしと交流のまちづくりを進めます | | 6-5 国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり | 「海外の人たちと積極的に交流している」と答えた人の割合 |
| 2-5 男女共同参画の推進 | 「年齢や性別にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っている」と答えた人の割合 | | | 6-5 国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり | 「国際協力・国際貢献の活動に参加している」と答えた人の割合 |
| 2-6 良好な居住環境の形成 | 「まちなみの美しさ」に対する満足度 | 3 次世代を担う子どもを健やかに育てます | | | |
| 3-1 子育て世帯への支援と負担の軽減 | 「子育てに対して不安や負担を感じる」と答えた人の割合 | | | | |
| 3-2 社会全体で子どもを健やかに育てる仕組みづくり | 「子育てに対して身近に相談できる環境がある」と答えた人の割合 | | | | |
| 5 持続可能な環境共生都市を実現します | 3-4 教育・生活環境の充実 | 「子育てがしやすいまちである」と答えた人の割合 | | | |
| | 5-2 循環型社会推進と自然環境の保全・再生 | 「ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる」と答えた人の割合 | | | |
| 6 暮らしと交流のまちづくりを進めます | 5-3 省エネルギー・省 CO2 の推進と再生可能エネルギーの活用による産業構造の転換 | 「県の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っている」と答えた人の割合 | | | |
| | 6-1 都心地域や各地域拠点の活性化 | 「県のまちの中心部はにぎわっていると感じている」と答えた人の割合 | | | |
| | 6-3 利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成 | 「日々の暮らしや仕事において県市内の移動は便利である」と答えた人の割合 | | | |
| | 6-4 歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出 | 「県には、海外の人が訪れたい魅力があるスポットがある」と答えた人の割合 | | | |
| 7 地域主権を確立し、真の自治都市を実現します | 7-2 市民の満足につながる行政サービスの向上 | 「市政全般に満足している」と答えた人の割合 | | | |
| | 7-3 市民の自主的な活動・協働の推進 | 「地域での様々な活動が発達している」と答えた人の割合 | | | |
| | 7-4 区域の特色を活かしたまちづくりの推進 | 「自分が住んでいる区の特徴を知っている」と答えた人の割合 | | | |

前回調査 (H28) と、今回調査 (R01) の成果指標項目を指数化した結果は下図の通りである。前回調査より指数が増加している項目は「7-3『地域での様々な活動が活発である』と答えた人の割合」(+0.54)、「6-1『堺のまちの中心部はにぎわっていると感じている』と答えた人の割合」(+0.47)、「3-2『地域の人が子どもの教育によく関わっている』と答えた人の割合」(+0.45)が上位である。

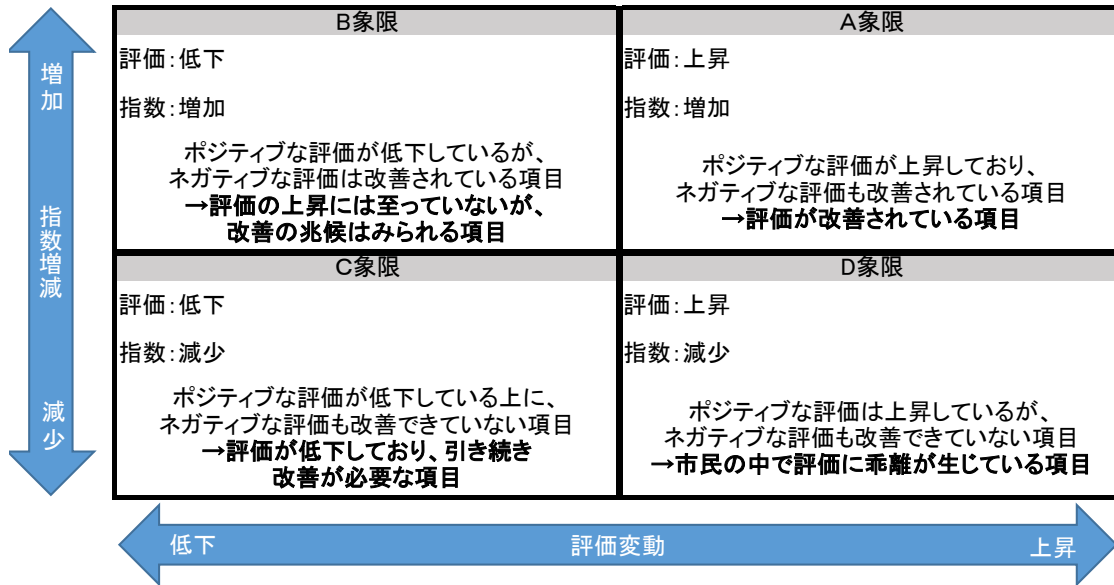
一方で、指数の減少がみられる項目は「7-4『自分が住んでる区の特徴を知っている』と答えた人の割合」(-0.20)、「6-1『遊びやレクリエーションを主に堺市内で行っている』と答えた人の割合」(-0.17)、「2-4『定期的に血圧や体重を測定し、自分自身の健康状態をチェックしている』と答えた人の割合」(-0.11)は比較的減少幅が大きい項目といえる。

＜マスタープラン成果指標 指数化結果 (H28 調査、R01 調査)＞

| 基本政策 | 施策 | 成果指標 | H28 | R01 | 前回比較 指数増減 | |
|-----------------------------------|---|--|---|--------------|---------------|---------------|
| 1 暮らしの確かな安全・ 安心を確保します | 1-1 市民の命を守る健康・ 医療体制の強化 | 「突然のけがや病気の場合、受入体制は 十分である」と答えた人の割合 | 3.07 | 3.36 | 0.29 | |
| | 1-2 地域全体で支える 福祉の仕組みづくり | 「困った時に相談できたり助けられる人が 身近にいる」と答えた人の割合 | 3.37 | 3.41 | 0.04 | |
| | 1-4 人権を尊重するまちづくりの推進 | 「一人ひとりの自由や人権が守られ、誰もが個性を活かして、 自分らしく生活することができる」と答えた人の割合 | 3.17 | 3.38 | 0.20 | |
| | 1-6 市民・事業者・警察等との連携・ 協働による生活安全対策の推進 | 「近隣の治安について不安である」と答えた人の割合 | 3.04 | 3.39 | 0.34 | |
| | 1-7 地域防災力の向上と 災害に強いまちづくりの推進 | 「堺は災害に強いまちである」と答えた人の割合 | 3.13 | 3.45 | 0.32 | |
| | 2-1 歴史文化を活かした まちづくりの推進 | 「堺の豊かな歴史資源や文化資源を 身近に感じることができる」と答えた人の割合 | 3.28 | 3.60 | 0.33 | |
| | 2-2 文化芸術活動の振興 | 「文化芸術活動をしやすいまちである」と答えた人の割合 | 2.79 | 3.16 | 0.37 | |
| 2 誰もが幸せで、 暮らしの質の高いまちを 実現します | 2-3 生活環境の充実と 地域社会活動の推進 | 「生涯学習や文化活動に取り組んでいる」と答えた人の割合 「図書館や文化教室などにおける生涯学習の 環境が整っている」と答えた人の割合 | 1.87 3.01 | 1.88 3.24 | 0.01 0.23 | |
| | 2-4 スポーツと健康づくりの推進 | 「定期的に血圧や体重を測定し、自分自身の健康状態を チェックしている」と答えた人の割合 | 3.13 | 3.02 | -0.11 | |
| | 2-5 男女共同参画の推進 | 「年齢や性別にかかわらず、能力を十分に発揮できる 環境が整っている」と答えた人の割合 | 2.83 | 3.16 | 0.33 | |
| | 2-6 良好な居住環境の形成 | 「まちなみの美しさ」に対する満足度 「緑を増やしたり、守ることに取り組んでいる」と答えた人の割合 | 2.72 2.27 | 3.01 2.31 | 0.29 0.04 | |
| | 3 次代を担う子どもを 健やかに大きくみえます | 3-1 子育て世帯への 支援と負担の軽減 | 「子育てに対して不安や負担を感じると答えた人の割合」 「子育てがしやすいまちである」と答えた人の割合 | 2.88 3.19 | 2.95 3.50 | 0.08 0.31 |
| | | 3-2 社会全体で子どもを はぐくむ仕組みづくり | 「地域の人が子どもの教育によく関わっている」と 答えた人の割合 「子育てに対して身近に相談できる環境がある」と 答えた人の割合 | 2.75 3.23 | 3.20 3.34 | 0.45 0.11 |
| 3-4 教育・生活 環境の充実 | | 「教育環境が良いまちである」と答えた人の割合 | 3.13 | 3.41 | 0.29 | |
| 4 産業を振興し、地域の 持続的発展を支えます | 4-6 元気な農業、農空間のある まちづくりの推進 | 「できる限り、地元で採れた食材・食品を食べている」と 答えた人の割合 | 2.42 | 2.33 | -0.09 | |
| 5 持続可能な 環境共生都市を 実現します | 5-1 市民の環境 文化の創造 | 「節電や省エネルギーに取り組んでいる」と答えた人の割合 「買い物の際に買い物袋を持参している」と答えた人の割合 | 2.95 2.84 | 2.87 3.08 | -0.08 0.23 | |
| | 5-2 循環型社会推進と 自然環境の保全・再生 | 「ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる」と答えた人の割合 | 3.02 | 3.03 | 0.01 | |
| | 5-3 省エネルギー・省 CO2 の推進と再 生可能エネルギーの活用による産 業構造の転換 | 「堺の企業・事業者は環境に配慮した 取組を行っている」と答えた人の割合 | 2.71 | 2.99 | 0.28 | |
| | 5-4 人と環境に優しい交通体系の 構築など低炭素型都市構造への 変革 | 「できる限り、バスや電車などの公共交通を 使うようしている」と答えた人の割合 「近隣の移動の際は、できる限り徒歩や自転車 で行くようしている」と答えた人の割合 | 2.74 3.04 | 2.69 3.09 | -0.05 0.04 | |
| | 6 まちの魅力向上と、 賑わいと交流の まちづくりを進めます | 6-1 都心地域や 各地域拠点の 活性化 | 「遊びやレクリエーションを主に堺市内で行っている」と 答えた人の割合 「堺のまちの中心部はにぎわっていると感じている」と 答えた人の割合 | 3.10 2.20 | 2.93 2.67 | -0.17 0.47 |
| 6-3 利便性向上に向けた総合的な 交通ネットワークの形成 | | 「日々の暮らしや仕事において堺市内の 移動は便利である」と答えた人の割合 | 2.92 | 3.33 | 0.41 | |
| 6-4 歴史・文化資源を活かした まちの賑わいの創出 | | 「堺には、海外の人が訪れたくなる魅力がある スポットがある」と答えた人の割合 | 2.84 | 3.11 | 0.27 | |
| 6-5 国際交流・国際協力の推進と 多文化共生のまちづくり | | 「海外の人たちと積極的に交流している」と答えた人の割合 「国際協力・国際貢献の活動に参加している」と答えた人の割合 | 1.33 1.21 | 1.62 1.35 | 0.29 0.13 | |
| 7 地域主権を確立し、 真の自治都市を 実現します | | 7-2 市民の満足につながる 行政サービスの向上 | 「市政全般に満足している」と答えた人の割合 | 2.89 | 3.31 | 0.42 |
| | 7-3 市民の自主的な 活動・協働の推進 | 「地域での様々な活動が活発である」と答えた人の割合 | 2.93 | 3.48 | 0.54 | |
| | 7-4 区域の特徴を活かした まちづくりの推進 | 「自分が住んでる区の特徴を知っている」と答えた人の割合 | 2.83 | 2.63 | -0.20 | |

成果指標評価（「そう思う」の比率）の前回比較変動（P69）と、指数の前回比較増減の関係（P73）を下図の4つの象限に整理することで、成果指標の進捗状況をより詳細に把握することができる。

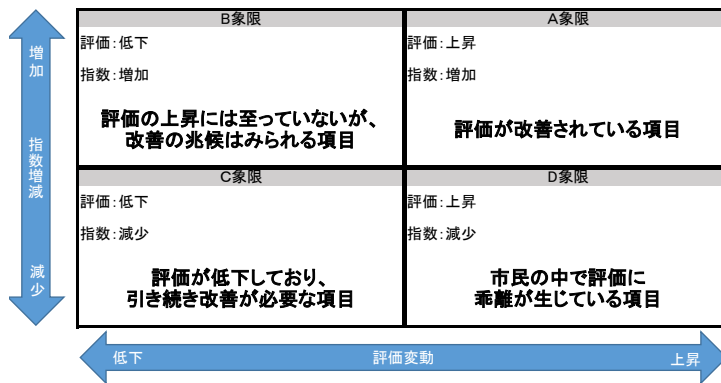
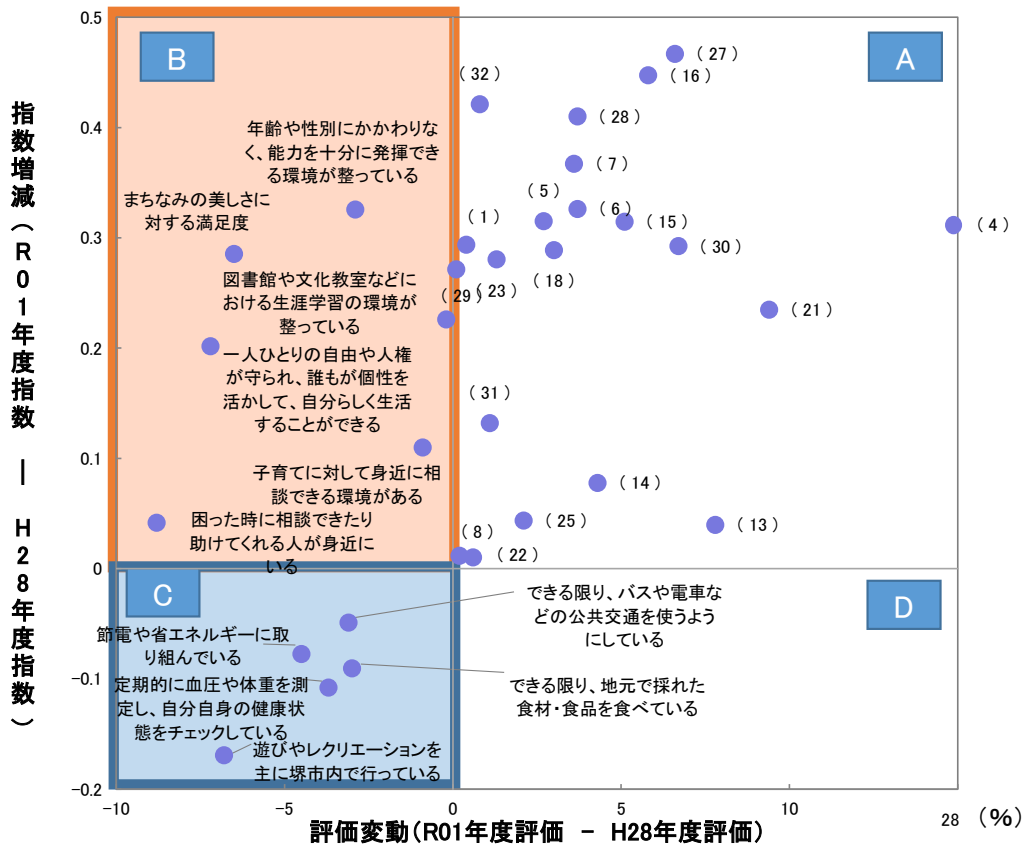
＜成果指標評価の前回比較変動と指数の前回比較増減の関係図＞



| | |
|----------|-----------------------|
| 縦軸「指数増減」 | R01年度調査指数－H28年度調査指数の値 |
| 横軸「評価変動」 | R01年度調査評価－H28年度調査評価 |

*評価＝「そう思う」「あてはまる」の割合

<成果指標評価の前回比較変動と指数の前回比較増減>



【凡例】

| No. | 項目 | No. | 項目 |
|------|--|------|--------------------------------|
| (1) | 突然のけがや病気の場合、受入体制は十分である | (18) | 教育環境が良いまちである |
| (2) | 困った時に相談できたり助けてくれる人が身近にいる | (19) | できる限り、地元で採れた食材・食品を食べている |
| (3) | 一人ひとりの自由や人権が守られ、誰もが個性を活かして、自分らしく生活することができる | (20) | 節電や省エネルギーに取り組んでいる |
| (4) | 近隣の治安について不安である | (21) | 買い物の際に買い物袋を持参している |
| (5) | 堺は災害に強いまちである | (22) | ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる |
| (6) | 堺の豊かな歴史資源や文化資源を身近に感じることができる | (23) | 堺の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っている |
| (7) | 文化芸術活動をしやすいまちである | (24) | できる限り、バスや電車などの公共交通を使うようにしている |
| (8) | 生涯学習や文化活動に取り組んでいる | (25) | 近隣の移動の際は、できる限り徒歩や自転車で行くようにしている |
| (9) | 図書館や文化教室などにおける生涯学習の環境が整っている | (26) | 遊びやレクリエーションを主に堺市内で行っている |
| (10) | 定期的に血圧や体重を測定し、自分自身の健康状態をチェックしている | (27) | 堺のまちの中心部にはぎわっていると感じている |
| (11) | 年齢や性別にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っている | (28) | 日々の暮らしや仕事において堺市内の移動は便利である |
| (12) | まちなみの美しさに対する満足度 | (29) | 堺には、海外の人が訪れたい魅力があるスポットがある |
| (13) | 緑を増やしたり、守ることに取り組んでいる | (30) | 海外の人たちと積極的に交流している |
| (14) | 子育てに対して不安や負担を感じる | (31) | 国際協力・国際貢献の活動に参加している |
| (15) | 子育てがしやすいまちである | (32) | 市政全般に満足している |
| (16) | 地域の人が子どもの教育によく関わっている | (33) | 地域での様々な活動が活発である |
| (17) | 子育てに対して身近に相談できる環境がある | (34) | 自分が住んでる区の特徴を知っている |

評価の変動と指数の増減の関係をみると、B象限にあたる「評価の上昇には至っていないが、改善の兆候はみられる項目」は「年齢や性別にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っている」、「まちなみの美しさに対する満足度」、「図書館や文化教室などにおける生涯学習の環境が整っている」、「一人ひとりの自由や人権が守られ、誰もが個性を活かして、自分らしく生活することができる」、「子育てに対して身近に相談できる環境がある」、「困った時に相談できたり助けてくれる人が身近にいる」が入っている。

特に「一人ひとりの自由や人権が守られ、誰もが個性を活かして、自分らしく生活することができる」、「図書館や文化教室などにおける生涯学習の環境が整っている」、「子育てに対して身近に相談できる環境がある」、「困った時に相談できたり助けてくれる人が身近にいる」は目標設定時から評価が10ポイント以上低下している項目ではあるが、前回からネガティブな評価は改善されている様子が見える。

一方、C象限にあたる「評価、指数ともに低下しており、引き続き改善が必要な項目」は「できる限り、バスや電車などの公共交通を使うようにしている」、「節電や省エネルギーに取り組んでいる」、「できる限り、地元で採れた食材・食品を食べている」、「定期的に血圧や体重を測定し、自分自身の健康状態をチェックしている」、「遊びやレクリエーションを主に堺市内で行っている」である。

特に「節電や省エネルギーに取り組んでいる」、「できる限り、地元で採れた食材・食品を食べている」は目標設定時から評価が10ポイント以上低下している項目でもあり、より改善が必要な項目といえる。

D象限にあたる項目はみられなかった。

2. 定住意向改善のための分析

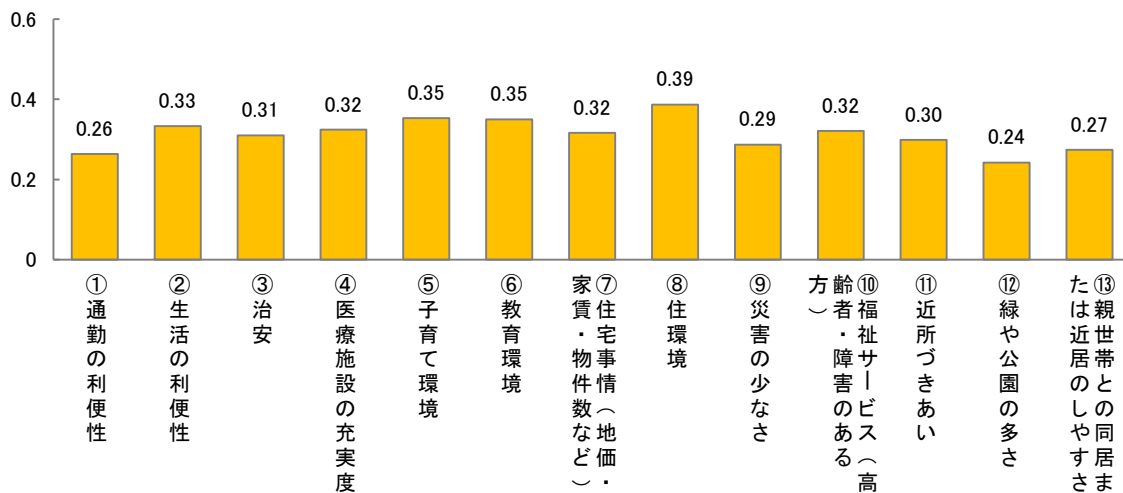
1. 定住意向と暮らしの評価の相関分析

「問 1A②. 定住意向（これからも堺市に住み続けたいですか。）」（P12）と問 2「堺市での暮らしに関する各項目の評価」（P51）の関連性をみるために相関分析を行った。

各設問の尺度が「とても良いと思う」、「まあ良いと思う」、「どちらともいえない」、「あまり良いと思わない」「良くないと思う」といった大小関係に意味がある尺度（順序尺度）であるため、スピアマンの順位相関分析（※）を採用した。

また、定住意向は個人のライフサイクルの事情によって大きく異なる可能性もあることから、ライフサイクル別にそれぞれ相関分析を行った。

< 「問 1A②」と「問 2」の相関係数（全体） >

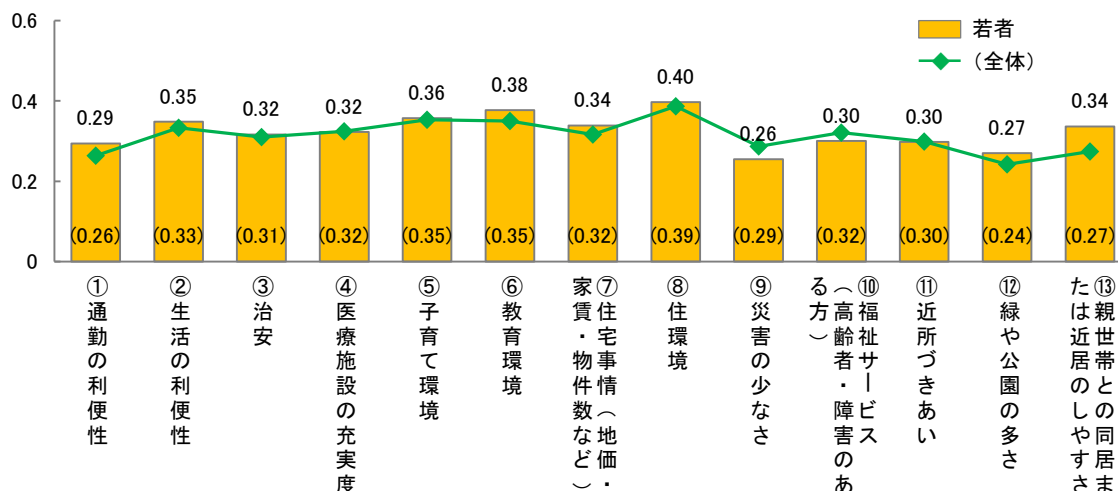


市民全体の結果では、いずれの項目も 0.2 以上と弱い相関がみられ、「⑧住環境」(0.39)、「⑤子育て環境」「⑥教育環境」(0.35)、「②生活の利便性」(0.33) は他の項目と比べて相関係数が高い。

（※）スピアマンの順位相関分析とは、2変数間に、どの程度、順位づけの直線関係があるかを数値で表す分析。

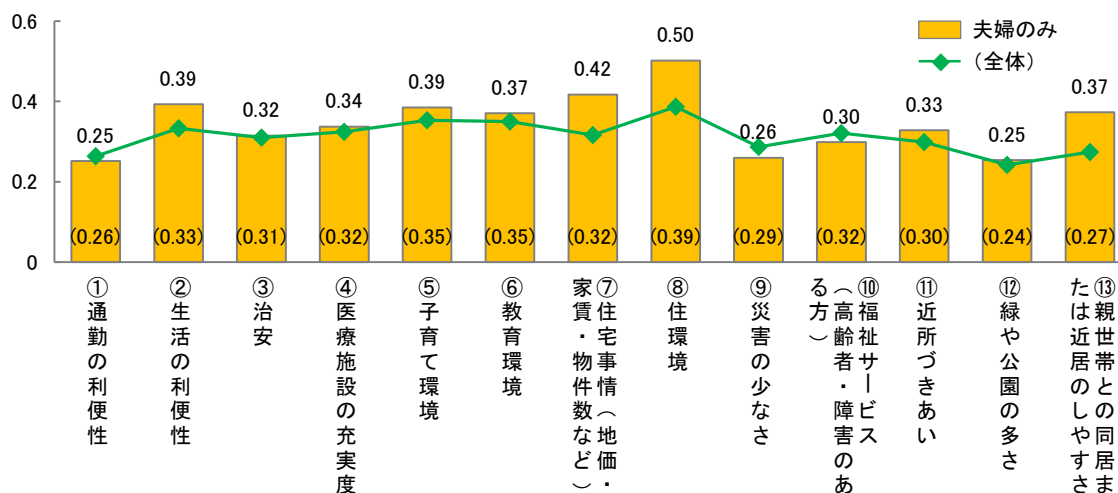
相関係数の絶対値が 0.8 以上は強い相関がある、0.6 以上は相関がある、0.4 以上はやや相関がある、0.2 未満はほとんど相関がないといえる。

< 「問 1A②」 と 「問 2」 の相関係数（若者） >



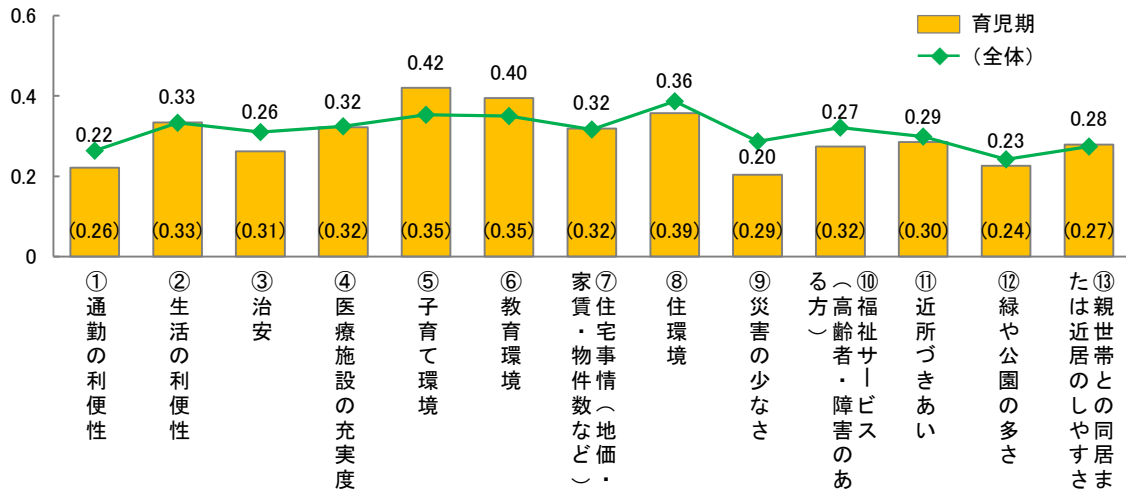
結婚をしていない18～29歳の「若者」世帯では、上位項目は市民全体と変わらないが、「⑧住環境」が0.40と定住意向と相関がみられる程度の高さとなっている。また、「⑬親世帯との同居または近居のしやすさ」（0.34）が市民全体と比べて相関係数が高くなっている。

< 「問 1A②」 と 「問 2」 の相関係数（夫婦のみ） >



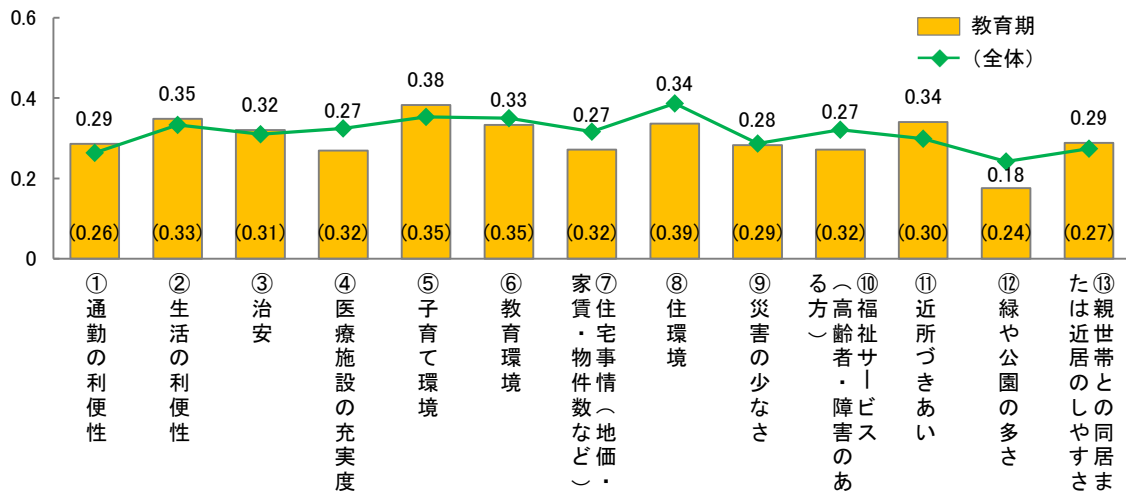
64歳以下の「夫婦のみ」世帯では、「⑧住環境」（0.50）、「⑦住宅事情（地価・家賃・物件数など）」（0.42）の相関係数が0.4以上で、定住意向と相関がみられる項目となっている。「⑧住環境」、「⑦住宅事情（地価・家賃・物件数など）」に加えて「②生活の利便性」（0.39）は市民全体と比べて相関係数が高い。

< 「問 1A②」 と 「問 2」 の相関係数（育児期） >



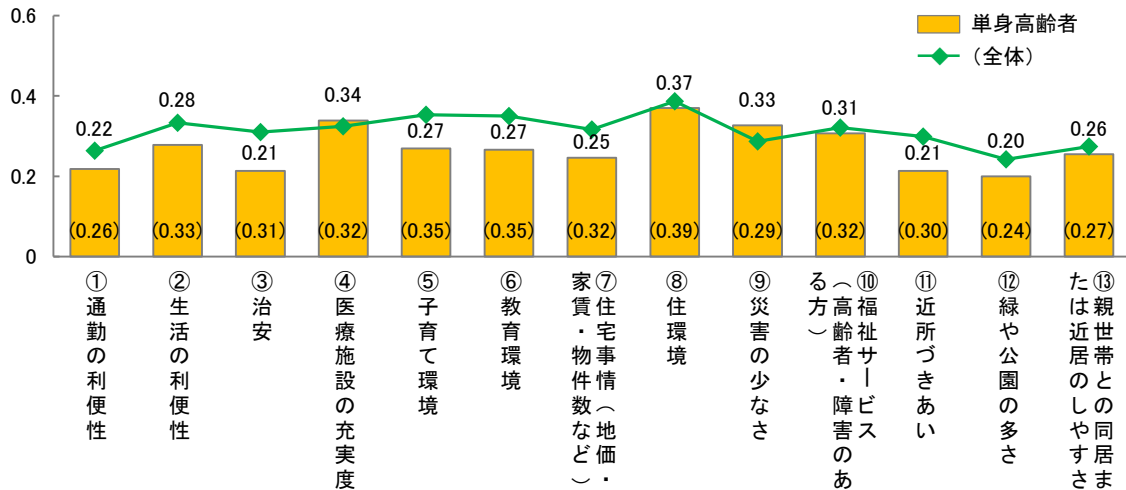
就学前の児童と同居している「育児期」世帯では、「⑤子育て環境」(0.42)、「⑥教育環境」(0.40)が0.4以上で定住意向と相関がみられる高さとなっている。一方で、「⑨災害の少なさ」(0.20)、「③治安」(0.26)、「⑩福祉サービス(高齢者・障害のある方)」(0.27)は市民全体と比べて相関係数が低くなっている。

< 「問 1A②」 と 「問 2」 の相関係数（教育期） >



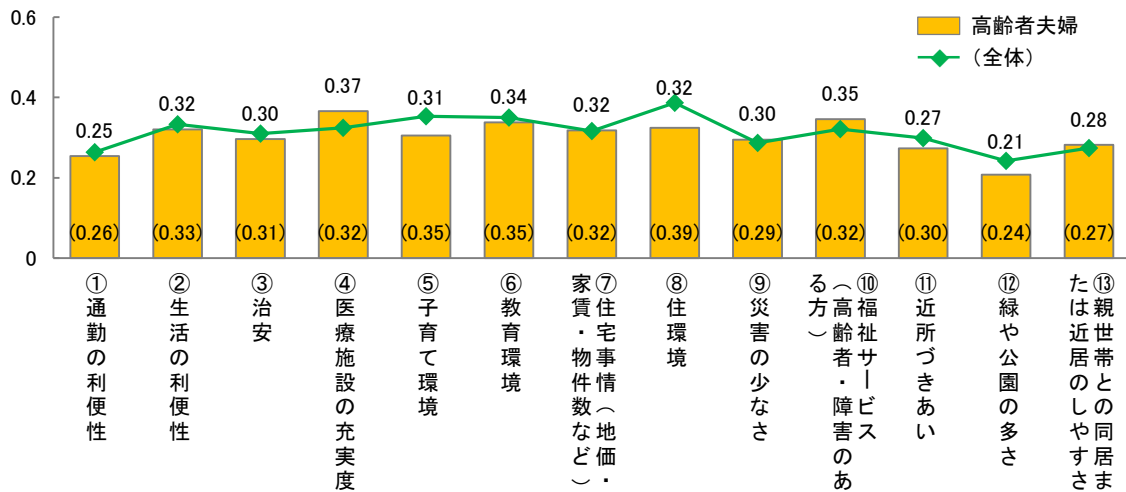
小学生、中学生の児童と同居している「教育期」世帯では、「⑤子育て環境」(0.38)が最も高い。市民全体と比べて「⑫緑や公園の多さ」(0.18)、「④医療施設の充実度」(0.27)、「⑧住環境」(0.34)、「⑩福祉サービス」(0.27)の相関係数は低い。

< 「問 1A②」 と 「問 2」 の相関係数（単身高齢者） >



65歳以上の単身で暮らす高齢者「単身高齢者」世帯では、「⑧住環境」(0.37)が最も高く、「④医療施設の充実度」(0.34)、「⑨災害の少なさ」(0.33)が続いているが、多くの項目が0.30を下回っており、市民全体と比べても相関係数は低めである。

< 「問 1A②」 と 「問 2」 の相関係数（高齢者夫婦） >



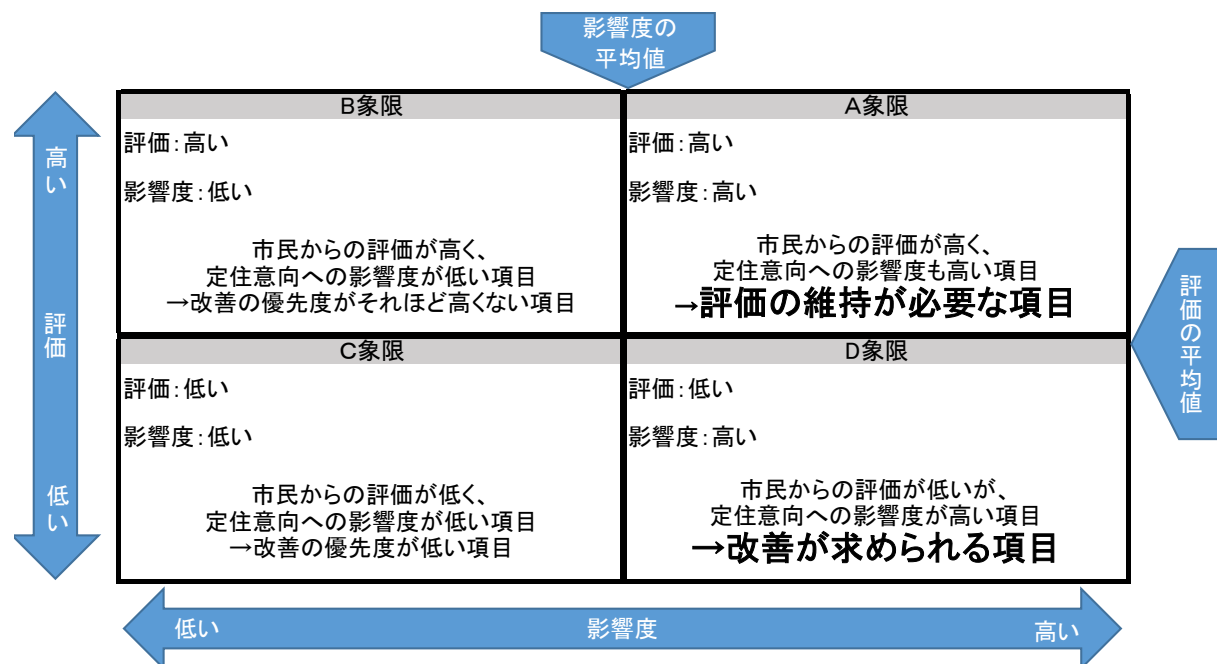
65歳以上で夫婦のみで暮らしている「高齢者夫婦」世帯では「④医療施設の充実度」(0.37)が最も高く、「⑩福祉サービス（高齢者・障害のある方）」(0.35)、「⑥教育環境」(0.34)が続いている。市民全体と比べると「④医療施設の充実度」の相関係数が高い。

2. 定住意向改善のための課題抽出分析

堺市の暮らしの評価（「とても良いと思う」と「まあ良いと思う」の合計値）（P51）と、定住意向への影響度（問1A②、「定住意向（これからも堺市に住み続けたいですか）」と問2「堺市での暮らしに関する各項目の評価」の相関係数）（P77）を下図のように整理することで、定住意向改善に向けた課題を抽出する。

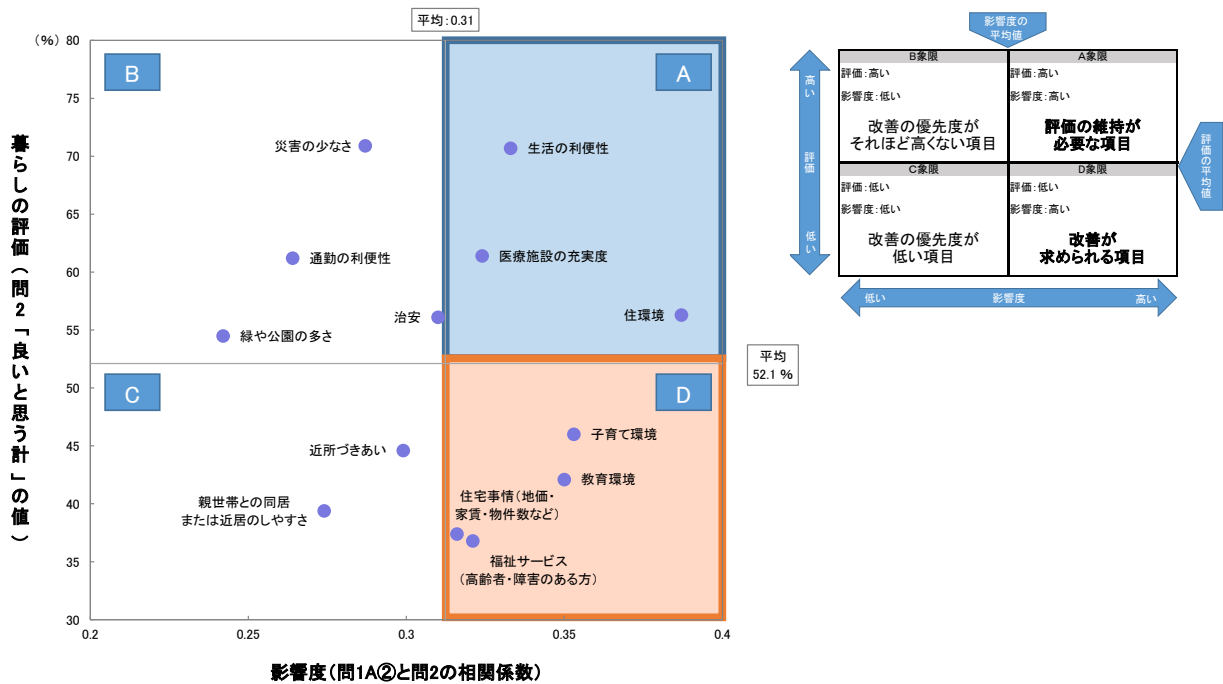
また、こちらもライフサイクル別に分析を行い、各ライフサイクルに向けた課題を抽出する。

<堺市の暮らしの評価と、定住意向への影響度の関係図>



| 問2「堺市での暮らしについて」 (市民全体) | | 縦軸「評価」 「良いと思う」 合計値 (%) | 横軸「影響度」 問1A②との 相関係数 |
|---------------------------|--------------------|------------------------------|---------------------------|
| ① | 通勤の利便性 | 61.2 | 0.26 |
| ② | 生活の利便性 | 70.7 | 0.33 |
| ③ | 治安 | 56.1 | 0.31 |
| ④ | 医療施設の充実度 | 61.4 | 0.32 |
| ⑤ | 子育て環境 | 46.0 | 0.35 |
| ⑥ | 教育環境 | 42.1 | 0.35 |
| ⑦ | 住宅事情(地価・家賃・物件数など) | 37.4 | 0.32 |
| ⑧ | 住環境 | 56.3 | 0.39 |
| ⑨ | 災害の少なさ | 70.9 | 0.29 |
| ⑩ | 福祉サービス(高齢者・障害のある方) | 36.8 | 0.32 |
| ⑪ | 近所づきあい | 44.6 | 0.30 |
| ⑫ | 緑や公園の多さ | 54.5 | 0.24 |
| ⑬ | 親世帯との同居または近居のしやすさ | 39.4 | 0.27 |
| 平均値 | | 52.1 | 0.31 |

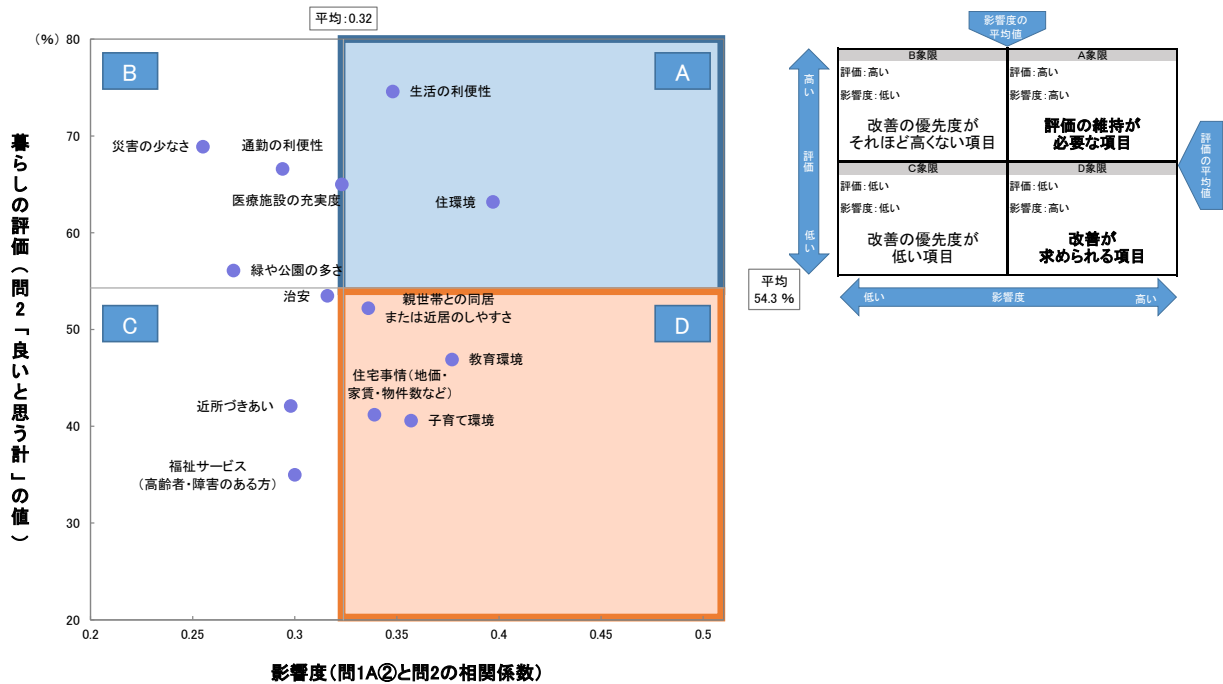
＜定住意向改善に向けた課題（市民全体）＞



市民全体における評価、定住意向への影響度がともに高いA象限にあたる項目は、「生活の利便性」、「医療施設の充実度」、「住環境」で、これらは今後も高い評価の維持が必要な項目である。

つづいて、定住意向への影響度が高いにも関わらず評価が平均を下回るD象限にあたる項目は、「子育て環境」、「教育環境」、「住宅事情（地価・家賃・物件数など）」、「福祉サービス（高齢者・障害のある方）」で、これらは改善が必要な項目といえる。

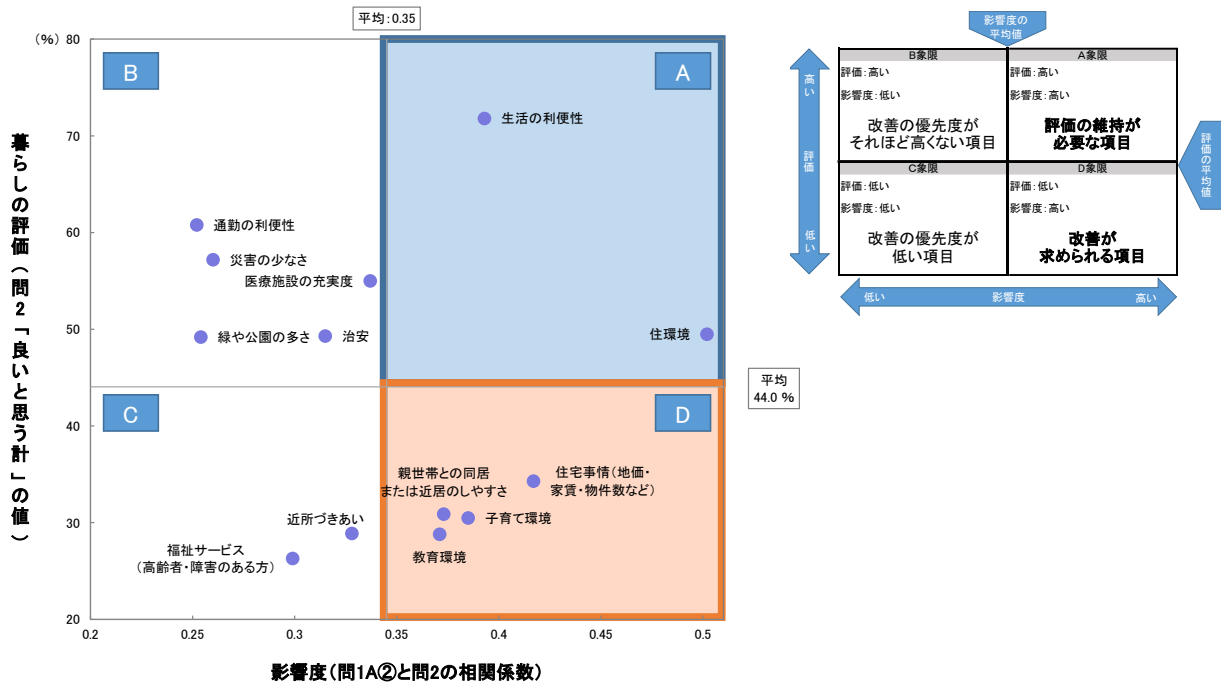
<定住意向改善に向けた課題（若者）>



「若者」世帯における評価、定住意向への影響度がともに高いA象限にあたる項目は、「生活の利便性」、「住環境」で、これらは今後も高い評価の維持が必要な項目である。

つづいて、定住意向への影響度が高いにもかかわらず評価が平均を下回るB象限にあたる項目は、「親世帯との同居または近居のしやすさ」、「教育環境」、「住宅事情（地価・家賃・物件数など）」、「子育て環境」で、これらは改善が必要な項目といえる。

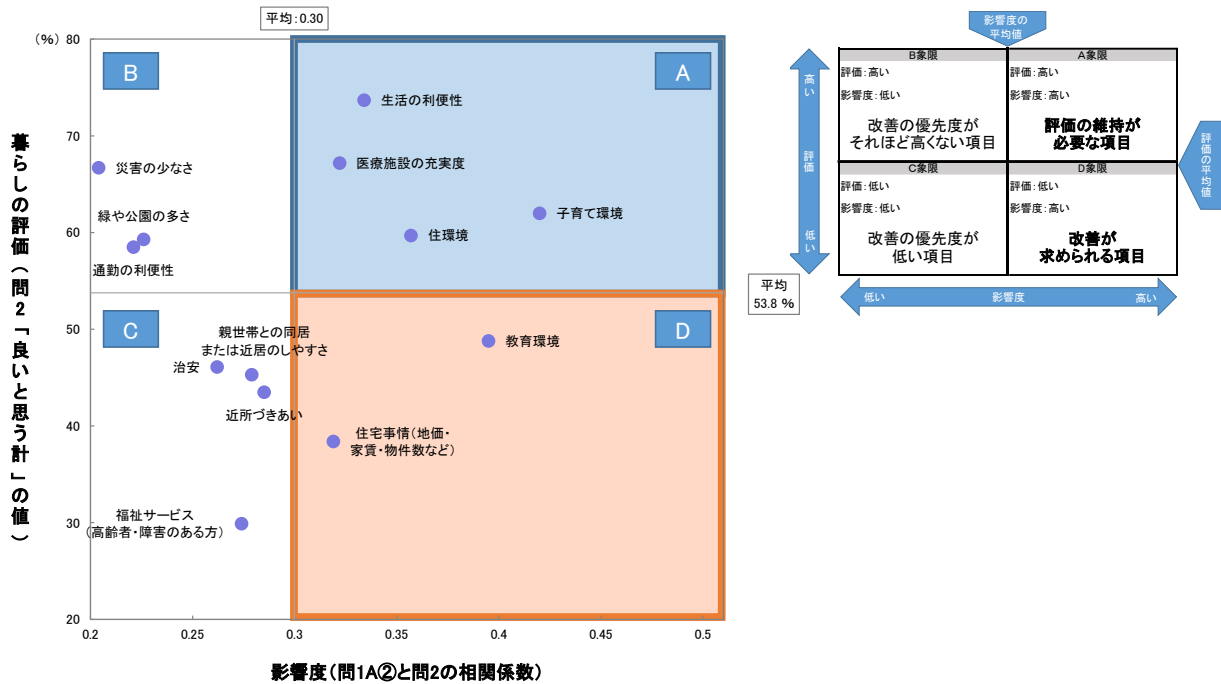
<定住意向改善に向けた課題（夫婦のみ）>



「夫婦のみ」世帯における評価、定住意向への影響度がともに高いA象限にあたる項目は、「生活の利便性」、「住環境」で、これらは今後も高い評価の維持が必要な項目である。

つづいて、定住意向への影響度が高いにも関わらず評価が平均を下回るD象限にあたる項目は、「住宅事情（地価・家賃・物件数など）」、「親世帯との同居または近居のしやすさ」、「子育て環境」、「教育環境」で、これらは改善が必要な項目といえる。

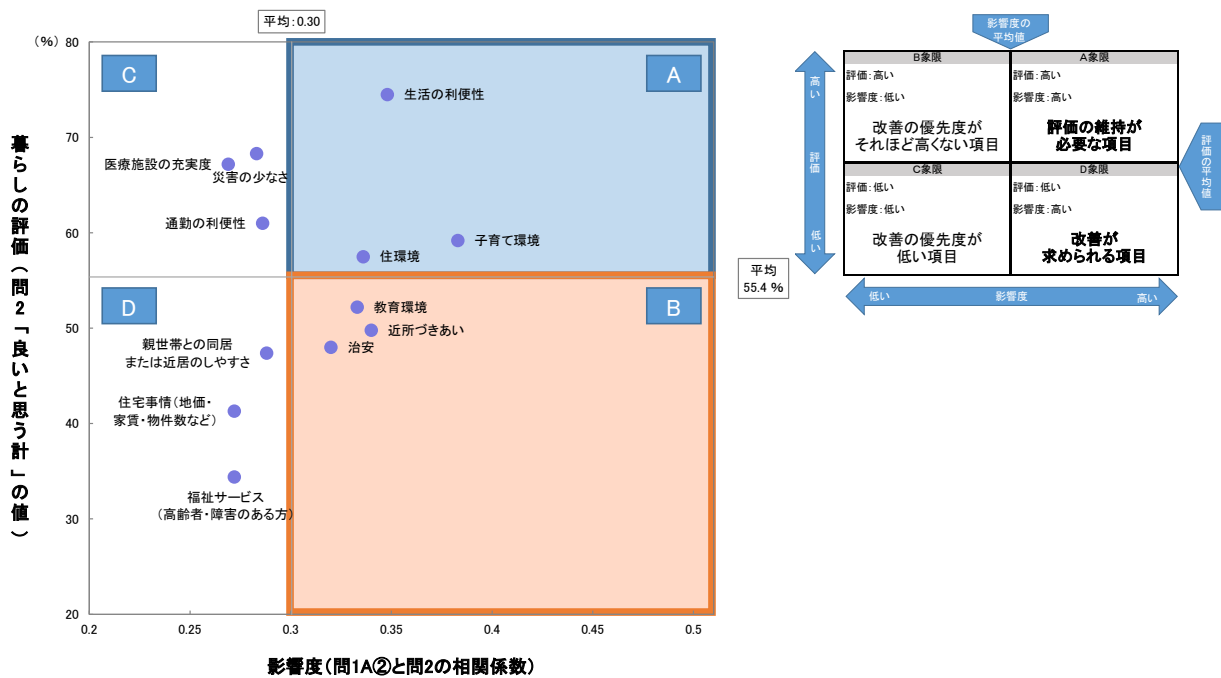
<定住意向改善に向けた課題（育児期）>



「育児期」世帯における評価、定住意向への影響度がともに高いA象限にあたる項目は、「生活の利便性」、「医療施設の充実度」、「子育て環境」、「住環境」で、これらは今後も高い評価の維持が必要な項目である。

つづいて、定住意向への影響度が高いにも関わらず評価が平均を下回るD象限にあたる項目は、「教育環境」、「住宅事情（地価・家賃・物件数など）」で、これらは改善が必要な項目といえる。

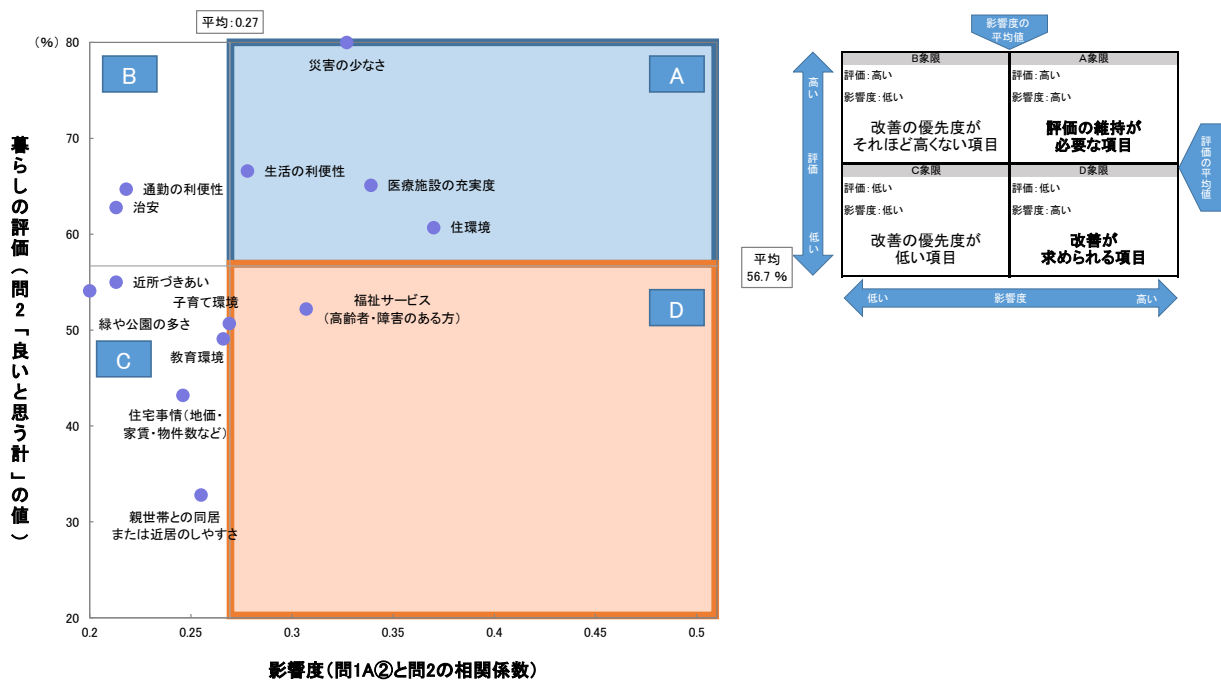
<定住意向改善に向けた課題（教育期）>



「教育期」世帯における評価、定住意向への影響度がともに高いA象限にあたる項目は、「生活の利便性」、「子育て環境」、「住環境」で、これらは今後も高い評価の維持が必要な項目である。

つづいて、定住意向への影響度が高いにも関わらず評価が平均を下回るD象限にあたる項目は、「教育環境」、「近所づきあい」、「治安」で、これらは改善が必要な項目といえる。

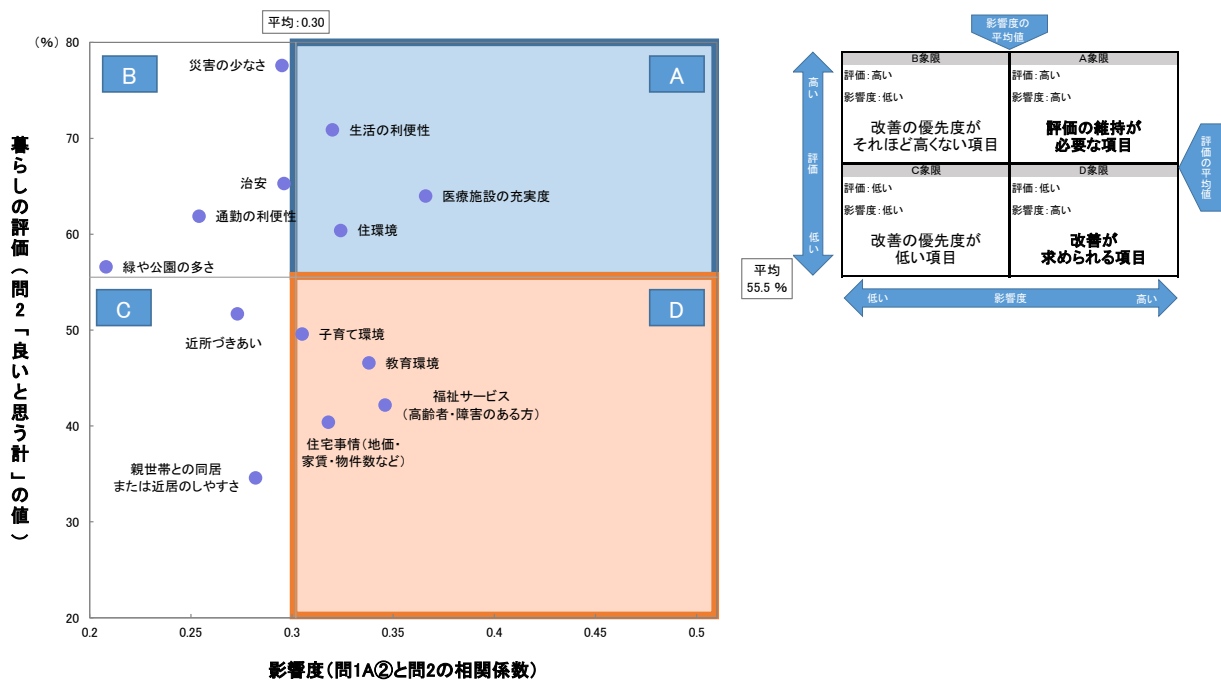
<定住意向改善に向けた課題（単身高齢者）>



「単身高齢者」世帯における評価、定住意向への影響度がともに高いA象限にあたる項目は、「災害の少なさ」、「生活の利便性」、「医療施設の充実度」、「住環境」で、これらは今後も高い評価の維持が必要な項目である。

つづいて、定住意向への影響度が高いにも関わらず評価が平均を下回るD象限にあたる項目は、「福祉サービス（高齢者・障害のある方）」で、これらは改善が必要な項目といえる。

<定住意向改善に向けた課題（高齢者夫婦）>



「高齢者夫婦」世帯における評価、定住意向への影響度がともに高いA象限にあたる項目は、「生活の利便性」、「医療施設の充実度」、「住環境」で、これらは今後も高い評価の維持が必要な項目である。

つづいて、定住意向への影響度が高いにも関わらず評価が平均を下回るD象限にあたる項目は、「子育て環境」、「教育環境」、「福祉サービス（高齢者・障害のある方）」、「住宅事情（地価・家賃・物件数など）」で、これらは改善が必要な項目といえる。

＜属性別の評価維持項目、改善課題項目のまとめ＞

| | 市民全体 | 若者 | 夫婦のみ | 育児期 | 教育期 | 単身高齢者 | 高齢者夫婦 |
|---------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--------|------------------------|------------------------|
| A象限 評価維持項目 | 生活の利便性 | 生活の利便性 | 生活の利便性 | 生活の利便性 | 生活の利便性 | 生活の利便性 | 生活の利便性 |
| | 住環境 | 住環境 | 住環境 | 住環境 | 住環境 | 住環境 | 住環境 |
| | 医療施設の充実度 | | | 医療施設の充実度 | | 医療施設の充実度 | 医療施設の充実度 |
| | | | | 子育て環境 | 子育て環境 | 災害の少なさ | |
| D象限 改善課題 | 子育て環境 | 子育て環境 | 子育て環境 | | | | 子育て環境 |
| | 教育環境 | 教育環境 | 教育環境 | 教育環境 | 教育環境 | | 教育環境 |
| | 住宅事情 (地価・家賃・物件数など) | 住宅事情 (地価・家賃・物件数など) | 住宅事情 (地価・家賃・物件数など) | 住宅事情 (地価・家賃・物件数など) | 近所づきあい | | 住宅事情 (地価・家賃・物件数など) |
| | 福祉サービス (高齢者・障害のある方) | 親世帯との同居 または近居のしやすさ | 親世帯との同居 または近居のしやすさ | | 治安 | 福祉サービス (高齢者・障害のある方) | 福祉サービス (高齢者・障害のある方) |

属性別の評価維持項目と改善課題項目をまとめたのが上図である。

いずれの属性においても「生活の利便性」と「住環境」は評価維持項目にあげられており、これらは今後も高い評価を維持する必要がある。また、「医療施設の充実度」は育児期世帯、単身高齢者世帯、高齢者夫婦世帯では、評価維持項目にあげられており、医療施設を利用する頻度が高いと思われる世帯における充実度評価が高いことがうかがえる。

「子育て環境」については、若者世帯、夫婦のみ世帯、高齢者夫婦世帯においては、改善課題の象限に入っているが、実際に中学生以下の子どもと同居している育児期世帯、教育期世帯における評価は高く評価維持項目にあげられていることから、「子育て環境」については十分な評価が得られるサービスであることを子育て世帯以外に認知してもらう必要がある項目といえる。

一方、「教育環境」、「住宅事情（地価・家賃・物件数など）」については多くの世帯で改善課題にあげられており、こちらは改善が必要といえる。

若者世帯、夫婦世帯では、上記以外に「親世帯との同居または近居のしやすさ」が、教育期では「近所づきあい」、「治安」が、単身高齢者世帯、高齢者夫婦世帯では「福祉サービス（高齢者・障害のある方）」が改善課題にあげられており、それぞれのライフサイクルにおける定住意向改善における課題といえる。

3. 行政サービス評価改善のための分析

■ 行政サービス満足層と不満層における行政サービス不満度のGAPについて

堺市の行政サービス評価改善に向けた分析として、行政サービスの満足層と不満層における不満と思う行政サービスの違いについて分析する。

問 1A③「堺市の行政サービスや業務に満足していますか。」の設問 (P13) において、「そう思う」、「ある程度そう思う」と回答した層を満足層、「どちらともいえない」、「あまりそう思わない」、「思わない」と回答した層を不満層と設定した。

問 3「堺市の行政サービスの中で、不足や不満、問題を感じるもの」の結果 (P53～P54) を満足層と不満層で比較し、不満度の差 (GAP) を示したのが下図である。

<不満に感じる行政サービスのスコアと、行政サービス満足層・不満層のスコアGAP>

| 単位:% | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) |
|------------------|------------|---------|------------|------------|-------|---------------------|--------------|------------|---------------|------------|------------|---------------|------------|--------------|
| | 子育て施策全般 | 保育所サービス | 学校教育環境の充実 | 高齢者福祉 | 障害者福祉 | 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | 地震や台風などの災害対策 | 防犯対策 | 病院や救急医療など地域医療 | 緑の保全と緑化の推進 | 公園の整備 | ごみの分別収集、リサイクル | 道路や歩道の整備 | バス・電車などの交通の便 |
| 市民全体 | 14.4 | 12.2 | 14.4 | 28 | 12.8 | 31.7 | 26.3 | 25.3 | 25.7 | 13 | 18.6 | 12.4 | 36.8 | 34.8 |
| 満足層 | 8.8 | 9.4 | 11.4 | 22.2 | 10.8 | 26.9 | 22.2 | 21.0 | 19.1 | 10.5 | 15.5 | 10.6 | 32.0 | 27.9 |
| 不満層 | 18.4 | 14.3 | 16.6 | 31.7 | 14.1 | 35.3 | 29.5 | 28.7 | 30.1 | 14.9 | 20.9 | 13.6 | 40.5 | 39.6 |
| 不満度GAP (不満層-満足層) | 9.6 | 4.9 | 5.2 | 9.5 | 3.3 | 8.4 | 7.3 | 7.7 | 11.0 | 4.4 | 5.4 | 3.0 | 8.5 | 11.7 |

| 単位:% | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | (21) | (22) | (23) | (24) | (25) | (26) | (27) | |
|------------------|------------|---------------|--------------|-------|--------------|--------------|---------|--------|------------|---------|------------------|------------|-------------|------|
| | 最寄駅周辺の整備 | まちなみや景観の形成や保全 | 都心部の整備や魅力づくり | 観光の振興 | 良質な水の確保や安定供給 | 河川改修や水辺環境の整備 | 市民文化の振興 | 中小企業振興 | 雇用の創出 | スポーツの振興 | 経済的に困っている人の保護や支援 | 国際交流・協力の推進 | 身近な住民窓口サービス | 平均値 |
| 市民全体 | 17.3 | 13.4 | 19.4 | 15.7 | 13.4 | 15.1 | 7.4 | 7.6 | 15.5 | 6.2 | 15.1 | 5.6 | 18.6 | 17.7 |
| 満足層 | 13.5 | 11.0 | 16.0 | 14.7 | 11.5 | 12.4 | 5.7 | 6.0 | 12.0 | 5.1 | 11.7 | 4.9 | 12.6 | 14.3 |
| 不満層 | 20.4 | 15.2 | 22.1 | 16.6 | 14.8 | 16.8 | 8.7 | 8.7 | 18.2 | 6.9 | 17.4 | 6.1 | 22.9 | 20.1 |
| 不満度GAP (不満層-満足層) | 6.9 | 4.2 | 6.1 | 1.9 | 3.3 | 4.4 | 3.0 | 2.7 | 6.2 | 1.8 | 5.7 | 1.2 | 10.3 | 5.8 |

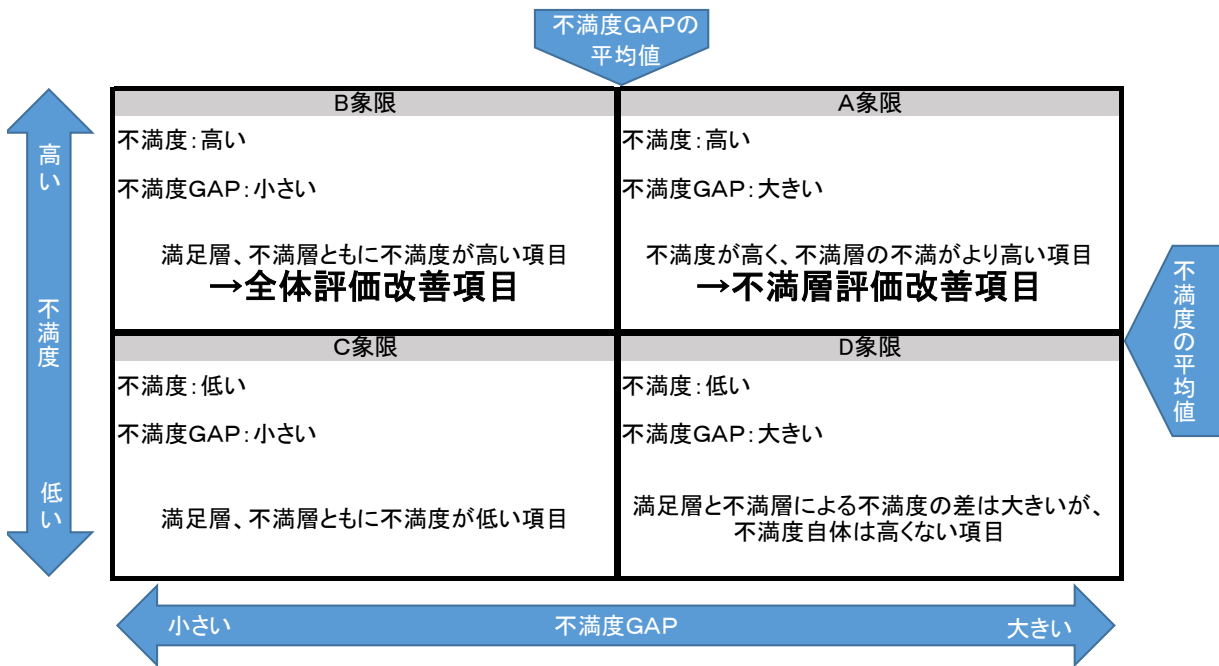
赤字 …… 不満層と満足層のGAPが10ポイント以上
赤字 …… 不満層と満足層のGAPが5ポイント以上

各種行政サービスの不満度と、満足層と不満層のGAP（P90）の関係を下図のように整理することで、改善が必要な行政サービスを把握することができる。

A象限、B象限はともに不満度が高い項目で、ともに改善の必要な項目ではあるが、A象限は不満層における不満がより高い項目となり、不満層の評価改善に特に有効な項目と言え、B象限は満足層、不満層ともに不満度が高い項目のため、全体的な評価改善に有効な項目といえる。

また、ライフサイクル別に同様の分析をすることにより、各ライフサイクルに応じた改善項目を抽出する。

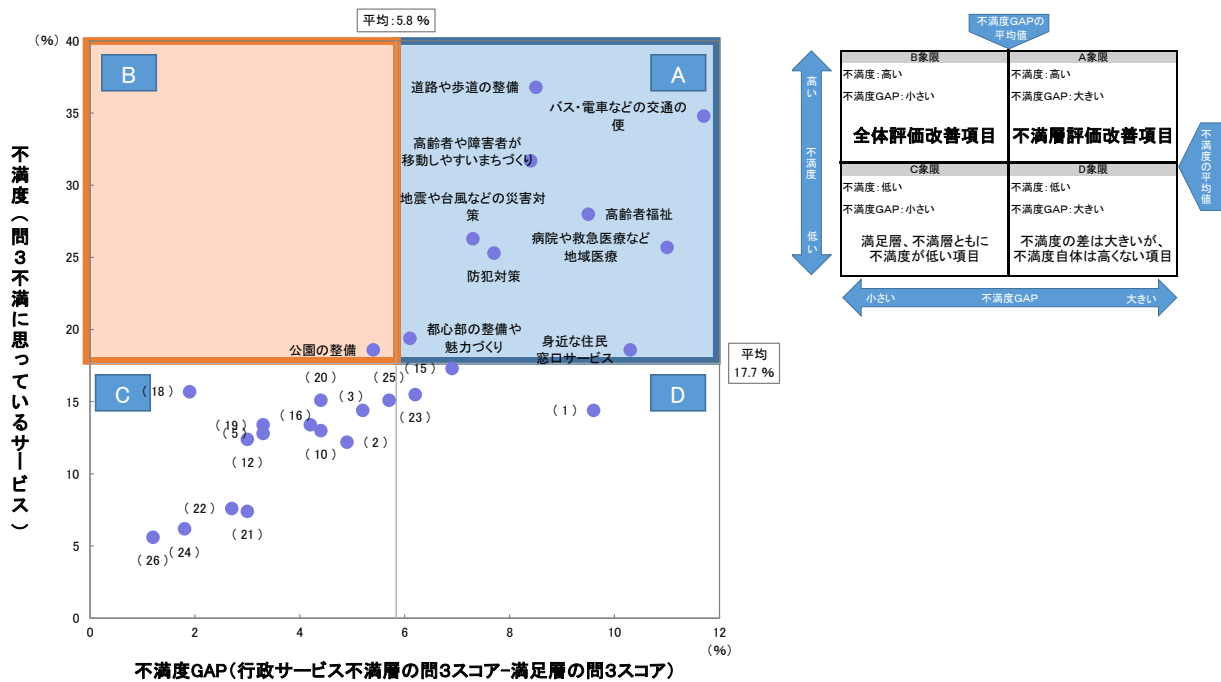
＜行政サービスの不満度と、満足層と不満層の不満度GAPの関係図＞



| | |
|------------|---|
| 縦軸「不満度」 | 問3「堺市の行政サービスの中で、不足や不満、問題を感じるもの」のスコア |
| 横軸「不満度GAP」 | 問3「堺市の行政サービスの中で、不足や不満、問題を感じるもの」の行政サービス不満層スコア-満足層スコア |

| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | (14) |
|--|----------|---------------|--------------|-------|--------------|---------------------|--------------|--------|---------------|------------|------------------|---------------|-------------|--------------|
| <市民全体> 単位: % | 子育て施策全般 | 保育所サービス | 学校教育環境の充実 | 高齢者福祉 | 障害者福祉 | 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | 地震や台風などの災害対策 | 防犯対策 | 病院や救急医療など地域医療 | 緑の保全と緑化の推進 | 公園の整備 | ごみの分別収集、リサイクル | 道路や歩道の整備 | バス・電車などの交通の便 |
| 縦軸: 「堺市の行政サービスの中で、不足や不満、問題を感じるもの」のスコア | 14.4 | 12.2 | 14.4 | 28.0 | 12.8 | 31.7 | 26.3 | 25.3 | 25.7 | 13.0 | 18.6 | 12.4 | 36.8 | 34.8 |
| 横軸: 不満度GAP (不満層-満足層) | 9.6 | 4.9 | 5.2 | 9.5 | 3.3 | 8.4 | 7.3 | 7.7 | 11.0 | 4.4 | 5.4 | 3.0 | 8.5 | 11.7 |
| | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | (21) | (22) | (23) | (24) | (25) | (26) | (27) | |
| <市民全体> 単位: % | 最寄駅周辺の整備 | まちなみや景観の形成や保全 | 都心部の整備や魅力づくり | 観光の振興 | 良質な水の確保や安定供給 | 河川改修や水辺環境の整備 | 市民文化の振興 | 中小企業振興 | 雇用の創出 | スポーツの振興 | 経済的に困っている人の保護や支援 | 国際交流・協力の推進 | 身近な住民窓口サービス | 平均値 |
| 縦軸: 「堺市の行政サービスの中で、不足や不満、問題を感じるもの」のスコア | 17.3 | 13.4 | 19.4 | 15.7 | 13.4 | 15.1 | 7.4 | 7.6 | 15.5 | 6.2 | 15.1 | 5.6 | 18.6 | 17.7 |
| 横軸: 不満度GAP (不満層-満足層) | 6.9 | 4.2 | 6.1 | 1.9 | 3.3 | 4.4 | 3.0 | 2.7 | 6.2 | 1.8 | 5.7 | 1.2 | 10.3 | 5.8 |

<行政サービス評価改善に向けた課題（市民全体）>



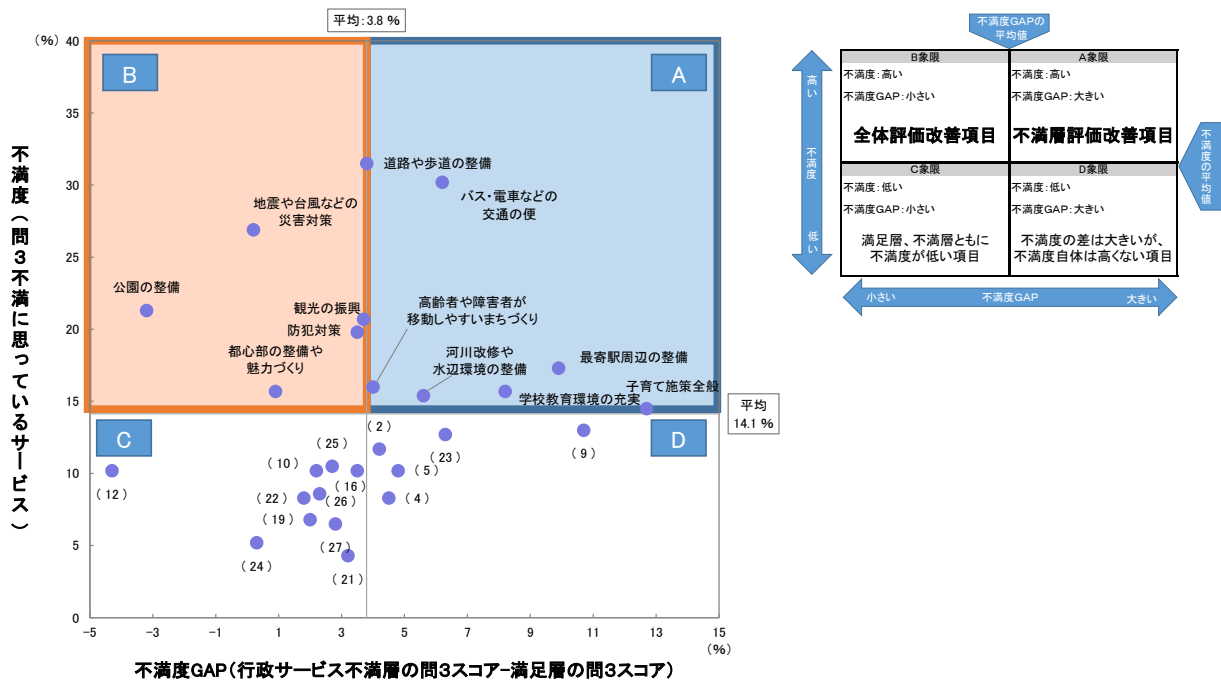
【凡例】

| | |
|-------------------------|-----------------------|
| (1) 子育て施策全般 | (15) 最寄駅周辺の整備 |
| (2) 保育所サービス | (16) まちなみや景観の形成や保全 |
| (3) 学校教育環境の充実 | (17) 都心部の整備や魅力づくり |
| (4) 高齢者福祉 | (18) 観光の振興 |
| (5) 障害者福祉 | (19) 良質な水の確保や安定供給 |
| (6) 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | (20) 河川改修や水辺環境の整備 |
| (7) 地震や台風などの災害対策 | (21) 市民文化の振興 |
| (8) 防犯対策 | (22) 中小企業振興 |
| (9) 病院や救急医療など地域医療 | (23) 雇用の創出 |
| (10) 緑の保全と緑化の推進 | (24) スポーツの振興 |
| (11) 公園の整備 | (25) 経済的に困っている人の保護や支援 |
| (12) ごみの分別収集、リサイクル | (26) 国際交流・協力の推進 |
| (13) 道路や歩道の整備 | (27) 身近な住民窓口サービス |
| (14) バス・電車などの交通の便 | |

市民全体では、満足層、不満層いずれにおいても不満度が高いB象限にあたるのは、「公園の整備」である。

不満度が高く、不満層における不満の度合いがより高いA象限にあたるのは、「道路や歩道の整備」、「バス・電車などの交通の便」、「高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり」、「高齢者福祉」、「地震や台風などの災害対策」、「病院や救急医療など地域医療」、「防犯対策」、「都心部の整備や魅力づくり」、「身近な住民窓口サービス」である。

＜行政サービス評価改善に向けた課題（若者）＞



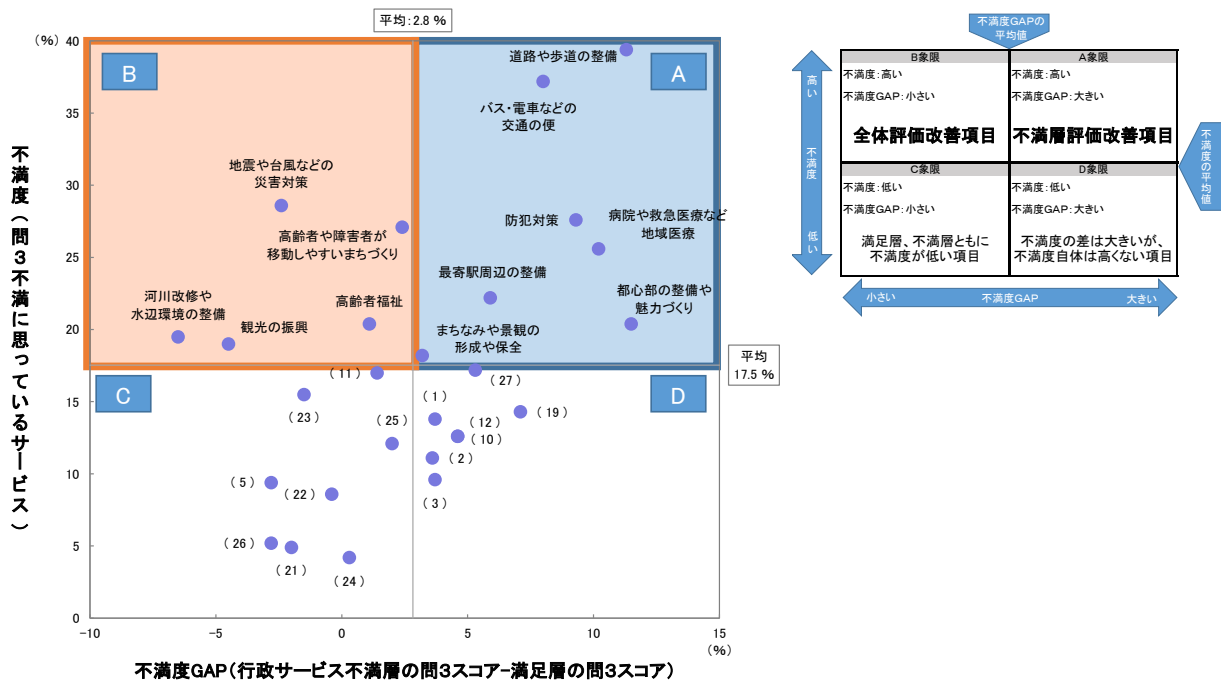
【凡例】

| | |
|-------------------------|-----------------------|
| (1) 子育て施策全般 | (15) 最寄駅周辺の整備 |
| (2) 保育所サービス | (16) まちなみや景観の形成や保全 |
| (3) 学校教育環境の充実 | (17) 都心部の整備や魅力づくり |
| (4) 高齢者福祉 | (18) 観光の振興 |
| (5) 障害者福祉 | (19) 良質な水の確保や安定供給 |
| (6) 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | (20) 河川改修や水辺環境の整備 |
| (7) 地震や台風などの災害対策 | (21) 市民文化の振興 |
| (8) 防犯対策 | (22) 中小企業振興 |
| (9) 病院や救急医療など地域医療 | (23) 雇用の創出 |
| (10) 緑の保全と緑化の推進 | (24) スポーツの振興 |
| (11) 公園の整備 | (25) 経済的に困っている人の保護や支援 |
| (12) ごみの分別収集、リサイクル | (26) 国際交流・協力の推進 |
| (13) 道路や歩道の整備 | (27) 身近な住民窓口サービス |
| (14) バス・電車などの交通の便 | |

若者世帯では、満足層、不満層いずれにおいても不満度が高いB象限にあたるのは、「地震や台風などの災害対策」、「公園の整備」、「観光の振興」、「防犯対策」、「都心部の整備や魅力づくり」である。

不満度が高く、不満層における不満の度合いがより高いA象限にあたるのは、「道路や歩道の整備」、「バス・電車などの交通の便」、「最寄駅周辺の整備」、「高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり」、「学校教育環境の充実」、「河川改修や水辺環境の整備」、「子育て施策全般」である。

<行政サービス評価改善に向けた課題（夫婦のみ）>



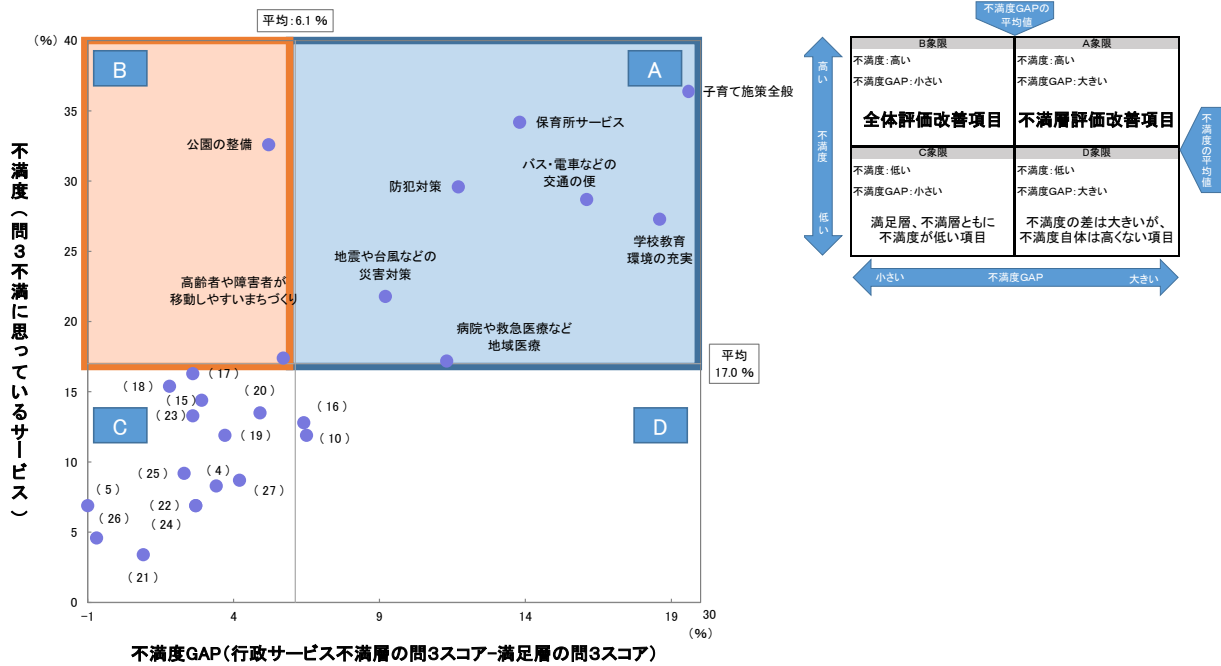
【凡例】

| | |
|-------------------------|-----------------------|
| (1) 子育て施策全般 | (15) 最寄駅周辺の整備 |
| (2) 保育所サービス | (16) まちなみや景観の形成や保全 |
| (3) 学校教育環境の充実 | (17) 都心部の整備や魅力づくり |
| (4) 高齢者福祉 | (18) 観光の振興 |
| (5) 障害者福祉 | (19) 良質な水の確保や安定供給 |
| (6) 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | (20) 河川改修や水辺環境の整備 |
| (7) 地震や台風などの災害対策 | (21) 市民文化の振興 |
| (8) 防犯対策 | (22) 中小企業振興 |
| (9) 病院や救急医療など地域医療 | (23) 雇用の創出 |
| (10) 緑の保全と緑化の推進 | (24) スポーツの振興 |
| (11) 公園の整備 | (25) 経済的に困っている人の保護や支援 |
| (12) ごみの分別収集、リサイクル | (26) 国際交流・協力の推進 |
| (13) 道路や歩道の整備 | (27) 身近な住民窓口サービス |
| (14) バス・電車などの交通の便 | |

夫婦のみ世帯では、満足層、不満層いずれにおいても不満度が高いB象限にあたるのは、「地震や台風などの災害対策」、「高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり」、「高齢者福祉」、「河川改修や水辺環境の整備」、「観光の振興」である。

不満度が高く、不満層における不満の度合いがより高いA象限にあたるのは、「道路や歩道の整備」、「バス・電車などの交通の便」、「防犯対策」、「病院や救急医療など地域医療」、「最寄駅周辺の整備」、「都心部の整備や魅力づくり」、「まちなみや景観の形成や保全」である。

＜行政サービス評価改善に向けた課題（育児期）＞



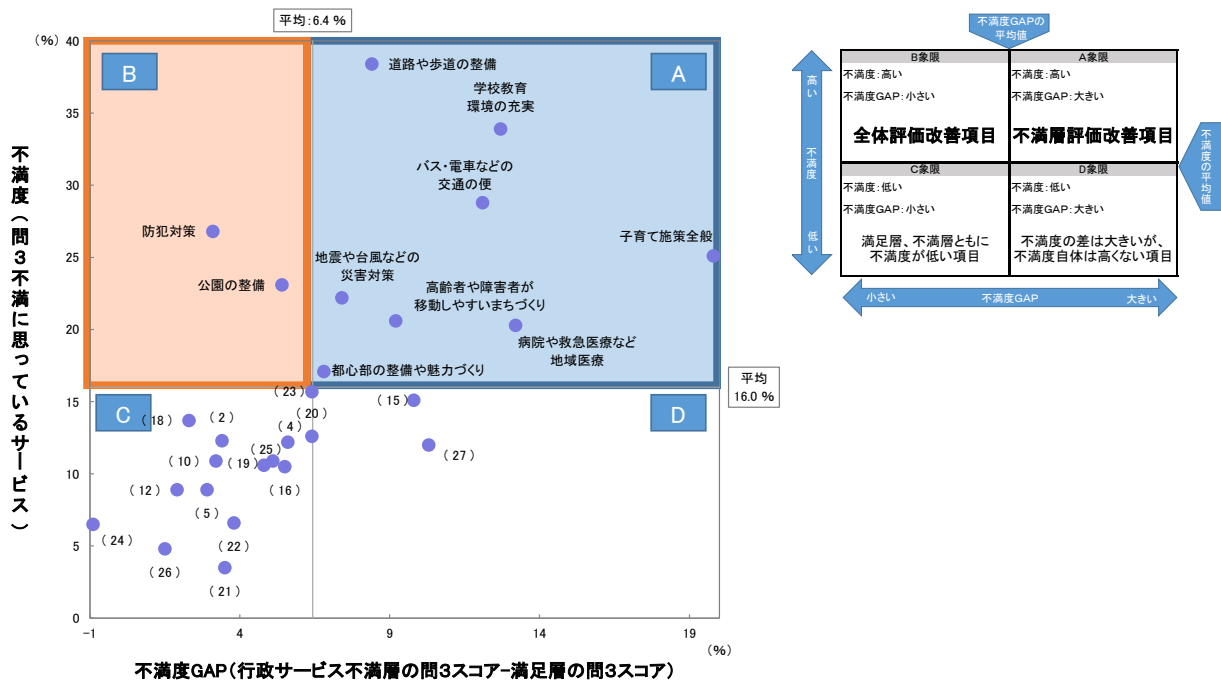
【凡例】

| | | | |
|------|---------------------|------|------------------|
| (1) | 子育て施策全般 | (15) | 最寄駅周辺の整備 |
| (2) | 保育所サービス | (16) | まちなみや景観の形成や保全 |
| (3) | 学校教育環境の充実 | (17) | 都心部の整備や魅力づくり |
| (4) | 高齢者福祉 | (18) | 観光の振興 |
| (5) | 障害者福祉 | (19) | 良質な水の確保や安定供給 |
| (6) | 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | (20) | 河川改修や水辺環境の整備 |
| (7) | 地震や台風などの災害対策 | (21) | 市民文化の振興 |
| (8) | 防犯対策 | (22) | 中小企業振興 |
| (9) | 病院や救急医療など地域医療 | (23) | 雇用の創出 |
| (10) | 緑の保全と緑化の推進 | (24) | スポーツの振興 |
| (11) | 公園の整備 | (25) | 経済的に困っている人の保護や支援 |
| (12) | ごみの分別収集、リサイクル | (26) | 国際交流・協力の推進 |
| (13) | 道路や歩道の整備 | (27) | 身近な住民窓口サービス |
| (14) | バス・電車などの交通の便 | | |

育児期世帯では、満足層、不満層いずれにおいても不満度が高いB象限にあたるのは、「公園の整備」、「高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり」である。

不満度が高く、不満層における不満の度合いがより高いA象限にあたるのは、「子育て施策全般」、「保育所サービス」、「防犯対策」、「バス・電車などの交通の便」、「学校教育環境の充実」、「地震や台風などの災害対策」、「病院や救急医療など地域医療」である。

＜行政サービス評価改善に向けた課題（教育期）＞



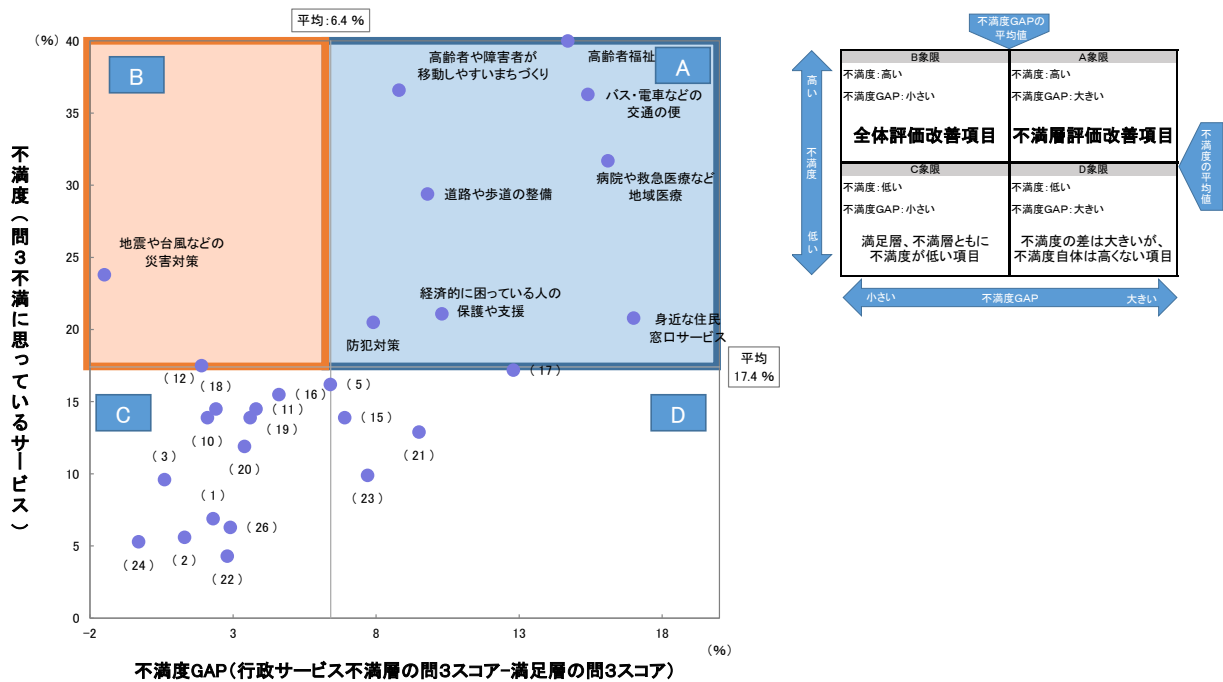
【凡例】

| | |
|-------------------------|-----------------------|
| (1) 子育て施策全般 | (15) 最寄駅周辺の整備 |
| (2) 保育所サービス | (16) まちなみや景観の形成や保全 |
| (3) 学校教育環境の充実 | (17) 都心部の整備や魅力づくり |
| (4) 高齢者福祉 | (18) 観光の振興 |
| (5) 障害者福祉 | (19) 良質な水の確保や安定供給 |
| (6) 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | (20) 河川改修や水辺環境の整備 |
| (7) 地震や台風などの災害対策 | (21) 市民文化の振興 |
| (8) 防犯対策 | (22) 中小企業振興 |
| (9) 病院や救急医療など地域医療 | (23) 雇用の創出 |
| (10) 緑の保全と緑化の推進 | (24) スポーツの振興 |
| (11) 公園の整備 | (25) 経済的に困っている人の保護や支援 |
| (12) ごみの分別収集、リサイクル | (26) 国際交流・協力の推進 |
| (13) 道路や歩道の整備 | (27) 身近な住民窓口サービス |
| (14) バス・電車などの交通の便 | |

教育期世帯では、満足層、不満層いずれにおいても不満度が高いB象限にあたるのは、「防犯対策」、「公園の整備」である。

不満度が高く、不満層における不満の度合いがより高いA象限にあたるのは、「道路や歩道の整備」、「学校教育環境の充実」、「バス・電車などの交通の便」、「子育て施策全般」、「地震や台風などの災害対策」、「高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり」、「病院や救急医療など地域医療」、「都心部の整備や魅力づくり」である。

<行政サービス評価改善に向けた課題（単身高齢者）>



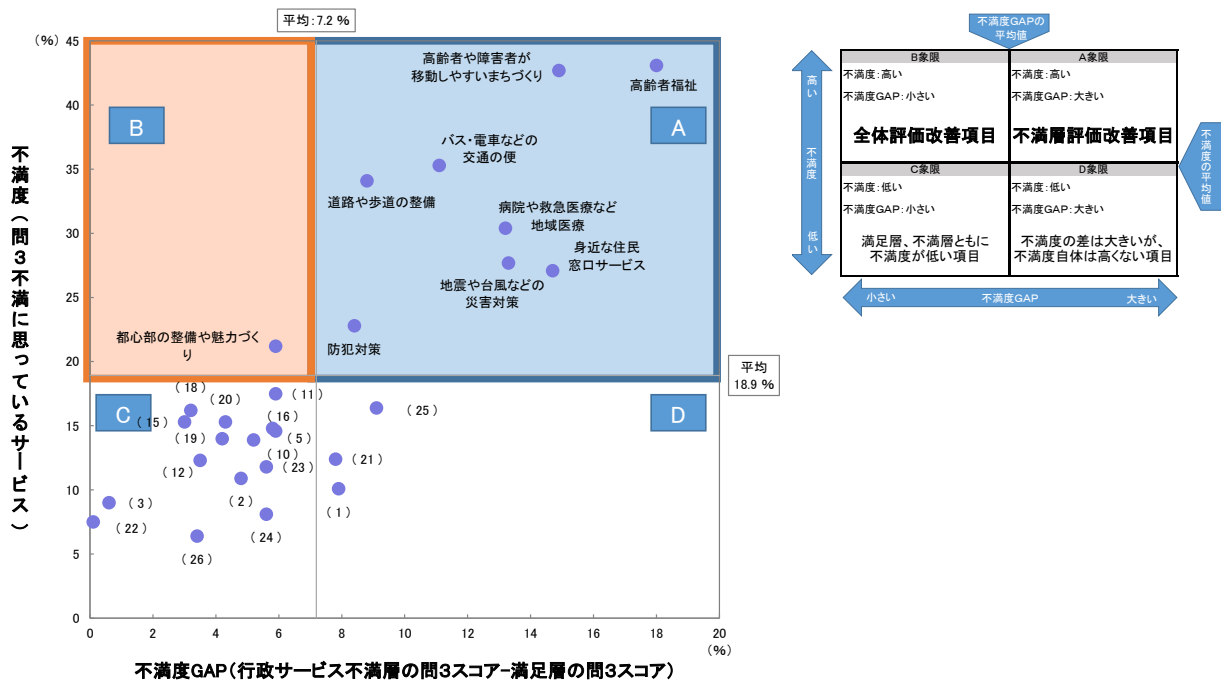
【凡例】

| | |
|-------------------------|-----------------------|
| (1) 子育て施策全般 | (15) 最寄駅周辺の整備 |
| (2) 保育所サービス | (16) まちなみや景観の形成や保全 |
| (3) 学校教育環境の充実 | (17) 都心部の整備や魅力づくり |
| (4) 高齢者福祉 | (18) 観光の振興 |
| (5) 障害者福祉 | (19) 良質な水の確保や安定供給 |
| (6) 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | (20) 河川改修や水辺環境の整備 |
| (7) 地震や台風などの災害対策 | (21) 市民文化の振興 |
| (8) 防犯対策 | (22) 中小企業振興 |
| (9) 病院や救急医療など地域医療 | (23) 雇用の創出 |
| (10) 緑の保全と緑化の推進 | (24) スポーツの振興 |
| (11) 公園の整備 | (25) 経済的に困っている人の保護や支援 |
| (12) ごみの分別収集、リサイクル | (26) 国際交流・協力の推進 |
| (13) 道路や歩道の整備 | (27) 身近な住民窓口サービス |
| (14) バス・電車などの交通の便 | |

単身高齢者世帯では、満足層、不満層いずれにおいても不満度が高いB象限にあたるのは、「地震や台風などの災害対策」である。

不満度が高く、不満層における不満の度合いがより高いA象限にあたるのは、「高齢者福祉」、「高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり」、「バス・電車などの交通の便」、「病院や救急医療など地域医療」、「道路や歩道の整備」、「経済的に困っている人の保護や支援」、「身近な住民窓口サービス」、「防犯対策」である。

<行政サービス評価改善に向けた課題（高齢者夫婦）>



【凡例】

| | |
|-------------------------|-----------------------|
| (1) 子育て施策全般 | (15) 最寄駅周辺の整備 |
| (2) 保育所サービス | (16) まちなみや景観の形成や保全 |
| (3) 学校教育環境の充実 | (17) 都心部の整備や魅力づくり |
| (4) 高齢者福祉 | (18) 観光の振興 |
| (5) 障害者福祉 | (19) 良質な水の確保や安定供給 |
| (6) 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | (20) 河川改修や水辺環境の整備 |
| (7) 地震や台風などの災害対策 | (21) 市民文化の振興 |
| (8) 防犯対策 | (22) 中小企業振興 |
| (9) 病院や救急医療など地域医療 | (23) 雇用の創出 |
| (10) 緑の保全と緑化の推進 | (24) スポーツの振興 |
| (11) 公園の整備 | (25) 経済的に困っている人の保護や支援 |
| (12) ごみの分別収集、リサイクル | (26) 国際交流・協力の推進 |
| (13) 道路や歩道の整備 | (27) 身近な住民窓口サービス |
| (14) バス・電車などの交通の便 | |

高齢者夫婦世帯では、満足層、不満層いずれにおいても不満度が高いB象限にあたるのは、「都心部の整備や魅力づくり」である。

不満度が高く、不満層における不満の度合いがより高いA象限にあたるのは、「高齢者福祉」、「高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり」、「バス・電車などの交通の便」、「道路や歩道の整備」、「病院や救急医療など地域医療」、「地震や台風などの災害対策」、「身近な住民窓口サービス」、「防犯対策」である。

＜属性別の不満層評価改善項目、全体評価改善項目のまとめ＞

| | 市民全体 | 若者 | 夫婦のみ | 育児期 | 教育期 | 単身高齢者 | 高齢者夫婦 |
|------------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| A象限 不満層 評価 改善項目 | バス・電車などの交通の便 | バス・電車などの交通の便 | バス・電車などの交通の便 | バス・電車などの交通の便 | バス・電車などの交通の便 | バス・電車などの交通の便 | バス・電車などの交通の便 |
| | 道路や歩道の整備 | 道路や歩道の整備 | 道路や歩道の整備 | 道路や歩道の整備 | 道路や歩道の整備 | 道路や歩道の整備 | 道路や歩道の整備 |
| | 病院や救急医療など地域医療 | | 病院や救急医療など地域医療 | 病院や救急医療など地域医療 | 病院や救急医療など地域医療 | 病院や救急医療など地域医療 | 病院や救急医療など地域医療 |
| | 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | | | 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり |
| | 防犯対策 | | 防犯対策 | 防犯対策 | | 防犯対策 | 防犯対策 |
| | 地震や台風などの災害対策 | | | 地震や台風などの災害対策 | 地震や台風などの災害対策 | | 地震や台風などの災害対策 |
| | 高齢者福祉 | | | | | 高齢者福祉 | 高齢者福祉 |
| | 都心部の整備や魅力づくり | | 都心部の整備や魅力づくり | | 都心部の整備や魅力づくり | | |
| | 身近な住民窓口サービス | 最寄駅周辺の整備 | 最寄駅周辺の整備 | 子育て施策全般 | 子育て施策全般 | 身近な住民窓口サービス | 身近な住民窓口サービス |
| | 子育て施策全般 | 河川改修や水辺環境の整備 | まちなみや景観の形成や保全 | 学校教育環境の充実 | 学校教育環境の充実 | 経済的に困っている人の保護や支援 | |
| 学校教育環境の充実 | 子育て施策全般 | | 保育所サービス | | | | |
| 河川改修や水辺環境の整備 | 学校教育環境の充実 | | | | | | |
| B象限 全体 評価 改善項目 | 公園の整備 | 公園の整備 | 観光の振興 | 公園の整備 | 公園の整備 | | 都心部の整備や魅力づくり |
| | | 地震や台風などの災害対策 | 地震や台風などの災害対策 | | | 地震や台風などの災害対策 | |
| | | 観光の振興 | 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | | | |
| | | 防犯対策 | 高齢者福祉 | 防犯対策 | | | |
| | | 都心部の整備や魅力づくり | 河川改修や水辺環境の整備 | | | | |

属性別の不満層評価改善項目、全体評価改善項目をまとめたのが上図である。

いずれの属性においても不満層評価改善項目に「バス・電車などの交通の便」、「道路や歩道の整備」があげられており、これらは不満解消のために早急に改善に取り組むべき課題といえる。

「病院や救急医療など地域医療」、「高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり」、「防犯対策」についても複数の属性にあげられており、こちらも改善することで多くの層の不満が改善されると思われる。若者世帯、育児期世帯、教育期世帯では「子育て施策全般」、「学校教育環境の充実」が、単身高齢者世帯、高齢者夫婦世帯では「高齢者福祉」、「身近な住民窓口サービス」が不満層評価改善項目にあげられており、これらを改善することで該当する属性の評価を改善することができると思われる。

一方、全体評価改善項目としては、「公園の整備」が多くの属性であげられていた。

4. 堺市の都市魅力改善のための分析

■ 堺市への愛着あり層、なし層における堺市魅力度のGAPについて

堺市の都市魅力改善に向けた分析として、堺市への愛着あり層となし層における堺市の魅力の違いについて分析する。

問 1A④「堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。」(P14) の設問において、「そう思う」、「ある程度そう思う」と回答した層を愛着あり層、「どちらともいえない」、「あまりそう思わない」、「思わない」と回答した層をなし層と設定した。

問 5「堺市の魅力としてあてはまるものをすべてお選びください。」(P55) の結果を愛着あり層となし層で比較し、不満度の差 (GAP) を示したのが下図である。

<堺市の魅力と思うものの、愛着あり層・なし層のスコアGAP>

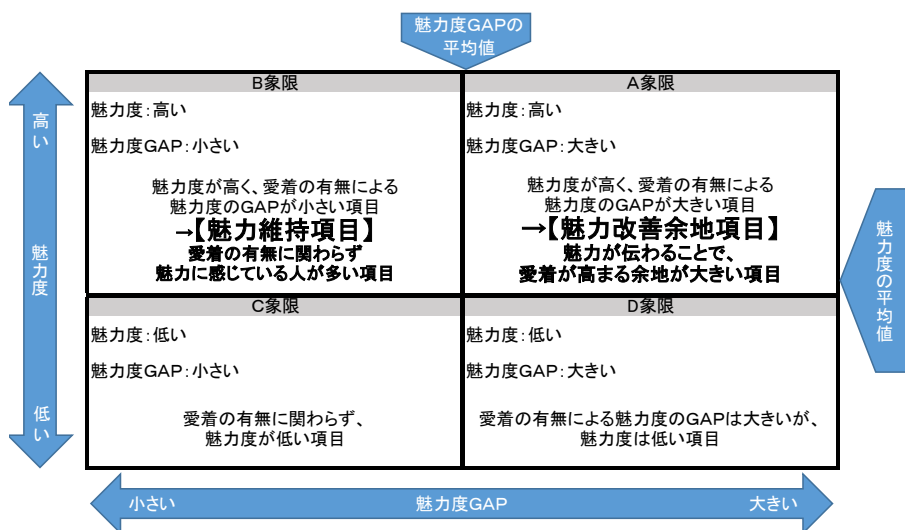
| 単位: % | (1) 百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富 | (2) 公共交通機関が整備されている | (3) 緑が多く自然が豊か | (4) 市民の人柄・人情が好ましい | (5) 文化芸術的な催し・イベントが楽しめる | (6) スポーツを楽しめる環境が整っている | (7) 公園などレジャー施設が充実している | (8) 図書館、体育館などの施設が整っている | (9) 都市部に近い | (10) 子育て・教育環境が充実している | 平均値 |
|---------------------|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------|-------------------------|------|
| 市民全体 | 63.7 | 19.2 | 27.9 | 13.8 | 8.6 | 5.4 | 14.4 | 19.9 | 39.2 | 5.5 | 21.8 |
| 愛着あり層 | 71.5 | 23.8 | 32.3 | 18 | 11.2 | 6.7 | 18 | 24.4 | 42.9 | 7.5 | 25.6 |
| 愛着なし層 | 51.9 | 12.4 | 21.2 | 7.1 | 4.7 | 3.1 | 8.8 | 12.9 | 33.8 | 2.6 | 15.9 |
| 魅力度GAP (あり層-なし層) | 19.6 | 11.4 | 11.1 | 10.9 | 6.5 | 3.6 | 9.2 | 11.5 | 9.1 | 4.9 | 9.8 |

太字 ……あり層となし層のGAPが10ポイント以上
太字 ……あり層となし層のGAPが5ポイント以上

堺市の魅力度と、愛着あり層と愛着なし層のGAP（P100）の関係を下図のように整理することで、都市魅力の改善に有効な魅力を抽出する。

A象限、B象限はともに魅力度が高い項目であるが、A象限は愛着あり層における魅力度がより高い項目で、愛着なし層にも高い魅力度が伝わることで堺市の都市魅力が高まる余地がある項目といえる。B象限は愛着の有無によるGAPが小さく、愛着の有無に関わらず魅力に感じられている項目で、こちらは魅力度の維持が必要な項目といえる。

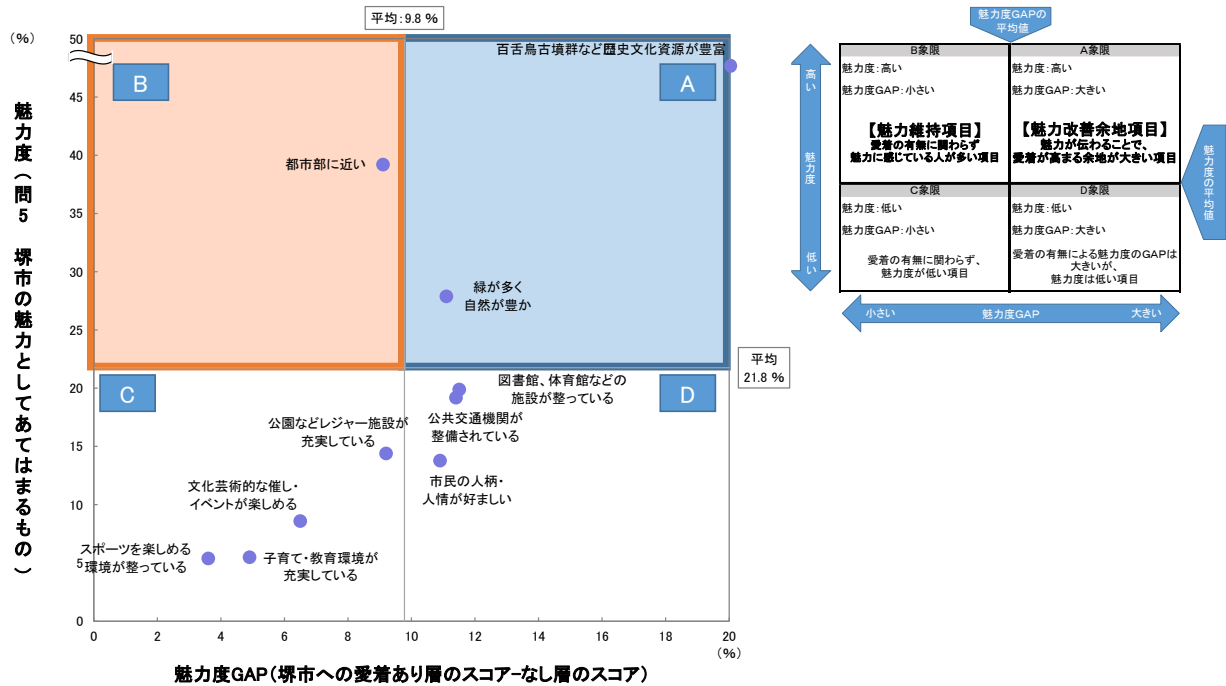
＜堺市の魅力と、堺市への愛着あり層となし層の魅力度GAPの関係図＞



| | |
|------------|--|
| 縦軸「魅力度」 | 問5「堺市の魅力としてあてはまるものをすべてお選びください。」のスコア |
| 横軸「魅力度GAP」 | 問1A④「堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。」の堺市への愛着あり層スコア-なし層スコア |

| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | |
|---|-------------------|----------------|------------|---------------|--------------------|------------------|-------------------|--------------------|--------|-----------------|------|
| ＜市民全体＞ 単位: % | 百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富 | 公共交通機関が整備されている | 緑が多く自然が豊かな | 市民の人柄・人情が好ましい | 文化芸術的な催し・イベントが楽しめる | スポーツを楽しむ環境が整っている | 公園などレジャー施設が充実している | 図書館、体育館などの施設が整っている | 都市部に近い | 子育て・教育環境が充実している | 平均値 |
| 縦軸: 問5「堺市の魅力としてあてはまるものをすべてお選びください。」のスコア | 63.7 | 19.2 | 27.9 | 13.8 | 8.6 | 5.4 | 14.4 | 19.9 | 39.2 | 5.5 | 21.8 |
| 横軸: 問1A④「堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。」の堺市への愛着あり層スコア-なし層スコア | 19.6 | 11.4 | 11.1 | 10.9 | 6.5 | 3.6 | 9.2 | 11.5 | 9.1 | 4.9 | 9.8 |

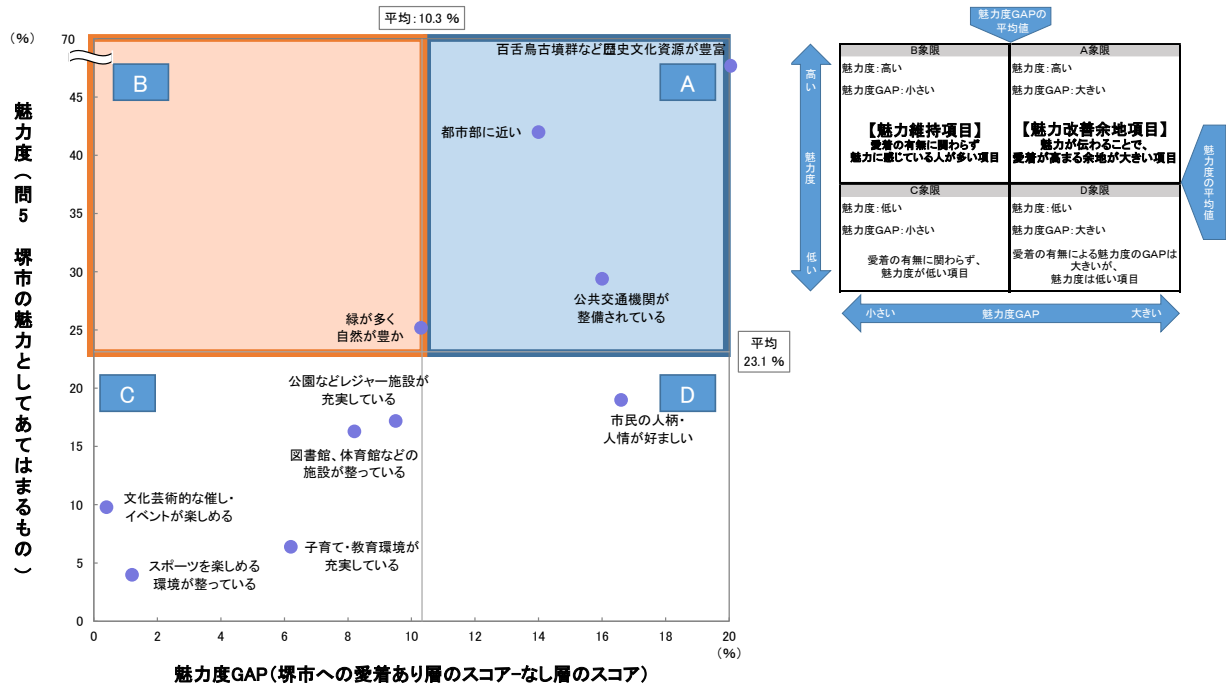
＜都市魅力改善に有効な魅力（市民全体）＞



市民全体において、愛着の有無に関わらず魅力度が高いB象限にあたる項目は「都市部に近い」である。

愛着がない層に魅力が伝わることで、愛着が高まる余地があるA象限にあたる項目は「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」、「緑が多く自然が豊か」である。特に「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」は魅力度が他の項目と比べて突出している。

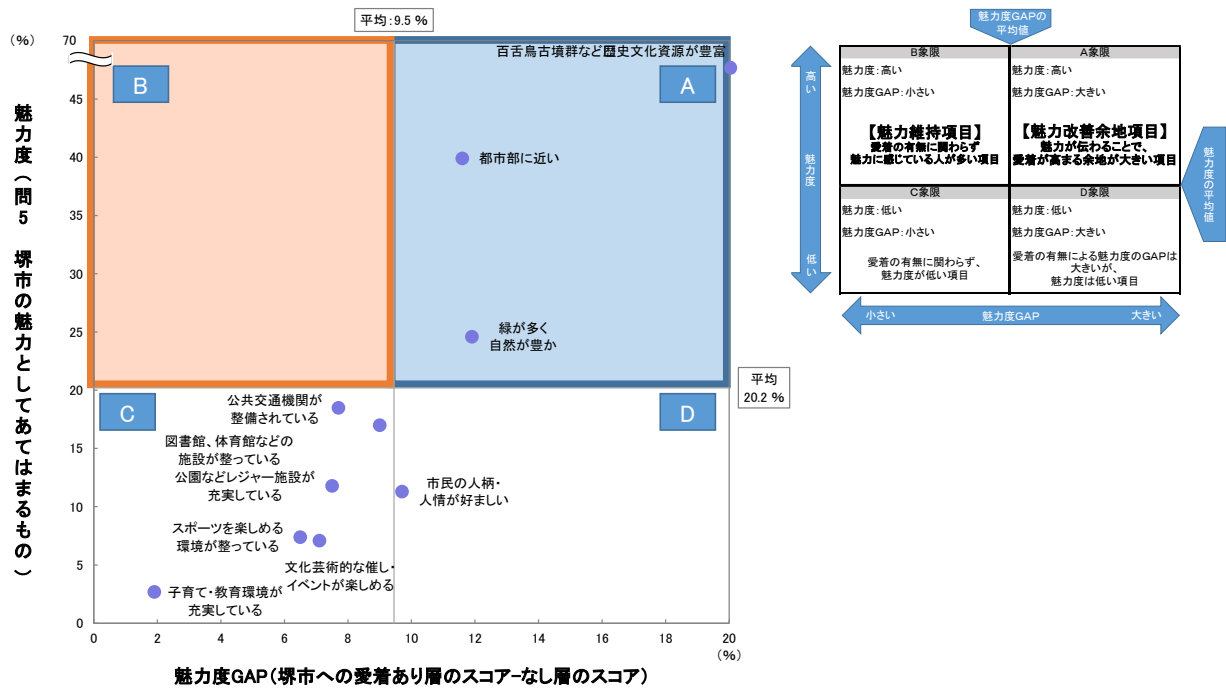
<都市魅力改善に有効な魅力（若者）>



若者世帯において、愛着の有無に関わらず魅力度が高いB象限にあたる項目は「緑が多く自然が豊か」である。

愛着がない層に魅力が伝わることで、愛着が高まる余地があるA象限にあたる項目は「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」、「都市部に近い」、「公共交通機関が整備されている」である。若者世帯でも「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」の魅力度は他の項目と比べて突出している。

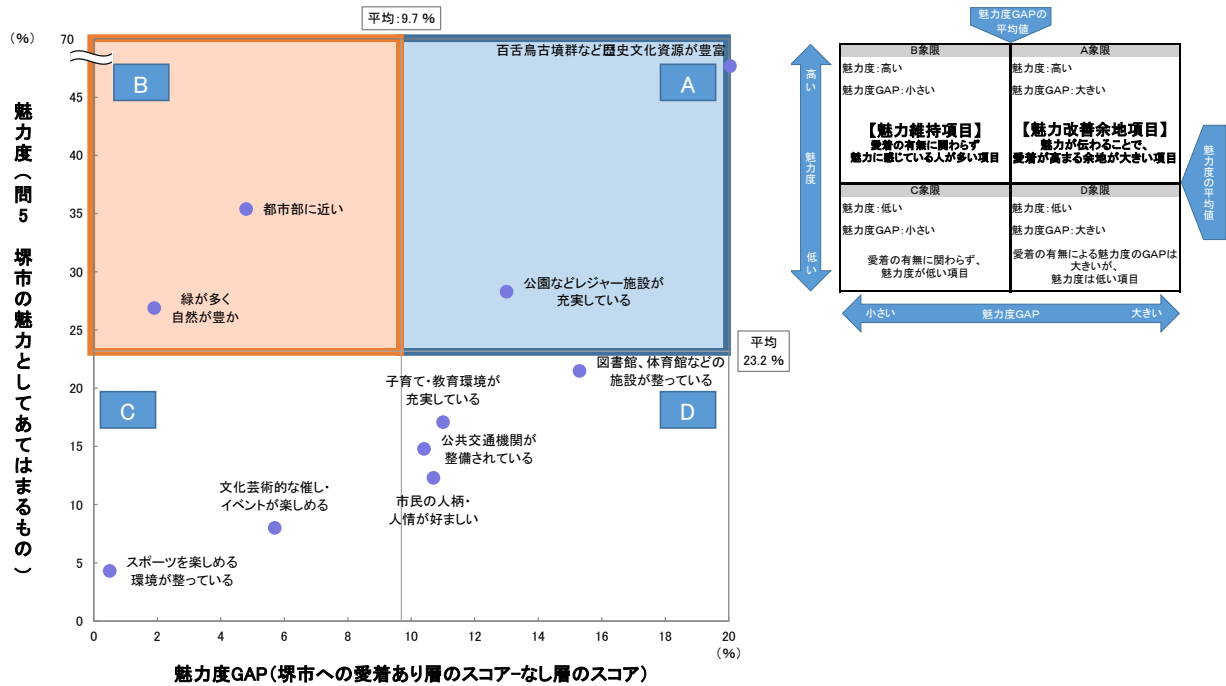
＜都市魅力改善に有効な魅力（夫婦のみ）＞



夫婦のみ世帯において、愛着の有無に関わらず魅力度が高いB象限にあたる項目はみられなかった。

愛着がない層に魅力が伝わることで、愛着が高まる余地があるA象限にあたる項目は「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」、「都市部に近い」、「緑が多く自然が豊か」である。「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」の魅力度が突出している点は夫婦のみ世帯でも同様である。

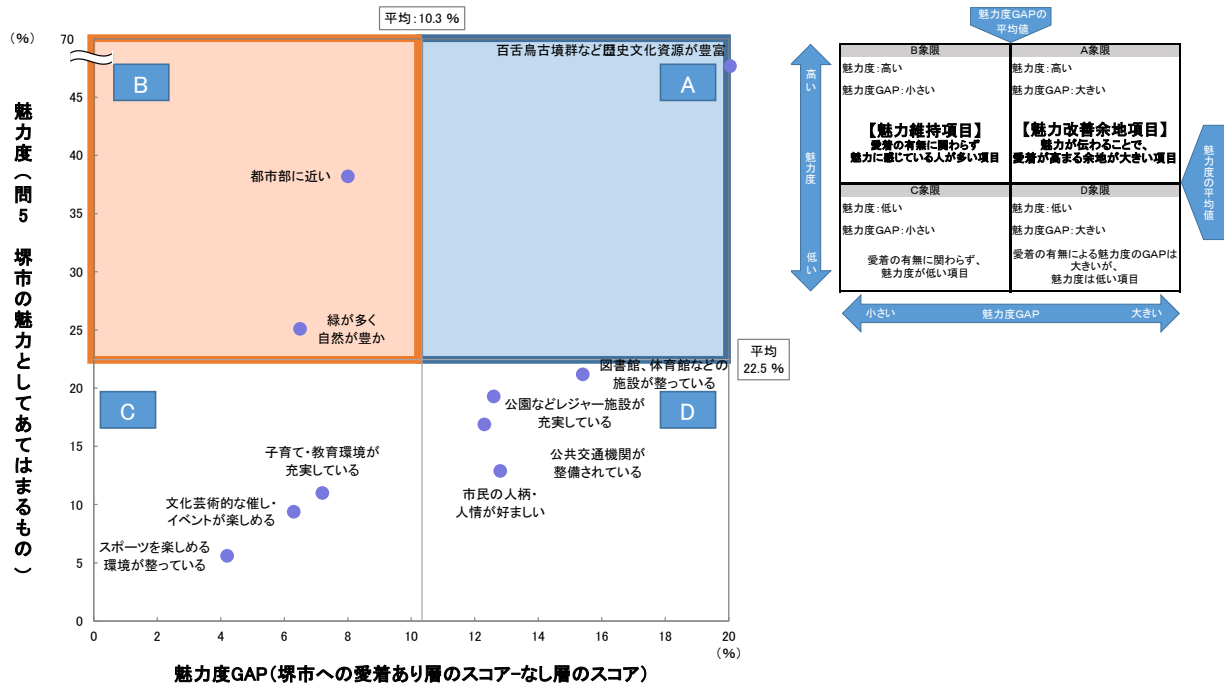
＜都市魅力改善に有効な魅力（育児期）＞



育児期世帯において、愛着の有無に関わらず魅力度が高いB象限にあたる項目は「都市部に近い」、「緑が多く自然が豊か」である。

愛着がない層に魅力が伝わることで、愛着が高まる余地があるA象限にあたる項目は「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」、「公園などレジャー施設が充実している」である。「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」の魅力度が突出している点は育児期世帯でも同様である。

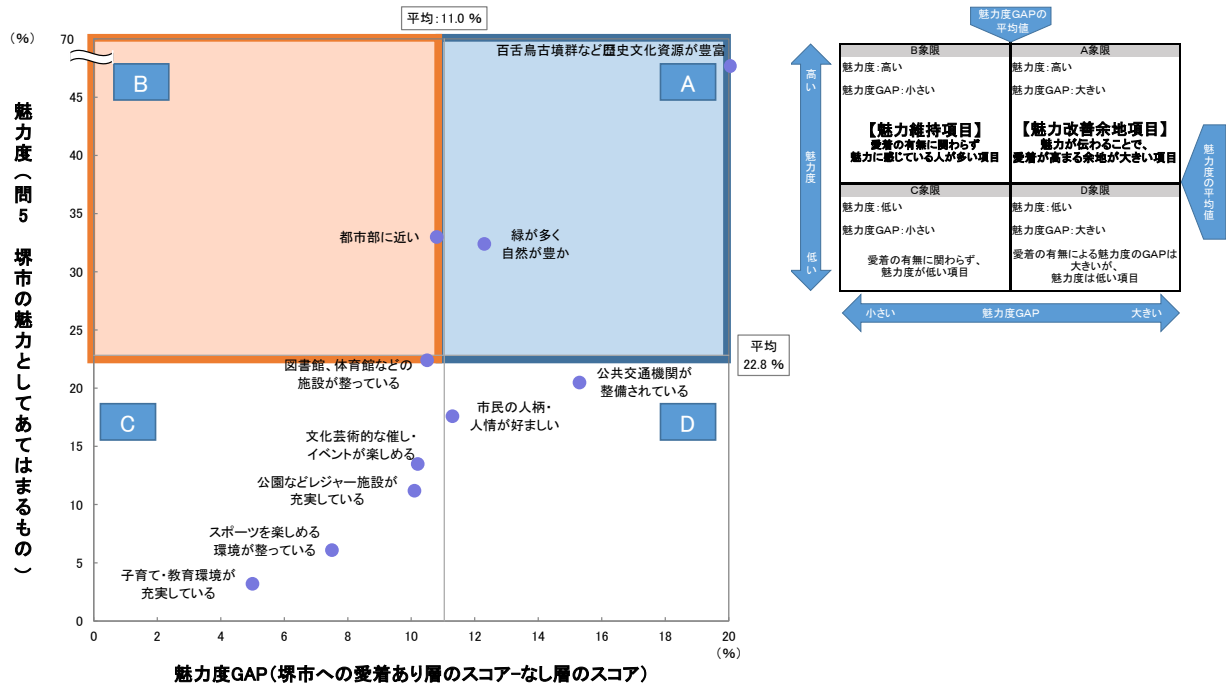
＜都市魅力改善に有効な魅力（教育期）＞



教育期世帯において、愛着の有無に関わらず魅力度が高いB象限にあたる項目は「都市部に近い」、「緑が多く自然が豊か」である。

愛着がない層に魅力が伝わることで、愛着が高まる余地があるA象限にあたる項目は「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」である。「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」の魅力度が突出している点は教育期世帯でも同様である。

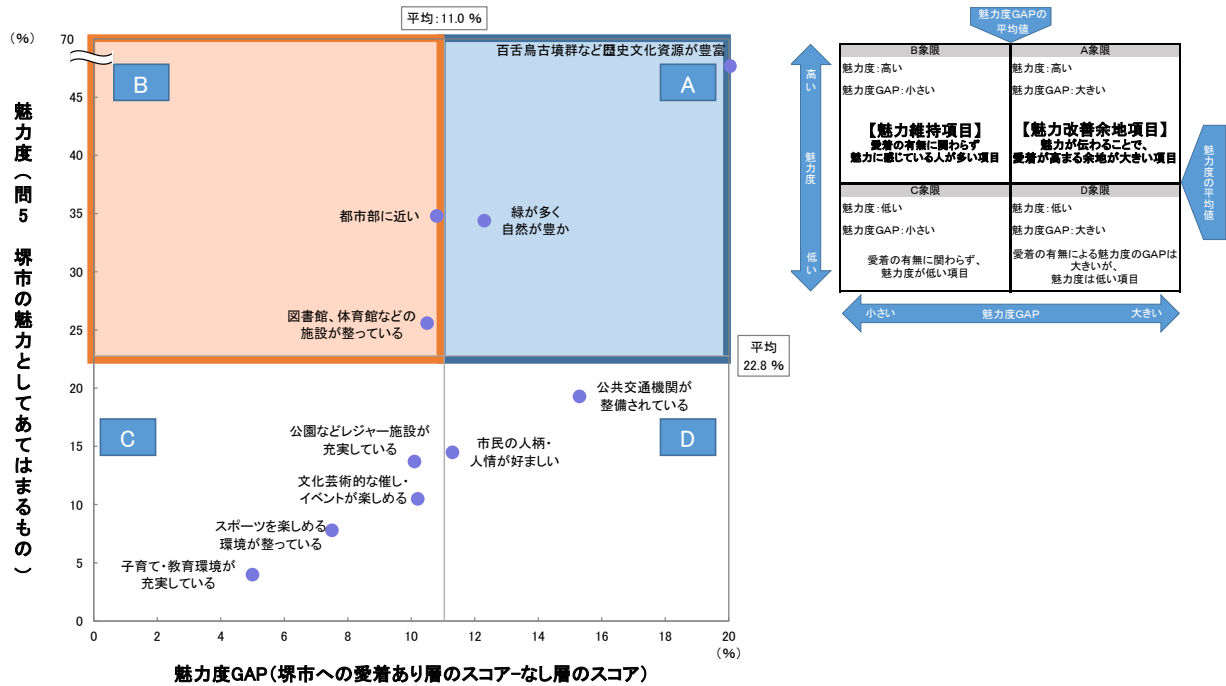
<都市魅力改善に有効な魅力（単身高齢者）>



単身高齢者世帯において、愛着の有無に関わらず魅力度が高いB象限にあたる項目は「都市部に近い」である。

愛着がない層に魅力が伝わることで、愛着が高まる余地があるA象限にあたる項目は「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」、「緑が多く自然が豊か」である。「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」の魅力度が突出している点は単身高齢者世帯でも同様である。

＜都市魅力改善に有効な魅力（高齢者夫婦）＞



高齢者夫婦世帯において、愛着の有無に関わらず魅力度が高いB象限にあたる項目は「都市部に近い」、「図書館、体育館などの施設が整っている」である。

愛着がない層に魅力が伝わることで、愛着が高まる余地があるA象限にあたる項目は「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」、「緑が多く自然が豊か」である。「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」の魅力度が突出している点は他の世帯と同様である。

＜属性別の魅力改善余地項目、魅力維持項目のまとめ＞

| | 市民全体 | 若者 | 夫婦のみ | 育児期 | 教育期 | 単身高齢者 | 高齢者夫婦 |
|----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| A象限 | 百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富 | 百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富 | 百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富 | 百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富 | 百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富 | 百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富 | 百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富 |
| 魅力改善余地項目 | 緑が多く自然が豊か | 都市部に近い | 都市部に近い | | | | |
| | | | 緑が多く自然が豊か | | | 緑が多く自然が豊か | 緑が多く自然が豊か |
| | | 公共交通機関が整備されている | | 公園などレジャー施設が充実している | | | |
| B象限 | 都市部に近い | | | 都市部に近い | 都市部に近い | 都市部に近い | 都市部に近い |
| 魅力維持項目 | | 緑が多く自然が豊か | | 緑が多く自然が豊か | 緑が多く自然が豊か | | |
| | | | | | | | 図書館、体育館などの施設が整っている |
| | | | | | | | |

属性別の魅力改善余地項目と魅力維持項目をまとめたのが上図である。

いずれの属性においてもA象限に「百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富」があげられており、こちらは魅力度の高さ、あり層なし層のGAPの大きさともに他の項目と比べて突出しており、世帯属性に関わらず、歴史文化資源の魅力を伝えることが都市魅力改善に有効といえる。

また、「都市部に近い」は若者世帯、夫婦のみ世帯ではA象限に入っており、その他の世帯ではB象限に入っている。これは「都市部に近い」という魅力が、若者世帯、夫婦のみ世帯に伝わりきっていないといえるため、上記の世帯においては重点的に「都市部に近い」という魅力の周知を促すことで都市魅力度の改善が期待できる。

一方、「緑が多く自然が豊か」については、夫婦のみ世帯のほか、単身高齢者世帯、高齢者夫婦世帯といった高齢者層においてA象限に入っており、他の世帯ではB象限に入っているため、高齢者層には「自然が豊か」という魅力の周知を促すことで都市魅力度の改善が期待できる。

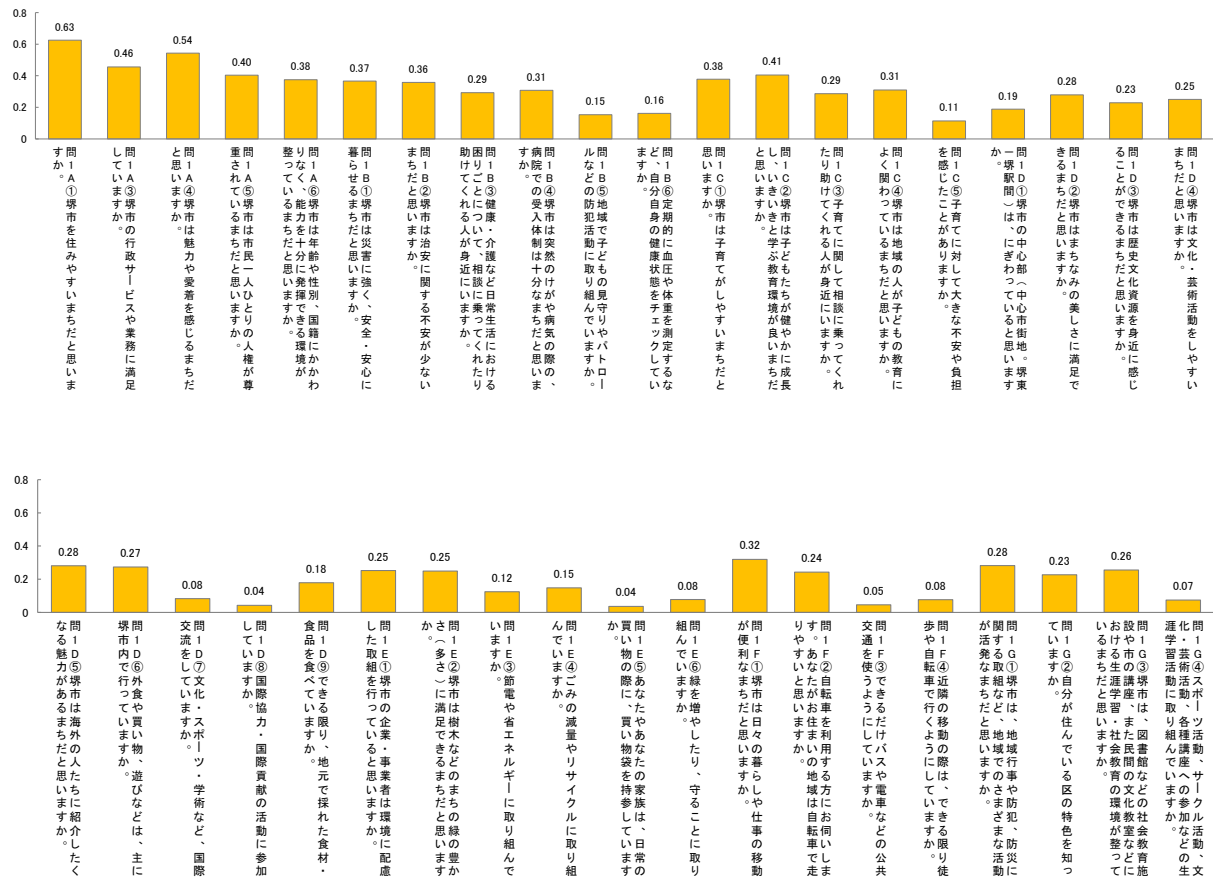
5. 次期課題抽出のための分析

1. 日常生活の意識・行動と定住意向の相関分析

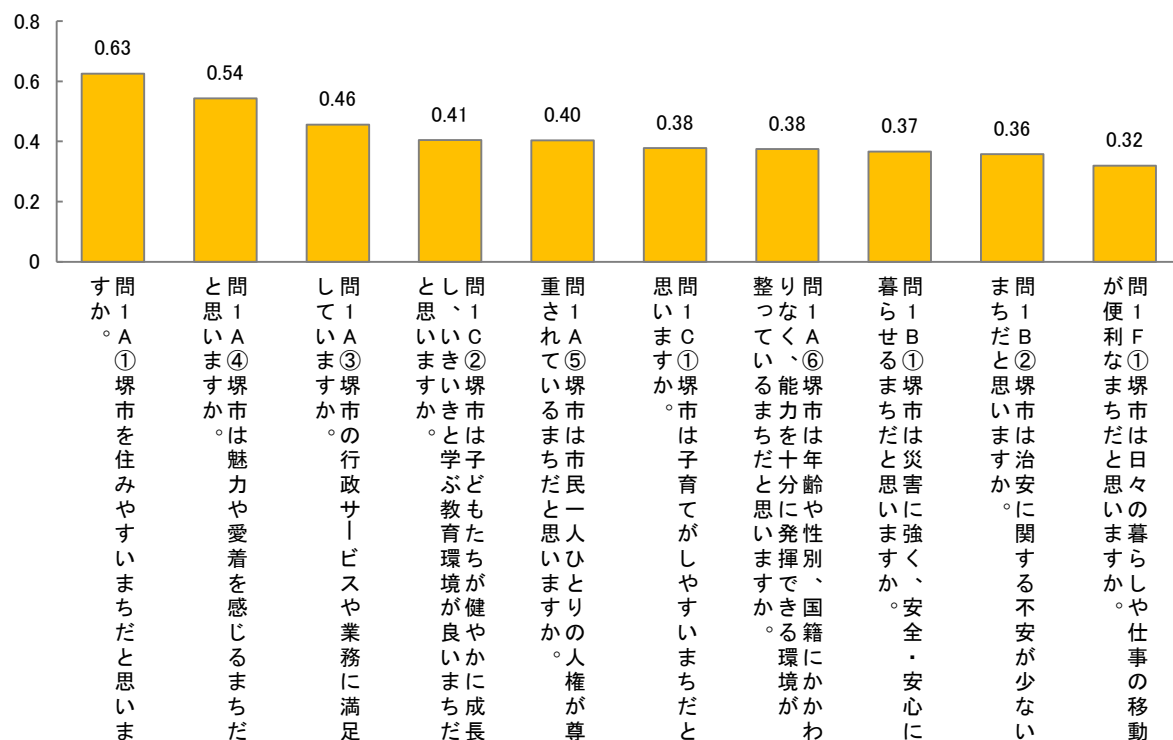
堺市の定住意向改善に向けた今後の改善課題を抽出するために、「問 1A②. 定住意向（これからも堺市に住み続けたいですか。）」(P12) と日常生活の意識・行動 (P11～P50) の相関分析を行った。

先述の暮らしの評価との分析と同様、スピアマンの順位相関分析を行った。

< 「問 1A②」 とその他問 1 項目の相関係数 >



< 「問 1A②」とその他問 1 項目の相関係数（上位抜粋） >

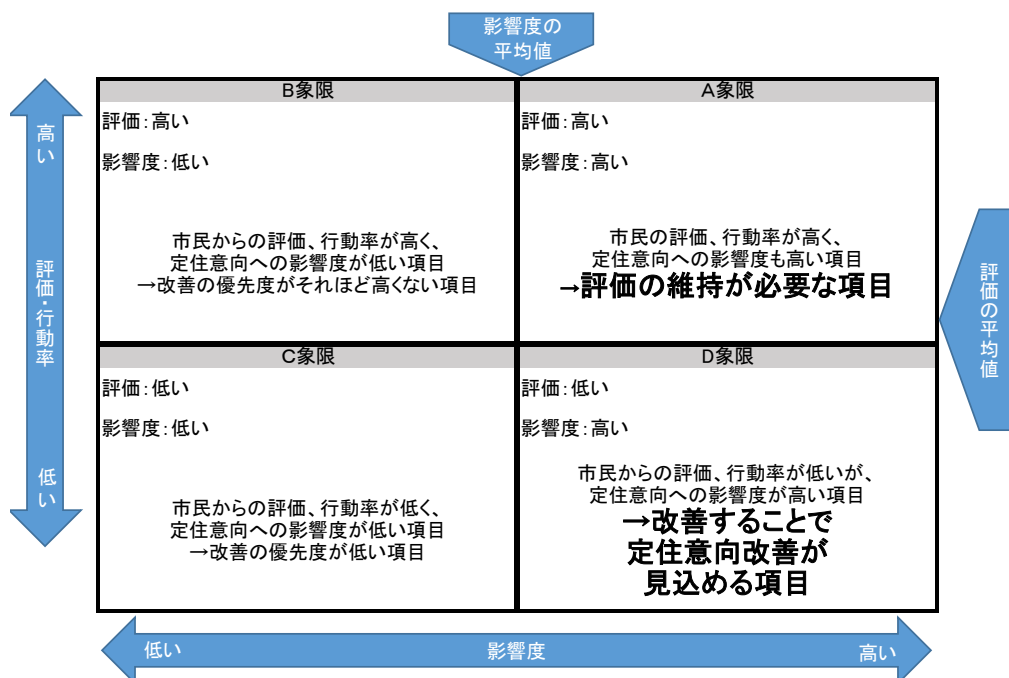


定住意向との相関係数が高い項目は「問 1A①堺市を住みやすいまちだと思いますか。」(0.63)、
 「問 1A④堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。」(0.54)、「問 1A③堺市の行政サービスや業務に満足していますか。」(0.46)、「問 1C②堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思いますか。」(0.41) で、これらは相関係数が 0.4 以上である程度の相関がみられる項目である。

2. 定住意向改善のための次期課題抽出分析

堺市民の日常生活の意識・行動率（P11～P50）（「そう思う」と「ある程度そう思う」、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」の合計値）と、定住意向への影響度（P110）（問 1A②. 定住意向（これからも堺市に住み続けたいですか。）」と問 1 のその他の項目の相関係数）を下図のように整理することで、定住意向改善に向けた課題を抽出する。

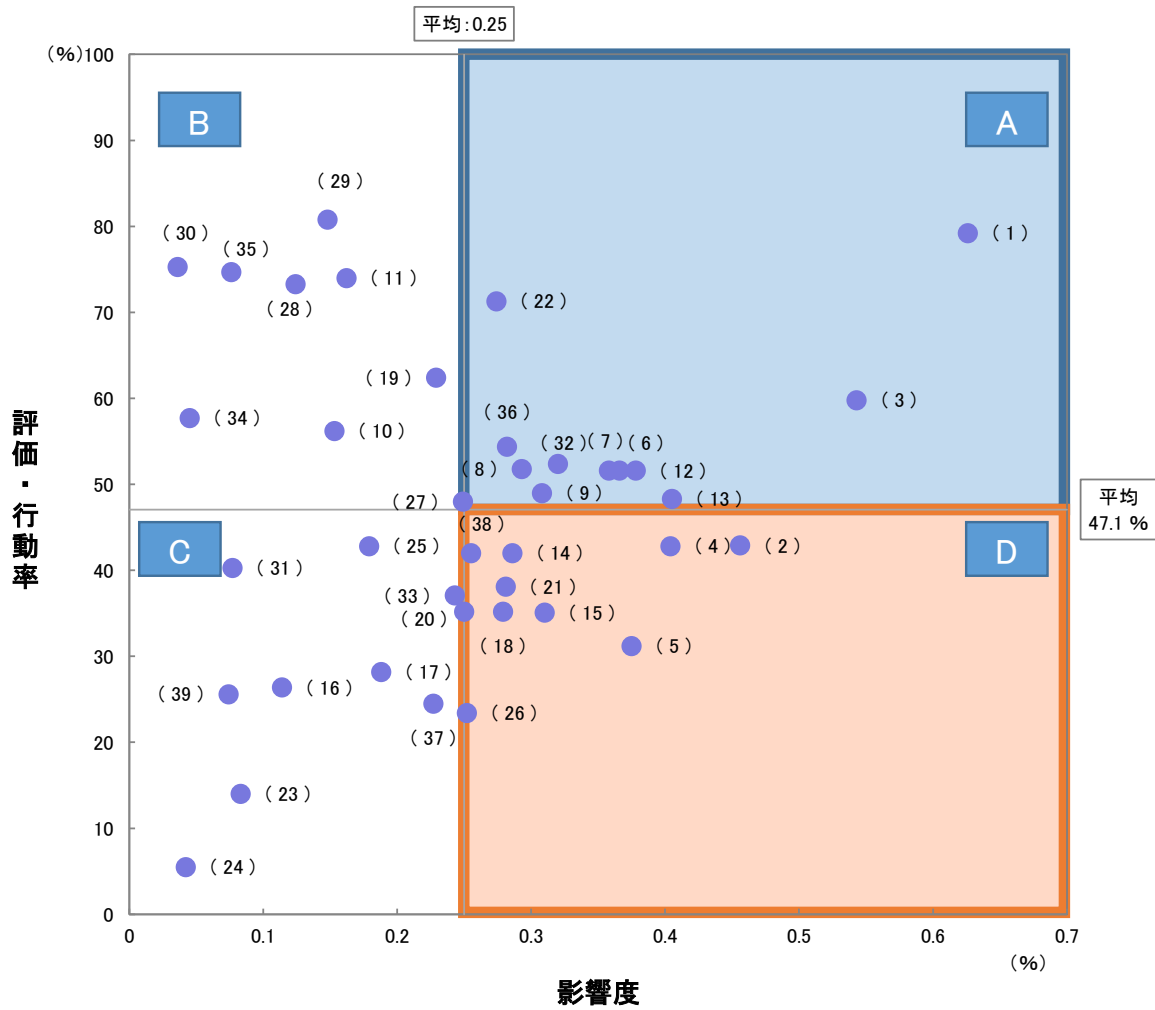
<日常生活の意識・行動率と、定住意向への影響度の関係図>



< 日常生活の意識・行動率と、定住意向への相関係数一覧 >

| 設問(問1) | | 縦軸 「日常生活の 意識・行動率」 「そう思う計」 「あてはまる計」 の値 (%) | 横軸 「影響度」 問1A②との 相関係数 |
|--------|--|--|-------------------------------|
| 問1A① | 堺市を住みやすいまちだと思いますか。 | 79.2 | 0.63 |
| 問1A③ | 堺市の行政サービスや業務に満足していますか。 | 42.9 | 0.46 |
| 問1A④ | 堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。 | 59.8 | 0.54 |
| 問1A⑤ | 堺市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちだと思いますか。 | 42.8 | 0.40 |
| 問1A⑥ | 堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思いますか。 | 31.2 | 0.38 |
| 問1B① | 堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。 | 51.6 | 0.37 |
| 問1B② | 堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか。 | 51.6 | 0.36 |
| 問1B③ | 健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | 51.8 | 0.29 |
| 問1B④ | 堺市は突然のけがや病気の時の、病院での受入体制は十分なまちだと思いますか。 | 49.0 | 0.31 |
| 問1B⑤ | 地域で子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動に取り組んでいますか。 | 56.2 | 0.15 |
| 問1B⑥ | 定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。 | 74.0 | 0.16 |
| 問1C① | 堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。 | 51.6 | 0.38 |
| 問1C② | 堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思いますか。 | 48.3 | 0.41 |
| 問1C③ | 子育てに関して相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | 42.0 | 0.29 |
| 問1C④ | 堺市は地域の人が子どもの教育によく関わっているまちだと思いますか。 | 35.1 | 0.31 |
| 問1C⑤ | 子育てに対して大きな不安や負担を感じたことがありますか。 | 26.4 | 0.11 |
| 問1D① | 堺市の中心部(中心市街地。堺東-堺駅間)は、にぎわっていると思いますか。 | 28.2 | 0.19 |
| 問1D② | 堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。 | 35.2 | 0.28 |
| 問1D③ | 堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。 | 62.4 | 0.23 |
| 問1D④ | 堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。 | 35.2 | 0.25 |
| 問1D⑤ | 堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力があるまちだと思いますか。 | 38.1 | 0.28 |
| 問1D⑥ | 外食や買い物、遊びなどは、主に堺市内で行っていますか。 | 71.3 | 0.27 |
| 問1D⑦ | 文化・スポーツ・学術など、国際交流をしていますか。 | 14.0 | 0.08 |
| 問1D⑧ | 国際協力・国際貢献の活動に参加していますか。 | 5.5 | 0.04 |
| 問1D⑨ | できる限り、地元で採れた食材・食品を食べていますか。 | 42.8 | 0.18 |
| 問1E① | 堺市の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っていると思いますか。 | 23.4 | 0.25 |
| 問1E② | 堺市は樹木などのまちなみの緑の豊かさ(多さ)に満足できるまちだと思いますか。 | 48.0 | 0.25 |
| 問1E③ | 節電や省エネルギーに取り組んでいますか。 | 73.3 | 0.12 |
| 問1E④ | ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。 | 80.8 | 0.15 |
| 問1E⑤ | あなたやあなたの家族は、日常の買い物の際に、買い物袋を持参していますか。 | 75.3 | 0.04 |
| 問1E⑥ | 緑を増やしたり、守ることに取り組んでいますか。 | 40.3 | 0.08 |
| 問1F① | 堺市は日々の暮らしや仕事の移動が便利なまちだと思いますか。 | 52.4 | 0.32 |
| 問1F② | 自転車を利用する方にお伺いします。あなたがお住まいの地域は自転車で走りやすいと思いますか。 | 37.1 | 0.24 |
| 問1F③ | できるだけバスや電車などの公共交通を使うようにしていますか。 | 57.7 | 0.05 |
| 問1F④ | 近隣の移動の際は、できる限り徒歩や自転車で行くようにしていますか。 | 74.7 | 0.08 |
| 問1G① | 堺市は、地域行事(まつり、清掃活動、交流イベント等)や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思いますか。 | 54.4 | 0.28 |
| 問1G② | 自分が住んでいる区の特徴を知っていますか。 | 24.5 | 0.23 |
| 問1G③ | 堺市は、図書館などの社会教育施設や市の講座、また民間の文化教室などにおける生涯学習・社会教育の環境が整っているまちだと思いますか。 | 42.0 | 0.26 |
| 問1G④ | スポーツ活動、サークル活動、文化・芸術活動、各種講座への参加などの生涯学習活動に取り組んでいますか。 | 25.6 | 0.07 |
| 平均 | | 47.1 | 0.25 |

<定住意向改善に向けた次期課題（市民全体）>



【凡例】

| | |
|---|---|
| (1) 堺市を住みやすいまちだと思いますか。 | (21) 堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力があるまちだと思いますか。 |
| (2) 堺市の行政サービスや業務に満足していますか。 | (22) 外食や買い物、遊びなどは、主に堺市内で行っていますか。 |
| (3) 堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。 | (23) 文化・スポーツ・学術など、国際交流をしていますか。 |
| (4) 堺市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちだと思いますか。 | (24) 国際協力・国際貢献の活動に参加していますか。 |
| (5) 堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思いますか。 | (25) できる限り、地元で採れた食材・食品を食べていますか。 |
| (6) 堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。 | (26) 堺市の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っていると思いますか。 |
| (7) 堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか。 | (27) 堺市は樹木などのまちなみ緑の豊かさ(多さ)に満足できるまちだと思いますか。 |
| (8) 健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けくれる人が身近にいますか。 | (28) 節電や省エネルギーに取り組んでいますか。 |
| (9) 堺市は突然のけがや病気の際の、病院での受入体制は十分なまちだと思いますか。 | (29) ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。 |
| (10) 地域で子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動に取り組んでいますか。 | (30) あなたやあなたの家族は、日常の買い物の際に、買い物袋を持参していますか。 |
| (11) 定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。 | (31) 緑を増やしたり、守ることに取り組んでいますか。 |
| (12) 堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。 | (32) 堺市は日々の暮らしや仕事の移動が便利なまちだと思いますか。 |
| (13) 堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思いますか。 | (33) 自転車を利用する方にお伺いします。あなたがお住まいの地域は自転車ですりやすいと思いますか。 |
| (14) 子育てに関して相談に乗ってくれたり助けくれる人が身近にいますか。 | (34) できるだけバスや電車などの公共交通を使うようにしていますか。 |
| (15) 堺市は地域の人が子どもの教育によく関わっているまちだと思いますか。 | (35) 近隣の移動の際は、できる限り徒歩や自転車で行くようにしていますか。 |
| (16) 子育てに対して大きな不安や負担を感じたことがありますか。 | (36) 堺市は、地域行事(まつり、清掃活動、交流イベント等)や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思いますか。 |
| (17) 堺市の中心部(中心市街地。堺東-堺駅間)は、にぎわっていると思いますか。 | (37) 自分が住んでいる区の特徴を知っていますか。 |
| (18) 堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。 | (38) 堺市は、図書館などの社会教育施設や市の講座、また民間の文化教室などにおける生涯学習・社会教育の環境が整っているまちだと思いますか。 |
| (19) 堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。 | (39) スポーツ活動、サークル活動、文化・芸術活動、各種講座への参加などの生涯学習活動に取り組んでいますか。 |
| (20) 堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。 | |

<定住意向改善に向けた評価維持項目、優先改善検討項目まとめ>

| | | 項目 | | |
|-----------------|--|--|--|--|
| A象限 評価維持項目 | (1) 堺市を住みやすいまちだと思いませんか。 | (8) 健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | (22) 外食や買い物、遊びなどは、主に堺市内で行っていますか。 | |
| | (3) 堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いませんか。 | (9) 堺市は突然のけがや病気の際の、病院での受入体制は十分なまちだと思いませんか。 | (27) 堺市は樹木などのまちなみの緑の豊かさ(多さ)に満足できるまちだと思いませんか。 | |
| | (6) 堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いませんか。 | (12) 堺市は子育てがしやすいまちだと思いませんか。 | (32) 堺市は日々の暮らしや仕事の移動が便利なまちだと思いませんか。 | |
| | (7) 堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いませんか。 | (13) 堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思いませんか。 | (36) 堺市は、地域行事(まつり、清掃活動、交流イベント等)や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思いませんか。 | |
| D象限 優先改善検討項目 | (2) 堺市の行政サービスや業務に満足していますか。 | (15) 堺市は地域の人が子どもの教育によく関わっているまちだと思いませんか。 | (38) 堺市は、図書館などの社会教育施設や市の講座、また民間の文化教室などにおける生涯学習・社会教育の環境が整っているまちだと思いませんか。 | |
| | (4) 堺市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちだと思いませんか。 | (18) 堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いませんか。 | | |
| | (5) 堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思いませんか。 | (21) 堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力があるまちだと思いませんか。 | | |
| | (14) 子育てに関して相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | (26) 堺市の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っていると思いませんか。 | | |

定住意向改善に向けた評価維持項目と優先改善検討項目をまとめたものが上図である。

堺市民における、評価・行動率と定住意向への影響度がともに高いA象限にあたる評価維持項目は、12項目あげられており、これらは今後も高い評価を維持する必要がある。

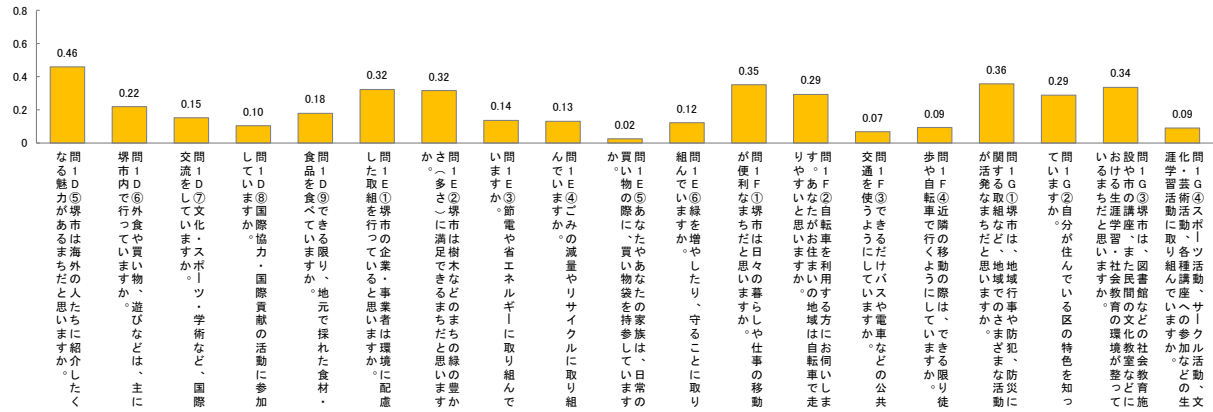
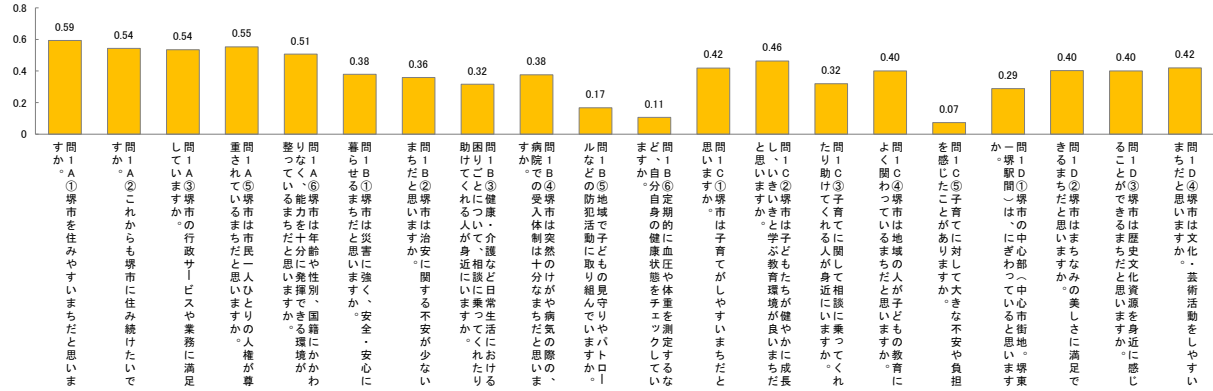
一方、定住意向への影響度が高いにも関わらず、市民の評価、行動率が低いB象限にあたる優先改善検討項目は9項目あげられている。これらが定住意向改善のために改善検討が必要な項目といえる。

3. 日常生活の意識・行動と都市魅力の相関分析

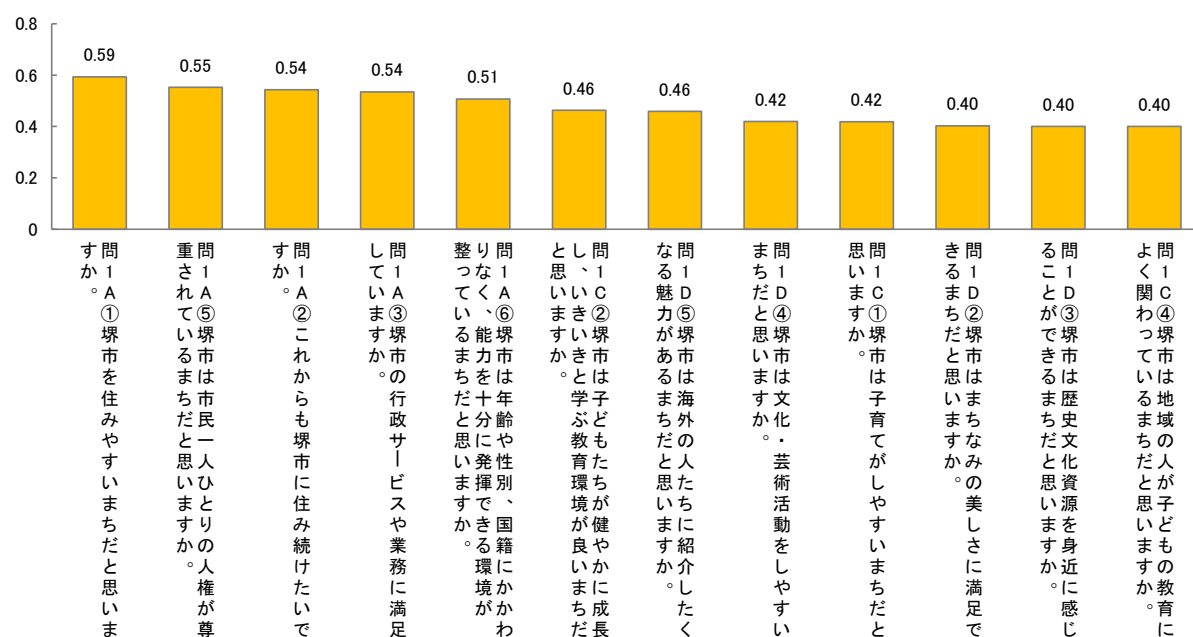
定住意向と同様に、堺市の都市魅力改善に向けた今後の改善課題を抽出するために、「問 1A

④. 都市魅力（堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。）」(P14) と日常生活の意識・行動 (P11～P50) の相関分析を行った。

＜「問 1A④」とその他問 1 項目の相関係数＞



< 「問 1A④」とその他問 1 項目の相関係数（上位抜粋） >

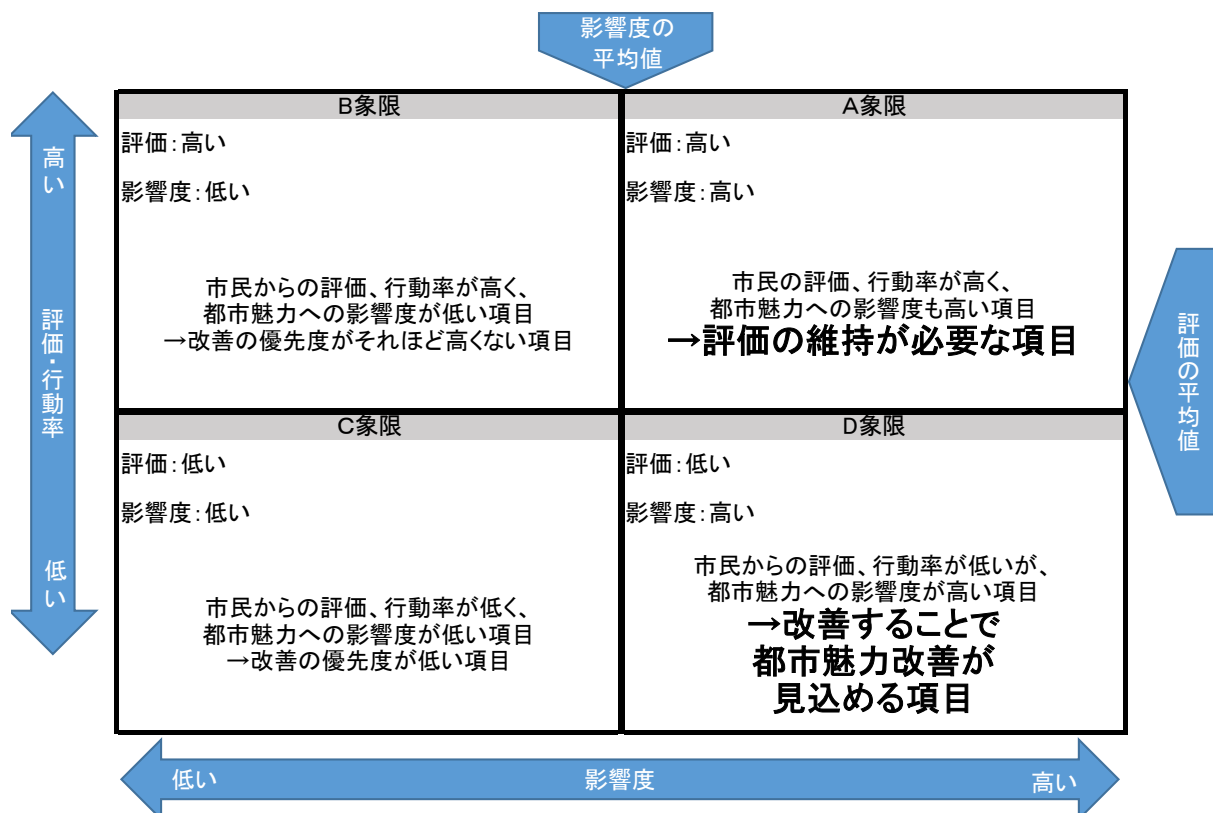


都市魅力との相関係数が高い項目は「問 1A①堺市を住みやすいまちだと思いますか。」(0.59)、「問 1A⑤堺市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちだと思いますか。」(0.55)、「問 1A②これからも堺市に住み続けたいですか。」(0.54)、「問 1A③堺市の行政サービスや業務に満足していますか。」(0.54)、「問 1A⑥堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思いますか。」(0.51) で、これらは相関係数が 0.5 以上である。「問 1C②堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思いますか。」(0.46)、「問 1D⑤堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力があるまちだと思いますか。」(0.46)、「問 1D④堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。」(0.42)、「問 1C①堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。」(0.42)、「問 1D②堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。」(0.40)、「問 1D③堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。」(0.40)、「問 1C④堺市は地域の人が子どもの教育によく関わっているまちだと思いますか。」(0.40) も相関係数が 0.4 以上とある程度の相関がみられる。

4. 都市魅力改善のための次期課題抽出分析

堺市民の日常生活の意識・行動率（P11～P50）（「そう思う」と「ある程度そう思う」、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」の合計値）と、都市魅力への影響度（P115）（「問 1A④. 都市魅力(堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。)」と問 1 のその他の項目の相関係数）を下図のように整理することで、都市魅力改善に向けた課題を抽出する。

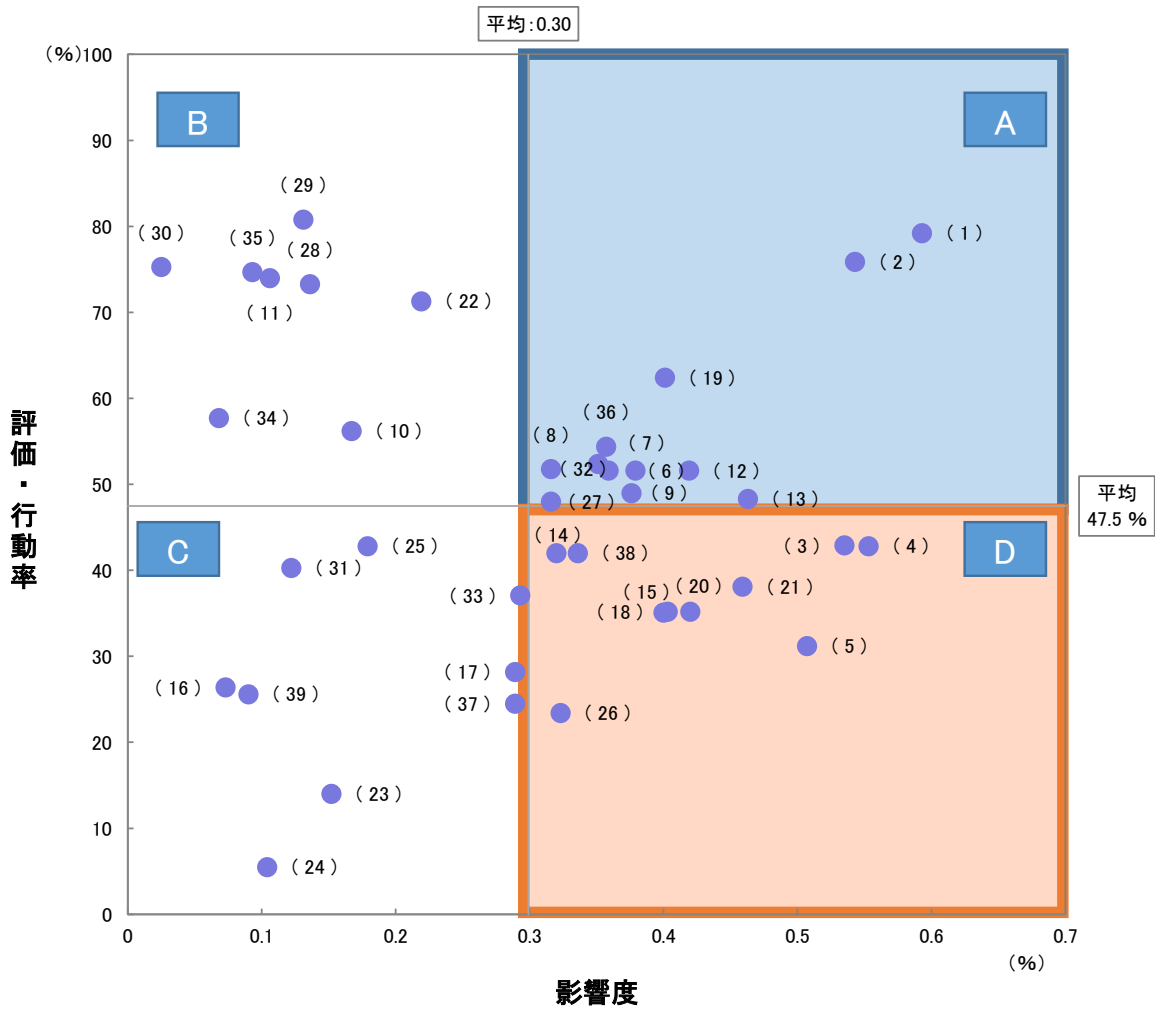
<日常生活の意識・行動率と、都市魅力への影響度の関係図>



<日常生活の意識・行動率と、都市魅力への相関係数一覧>

| 設問(問1) | | 縦軸 「日常生活の 意識・行動率」 「そう思う計」 「あてはまる計」 の値(%) | 横軸 「影響度」 問1A④との 相関係数 |
|--------|--|---|-------------------------------|
| 問1A① | 堺市を住みやすいまちだと思いますか。 | 79.2 | 0.59 |
| 問1A② | これからも堺市に住み続けたいですか。 | 75.9 | 0.54 |
| 問1A③ | 堺市の行政サービスや業務に満足していますか。 | 42.9 | 0.54 |
| 問1A⑤ | 堺市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちだと思いますか。 | 42.8 | 0.55 |
| 問1A⑥ | 堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思いますか。 | 31.2 | 0.51 |
| 問1B① | 堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。 | 51.6 | 0.38 |
| 問1B② | 堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか。 | 51.6 | 0.36 |
| 問1B③ | 健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | 51.8 | 0.32 |
| 問1B④ | 堺市は突然のけがや病気の際の、病院での受入体制は十分なまちだと思いますか。 | 49.0 | 0.38 |
| 問1B⑤ | 地域で子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動に取り組んでいますか。 | 56.2 | 0.17 |
| 問1B⑥ | 定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。 | 74.0 | 0.11 |
| 問1C① | 堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。 | 51.6 | 0.42 |
| 問1C② | 堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思いますか。 | 48.3 | 0.46 |
| 問1C③ | 子育てに関して相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | 42.0 | 0.32 |
| 問1C④ | 堺市は地域の人が子どもの教育によく関わっているまちだと思いますか。 | 35.1 | 0.40 |
| 問1C⑤ | 子育てに対して大きな不安や負担を感じたことがありますか。 | 26.4 | 0.07 |
| 問1D① | 堺市の中心部(中心市街地、堺東一駅駅間)は、にぎわっていると思いますか。 | 28.2 | 0.29 |
| 問1D② | 堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。 | 35.2 | 0.40 |
| 問1D③ | 堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。 | 62.4 | 0.40 |
| 問1D④ | 堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。 | 35.2 | 0.42 |
| 問1D⑤ | 堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力があるまちだと思いますか。 | 38.1 | 0.46 |
| 問1D⑥ | 外食や買い物、遊びなどは、主に堺市内で行っていますか。 | 71.3 | 0.22 |
| 問1D⑦ | 文化・スポーツ・学術など、国際交流をしていますか。 | 14.0 | 0.15 |
| 問1D⑧ | 国際協力・国際貢献の活動に参加していますか。 | 5.5 | 0.10 |
| 問1D⑨ | できる限り、地元で採れた食材・食品を食べていますか。 | 42.8 | 0.18 |
| 問1E① | 堺市の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っていると思いますか。 | 23.4 | 0.32 |
| 問1E② | 堺市は樹木などのまちなみ緑の豊かさ(多さ)に満足できるまちだと思いますか。 | 48.0 | 0.32 |
| 問1E③ | 節電や省エネルギーに取り組んでいますか。 | 73.3 | 0.14 |
| 問1E④ | ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。 | 80.8 | 0.13 |
| 問1E⑤ | あなたやあなたの家族は、日常の買い物の際に、買い物袋を持参していますか。 | 75.3 | 0.02 |
| 問1E⑥ | 緑を増やしたり、守ることに取り組んでいますか。 | 40.3 | 0.12 |
| 問1F① | 堺市は日々の暮らしや仕事の移動が便利なまちだと思いますか。 | 52.4 | 0.35 |
| 問1F② | 自転車を利用する方にお伺いします。あなたがお住まいの地域は自転車で走りやすいと思いますか。 | 37.1 | 0.29 |
| 問1F③ | できるだけバスや電車などの公共交通を使うようにしていますか。 | 57.7 | 0.07 |
| 問1F④ | 近隣の移動の際は、できる限り徒歩や自転車で行くようにしていますか。 | 74.7 | 0.09 |
| 問1G① | 堺市は、地域行事(まつり、清掃活動、交流イベント等)や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思いますか。 | 54.4 | 0.36 |
| 問1G② | 自分が住んでいる区の特徴を知っていますか。 | 24.5 | 0.29 |
| 問1G③ | 堺市は、図書館などの社会教育施設や市の講座、また民間の文化教室などにおける生涯学習・社会教育の環境が整っているまちだと思いますか。 | 42.0 | 0.34 |
| 問1G④ | スポーツ活動、サークル活動、文化・芸術活動、各種講座への参加などの生涯学習活動に取り組んでいますか。 | 25.6 | 0.09 |
| 平均 | | 47.5 | 0.30 |

<都市魅力改善に向けた次期課題（市民全体）>



【凡例】

| | |
|--|---|
| (1) 堺市を住みやすいまちだと思いますか。 | (21) 堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力があるまちだと思いますか。 |
| (2) これからも堺市に住み続けたいですか。 | (22) 外食や買い物、遊びなどは、主に堺市内で行っていますか。 |
| (3) 堺市の行政サービスや業務に満足していますか。 | (23) 文化・スポーツ・学術など、国際交流をしていますか。 |
| (4) 堺市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちだと思いますか。 | (24) 国際協力・国際貢献の活動に参加していますか。 |
| (5) 堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思いますか。 | (25) できる限り、地元で採れた食材・食品を食べていますか。 |
| (6) 堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。 | (26) 堺市の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っていると思いますか。 |
| (7) 堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか。 | (27) 堺市は樹木などのまの緑の豊かさ(多さ)に満足できるまちだと思いますか。 |
| (8) 健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | (28) 節電や省エネルギーに取り組んでいますか。 |
| (9) 堺市は突然のけがや病気の際の、病院での受入体制は十分なまちだと思いますか。 | (29) ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。 |
| (10) 地域で子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動に取り組んでいますか。 | (30) あなたやあなたの家族は、日常の買い物の際に、買い物袋を持参していますか。 |
| (11) 定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。 | (31) 緑を増やしたり、守ることに取り組んでいますか。 |
| (12) 堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。 | (32) 堺市は日々の暮らしや仕事の移動が便利なまちだと思いますか。 |
| (13) 堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思いますか。 | (33) 自転車を利用する方にお伺いします。あなたがお住まいの地域は自転車で走りやすいと思いますか。 |
| (14) 子育てに関して相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | (34) できるだけバスや電車などの公共交通を使うようにしていますか。 |
| (15) 堺市は地域の子が子どもの教育によく関わっているまちだと思いますか。 | (35) 近隣の移動の際は、できる限り徒歩や自転車で行くようにしていますか。 |
| (16) 子育てに対して大きな不安や負担を感じることがあります。 | (36) 堺市は、地域行事(まつり、清掃活動、交流イベント等)や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思いますか。 |
| (17) 堺市の中心部(中心市街地、堺東-堺駅間)は、にぎわっていると思いますか。 | (37) 自分が住んでいる区の特徴を知っていますか。 |
| (18) 堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。 | (38) 堺市は、図書館などの社会教育施設や市の講座、また民間の文化教室などにおける生涯学習・社会教育の環境が整っているまちだと思いますか。 |
| (19) 堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。 | (39) スポーツ活動、サークル活動、文化・芸術活動、各種講座への参加などの生涯学習活動に取り組んでいますか。 |
| (20) 堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。 | |

＜都市魅力改善に向けた評価維持項目、優先改善検討項目まとめ＞

| | | 項目 | | |
|-------------------------|---|--|---|--|
| A象限 評価維持 項目 | (1) 堺市を住みやすいまちだと思いますか。 | (8) 健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | (19) 堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。 | |
| | (2) これからも堺市に住み続けたいですか。 | (9) 堺市は突然のけがや病気の際の、病院での受入体制は十分なまちだと思いますか。 | (27) 堺市は樹木などのまちなみの緑の豊かさ(多さ)に満足できるまちだと思いますか。 | |
| | (6) 堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。 | (12) 堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。 | (32) 堺市は日々の暮らしや仕事の移動が便利なまちだと思いますか。 | |
| | (7) 堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか。 | (13) 堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思いますか。 | (36) 堺市は、地域行事(まつり、清掃活動、交流イベント等)や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思いますか。 | |
| D象限 優先 改善検討 項目 | (3) 堺市の行政サービスや業務に満足していますか。 | (15) 堺市は地域の人々が子どもの教育によく関わっているまちだと思いますか。 | (26) 堺市の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っていると思いますか。 | |
| | (4) 堺市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちだと思いますか。 | (18) 堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。 | (38) 堺市は、図書館などの社会教育施設や市の講座、また民間の文化教室などにおける生涯学習・社会教育の環境が整っているまちだと思いますか。 | |
| | (5) 堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思いますか。 | (20) 堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。 | | |
| | (14) 子育てに関して相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | (21) 堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力があるまちだと思いますか。 | | |

都市魅力改善に向けた評価維持項目と優先改善検討項目をまとめたものが上図である。

堺市民における、評価・行動率と都市魅力への影響度がともに高いA象限にあたる評価維持項目は、12項目あげられており、これらは今後も高い評価を維持する必要がある。

一方、都市魅力への影響度が高いにも関わらず、市民の評価、行動率が低いD象限にあたる優先改善検討項目は10項目あげられている。これらが都市魅力改善のために改善検討が必要な項目といえる。

5. 堺市での暮らし改善のための次期課題

<定住意向改善課題と都市魅力改善課題のまとめ>

| 定住意向 | | | | 都市魅力 | | | |
|------|----------|--|---|--|--|---|--|
| | | 項目 | | | | 項目 | |
| A象限 | 評価維持項目 | (1)堺市を住みやすいまちだと思いますか。 | (8)健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | (22)外食や買い物、遊びなどは、主に堺市内で行っていますか。 | (1)堺市を住みやすいまちだと思いますか。 | (8)健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | (19)堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。 |
| | | (3)堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いますか。 | (9)堺市は突然のけがや病気の際の、病院での受入体制は十分なまちだと思いますか。 | (27)堺市は樹木などのまちなみ(緑の豊かさ(多さ)に満足できるまちだと思いますか。 | (2)これからも堺市に住み続けたいですか。 | (9)堺市は突然のけがや病気の際の、病院での受入体制は十分なまちだと思いますか。 | (27)堺市は樹木などのまちなみ(緑の豊かさ(多さ)に満足できるまちだと思いますか。 |
| | | (6)堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。 | (12)堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。 | (32)堺市は日々の暮らしや仕事の移動が便利なまちだと思いますか。 | (6)堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いますか。 | (12)堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。 | (32)堺市は日々の暮らしや仕事の移動が便利なまちだと思いますか。 |
| | | (7)堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか。 | (13)堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思いますか。 | (36)堺市は、地域行事(まつり、清掃活動、交流イベント等)や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思いますか。 | (7)堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いますか。 | (13)堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思いますか。 | (36)堺市は、地域行事(まつり、清掃活動、交流イベント等)や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思いますか。 |
| D象限 | 優先改善検討項目 | (2)堺市の行政サービスや業務に満足していますか。 | (15)堺市は地域の人や子どもが教育に満足しているまちだと思いますか。 | (38)堺市は、図書館などの社会教育施設や市の講座、また民間の文化教室などにおける生涯学習・社会教育の環境が整っているまちだと思いますか。 | (3)堺市の行政サービスや業務に満足していますか。 | (15)堺市は地域の人や子どもが教育に満足しているまちだと思いますか。 | (26)堺市の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っていると思いますか。 |
| | | (4)堺市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちだと思いますか。 | (18)堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。 | | (4)堺市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちだと思いますか。 | (18)堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。 | (38)堺市は、図書館などの社会教育施設や市の講座、また民間の文化教室などにおける生涯学習・社会教育の環境が整っているまちだと思いますか。 |
| | | (5)堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思いますか。 | (21)堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がありますか。 | | (5)堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思いますか。 | (20)堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。 | |
| | | (14)子育てに関して相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | (28)堺市の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っていますか。 | | (14)子育てに関して相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | (21)堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がありますか。 | |

■…共通している項目

定住意向改善と都市魅力改善における、評価維持項目と優先改善検討項目が上図である。上図のとおり、評価維持項目においても、優先改善検討においてもほとんどの項目で共通しており、これらの項目の評価の維持、改善をすることで定住意向、都市魅力の両方の改善が見込めるといえ、検討が必要な堺市の次期課題といえる。

IV. 調查票

令和元年度 市民意識調査

令和2年2月 堺市

■調査について

1. この調査は、市民のみなさまの日常生活における意識や行動に関するお考えをお聞かせいただき、今後の市政運営に活かすために実施するものです。
2. この調査は、堺市にお住まいの18歳以上の市民のみなさまの中から、**無作為に10,000人の方を選ばせていただき、調査票をお送りしています。**
3. **全て無記名**でお答えいただきますので、**どなたのお答えかわからないよう**になっています。また、調査内容については統計的に処理するだけで、ご回答によりみなさまへご迷惑をおかけするようなことはありません。
4. 調査内容については、この調査の**目的以外に使用することはありません。**

■ご記入方法

1. **あて名のご本人様**が、お答えください。
2. お答えは、ボールペンや鉛筆などで**あてはまる番号に○印**をつけてください。
3. ご記入いただいた調査票は、**令和2年3月9日(月)まで**に同封の返信用封筒(切手不要)に入れて郵便ポストに投函をお願いします。

(注) 視覚障害の方で点字版調査票が必要な場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。また、文字が小さく読みづらい場合も、拡大調査票をお渡ししますのでご連絡ください。

« お問い合わせ先 »

調査委託業者 株式会社エム・アールビジネス
所在地 〒541-0051 大阪市中央区備後町2-4-9
電 話 (06) 6231-9547
F A X (06) 6231-9543

(調査主体) 堺市 市長公室 企画部 政策企画担当
所在地 〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号
電 話 (072) 222-0380 (直通)
F A X (072) 222-9694

問1. あなたの日常生活における意識や行動について、それぞれあてはまるものをひとつずつお選びください。
(それぞれ○はひとつずつ)

A 堺市のまちについて

| | そう思う | ある程度 そう思う | いえない どちらとも | あまりそう 思わない | 思わない |
|--|------|--------------|---------------|---------------|------|
| (回答例) 堺市を住みやすいまちだと思いませんか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ① 堺市を住みやすいまちだと思いませんか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② これからも堺市に住み続けたいですか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 堺市の行政サービスや業務に満足していますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 堺市は魅力や愛着を感じるまちだと思いませんか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 堺市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちだと思いませんか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思いませんか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

B 安全・安心について（防災・防犯・医療等）

| | そう思う | ある程度 そう思う | いえない どちらとも | あまりそう 思わない | 思わない |
|--|------|--------------|---------------|---------------|------|
| ① 堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせるまちだと思いませんか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 堺市は治安に関する不安が少ないまちだと思いませんか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 堺市は突然のけがや病気の際の、病院での受入体制は十分なまちだと思いませんか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

| | あてはまる | ある程度 あてはまる | あまり あてはまらない | あてはまらない |
|--|-------|---------------|----------------|---------|
| ⑤ 地域で子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動に取り組んでいますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

C 子育て・教育について

| | そう思う | ある程度 そう思う | いえ ない | あまり そう 思わ ない | 思わ ない |
|---|------|--------------|----------|-----------------------|----------|
| ① 堺市は子育てがしやすいまちだと思いますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 堺市は子どもたちが健やかに成長し、いきいきと学ぶ教育環境が良いまちだと思いますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 子育てに関して相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 堺市は地域の人々が子どもの教育によく関わっているまちだと思いますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 子育てに対して大きな不安や負担を感じたことがありますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

D 都市魅力（文化・観光・産業等）について

| | そう思う | ある程度 そう思う | いえ ない | あまり そう 思わ ない | 思わ ない |
|--|------|--------------|----------|-----------------------|----------|
| ① 堺市の中心部（中心市街地。堺東-堺駅間）は、にぎわっていると思いますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 堺市はまちなみの美しさに満足できるまちだと思いますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 堺市は歴史文化資源を身近に感じることができるまちだと思いますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 堺市は文化・芸術活動をしやすいまちだと思いますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力があるまちだと思いますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

| | あてはまる | ある程度 あてはまる | あまり あてはま らない | あてはま らない |
|-------------------------------|-------|---------------|--------------------|-------------|
| ⑥ 外食や買い物、遊びなどは、主に堺市内で行っていますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 文化・スポーツ・学術など、国際交流をしていますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ 国際協力・国際貢献の活動に参加していますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨ できる限り、地元で採れた食材・食品を食べていますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

次頁に続きます。

E 環境について

| | そう思う | ある程度 そう思う | いえない どっちか でもない | あまりそう 思わない | 思わない |
|--|-------|---------------|----------------------|---------------|------|
| ① 堺市の企業・事業者は環境に配慮した取組を行っていると思いますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 堺市は樹木などのまちの緑の豊かさ（多さ）に満足できるまちだと思えますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | あてはまる | ある程度 あてはまる | あまり あてはま らない | あてはま らない | |
| ③ 節電や省エネルギーに取り組んでいますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ④ ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑤ あなたやあなたの家族は、日常の買い物の際に、買い物袋を持参していますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑥ 緑を増やしたり、守ることに取り組んでいますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | |

F 日常の交通手段について

| | そう思う | ある程度 そう思う | いえない どっちか でもない | あまりそう 思わない | 思わない |
|---|-------|---------------|----------------------|---------------|------|
| ① 堺市は日々の暮らしや仕事の移動が便利なまちだと思えますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 自転車を利用する方にお伺いします。 あなたがお住まいの地域は自転車で走りやすいと思えますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | あてはまる | ある程度 あてはまる | あまり あてはま らない | あてはま らない | |
| ③ できるだけバスや電車などの公共交通を使うようにしていますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ④ 近隣の移動の際は、できる限り徒歩や自転車で行くようにしていますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | |

G 地域活動等について

| | そう思う | そう思う ある程度 | いえ ない | どちら とも 思わ ない | あまり そう 思わ ない | 思わ ない |
|---|------|--------------|----------|-----------------------|-----------------------|----------|
| ① 堺市は、地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発なまちだと思いますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ② 自分が住んでいる区の特徴を知っていますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ③ 堺市は、図書館などの社会教育施設や市の講座、また民間の文化教室（カルチャーセンター）などにおける生涯学習・社会教育（※）の環境が整っているまちだと思いますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |

社会教育（※）：学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主に青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動

| | あてはまる | あてはまる ある程度 | あてはま らない | あま り | あてはま らない |
|--|-------|---------------|-------------|---------|-------------|
| ④ スポーツ活動、サークル活動、文化・芸術活動、各種講座への参加などの生涯学習活動に取り組んでいますか。 | 1 | 2 | 3 | 4 | |

次頁に続きます。

H 堺市での暮らしについて

問2. 堺市での暮らしに関して、以下の事柄をどのように思いますか。
それぞれについてお聞かせください。(それぞれ〇はひとつずつ)

| | | とても良いと思う | まあ良いと思う | どちらでもない | あまり良いと思わない | 良くないと思う |
|---|----------------------|----------|---------|---------|------------|---------|
| ① | 通勤の利便性 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② | 生活の利便性 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ | 治安 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ | 医療施設の充実度 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ | 子育て環境 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ | 教育環境 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ | 住宅事情(地価・家賃・物件数など) → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ | 住環境 → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ | 災害の少なさ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ | 福祉サービス(高齢者・障害のある方) → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪ | 近所づきあい → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑫ | 緑や公園の多さ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑬ | 親世帯との同居または近居のしやすさ → | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問3. 次あげる堺市の行政サービスの中で、不足や不満、問題を感じるものをすべてお選びください。
(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 子育て施策全般 | 16. まちなみや景観の形成や保全 |
| 2. 保育所サービス | 17. 都心部の整備や魅力づくり |
| 3. 学校教育環境の充実 | 18. 観光の振興 |
| 4. 高齢者福祉 | 19. 良質な水の確保や安定供給 |
| 5. 障害者福祉 | 20. 河川改修や水辺環境の整備 |
| 6. 高齢者や障害者が移動しやすいまちづくり | 21. 市民文化の振興 |
| 7. 地震や台風などの災害対策 | 22. 中小企業振興 |
| 8. 防犯対策 | 23. 雇用の創出 |
| 9. 病院や救急医療など地域医療 | 24. スポーツの振興 |
| 10. 緑の保全と緑化の推進 | 25. 経済的に困っている人の保護や支援 |
| 11. 公園の整備 | 26. 国際交流・協力の推進 |
| 12. ごみの分別収集、リサイクル | 27. 身近な住民窓口サービス |
| 13. 道路や歩道の整備 | 28. その他 |
| 14. バス・電車などの交通の便 | () |
| 15. 最寄駅周辺の整備 | 29. 不足・不満・問題などを感じるものはない |

問4. 前問でお聞かせいただいた堺市の行政サービスの中で、最も不足や不満、問題を感じるものをひとつだけ選び、その番号を右にご記入ください。
特にない場合は「0」とご記入ください。

問5. 堺市の魅力としてあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 百舌鳥古墳群など歴史文化資源が豊富 | 7. 公園などレジャー施設が充実している |
| 2. 公共交通機関が整備されている | 8. 図書館、体育館などの施設が整っている |
| 3. 緑が多く自然が豊か | 9. 都市部に近い |
| 4. 市民の人柄・人情が好ましい | 10. 子育て・教育環境が充実している |
| 5. 文化芸術的な催し・イベントが楽しめる | 11. その他 () |
| 6. スポーツを楽しめる環境が整っている | 12. どれもあてはまらない |

次頁に続きます。

問6. 堺市における災害対策として不十分だと思うものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 街全体の地震・津波の対策 | 8. 地域の防災活動・防災訓練 |
| 2. 豪雨・土砂崩れの対策 | 9. 市民の自宅の耐震対策 |
| 3. 河川氾濫の対策 | 10. 市民のハザードマップの確認 |
| 4. 水・食料・医薬品などの備蓄 | 11. 市民の家具の転倒防止対策 |
| 5. 災害時のライフライン確保 | 12. その他 |
| 6. 災害に関する情報発信 | () |
| 7. 災害時の備えに関する情報発信 | 13. どれもあてはまらない |

問7. 堺市の治安に関する問題としてあてはまると思うものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 犯罪の発生が多い | 5. 地域の防犯に関する取組が少ない |
| 2. 防犯カメラの設置が少ない | 6. 住民の規範意識やモラルが低い |
| 3. 道路や公園の明るさが不十分 | 7. その他 () |
| 4. 空き家や空き地が多い | 8. どれもあてはまらない |

問8. 堺市の子育て環境において不十分だと思うものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 幼稚園・保育所・託児所 | 7. 子どもの医療環境 |
| 2. 公園など子どもの遊び場 | 8. 子育ての経済的負担の軽減策 |
| 3. 子育て支援制度・サービス | 9. ひとり親家庭への支援 |
| 4. 子育て相談の窓口 | 10. 地域の子育て支援 |
| 5. 子育てに関する学びの機会 | 11. その他 () |
| 6. 母子保健や子どもの健康づくり対策 | 12. どれもあてはまらない |

問9. 堺市の教育環境において不十分だと思うものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 学校の施設・設備 | 6. 通学環境 |
| 2. 学校教員・職員の人数 | 7. 地域との教育交流 |
| 3. 学校の教育内容 | 8. その他 |
| 4. 学校での体験活動 | () |
| 5. 放課後対策 | 9. どれもあてはまらない |

問10. 堺市の移動環境において不十分だと思うものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 電車の交通網 | 7. 駐車場・パーキングメーター |
| 2. バスの交通網 | 8. タクシー・レンタカー |
| 3. 道路網 (一般道・高速道) | 9. 自転車の貸し出し |
| 4. 自転車道 | 10. その他 |
| 5. 歩道・横断歩道・陸橋・地下道 | () |
| 6. 交通設備 (信号・ガードレール・カーブミラーなど) | 11. どれもあてはまらない |

問11. 日常利用している電子決済 (キャッシュレス) をすべてお選びください。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. クレジットカード決済 |
| 2. ICカード決済 (Icoca・Pitapa・楽天Edy・nanaco など) |
| 3. スマートフォン等を使用したモバイル決済 |
| 4. その他 () |
| 5. 電子決済 (キャッシュレス) は利用していない |

問12. 電子決済 (キャッシュレス) についてあてはまると思うものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 利便性が高い |
| 2. ポイント付与等の特典が受けられる |
| 3. 現金を持ち歩くリスクを軽減できる |
| 4. 電子決済を利用できる店舗等が限られる |
| 5. 災害等により障害が起きると決済できないことがある |
| 6. 電子決済をはじめる際の手続き等がわかりづらい |
| 7. その他 () |
| 8. どれもあてはまらない |

問13. 日常生活において電子決済 (キャッシュレス) が普及することについて、どのように思いますか。
(〇はひとつだけ)

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. とても良いと思う | 3. どちらともいえない | 4. あまり良いと思わない |
| 2. まあ良いと思う | 5. 良くないと思う | |

次頁に続きます。

I あなたご自身のことについて

問18. あなたご自身のことについて、あてはまるものをお選びください。

| | | | | |
|--|--|---|---|--------|
| ① お住まいの区 | 1. 堺区 2. 中区 | 3. 東区 4. 西区 | 5. 南区 6. 北区 | 7. 美原区 |
| ② 性別 | 1. 男性 2. 女性 3. 性別が選択肢にあてはまらない方は下記にご記入ください。 () | | | |
| ③ 年齢 | ____ 歳 (数字をご記入ください) | | | |
| ④ 同居している世帯の構成 | 1. 単身世帯 (ひとり暮らし) 2. 夫婦のみ 3. 二世帯世帯 (親と子) | | 4. 三世帯世帯 (親と子と孫) 5. その他 () | |
| ⑤ 同居家族等 (〇はいくつでも) | 1. 就学前 (0~6 歳) の家族がいる 2. 小学生の家族がいる 3. 中学生の家族がいる 4. 65~74 歳の家族がいる | | 5. 75 歳以上の家族がいる 6. 1~5 以外の家族がいる 7. 同居していない家族 (親、子、孫など3親等内の親族) が市内に住んでいる | |
| ⑥ 職業 | 1. 会社員・公務員 (フルタイム) 2. 派遣社員・契約社員 3. アルバイト・パートタイマー 4. 会社等役員 5. 自営業・自由業 (家族従業者含む) | | 6. 農林漁業 7. 学生 8. 家事専業 9. 無職 (収入が年金のみの方を含む) 10. その他 () | |
| ⑦ 勤務地・通学地 | 1. 堺市内 (堺区) 2. 堺市内 (中区) 3. 堺市内 (東区) | 4. 堺市内 (西区) 5. 堺市内 (南区) 6. 堺市内 (北区) | 7. 堺市内 (美原区) 8. 大阪市内 9. その他 () | |
| ⑧ 通勤・通学時間 | 1. 通勤・通学時間は片道どのくらいありますか (時間 分) 2. 通勤・通学時間はない (自宅・0分) | | | |
| ⑨ 通勤・通学手段 (〇はいくつでも) | 1. 自家用車を利用している 2. バスや電車などの公共交通を利用している 3. 徒歩や自転車を利用している | | | |
| ⑩ 通勤・通学以外 (買い物・レジャー等の自由目的) 移動手段 (〇はいくつでも) | 1. 自家用車を利用している 2. バスや電車などの公共交通を利用している 3. 徒歩や自転車を利用している | | | |
| ⑪ お住まい | 1. 持ち家 (一戸建て) 2. 持ち家 (マンション) 3. 公的賃貸住宅 | | 4. 民間賃貸住宅 5. 社宅・寮 6. その他 () | |
| ⑫ 堺市に何年住んでいますか。 | ____ 年 (1年未満の方は「0年」とご記入ください) | | | |
| ⑬ 堺市に住む前は、どちらに住んでいましたか。 | 1. 生まれてからずっと堺市に住んでいる 2. _____ 都道府県 _____ 市町村 _____ 区 (ご記入ください。) | | | |

～お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。～

【お願い】 内容をご確認のうえ、同封の返信用封筒 (切手不要) に入れて

令和 2 年 3 月 9 日 (月) までに郵便ポストに投函をお願いします。

🗝 堺の魅力 発信中 🗝

もうご登録いただいていますか？

堺市公式アカウントではイベント情報から
市政に関する情報、災害情報までいろんな情報をお届けしています



堺市LINE公式アカウント
@sakai-city



堺市広報課ツイッター
https://twitter.com/sakai_koho/



堺市広報課フェイスブック
<https://www.facebook.com/koho.sakaicity/>



堺動画チャンネル
堺の魅力や市長記者会見などの動画を発信します
<https://www.youtube.com/user/sakaivideochannel>

調査票を封入する前に

友だち追加・フォロー・チャンネル登録
ぜひよろしくお願ひします

堺市公式アカウントについての
お問い合わせ先

堺市広報課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL: (072) 228-7402 (直通)

FAX: (072) 228-8101

令和元年度堺市市民意識調査報告書【本編】

堺市市長公室政策企画部

〒590-0078

堺市堺区南瓦町3番1号

TEL:072-228-7517

FAX:072-222-9694

HP:<http://www.city.sakai.lg.jp/>

堺市行政資料番号 1-C2-20-0143